簡明て要點を把握——學修法の新獨創

中等教育研究所
中等理學會 編纂

中學二三四學年用
物理學問題詳解
四六判 七百廿頁 定價一圓八十錢 送料十二錢

表解 日本歷史の要點
四六判 九〇頁 定價三十五錢 送料四錢

表解 外國地理の要點
紙數二一六 定價七十錢 送料四錢

表解 動物學の要點
紙數二八六 定價七十錢 送料四錢

表解 化學の要點
紙數二五六 定價六十錢 送料四錢

表解 植物學の要點
紙數二一六 定價七十錢 送料六錢

中學二三四學年用
化學問題詳解
四六判 二百頁 定價各一圓四十錢 送料八錢

東京市日本橋區 東京市本郷區 光世館 振替東京一九七五 電話茅場町九六三七

受驗界の至寶——聖戰突破のキー

版 86 内容最新——効果第一

最近出題傾向の明示

受驗本位
物理學の要點
中等理學會編 四六判 七百廿頁 定價一圓八十錢 送料十二錢

陸軍教授、理學士 田中 求
東京府立三中教諭 小松 直行 共著
代數・幾何・三角 融合問題集
四六判 九〇頁 定價三十五錢 送料四錢

受驗本位 代數學の要點
中等理學會編 定價一圓六十錢 送料十錢

受驗本位 幾何學の要點
中等理學會編 定價一圓五十錢 送料十錢

受驗本位 作文の要點
谷岡義賢著 上製一圓四十錢 並製一圓二十錢 送料八錢

最も覺え易い 受驗の英單語
下河茂嗣著 定價一圓 送料六錢

東京府立一中教諭 山本英夫著
受驗本位 國文法要點
新型 定價一二〇頁 送料四錢

受驗本位
化學の要點
中等理學會編 四六判六百卅二頁 定價二圓 送料十錢

受驗本位 學習簿記の要點
大谷正義著 定價一圓六十錢 送料十錢

受驗本位 わかり易い 物理學計算法
中等理學會編 定價一圓五十錢 送料十錢

受驗最も分り易い 化學計算法
中等理學會編 定價一圓二十錢 送料八錢

一日一課 物理學三週間
中等理科學會編 定價八十錢 送料八錢

東京市日本橋區 東京市本郷區 光世館 振替東京一九七五 電話茅場町九六三七

好評嘖々たる

啓文社の教育參考書

東京市本郷區元町二丁目一
啓文社
振替東京三六七七八・電話小石川五五二九

★月刊雜誌 理科教育 ★實踐國語教育★

大和資雄著 **教育的文學理論** 定價二・八〇 送料十四

滑川道夫著 生活形象 **綴方教育の實踐構築** 定價三・〇〇 送料廿二

金原省吾著 **解釋の研究** 定價二・八〇 送料廿二

西原慶一著 **解釋學的國語教育** 定價三・八〇 送料廿二

石森延男著 **綴り方への道** 定價一・八〇 送料一〇

水戸部寅松著 **書道精說と書方新指導法** 定價三・二〇 送料十四

五十嵐力著 **修辭學綱要** 定價一・五〇 送料一〇

西洋音樂史

東京音樂學校前教授 乙骨三郎著

★石倉小三郎序 太田太郎跋★

最新刊

・四六判背革クロース裝・
・天金・函入・九六〇頁・
・定價 金四圓八十錢・
・送料 金二十二錢・

！業偉の代一生先
るな的の望渇界樂
！る成『史樂音洋西』

東京音樂學校・東北帝國大學にて長年音樂史を講じて精進された先生が一生の精魂を傾倒され、稿を起してより十四年、執拗に病魔と闘はれ、精査、推敲、彫琢、苦心の末になる本書は堂々千頁に及び、一字一句凡てが先生の魂の結晶である。挿入樂譜は古きに遡るに從ひ比較的に數を增してあり、挿入圖版と共に頗る豐富で、經は繁簡の要を得、緯は脈絡一貫し、記述に於ても說に於ても偏するところなき本書こそは、眞の意味で日本人の史觀に基く最初にして唯一の西洋音樂通史である。音樂學徒、音樂教授者はもとより、一般好樂の徒にとつて、必讀の典本と稱すべきである。

挿入樂譜一四一・挿入圖錄三〇九・別葉圖版四八面

發行所 東京淡路町二丁目 神田區 合資會社 **京文社** 電話神田三〇九〇番 振替東京八二二六番

三省堂版

特輯六法全書

現行法令條約集

東京帝國大學教授 法學博士 小野清一郎
名古屋控訴院部長判事 佐藤龍馬 共編

縱六寸五分・横三寸五分・厚サ一寸五分・極上羊革裝
特漉インディア紙・二千五百頁・收錄法令約一千

定價 五・五〇 送料・二二

本書は從來の『六法』の外、行政諸法規、更に外地法・國際條約までも一冊に收錄し、學的並に實際的の立場より之を整理分類したもの。名實共に現行法令條約の一大集成といふべく、曹界法學界は勿論、識者諸賢に贈る無比の法律顧問である。敢てお薦めする！

内容見本進呈 『新法令追錄引換券添附』

三省堂編輯所編 新輯 六法全書 參照條文及事項索引附 新三五判・羊革裝・千六百頁

Y 1.90 送 .08

編目

憲法編
民法編
商法編
民事訴訟法編
刑事訴訟法編
行政法編
官制・官吏法ノ部
警察・文化行政法ノ部
地方自治法ノ部
租稅法ノ部
金融法ノ部
勞働社會法ノ部
產業法ノ部
無體財產ノ部
交通法ノ部
土地法ノ部
外地法編
朝鮮ノ部
臺灣ノ部
樺太ノ部
關東州ノ部
南洋群島ノ部
國際法編

東京市神田區一町一番 振替東京三五五五
大阪市大阪西區阿波座下通一番 振替大阪八一三〇〇

三省堂

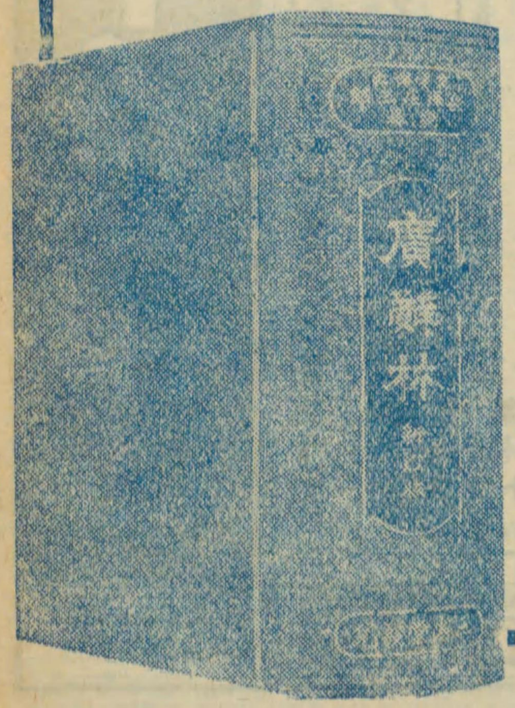
文學博士 金澤庄三郎先生編

廣辭林

新訂版

長き歷史が證明する
本辭典の絕對的眞價！
學習に、實務に、
ぜひ備ふべき
不朽の國語辭典はこれ！

四六判・總クロース典雅裝・二千頁・函入



短期特價 二圓九十錢（送料三）（正價三圓九十錢）

SSD 三省堂

東京・神田（振替東京三五五五）
大阪阿波座（振替大阪八一三〇〇）

（六）文學

○國文○詩歌○俳諧○感想○隨筆○漢文

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
古文學秘籍叢刊（七）成尋阿闍梨母集	久松潛一		○	古文學秘籍複製會 本郷
明治文學史	永井一孝	一・七〇	◎二七〇	敬文堂書店 牛込
江戸文學史	同	二・二〇	◎四一九	同 同
國譯漢文大成文學部第六卷三體詩	鶴田久作	非	◎七八四	國民文庫刊行會 神田
同 經子史部第四卷禮記	同	非	◎七五三	同 同
文字の研究	後藤朝太郎	八・五〇	◎一四三	關書院 豊島
平安文學史	佐藤仁之助	二・〇〇	◎二八一	敬文堂書店 牛込
和譯校註從容錄	高崎直承	一・四〇	○三五七	鴻盟社 芝
北陸萬葉集古蹟研究	鴻巣盛廣	一・八〇	○三五八	宇都宮書店 小石川
海南朱子學發達の研究	糸賀國次郎	四・三〇	◎五三二	成美堂書店 日本橋
校註國歌大系二一上	中山泰昌	非	○六〇八	誠文堂 神田
同（二二）同（下）	同	非	○六五五	同 同
十八史略新講	澤田總清 宮下幸平	一・八〇	○五四四	芳文堂 同
義經傳說と文學	島津久基	三・七〇	○九六八	明治書院 同
花鳥畫の本質	榊原紫峰	三・〇〇	○	芸艸堂 京都
シェストフ選集（一）隨筆世界を描く	三木清	二・五〇	◎四六九	改造社 芝
五十人集	竹内克己	二・五〇	○五六三	立命館出版部 京都
雲荘隨筆	入澤達吉	二・〇〇	○三九九	白揚社 神田
白雲深處漫筆	林安繁	非	○三九九	林安繁 兵庫
僕の歐洲旅日記	正田竹郎	非	◎一七〇	正田竹郎 杉並
不安と再建	増田篤雄	二・〇〇	○二六九	小山書店 小石川
雪山の生活者	ルイス・トレンカー 久野豊彦	一・五〇	○三四二	第一書房 麹町
滿洲國巡遊の印象	川端太平	一・五〇	○二七四	品川書店 新井

改訂 コンサイス英和 新辭典

三省堂編輯所編

辭書界に君臨するコンサイス英和！

内容新鮮充實の改訂新版をぜひ！

ポケット判・携帶至便 總羊革裝・一一三〇頁 定價 二圓五十錢（稅共六錢）

SANSEIDO'S NEW CONCISE ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY

姉妹篇

石川林四郎編 新コンサイス英和辭典 總羊革裝・九七二頁 價 二圓五十錢

東京市神田區神保町 振替東京三一五五五 大阪市西區阿波座 振替大阪八一三〇〇 三省堂

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
のんびりした話	森田草平	一・〇〇	〇四三	國文館 麹町
滿洲國	長谷川春子	一・五〇	〇三九	三笠書房 神田
平遠隨筆	川路柳虹	二・〇〇	〇二七五	岡倉書房 同
ががんぼ	村尾焦冥	一・五〇	〇	海蝶發行所 神田
歌集山吹	大倉本澄	非	〇一九六	大森本澄 兵庫
蟻徑	伊勢勝藏	一・三〇	〇一三八	海蝶發行所 神田
生活の灯	羽田貞	一・二〇	〇	黎明社 本郷
ポールクローデル 三つの聲	長谷川善雄	一・五〇	〇二五七	立命館出版部 京都
歌集緋ぶき	龜井文子	・八〇	〇一〇〇	白樺社 同
短歌年鑑 第二輯上	柳田新太郎	一・五〇	〇三五〇	立命館出版部 京橋
詩の作法講義	大木惇夫	一・八〇	〇二八九	萬昇堂 芝
清風上人詩集 上・下	武見潮寛	非	帙入	眞養寺 荒川
幕末歌壇の研究	森敬三	二・五〇	〇四〇四	樂浪書院 中野
和歌評釋選集 西行法師名歌評釋	尾山篤二郎	一・三〇	〇三〇八	非凡閣 小石川
俳句評釋選集(三) 子規名句評釋	青木月斗	一・三〇	〇二九二	非凡閣 小石川
七愚集	蓮沼文範	一・三〇	〇二八三	大東出版社 芝
刺戟	林髞	二・〇〇	〇三三〇	人文書院 京都
鮎	丹羽文雄	二・〇〇	〇三九五	文體社 京橋
映畫藝術研究 (第十一輯)	佐々木富美男	・七〇	〇二五四	藝術社 荏原
神々のへど	室生犀星	二・〇〇	◎二一三	山本書店 麹町
銀座女譚	石角春之助	一・二〇	〇三〇六	丸之內出版社 京橋
和服の人	鍋井克之	三・〇〇	◎二八五	書物展望社 同
雪桐集	木下杢太郎	二・八〇	〇三三二	同
鳴雪俳句研究	武田鶯塘	二・〇〇	〇三三三	交蘭社 小石川

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
萬葉集全釋	鴻巢盛廣	六・三〇	◎五八八	大倉廣文堂 京橋
團十郎の芝居	伊藤敏郎	一・六〇	〇三五三	早稻田大學出版部 牛込
ゲーテ・ファウスト	櫻井國隆	二・八〇	〇五五九	大村書店 小石川
隔日隨想	三宅雄二郎	一・八〇	〇四四五	帝都日日新聞社出版部 芝
紫式部日記の研究	今小路覺瑞	一・三〇	〇二七二	立命館出版部 京都
弱媒	寺田寅彦	二・二〇	〇四八一	岩波書店 神田
ドストイエフスキイ研究	中山省三郎	・八〇	◎一九〇	三笠書房 同
新修梅の下風	井口政治	二・八〇	〇六七〇	法木書店 日本橋
日本文學古註大成 狹衣物語古註大成	鎌瀨富次郎	四・五〇	◎五二六	國文刊行會 麹町
プルウスト研究 (四)	久米文夫	・八〇	◎一〇〇	作品社 京橋
人物論	杉山平助	一・八〇	〇四〇三	改造社 芝
芭蕉・蕪村・子規	萩原井泉水	一・六〇	〇三九五	千倉書房 京橋
雪と人生	高橋喜平	・八〇	〇一八四	朋文堂 麻布
書物の道	壽岳文章	二・〇〇	◎二三五	書物展望社 京橋
三鞭酒の泡	柳澤健	二・五〇	〇二九〇	日本評論社 同
歐洲文藝の歷史的展望 ダンテからゴーリキイまで	高沖陽造	一・五〇	〇二一六	清和書店 神田
古畫	豐田豐		〇四四六	古今堂 京橋
ラヂオ演劇(鑑賞と作方)	佐々健治	一・五〇	〇二九〇	同文館 神田
チエーホフの手帖	神西清	二・〇〇	〇四一一	芝書店 品川
ドストエフスキー研究	五味松樹 松孝二	一・二〇	〇一六六	健文社 麹町
ニイチエとジイド	高沖陽造 泥野隆三	二・五〇	◎二六一	建設社 牛込
古闘を巡る	稻上四郎	一・五〇	〇三〇五	日月書院 大阪
花柳行狀記	平山蘆江	二・〇〇	〇二九九	岡倉書房 神田
近世文藝史研究	森銑三	六・五〇	◎六八七	弘文莊 本郷
讀書術	エミール・ファゲ 品川湧譯	一・五〇	〇二三一	松柏館書店 日本橋
野人野語	品川義介	一・五〇	〇四一八	平凡社 同
我子に語る世相	たまかづら	一・七〇	〇四〇七	北文館 小石川
逍遙遊語	山田文郁	一・八〇	〇五〇九	破塵閣書房 健知
氷河のあくび	杉山平助	二・五〇	〇四一四	日本評論社 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
法窓五月雨雜記	高梨乙松	一・五〇	○三五四	大同書院 大阪
新人物論	阿部眞之助	二・五〇	○四三〇	日本評論社 京橋
法官餘談	三宅正太郎	二・〇〇	○三二七	新小說社 神田
縱と横	西川義方	二・五〇	○五二九	三省堂 同
法史瑣談	瀧川政次郎	一・三〇	○二〇二	時潮社 芝
稿本浮世風呂解註	出口米吉	二・五〇	○四七〇	玄鹿洞書院 大阪
廻潤餘滴	谷口爲次	非	◎二七八	江角英一 世田谷
僞裝された個性	吉田信夫	一・〇〇	◎一六八	制作社 府下
わが山山	深田久彌	二・三〇	◎三二四	改造社 芝
古板俳諧七部集六 炭俵 定本	宇田久	二・七〇	○三〇三	大岡山書店 麻布
明治俳諧史話	勝峯晋風	二・八〇	○四五八	大誠堂 京橋
放送芭蕉を語る	荻原井泉水	一・五〇	○三六二	實業之日本社 同
和歌評釋選集二 源實朝名歌評釋	松村英一	一・三〇	○二九〇	非凡閣 小石川
俳句評釋選集二 蕪村名句評釋	河東碧梧桐	一・三〇	○三〇四	同
醫學人體遍路	竹村文祥	二・〇〇	○四二六	平凡社 日本橋
漫筆 日本文學古註大成 枕草紙旁註	岡西惟中	三・八〇	◎四〇五	國文名著刊行會 麹町
伊勢物語新釋	藤井高尙	二・五〇	◎三〇一	同
紫式部日記註釋	清水宣昭	二・五〇	◎二四七	同
異境と故郷	正宗白鳥	二・〇〇	◎三五一	芝書店 品川
信州安曇踊	榛葉太生	一・八〇	○三一六	安曇踊會 長野
和蘭雜話	幸田成友	二・〇〇	○三一五	第一書房 麹町
抒情歌	川端康成	二・〇〇	○三三〇	竹村書房 四谷
氣樂な散歩	大田黑元雄	一・五〇	○二五五	第一書房 麹町
國譯漢文大成 水滸傳(中) 文學部一九	鶴田久作	非	◎一〇二九	國民文庫刊行會 神田
史記(四) 經子史部一六	同	非	◎九九四	同
木歩文集	富田木歩	一・三〇	○二七六	素人社書店 本郷
醫學人體遍路	竹村文祥	二・〇〇	○四二六	平凡社 日本橋
日本文學古註大成 枕草紙旁註	岡西惟中	三・八〇	◎四〇五	國文名著刊行會 麹町
伊勢物語新釋	藤井高尙	二・五〇	◎三〇一	同
紫式部日記註釋	清水宣昭	二・五〇	◎二四七	同
異境と故郷	正宗白鳥	二・〇〇	◎三五一	芝書店 品川
信州安曇踊	榛葉太生	一・八〇	○三一六	安曇踊會 長野
和蘭雜話	幸田成友	二・〇〇	○三一五	第一書房 麹町
抒情歌	川端康成	二・〇〇	○三三〇	竹村書房 四谷
氣樂な散歩	大田黑元雄	一・五〇	○二五五	第一書房 麹町
國譯漢文大成 水滸傳(中) 文學部一九	鶴田久作	非	◎一〇二九	國民文庫刊行會 神田
史記(四) 經子史部一六	同	非	◎九九四	同
春の逃げ水	吉田絃二郎	一・〇〇	○二八八	新潮社 牛込
漢詩絶句作法と鑑賞	細貝泉吉	二・二〇	○四七〇	立命館出版部 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
窄き門	山内義雄	一・〇〇	○二七八	白水社 神田
無門	小林實	二・〇〇	○五六〇	帝國公文書院 京橋
三等に乘りて	東郷實	一・五〇	○三六四	富山房 神田
稀書複製會九ノ二 吉原天秤	山田清作	非	◎	米山堂 牛込
同 九ノ二 むさし鐙	同	非	◎	同
愛乃門	吉池昌一	一・三〇	○一七七	弘道閣 神田
やまひやしなひ草	杉山幾江	二・〇〇	○六三二	杉山刊行遺稿會 長野
未刊國文古註釋大系(一八)	吉澤義則	非	◎五六四	帝國教育會出版部 神田
酒道	西村文則	二・五〇	○三四一	健文社 麹町
贅庵遺稿(上・中・下)	岩本正義	非	◎	岩本復三 德島
アイダ物語	御木本隆三	・五〇	○二二五	東京ラスキン協會事務所 世田谷
註解漢詩の作り方	神田兆齊	一・〇〇	×	東白堂書房 本郷
物語戯曲新撰	新屋敷幸繁	一・〇〇	◎二九九	大倉廣文堂 京橋
飛行官能	恩地孝四郎	二・五〇	△	版畫莊 同
歌集青芥集	橋本德壽	一・八〇	○二五四	青垣會 中野
山羊の歌	中原中也	三・五〇	△一四五	文圓堂 本郷
歌集土螢	鈴木思次	一・五〇	○二一七	長崎新聞支局 長崎
山茶花集	平山武良	一・〇〇	○二一六	蘚社 杉並
歌集晴天	竹添履信	二・五〇	○三三八	創作社 靜岡
抒情小曲集	室生犀星	二・三〇	◎七三	四季社 品川
詩集孔雀羽	椋正隆	一・〇〇	○二一四	棕梠の葉社 淀橋
のぶどう	石川福次郎	一・〇〇	○一七五	花東社 神奈川
牡蠣と岬	吉田瑞穗	一・〇〇	◎五七	椎の木社 中野
魂のさゝやき	錦織久良子	・五〇	○二五八	日曜世界社 大阪
歌集赤埴	内田山霧	一・三〇	○二〇八	ぬはり社 豐島
歌集茱萸の花	久保田小夜子	一・〇〇	○二四四	北光社書店 新潟
家	印東昌綱	一・五〇	○二五五	竹柏會 本郷
【二月】				
新選近代文學 長町女腹切	藤村作	・三〇	○五五	栗田書店 神田
同 心中天の網島	同	一・三〇	○六三	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
小學	安岡正篤	・三〇	◎四二	金鶏學院（小石川）
新選近代文學 おらが春	藤村作	・三〇	○七四	栗田書店（神田）
同 曾根崎心中	同	・三〇	○五〇	同
同 新花摘	同	・五〇	○六五	同
批評の屬性	佐山榮太郎	・三五	○五五	研究社（麹町）
シェイクスピア序説	柏倉俊三	・三五	○六九	同
侍の原理	村上不二雄	・三五	○六八	同
島根民藝錄	太田直行	二・〇〇	◎二一〇	島根民藝會（島根）
校註國歌大系（十二）三十六人集・六女集（八）	中山泰昌	非	○九三八	誠文堂（神田）
同 十三代集四	同	非	○七九六	同（中野）
遠西叢考	新村出	・五〇	○三九二	樂浪書院（中野）
校訂 正岡子規研究	宮田戎子	一・〇〇	○二八五	同（神田）
文學科研究年報（一）	小池覺淳	非	◎三三三	日本文學大學科（同）
應永書寫 延慶本平家物語	吉澤義則	七・五〇	◎一〇九三	改造社（芝）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
文學古典の再認識	藝術遺産研究會	一・三〇	○三四二	現代文化社（京橋）
發聲映畫 脚本の作り方	仲木貞一 吉田正良	一・五〇	○一八八	弘文社（神田）
春秋文庫自然讀本（春）（一八）	吉江喬松	一・〇〇	×三三六	松柏館書店（日本橋）
古詩源註解（一）	加藤盛一	二・〇〇	◎三四七	立命館出版部（京都）
春秋文庫自然讀本（冬）（一一）	吉江喬松	一・〇〇	×二九二	松柏館書店（日本橋）
明治文學叢刊 明治初期の飜譯文學	柳田泉	三・八〇	◎六一五	同
ブドフキン・映畫俳優論	馬上幾太郎	二・〇〇	◎二一〇	ナウカ社（神田）
未刊國文古註釋大系（四）	吉澤義則	非	◎四四七	帝國教育會出版部（同）
萬葉集考說	久松潛一	三・〇〇	◎四四〇	栗田書店（同）
球陽外卷 遺老說傳	島袋盛敏	二・〇〇	◎一九一	學藝社（京橋）
現代ヂャーナリズム論	杉山平助	一・五〇	○四九三	白揚社（神田）
國譯漢文大成（經子史部十九）	鶴田久作	非	◎一〇六六	國民文庫刊行會（同）
同（文學部二）	同	非	◎七八〇	同（同）
ウオルタア・ペータアの研究	山本長方		○二七	山本そよ子（四谷）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
近世女流歌人の研究	森敬三	一・五〇	◎三三四	素人社書店（本郷）
國語學史講義	松尾捨治郎	一・三〇	◎一九〇	大岡山書店（靏布）
川柳史講話	海野夢一佛	二・二〇	○三九〇	交蘭社（小石川）
古事記の鑑賞	新屋敷幸繁	一・八〇	○二八八	大同館書店（神田）
かぶき草紙	山田清作	三・八〇		米山堂（牛込）
をどり名曲解說（一）	小寺融吉	一・二〇	○一七〇	壬生書院（本郷）
歌集 蘭	馬場汐人	一・七〇	○二三九	武都紀發行所（愛知）
句集すががき	金子光衞	一・三〇	◎（絶）一五〇	樹海社（王子）
烏子闘句集	吉田冬葉	一・六〇	○二五六	獺祭發行所（品川）
一つの世界	大埜間霽江	一・二〇	○一六二	短歌研究會（杉並）
朽葉	安藤和風	一・〇〇	◎五四	秋田鄕土會（秋田）
纂訂 西行法師全歌集	伊藤嘉夫	三・七〇	◎四三	大岡山書店（靏布）
短歌の作り方味ひ方	北村まさを	一・五〇	○二一九	平原社（京橋）
誰にも解る漢詩作法	川上天山	二・二〇	×四〇八	經世學社（本郷）
和歌評釋選集（四）平安朝名歌評釋	尾上柴舟	一・三〇	○二七六	非凡閣（小石川）
俳句評釋選集（四）一茶名句評釋	勝峯晋風	一・三〇	○二八六	非凡閣（小石川）
百人一句（下）	山田清治	非	△	米山堂（牛込）
【三月】				
黃菊白菊	細田民樹	一・五〇	○四六三	中央公論社（麹町）
吉屋信子全集（二）	吉屋信子	一・五〇	○五二一	新潮社（牛込）
女教員諸氏に語る 潭底を穿つもの	村田利喜	一・二〇	○一九六	三成社書店（神田）
ロマン主義心情	寮善吉	一・八〇	○二八四	作品社（京橋）
映畫藝術研究 第三年第二輯	佐々木富美男	・七〇	○二三七	藝術社（荏原）
屍室斷想	森於菟	一・四〇	○二三五	時潮社（芝）
日本文學の本質と國語教育	藤村作	五・五〇	◎七三三	岩波書店（神田）
いばらの道	及川道子	一・三〇	○一九〇	紀元書店（同）
校註國歌大系 近代諸家集（四）	中山泰昌	非	○九三八	誠文堂（同）
校註國歌大系 綜合索引 一、アーオ	同	同	○八七七	同（同）
文學讀本（春夏の卷）	島崎藤村	一・五〇	○三五五	第一書房（麹町）
短歌表現辭典	松本仁	二・〇〇	○三七四	立命館出版部（京都）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
若氣のあやまち	飯島正	一・八〇	○二〇八	西東書林（京橋）
佐々木味津三全集（十二）隨筆集	佐々木味津三		○五一八	平凡社（日本橋）
大芭蕉全集（七）紀行篇	川合勘七	二・〇〇	○四七三	大誠堂（京橋）
物集高見全集 四	物集高量		◎	物集高見全集編纂會（本郷）
此一閃	中村乙熊	・四〇	◎五八	中村乙熊（兵庫）
土田杏村全集（一）人生と哲學	土田千代	非	○五〇〇	第一書房（麴町）
新作文精講	外山潤	三・八〇	○一〇五三	國民教育會（本郷）
山居	小塙德子	二・〇〇	○三三四	人文書院（京都）
和歌評釋集（五）新古今集名歌評釋	太田水穂 四賀光子	一・三〇	○二九六	非凡閣（小石川）
間居閒語	小松光男	非	◎一七六	日本新聞社（麴町）
癒えざるもの	金倉和三郎	同	○三二七	金倉和三郎（大阪）
毒環	大下宇陀兒	一・六〇	○五四三	春秋社（日本橋）
爐邊夜話	乾信一郎	一・〇〇	×三二七	松柏館書店（同）
現代國文學講話	坂井衡平	二・〇〇	○三三四	文松堂（京橋）
俳句評釋選集（五）古今名句評釋	矢田挿雲	一・三〇	○三二四	非凡閣（小石川）
アラン	飯島正	一・〇〇	○二九三	第一書房（麴町）
生命の科學（一）	小野俊一	二・八〇	◎六七五	平凡社（日本橋）
萬葉集の綜合研究（一）	石井庄司	二・八〇	◎四一八	改造社（芝）
科學と藝文話題の辭典	尾崎昇	一・五〇	○三八七	千倉書房（京橋）
續爐邊夜話	乾信一郎	一・〇〇	×三六九	松柏館書店（日本橋）
古版小說挿畫史	水谷弓彥	七・五〇	△四三五	大岡山書店（麻布）
作家論	平岡昇 新田滋	一・九〇	◎三〇五	芝書店（品川）
大虛	林逸馬	・八〇	○四一六	金岡文支店堂（福岡）
新編支那文學歷代選	水野平次	三・九〇	◎四一六	東洋圖書株式合資會社（神田）
明治ランプの下にて劇談	岡本綺堂	二・〇〇	◎三〇三	岡倉書房（同）
國譯漢文大成文學部第十七卷	鶴田久作	非	◎	國民文庫刊行會（同）
生命の奔流	谷口雅春	二・〇〇	○四一五	生命の藝術社（澁谷）
去來抄新講（上）（先師評）	宇田久	五・〇〇	◎四六〇	俳書堂（麴町）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
江戸小說研究	尾崎久彌	四・五〇	◎五六四	弘道閣（神田）
惠慶集	石黑文吉			育德財團（日黑）
哀猿記	室生犀星	・三五	○一三一	新民族社（麴町）
博齒になる馬車	中河與一	・三五	○九五	同
獨逸文學研究 一九三五年版	星野慎一	二・八〇	◎三三〇	建設社（牛込）
上海	横光利一	二・五〇	◎二四二	書物展望社（京橋）
中村鴈治郎を偲ぶ	白井松次郎	四・〇〇	◎二六〇	松竹興行株式會社（大阪）
明治大正昭和文藝筆禍索引	磯部鎭雄	一・〇〇	◎四四	梓古堂（本郷）
本卦かへり	下村海南	一・八〇	◎五二	四條書房（神田）
解剖臺に凭りて	森於菟	一・二〇	◎二四四	昭和書房（同）
玉鏡	櫻井重雄	一・二〇	○三二九	天聲社（京都）
奇人か變人か 赤帽さん	大平喜間多	・五〇	○一九六	信濃毎日新聞社出版部（小野）
【四月】				
能動精神 パンフレット	田邊茂一	・五〇	○二三六	紀伊國屋出版部（淀橋）
佛書解說大辭典 第九卷ハ―ホ	小野玄妙	七・〇〇	△四四〇	大東出版社（芝）
蘆花家信	德富蘆花	二・二〇	○四五〇	岩波書店（神田）
詩學	川路柳虹	二・八〇	○四三三	耕進社（本郷）
近世名著標本集 第廿四輯 文藝	山田清作		袋入	米山堂（牛込）
・我・記	古川眞澄		○一五九	古川眞澄（京橋）
評傳米國文學大觀	關一雄	三・〇〇	◎三七七	立命館出版部（京都）
純正詩論	萩原朔太郎	一・二〇	○二〇七	第一書房（麴町）
度胸の一生	矢田挿雲	一・五〇	○四五〇	千倉書房（京橋）
青蘆集	德富健次郎	・八〇	○二四五	岩波書店（神田）
映畫藝術研究 第三年第三輯	佐々木 富美雄	・六〇	○一九四	藝術社（花原）
無身の生活	宮崎安右衛門	一・二〇	○三四七	一如書房（芝）
體驗と文學	デイルタイ 服部正己譯	一・八〇	○五七一	第一書房（麴町）
放送江戸文學講話	尾崎久彌	二・二〇	○四九二	三笠書房（神田）
俳句評釋句選集六 自由律俳句評釋	萩原泉水	一・三〇	○二八五	非凡閣（小石川）
和歌評釋選集六 江戸時代名歌評釋	窪田空穗	一・三〇	○二五四	同
思はざる收穫	內藤濯	一・二〇	○二六九	白水社（神田）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
分類俳句全集四	正岡子規	一・五〇	〇五三	アルス 神田
硯滴隨筆 黑頭布を脫ぐ	丸山幹治	一・八〇	〇三四七	言海書房 京橋
山の小屋から	室伏高信	一・五〇	〇四〇五	日本評論社 同
百鬼園日記帖	內田百閒	一・七〇	◎二七一	三笠書房 神田
熱風をあびて	加藤泰通	非	〇一六二	倚文堂 同
放言集	加藤悌造	同	◎四九九	田附商店 大阪
童心子と遊ぶ 雜筆	松原至大	二・〇〇	〇三六〇	健文社 麴町
現代歌論歌話叢書 窪田空穗篇	窪田空穗	二・〇〇	〇三〇三	改造社 芝
淺黃裏	內田誠	二・〇〇	〇一五二	文體社 杉並
ゴオゴリ研究	ヴエレサエフ 馬上義太郎	一・〇〇	〇二〇四	ナウカ社 神田
大芭蕉全集（六）	川合勘七	二・〇〇	〇四六二	大誠堂 京橋
現代隨筆全集（二）	福岡益雄	二・〇〇	〇五二四	金星堂 神田
軌道をめぐる星	ジーンス 鑓田研一譯	二・〇〇	〇二七三	恒星社 芝
萬葉集二十六考	豐田八十代	一・八〇	〇二〇四	大岡山書店 廳布
日本映畫論	岸松雄	一・五〇	〇三二四	絢天洞 淀橋
桃燈集	山崎斌	一・〇〇	〇一一九	岡倉書房 神田
間居閒語	小松光男	非	◎一七六	日本新聞社 麴町
石見風雲双紙	三枝劉二	一・五〇	〇三七〇	耕進社 本郷
日本小說評論史序說	原田芳起	二・〇〇	〇三八一	大同館書店 神田
新生活への出發	谷口雅春	二・〇〇	〇四一〇	生命藝術社 澁谷
富士の高嶺ををろがみまつる	樋口よし子		〇一二九	昭文堂印刷所 小石川
國文問題 歷代文	中等國漢文研究會	・五〇	〇一三六	西東社 神田
女學生の短歌	信清確郎	・五〇	〇一五二	同 同
隨筆冬の蠅	永井荷風	二・〇〇	〇二六一	永井壯吉 廳布
短歌講座三（改訂版）修辭文法篇	山本三生		◎四三七	改造社 芝
みかぐら歌を味ふ	河野誠	・五〇	〇二三二	道社 宮崎
鬼言冗語	岡鬼太郎	二・二〇	〇三六二	岡倉書房 神田
女人覺え帳	平山蘆江	二・〇〇	〇二九九	同 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
青銅のCUPID	龍膽寺雄	一・五〇	〇二〇八	麗日社 杉並
福田雅太郎追懷錄	山根倬三	非	〇三六四	追懷錄刊行會 神田
校註國歌大系 萬葉集	中山泰昌	同	〇六四二	誠文堂 同
同 綜合索引	同	同	〇八九二	同 同
林園賦	木村莊太	一・〇〇	〇二三六	建設社 牛込
お化けの世界	坪田讓治	一・七〇	〇二九六	竹村書房 四谷
作歌手記	高田浪吉	一・五〇	〇二七八	古今書院 神田
國譯漢文大成 文學部	鶴田久作	非	◎七四四	國民文庫刊行會 同
隨筆冬を凌ぐ	小岩井淨	一・五〇	〇三五一	ナウカ社 同
平家物語の講義	村上才太郎	一・六〇	〇六二〇	芳文堂 同
未刊國文古註釋大系	吉澤義則	非	◎四二〇	帝國教育會出版部 同
日輪	橫光利一	五・〇〇	◎一三六	沙羅書店 澁谷
折焚く柴の記	笠原節二	一・八〇	◎二七四	明文社 瀧野川
情痴の華	堀伊八	三・五〇	〇四五二	自然社 京橋
詩集三人上戶	五十嵐茂	・五〇	〇八一	謠文堂書店 蒲田
【五月】				
人類の運命	浮田和民	二・三〇	〇三六四	大勝館 神田
環境と空 第一部	荒木精之	一・五〇	〇三五〇	飯倉書店 同
日本詩歌韻律學	湯山清	二・〇〇	◎二一一	不老閣書房 淀橋
吾か日吾か暮	宮島新三郎	二・三〇	〇三三五	大勝館 神田
萬葉集講話	木村正辭	・八〇	〇二〇〇	大日本歌道奬勵會 赤坂
定本土佐日記	中村多麻	二・〇〇	〇三八六	岩波書店 神田
省勞抄女子二	山田謙吉	非	〇三四五	早稻田大學出版部 淀橋
日本精神研究 水戶學精神	伊藤千眞三	一・八〇	◎三三一	東洋書院 芝
徒然草	鈴木種次郎	・五〇	〇二三三	三教書院 中野
雨月物語	同	・六〇	〇三二六	同 同
明日はどうなる	竹越與三郎	・八〇	〇二七六	言海書房 京橋
雲烟縱橫	津田武	二・〇〇	〇六三三	鹿兒島新聞社 鹿兒島
漱石遺墨集	夏目金之助	非	△帙入一册	岩波書店 神田
モンテーニュ隨想錄	關根秀雄	四・〇〇	◎六〇〇	白水社 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
無用の用	富田溪仙	二・五〇	○二四五	人文書院（京都）
物語日本文學（二）一茶一代物語	藤村作		○二三五	至文堂（牛込）
日本文學講座 江戸時代（下）	伊藤義亮	一・五〇	◎五〇六	新潮社（同）
俳句入門	高濱虛子	一・二〇	×二二〇	香蘭社書店（下谷）
有朋堂文庫 新撰名家詩集	塚本哲三	非	×五四六	有朋堂書店（神田）
同 日記紀行集	同	同	×六八〇	同（同）
短歌年鑑（下）	柳田新太郎	一・五〇	○三一九	立命館出版部（京都）
新田一夫追憶集	湯川秀次郎 鈴木清	非	◎五四九	新田愛三（淺草）
日本詩歌音韻律論	伊福吉部	一・〇〇	◎變一一〇	村上信義堂（小石川）
日本文學講座 年表書誌篇	山本三生		◎四一六	改造社（芝）
思想するヒューペリオン	ヘルデルリーン 陶山務	一・五〇	○四〇七	第一書房（麴町）
たのしみ草紙	葉山西思	・六〇	×一五四	博榮堂書店（大阪）
實用語講座 言葉と文	玉井幸助	二・〇〇	◎二四八	育英書院（澁谷）
詩の昆蟲	林柾木民	二・三〇	○三七二	大勝館（神田）
於百明暗道	小野金次郎	一・七〇	○三一五	伊藤書房（本郷）
靜心雜記	田川大吉郎	二・〇〇	○三五〇	白揚社（神田）
漱石襍記	小宮豐隆	二・〇〇	○三二六	小山書店（小石川）
あばたはゑくぼ？	高畠素之	・一〇	○六二	森田書房（麴町）
漢詩絕句作例百講	細貝香塘	二・五〇	○四六六	立命館出版部（京都）
本卦かへり	下村海南	一・八〇	○五三五	四條書房（神田）
與謝野寛遺稿歌集	與謝野光	非	◎三二八	明治書院（同）
トオマス・マンゲエテ	阿部六郎		◎一〇七	芝書店（品川）
花鳥草紙	新村出	一・八〇	○三七六	中央公論社（麴町）
唯物論全集 藝術論	甘粕石介	・八〇	×二五七	三笠書房（神田）
詩集潮流	森山啓	一・〇〇	○二四九	ナウカ社（同）
現代短歌の特質と鑑賞	渕脇義雄	二・〇〇	○四二三	厚生閣書店（麴町）
純文學のために	田邊茂一	・五〇	○二一八	紀國屋出版部（淀橋）
明治文學叢刊 政治小說研究／上	柳田泉	三・八〇	◎六〇二	松柏館書店（日本橋）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
心中天の網島詳解	伊藤正雄	二・二〇	○四四九	富山房（神田）
魯庵隨筆 紫煙の人々	木村毅 齋藤昌三	二・五〇	○三五四	書物展望社（京橋）
分類俳句全集	正岡子規	一・五〇	○五〇一	アルス（神田）
唐詩選		・五〇	○一八〇	三教書院（中野）
本居宣長翁書簡集	奥山宇七	三・五〇	◎六八一	啓文社（本郷）
歌世紀の旗	高橋喜惣勝	・五〇	○一六三	文泉閣（中野）
大日本文庫 文學篇 物語文學集		非	○四八七	春陽堂（日本橋）
現代隨筆全集	福岡益雄	二・〇〇	○五二一	金星堂（神田）
俳春秋	坪谷水哉	非	○二八〇	坪谷善四郎（牛込）
禽獸	川端康哉	一・八〇	◎一五三	野田書房（同）
夢を孕む女	山田一夫	一・〇〇	○三七〇	岡倉書房（神田）
日本文學全史 江戸文學史（上）	高野辰之		◎五八八	東京堂（麴町）
ダイヴィング	舟橋聖一	・五〇	○二三八	紀伊國屋出版部（淀橋）
童心詩語	青木茂	一・三〇	○二五四	童心房（廣島）
改訂版 撰集講義篇 短歌講座	山本三生		◎四五八	改造社（芝）
柿本人麿批評集	佐藤佐太郎	非	○一七九	佐藤佐太郎（神田）
攝陽隨筆	谷崎潤一郎	一・七〇	○四一九	中央公論社（麴町）
國文學神樂・催馬樂通釋	大竹貞治	二・〇〇	○二七〇	大同館書店（神田）
大芭蕉全集	本山桂川	二・〇〇	○四五一	大芭蕉全集刊行會（京橋）
現代詩創作講座		一・五〇	○三七五	金星堂（神田）
物集高見全集	物集高見全集編纂會		◎	物集高見全集編纂會（本郷）
支那俠艷怪奇小說 野叟曝言	山縣初男	二・五〇	○六六九	秋豐園出版部（神田）
花ふぶき	小笠原長生	一・六〇	○四〇〇	三幸堂書店（淀橋）
茶塵抄	吉田堯文	一・五〇	○一三〇	河原書店（京都）
杖を突いたり轉んだり	溝口豐	非	○二六九	溝口豐（山梨）
自己の體驗を語る	前田一魂	一・五〇	○一五四	前田政一（廣島）
日夜劇場	村山知義	一・七〇	○二八七	竹村書房（四谷）
國譯漢文大成 文學部		非	◎六八六	國民文庫刊行會（神田）
同 經子史部		同	同	同（同）
現代戰爭文學全集 軍服の聖者	津野田是重	一・二〇	○三七四	香風閣（同）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
青山白雲	德富健次郎	・八〇	〇二四三	岩波書店 神田
小熊秀雄詩集	小熊秀雄	一・八〇	〇三〇五	耕進社 本郷
坪内先生著譯初版本目錄	村上濱吉	非	◎ 八	村上文庫 品川
パスカル「パンセ」序說	ブランシュヴィック 由木康 直方敏	一・〇〇	〇二〇三	長崎書店 牛込
文武伊達正宗卿名將詩歌要釋	鈴木榮一郎 千坂庸夫	一・二〇	◎二四七	仙臺扶搖會 宮城
近代日本文章史	瀬古確	二・〇〇	〇三九二	育英書院 澁谷
大道を行く	山崎益州	・五〇	〇三〇〇	廣島遞信局 廣島
現代映畫論	菅見恒夫	一・五〇	〇三二五	西東書林 京橋
詩の周圍	阪本越郎	二・〇〇	×三二四	耕進社 本郷
有朋堂文庫 近代歌謠集	塚本哲三	非	×七〇一	有朋堂 神田
同 集義和書	同	同	×五五三	同 同
寶雲	森鴨	二・三〇	△一〇五	寶雲刊行所 京都
ゲーテ論攷	木村謹治	三・〇〇	◎四四九	伊藤書林 麹町
靈界物語 山河草木	櫻井重雄	一・〇〇	〇四七四	天聲社 京都
自由主義より統制主義へ！	青木敏	・一〇	〇五四	さんもん書房 杉並
女性は動く	小泉郁子	一・八〇	〇三二九	南光社 神田
美學と藝術學	櫻田總子	二・〇〇	◎二〇二	日本評論社 京橋
繪本水や空中	山田清作	非	◎	米山堂 牛込
女用訓蒙圖彙	同	同	◎四〇	同 同
演劇巡禮	三宅周太郎	二・〇〇	〇五九〇	中論公論社 麹町
飯の社會學	吉方一廣	一・五〇	〇三二九	日本公論社 神田
日時佳興	德富猪一郎	二・〇〇	〇三六〇	民友社 同
北方	北川冬彦	二・〇〇	◎二一	蒲田書房 蒲田
高木惠太郎評論集 巷を漁る	大川忠勝	三・〇〇	〇二七九	沼津毎日新聞社 靜岡
物質と言葉	寺田寅彦	一・八〇	〇三七七	岩波書店 神田
隨筆さぬき	小田德三	一・五〇	◎一八五	藤田積善堂書店 香川
白蟻	小栗虫太郎	一・九〇	〇三四四	ぶろふいる社 澁谷
花鳥小品	荻原井泉水	一・八〇	〇三〇〇	三笠書房 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
漢學者傳記及著述集覽	小川貫道	三・八〇	〇七九三	關書院 豐島
倫敦の宿	水上瀧太郎	一・六〇	〇四一二	中央公論社 麹町
有由崇歌と防人歌	松岡靜雄	三・五〇	◎五三二	瑞穗書院 神田
中野大次郎遺稿集	稻葉信之	非	◎一八七	遺稿集刊行會 小石川
松濤秀萃	松山與兵衛	同	◎	松濤莊 兵庫
芭蕉俳句新釋	半田良平	一・七〇	〇四二〇	素人社書屋 本郷
聞信錄	野間景豐	三・〇〇	〇五六〇	同朋舍出版部 京橋
眞理（朝鮮文字）	明石順三	・一〇	〇五九	燈臺社 杉並
尼の筆あと 信仰三十六年	鈴木光圓	一・〇〇	〇四六八	川瀨書店 愛知
萬葉集總釋	武田祐吉 土屋文明		〇四〇〇	樂浪書院 中野
【六月】				
青年の計畫	ビトキン 博士 久野豐彥譯	一・五〇	〇三七二	第一書房 麹町
溜飲を下ぐ	丸山幹治	一・五〇	〇三三五	言海書房 京橋
炭坑（長篇）	橋本英吉	一・〇〇	〇三一六	白揚社 神田
山口正太郎教授記念事業實行委員	山口正太郎教授記念事業實行委員	非	◎約三〇〇	山口正太郎教授記念事業實行委員 大阪
作品集和琴抄	今井邦子	一・八〇	〇三三七	紫式部學會 神田
泉	飯島正	一・二〇	〇三四九	西東書林 京橋
眞理の追求	得能文	二・〇〇	◎五〇五	第一書房 神田
物語日本文學一一卷 現代中納言物語	藤村作		〇三三〇	至文堂 牛込
伊藤松宇句俳畫讚	野口駿尾		變形	審美書院 京橋
物語日本文學一六卷 西鶴名作集	藤村作		〇二〇九	至文堂 牛込
古今和漢傑作詩歌評釋	馬場峯月	二・八〇	×一一三二	洋々社 下谷
日之出箴言（第二書）	豐田豐	一・〇〇	〇二一三	日出會本部 熊本
改修萬葉集新講	次田潤	五・〇〇	◎八二七	成美堂書店 日本橋
文學雜考	ポオル・ヴアレリイ 堀口大學譯	一・二〇	〇二〇一	第一書房 麹町
冬を越す蕾	中條百合子	一・五〇	〇四三九	現代文化社 京橋
魯迅選集	佐藤春夫 增田涉	・四〇	×二七八	岩波書店 神田
愛誦詩歌評釋	馬場峯月	二・八〇	×一一三二	三陽書院 麹町
近代句を語る	飯田蛇笏	一・五〇	〇二四三	交蘭社 小石川
日本文學大系 註校	中山泰昌	非	〇八七二	誠文堂新光社 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
校註國歌大系（綜合索引）	中山泰昌	非	○八三八	誠文堂新光社 神田
同 明治初期諸家集	同	同	○九〇七	同 同
有朋堂文庫 水鏡・大鏡・增鏡	塚本哲三	同	×七〇三	有朋堂 同
同 風俗文選・和漢文樣・鶉衣	同	同	×七〇三	同 同
俳人眞蹟全集	志田素琴		△帙入一册	平凡社 日本橋
隨筆豐太閤	小林橘川	一・〇〇	×二〇七	春秋社 同
日本文學大系 註校	中山泰昌	非	○八六一	誠文堂新光社 神田
平和の福音 改訂	黑田惟信	一・四〇	○二九〇	一粒社 愛知
花鳥風月	宮川曼魚	二・〇〇	○三二三	人文書院 京都
現代アメリカ文學	高垣松雄	三・〇〇	◎四一四	健文社 麹町
土田杏村全集	土田千代	非	○五六〇	第一書房 同
作法文範 古今名家書翰文集	ヤシマ書房編輯部	二・七〇	○一四三	ヤシマ書房 神田
正岡子規の新研究	宮田戊子	二・〇〇	○三八七	叢文閣 麹町
先人に學ぶ	石山賢吉	一・五〇	○四一八	千倉書房 京都
尾張徇行記（下）	山村敏行	非	◎七二〇	愛知縣教育會 愛知
隨筆わが漂泊	三上於菟吉	二・三〇	◎變四二九	サイレン社 神田
弔花	豐田三郎	・五〇	○三三三	紀伊國屋出版部 淀橋
女ノ圖	室生犀生	二・〇〇	○三三三	竹村書房 四谷
和泉式部集	渡部榮		○二册	松盛堂書店 神田
現代ソヴエト文學全集	外村史郎	一・五〇	○六五八	三笠書房 同
行動主義文學論	小松清	・五〇	○三三三	紀伊國屋出版部 淀橋
近代日本文學の鳥瞰	橘文七	一・八〇	○三三六	大誠堂 京橋
萬葉集研究年報 昭和九年度	藤森朋夫	一・二〇	◎一五六	岩波書店 神田
改訂版 短歌講座 歷史文獻篇	山本三生		◎四四六	改造社 芝
現代歌論 歌語叢書	太田水穗	二・〇〇	○三三七	同 同
ゲーテ全集	中島清	一・五〇	○五四八	ゲーテ全集刊行會 淀橋
續々湖畔吟	村田鐵三郎	一・八〇	○三〇一	有光社 麹町
難思	杉村廣太郎	一・二〇	×三六二	日本評論社 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
唯物論全書 文學論	森山啓	・八〇	×二六五	三笠書房 神田
黎明期	德永直	・八〇	○二〇九	ナウカ社 同
詩人叢書 飛ふ橇	小熊秀雄	・八〇	○一八八	前奏社 杉並
作家作品中心 趣味の日本文學史	川島秀二	二・八〇	○五一三	大同館書店 神田
人工樂園	松井好夫	三・五〇	○三三一	耕進社 本郷
火中の書	荻原井泉水	二・〇〇	○二九四	岡倉書房 神田
倦鳥求林集	竹越與三郎	二・二〇	○三七一	同 同
覺書	横光利一	一・九〇	◎二九六	沙羅書店 澁谷
マルクス・エンゲルス藝術論	外村史郎	一・二〇	○三二一	改造社 芝
俳句全集（六）	正岡子規	一・五〇	○四九八	アルス 神田
大芭蕉全集	本山桂川	二・〇〇	○四五八	大芭蕉全集刊行會 京橋
印度民話集	ラス・ビハリ・ボース 澁澤青花	一・五〇	○二七三	鄕土研究社 小石川
壹岐島昔話集	山口麻太郎	一・八〇	○二三三	同 同
野人ソロー	堀井梁歩	一・八〇	○二九五	不二屋書房 芝
萬葉名歌鑑賞	齋藤瀏	一・八〇	○二七八	人文書院 京都
人生の情熱	本莊可宗	一・五〇	○三七三	千倉書房 京橋
現代隨筆全集	福岡益雄	二・〇〇	○五一三	金星堂 神田
思ひ出	西田天香	・五〇	○一九〇	回光社 京都
詩人の志賀勝	志賀勝	二・五〇	◎三六六	創元社 芝
山川智應博士講話集	山川智應	一・五〇	○三七六	東方書院 神田
新說を探る	東京日日新聞社經濟部	一・五〇	○三二一	日本評論社 京橋
國譯漢文大成文學部	鶴田久作	非	◎七五八	國民文庫刊行會 神田
名作歌劇解說	伊庭孝	三・〇〇	○三六八	春秋社 日本橋
文學雜觀	源馬漂菰	二・〇〇	○三七一	永吉書房 牛込
山岳美觀	吉江喬松 武井眞澄	一・五〇	○一六〇 餘	協和書院 神田
北極	中垣虎兒郎	一・八〇	○四八七	改造社 芝
幽谷全集	菊地謙二郎	非	◎八二六	吉田彌平 小石川
萬葉動物考	東光治	四・五〇	◎五一八	人文書院 京都
思ふがまゝ	長谷川虎次郎		○二八一	長谷川虎次郎 青森
憂國の士に訴ふ	石丸長城	非	◎一八	石丸長城 佐賀

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
未刊國文古註釋大系	吉澤義則	非	◎三九七	帝國教育會出版部 神田
支那に於ける支那學の現狀と動向	長瀨誠	・三〇	○五五	東亞研究會 豐島
かな名蹟全集 桂言萬葉集	武田基一	二・五〇	變帙入形一册	武田墨彩堂 下谷
極到餘音	西山信光	非	◎五八一	金杉博士彰功會 神田
葩の思意	濱名與志春	二・〇〇	◎七五	椎の木社 中野
青春行路	廣津和郎	一・八〇	○五四三	三笠書房 神田
山澤風雅集（上）	西澤嘉朗	・二〇	◎五四	金鶏學院 小石川
同（下）	同	・二〇	◎四八	同 同
譖嘲記時之大鞍		非	◎三七	米山堂 牛込
繪本水や空（下）		同	◎	同 同
萬葉集（上）		・五〇	○二九六	三教書院 中野
雪だるま	近重眞澄	二・〇〇	○三六四	人文書院 京都
碩水先生日記	岡次郎	非	△一〇〇	岡次郎 澁谷
國文學研究	早稻田大學國文學會	二・五〇	◎三九三	早稻田大學出版部 牛込
枕草子	鈴木種次郎	・五〇	○二三七	三教書院 中野
詩吟法 附和漢一百人詩集	古川太郎	二・五〇	○五九八	柿仁社 下谷
【七月】				
松宮觀山集（一）	關屋龍吉	二・五〇	◎三四四	國民精神文化研究所 品川
瓊音全集 六（隨筆篇上）	沼波瀧子	非	○四九〇	瓊音全集刊行會 澁谷
詩心旅情記	白鳥省吾	一・五〇	○三二五	東宛書房 麴町
現代文章概論	丸山林平	一・八〇	○五八	第一書房 同
木形子談叢	橘文策	三・五〇	△二五〇	日月書院 大阪
うつろひ（クリマ）	藤村作 アンドレ・モオロア朝倉季雄譯	一・三〇	○二三八	至文堂 牛込
柏井全集 續五・文學感想・小品	柏井光藏	非	○三四二	芝書院 品川
俳談	荻原井泉水	一・六〇	○七九〇	長崎書店 牛込
りやん	辰野隆	一・五〇	○四二一	千倉書房 京橋
萬葉集新釋（上）	澤瀉久孝	三・〇〇	○三三二	白水社 神田
古板俳諧七部集七 續猿蓑定本	宇田久	二・八〇	○三二三	大岡山書店 麻布
現代人のための短歌のつくり方	石樽茂	・八〇	○一二八	三省堂 神田
顯揚正法復古集	大島泰信	非	△	大島泰信 日黑
ロマン主義の世界觀と藝術觀	オスカル・ヴァルツェル 飯島安譯	一・五〇	○二二七	第一書房 麴町
水戸學の新研究	高須芳次郎	二・〇〇	◎三二五	明治書院 神田
國民精神文化類輯（四）能樂論と文學精神	久松潛一	・一五	○一〇六	國民精神文化研究所 品川
心を打つもの	鈴木文史朗	二・〇〇	○三七六	三省堂 神田
マイク放談	國米藤吉	一・二〇	○二六二	東學社 淀橋
先蹤者	大島亮吉	六・〇〇	◎六六二	梓書房 神田
ロレンスのもとに	長野春樹	・五〇	○一八二	健文社 麴町
蕪村七部集		・五〇	○二二三	三教書院 中野
心の置ところ	江原小彌太	一・五〇	○二四八	千倉書房 京橋
虛妄の正義	萩原朔太郎	一・五〇	○四四四	第一書房 麴町
現代隨筆全集（三）		二・〇〇	○四九五	金星堂 神田
愛の全射日	宮本熊吉	二・〇〇	○三〇八	宮本熊吉 埼玉
隨筆漢詩を探る	伊藤松雄	一・六〇	○三三五	桑文社 神田
非常時文學默示錄の現代研究	千葉勇五郎	・六〇	○一四六	文書堂 本郷
有朋堂文庫 新川柳狂詩集撰	塚本哲三	非	×五三六	有朋堂 神田
葭の影	中條葭江	同	◎五三四	中條精一郎 本郷
山中說法	杉村廣太郎	二・〇〇	○三二〇	日本評論社 京橋
有朋堂文庫 新撰書翰集	塚本哲三	非	×五七二	有朋堂 神田
螢光板	吉村冬彥	二・〇〇	○四一〇	岩波書店 同
清談（第一卷）	岑岡谷	非	○六二	東京清談會 世田谷
湖畔日月	吉田悅藏	一・〇〇	○一八八	近江兄弟社 滋賀
香合譜	木下桂風	二・九〇	◎	鈴木書店 日本橋
文壇餘白	武野藤介	一・五〇	○三二三	健文社 麴町
新版俳文讀本	島東吉	一・八〇	◎二八四	同 同
俳句藝術論	加藤紫舟	一・五〇	○二〇九	雄山閣 同
敦煌出土少室逸書	鈴木貞太郎		變形	鈴木貞太郎 京都
現代詩創作講座（六）		一・五〇	◎三六〇	金星堂 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
萬葉集精考	菊池壽人	四・八〇	○七一七	中興館 神田
山の繪本	尾崎喜八	二・五〇	◎三四六	朋文堂 麻布
國譯漢文大成（文學部一五）		非	◎	國民文庫刊行會 神田
有德遺稿	瀧澤忠三郎	一・二〇	◎	瀧澤七郎 本所
御雛形萬女集		非	△	米山堂 牛込
近衞直麿遺稿（文藝篇）	水谷川忠麿		△	近衞家 麹町
三寶繪 上・中・下	石黑文吉	非	△	青德財團 目黑
大芭蕉全集（二）	本山桂川	二・〇〇	○	大芭蕉全集刊行會 京橋
日本文學講座一三 明治時代（下）		一・五〇	◎	新潮社 牛込
國譯漢文大成（經子史部一）		非	◎	國民文庫刊行會 神田
支那小說史	魯迅 增田涉譯	五・〇〇	◎	サイレン社 同
日本精神歌集	久松潛一	・二〇	◎	日本文化協會出版部 麹町
【八月】				
ウエッフミ（三・四）	安藤一馬	非	△	神代文化研究會 神田
故三田好子正子遺稿集	三田茂	非	◎	三田茂 品川
熱烈なる戀の手紙	S K	・五〇	×	香蘭社出版部 下谷
小林多喜二書簡集	小林三吾	一・〇〇	○	ナウカ社 神田
青陵遺編集	海保青陵	三・〇〇	◎	國本出版社 澁谷
愛の手紙	S K	非	○	誠文堂新光社 神田
初戀男女の手紙	同	・五〇	×	香蘭社出版部 下谷
萬葉集總釋（三）	森本治吉 新村出		○	樂浪書院 中野
勅點百首詠草	羽倉敬尙	同	變形	羽倉敬尙 赤坂
若き男女の手紙	S K	・五〇	×	香蘭社出版部 下谷
モンテーニュ隨想錄（二）	關根秀雄	四・〇〇	◎	白水社 神田
萬葉集（下）	三敎書院	・五〇	○	三敎書院 中野
俳句全集（七）	正岡子規	一・五〇	○	アルス 神田
文學論爭	森山啓	一・〇〇	○	ナウカ社 神田
自然讀本（秋）	吉江喬松	一・〇〇	×	松柏館書店 日本橋
ユリイカ	牧野信一 小川和夫	一・八〇	◎	芝書店 品川
西鶴俳諧研究	阿部次郎	二・八〇	○	改造社 芝
自然讀本（夏）	吉江喬松	一・〇〇	×	松柏館書店 日本橋
現ソヴェト文學全集（四）	杉村三郎 外村史郎	一・五〇	○	三笠書房 神田
現代隨筆全集（九）	金星堂	二・〇〇	○	金星堂 同
百樂莊漫記	福良竹亭	一・五〇	○	言海書房 小石川
綠水居隨筆	市村良平	一・三〇	○	綠水居 茨城
分類俳句全集（八）	正岡子規	一・五〇	○	アルス 神田
漢籍を語る叢書（一）	德富猪一郎 宇野哲人	一・五〇	○	大東出版社 芝
漢籍を通ずる思想を觀る				
岩波文庫一ベルンハイム二〇八―一二〇	坂口昂 小野鐵二	・四〇	×	岩波書店 神田
九歷史とは何ぞや				
岩波文庫東關紀行・海道記	玉井幸助	・二〇	×	同
婆婆風流	吉井勇	二・〇〇	○	岡倉書房 同
國語國文學講座（一五）				
ウエッフミ（五・六）	安藤一馬	非	△	神代文化研究會 神田
春陽堂文庫一二五 御風隨筆	相馬御風	・三〇	×	春陽堂 日本橋
新選プロレタリヤ文學今日編輯四一樣	葉山嘉樹	一・〇〇	○	ナウカ社 神田
新撰豆腐百珍	林春隆	一・五〇	○	岡倉書房 同
日本古典全集 方丈記 徒然草	正宗敦夫	非	○	日本古典全集刊行會 豐島
現代歌論歌話叢書	北原白秋	二・〇〇	○	改造社 芝
和漢抄	博文堂	五・〇〇	變形	博文堂 大阪
服部新八景	長谷川伸	一・〇〇	○	新小說社 神田
國文學の文獻學的研究	佐々木信綱	三・八〇	◎	岩波書店 同
あづまにしき繪	津輕照子	一・三〇	○	表現社 牛込
純粹藝術としての映畫	佐々木能理男 スチエパンフイヨドル譯	一・三〇	○	藝術社 荏原
たれにけ	治朗	一卷	物	尙古會 澁谷
論議と小品	中野重治	一・三〇	○	現代文化社 京橋
賀歌五首	縣治朗	一卷	物	尙古會 澁谷

書名	著譯者	定價	形體	發行所
ウエッフミ（一二）	安藤一馬	非	△	神代文化研究會 神田
夢の跡	大谷光演	一〇〇・〇〇	△	政經書院 京都
明治文學雜記	蛯原八郎	三・〇〇	◎	學而書院 下谷
校註國綜合索引（五）歌大系		非	○	誠文堂新光社 神田
季節と詩心	堀口大學	一・五〇	○	第一書房 麹町
現代歌論歌話叢書 佐々木信綱編	佐々木信綱	二・〇〇	○	改造社 芝
沈默の疑問	得能文	一・五〇	○	第一書房 麹町
良寛の文	橘以南	一・五〇	◎	同
新潮文庫（一四〇）現代詩人全集（二）島崎藤村集	島崎藤村	・二五	×	新潮社 牛込
獵奇醫話	田中香涯	二・〇〇	○	不二屋書房 芝
新潮文庫（一三九）現代詩人全集	佐藤義亮	・二五	×	新潮社 牛込
改訂版評傳家短歌講座 集篇（五）	山本三生		◎	改造社 芝
曠野に唄ふ	島田芳文	二・〇〇	○	新興歌謠作家聯盟出版部 麻布
心の碑	吉田巖	一・六〇	◎	北海出版社 麹町
新潮文庫（一四二）現代詩人全集四 薄田泣菫集	薄田泣菫	・二五	×	新潮社 牛込
新潮文庫（一四三）現代詩人全集（五）蒲原有明集	蒲原有明	・二〇	×	同
性道	山田司郎	一・〇〇	○	工人莊書房 芝
絹人	和田日出吉	一・五〇	○	第一書房 麹町
新潮文庫（一四一）現代詩人全集（三）土井晚翠集	土井晚翠	・二〇	×	新潮社 牛込
魚の隨筆	田中茂穗	二・五〇	○	龍星閣 芝
金魚	藤村作	二・〇〇	○	至文堂 牛込
傳藤原佐理筋切（三）	石坂洋次郎	二・〇〇	○	サイレン社 神田
唐詩選講義	武田基一	二・三〇	變形帙入	武田畫彩堂 下谷
國譯・漢文大成文學部第四卷文選下	柏木清三郎	二・四〇	○	京文社書店 小石川
國譯・漢文大成經子史部 第一四卷 史記二		非	◎	國民文庫刊行會 神田
吉屋信子全集（七）屋根裏の花物語 二處女	吉屋信子	一・五〇	○	新潮社 牛込

書名	著譯者	定價	形體	發行所
未刊國文古註釋大系（一五）	吉澤義則	非	◎	帝國教育會出版部 神田
蟬こそ幸なれ	モオリス・ベアリング 花田鐵郎譯	一・〇〇	○	日本書房 同
癡人の獨語	辻潤	二・〇〇	○	書物展望社 京橋
胡麻と百合	ラスキン 本間立也譯	・八〇	○	春秋社 日本橋
改訂版短歌講座六 現代研究篇 特殊研究篇	山本三生		◎	改造社 芝
杖頭錢	田中貢太郎	一・六〇	○	學藝社 京橋
文墨餘談	市島謙吉	二・三〇	○	翰墨同好會 杉並
愛の手紙 エロ情調	吉川南湖	・三五	×	忠文館 大阪
わが自然と人生	中村武羅夫	二・〇〇	○	岡倉書房 神田
虹	北村小松	一・三〇	○	同
【九月】				
養眞生活 陣古堂劍掃續抄	安岡正篤	・二〇	◎	金鶏學院 小石川
フアビオウ	森雅子	一・二〇	○	榮光社 杉並
親鸞三部曲	寺田彌吉	一・七〇	○	建設社 牛込
けら〳〵笑ひ（上）	山田清作	非	◎	米山堂 同
飄齊隨筆	釋飄齊	二・〇〇	○	人文書院 京都
風呂屋哲學 隨想漫筆	四ツ橋銀太郎	三・〇〇	○	四ツ橋銀太郎 富山
青猪	深田久彌	二・二〇	◎	竹村書房 四谷
詩體の研究と唐朝の詩壇	細貝香塘	四・五〇	○	秋豐閣出版部 神田
俳人其角全集（一）	勝峯晋風	二・〇〇	◎	彰考館 本郷
省勞抄（女子四）	山田謙吉	非	○	早稲田大學出版部 牛込
兄いもうと	室生犀星	一・〇〇	○	山本書店 同
大地	バック 新居格譯	一・五〇	○	第一書房 麹町
英文學の感覺	土居光知	二・五〇	○	岩波書店 神田
蘇峰自傳	德富猪一郎	一・八〇	○	中央公論社 麹町
雲の如く行く	萩原井泉水	一・八〇	○	清水書店 神田
物語日本文學（五）源氏物語（上）	藤村作		○	至文堂 牛込
子規・紅葉・綠雨	嶋田青峰	一・五〇	○	言海書房 小石川
筆のまに〳〵	佐々木信綱	二・五〇	○	人文書院 京都
無限抱擁	瀧井孝作	一・二〇	○	創元社 大阪

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
校註國歌大系 近代諸家集（一）		非	○ 盎一	誠文堂 神田
校註國歌大系 八代集（下）		同	○ 八七六	同 同
野鳥禮讚	内田清之助	一・八〇	○ 二四九	巢林書房 同
松心樹詩鈔	横山大藏		變帙入形二册	横山元熙 島堤
校註國歌大系 撰集歌合		非	○ 九三七	誠文堂 神田
岩波文庫 三三五—三三六 ベーコン隨筆集	神吉三郎	・四〇	× 二八八	岩波書店 同
リルケの手紙	武田昌一	一・〇〇	○ 一四七	芝書店 品川
測機會を語る	西川松子	非	○ 二七九	測機會 世田谷
萬葉集總釋（四）	窪田通治 藤森朋夫		○ 四九七	樂浪書院 中野
西歐藝術風物記	竹内勝太郎	三・〇〇	○ 三四四	芸艸堂 京都
もの源氏五十四帖（三）	河原崎晃洞	一〇・〇〇	△ 折疊	内田美術書肆 同
翠釜亭戲畫譜		非	變形	米山堂 牛込
省勞抄（女子六）	山田謙吉	同	○ 四五七	早稲田大學出版部 同
近古時代說話文學論	野村八良	二・五〇	◎ 三四四	明治書院 神田
天使	横光利一	一・八〇	○ 四二五	創元社 大阪
吉屋信子全集（八）	吉屋信子	一・五〇	○ 五〇三	新潮社 牛込
評釋江戸文學叢書 併諧名作集	穎原退藏		◎ 八二三	大日本雄辯會講談社 小石川
鮎	丹羽文雄	一・〇	○ 三五五	双雅房 杉並
國譯漢文大成（文學部二〇）		非	◎ 九四四	國民文庫刊行會 神田
同（經子史部七）		同	◎ 八一〇	同 同
現代短歌發展史論	鈴木北溪	二・二〇	○ 三七八	木鐸社 杉並
作者別萬葉集評釋（一） 皇室歌人	武田祐吉	一・五〇	○ 三三九	非凡閣 小石川
文學	室生犀星	一・八〇	○ 三五七	三笠書房 神田
隨筆早稲田	市島春城	一・七〇	○ 三三四	翰墨同好會 杉並
本邦四書訓點並に註解の史的研究	大江文城	三・〇〇	◎ 三六七	豐岡書院 豐島
新聞人隨筆集	米澤健一	一・五〇	○ 三三七	新正書店堂 大阪
新古今時代詳說	横尾豊	一・〇〇	○ 二六〇	言海書房 小石川
俳句作法講座（一）	山本三生	二・〇〇	○ 四六七	改造社 芝

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
草思堂隨筆	吉川英治	二・二〇	○ 三六六	新英社 麹町
芭蕉の全貌	萩原羅月	六・〇〇	◎ 八四四	三省堂 神田
現代日本文學鑑賞讀本（春）		・八〇	○ 一九七	萩原星文館 同
同（夏）		・八〇	○ 二〇三	同 同
同（秋）		・八〇	○ 一八八	同 同
同（冬）		・八〇	○ 二〇五	同 同
窪田空穗全歌集	窪田空穗	三・六〇	○ 八七一	非凡閣 小石川
左り褄人情	平山蘆江	一・〇〇	○ 三二四	岡倉書房 神田
ペン縱横	千葉龜雄	二・〇〇	○ 二九八	同 同
默阿彌操記	河竹繁俊	二・二〇	○ 三四九	同 同
萬葉集總釋（一〇）	森本從吉 豐田八十代		○ 五一九	樂浪書院 中野・目黑
史的素描	西村眞次 ボオドレエル	二・五〇	○ 四〇九	章華社 目黑
作家の心理	プウルジュ 平岡昇譯	一・六〇	○ 三六七	山本書店 牛込
春興倫敦子	福原麟太郎	二・〇〇	○ 三六一	研究社 麹町
俳句全集（九） 分類	正岡子規	一・五〇	○ 四九六	アルス 神田
子規遺墨集	子規庵保存會	一八・〇〇	△ 帙入一部	巧藝社 神田
ボオドレエル研究序說	辰野隆	一・五〇	◎ 二四一	白水社 同
【十月】				
曉眠記	伊藤泰輔		◎ 一八二	上伊那郡教育會 長野
黎明	島木健作	一・二〇	○ 三七七	改造社 芝
しぐれ草紙	小山沙	一・五〇	○ 四四〇	飯沼關彌 淀橋
平安朝日記の研究	今井卓爾	二・七〇	◎ 三四三	啓文社 木郷
クルラユウス 佛蘭西文學	土方定一	一・五〇	○ 三〇四	樂浪書店 中野
冬柏山房抄	内山英保	非	△ 二〇四	越山莊 神奈川
源氏伊勢新研究	小林榮子	一・五〇	○ 二三三	晋文館 四谷
川柳辭典（改訂版）	草薙金四郎	・四〇	○ 三三九	興風書院 神田
物語日本文學（一五） 徒然草	藤村作		○ 二二八	至文堂 牛込
未刊國文古註釋大系（八）	吉澤義則	非	◎ 四三七	帝國教育會出版部 神田
山への思慕	田部重治	一・〇〇	○ 二六一	第一書房 麹町
歌評の精髓 六百番歌合	能勢朝次	四・五〇	◎ 四九一	文學社 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
藤澤博士遺文集（下）	高木貞治	非	◎六五七	藤澤博士記念會（本郷）
山田英一遺作集	山田博	非	△	同（杉並）
自畫像	戸川秋骨	一・五〇	〇三七六	第一書房（麴町）
無限を想ふ	松岡讓	一・五〇	〇五五三	同（同）
人間學	竹下眞之	一・五〇	〇二六九	理想社出版部（同）
からす	山川均	一・八〇	〇四二〇	日本評論社（京橋）
俳壇・俳人・俳風景	松本翠影	一・六〇	〇三〇一	眞白社（淺草）
道限りなし	相馬御風	二・〇〇	〇四五六	厚生閣書店（麴町）
人生詩集	帆足理一郎	二・〇〇	〇四九六	新生堂（神田）
晩春懐郷	坪田讓治	一・八〇	〇三二六	竹村書房（四谷）
武州公秘話	谷崎潤一郎	一・七〇	〇三六三	中央公論社（麴町）
ゲーテ序論	奥津彦重	四・五〇	◎五七〇	白水社（神田）
天柱錄	岡次郎	・九五	〇六二	虎文齋（淺谷）
絶望の逃走	萩原朔太郎	一・五〇	〇二八五	第一書房（麴町）
新思潮創作集	小林正壽	一・二〇	◎二八八	新思潮社（世田谷）
蘇東坡	矢板重山	二・〇〇	〇三七三	三樂書房（中野）
柿本人麿（鳴山考補註篇）	齋藤茂吉	二・八〇	◎三五四	岩波書店（神田）
轉覆車	林明道	一・〇〇	〇二六三	東京親隣館（牛込）
凡人と非凡人	江原小彌太	一・五〇	〇四〇二	千倉書房（京橋）
山陽と蘇峰	安藤德器	・八〇	〇二六五	言海書房（小石川）
大阪の話	藤澤桓夫	二・〇〇	〇三五六	サイレン社（神田）
コント研究	本田喜代治	三・〇〇	◎三九三	芝書店（品川）
不二の生活	西田天香	・五〇	〇一九七	回光社（京都）
表現學概論	山崎謙	二・三〇	〇三五九	東宛書房（麴町）
ウヱッフミ（九）	安藤一馬	非	△一三七	神代文化研究會（神田）
明治文學	明治文學會	二・五〇	◎	山海堂出版部（同）
佳氣春天	三村清三郎	二・〇〇	〇三六四	書物展望社（京橋）
俳句全集（一〇）	正岡子規	一・五〇	〇四九五	アルス（神田）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
快馬一鞭	坪野平太郎	二・〇〇	〇三三五	東京實業社（牛込）
ルナアル日記（一九〇〇―一九〇一）	岸田國士	一・五〇	◎二七二	白水社（神田）
凸凹道	内田百間	二・〇〇	〇三五一	三笠書房（同）
ソヴエト映畫藝術史	馬上義太郎	・八〇	◎一六四	書林絢天堂（淀橋）
文章心理學	波多野完治	三・〇〇	〇三六九	三省堂（神田）
酒屋の子	横地信輔	二・〇〇	〇三五六	双雅房（杉並）
大芭蕉全集（八）	北原義太郎	三・〇〇	〇四〇九	大觀堂書店（淀橋）
句集無所住	萩原井泉水	一・八〇	〇三六一	三笠書房（同）
南遊記	下村海南 飯島曼史	一・二〇	〇三七二	朝日新聞社（大阪）
王昭君	花田鐵太郎	一・〇〇	〇一七三	日本書房（神田）
コント集誤診	武野藤介	一・〇〇	〇二八八	健文社（同）
青燈隨筆	木村毅	二・〇〇	〇三一九	双雅房（並並）
千の庫より子は實	福井正憑	一・五〇	〇三一六	福田書房（神田）
俳人其角全集（二）	勝峯晋風	二・〇〇	◎三八五	彰考館（本郷）
條件隨筆集	林髞	一・五〇	◎一六二	三省堂（神田）
藤村の手紙	島崎藤村	・九〇	◎二一五	新英社（麴町）
今昔京窯泥中閑話	眞清水藏六	二・三〇	◎一九八	永澤金港堂（京都）
明治文學政治小說研究（中）叢刊	柳田泉	三・八〇	◎六五一	春秋社（日本橋）
新講俳諧史	青木健作	一・八〇	〇三九三	育英書院（淀谷）
新講和歌史	齋藤清衛	一・八〇	〇三五〇	同（同）
近代一萬歌集	短歌研究會	一・三〇	〇四二六	金葉社（本郷）
板前隨筆	山本荻舟	二・〇〇	〇二六二	岡倉書房（神田）
一時期	廣津和郎	一・八〇	〇四〇六	黎明社（芝）
俳句作法講座（二）	山本三生	二・〇〇	〇四九二	改造社（同）
兼好法師	蓮沼文範	一・三〇	〇三一〇	大東出版社（同）
艸魚集	富安謙次	二・三〇	◎二四五	龍星閣（同）
文學的診療簿	式場隆三郎	二・〇〇	〇三二八	人文書院（京都）
社會實話嵐の路	永松淺造	三・〇〇	〇六八三	敬文社（麴町）
まびき	谷村秋村	一・三〇	〇三六三	濱中春峯（石川）
詩の純粹性	内田忠	・七〇	〇九八	椎の木社（中野）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
萬葉讀本	佐々木信綱	一・五〇	◎二八三	日本評論社 京橋
俳句讀本	高濱虛子	一・五〇	◎三三三	同 同
岩波文庫（一二二七）芭蕉紀行・花屋日記	小宮豐隆	・二〇	×一〇九	岩波書店 神田
國譯漢文大成（文學部一六）		非	◎七六〇	國民文庫刊行會 同
げら〳〵笑ひ		非	◎二八	米山堂 牛込
ラスキン線に沿ふて	林久一	・八〇	○二一七	東京ラスキン協會事務所 世田谷
犧牲	木村太郎	一・〇〇	○三〇八	白水社 神田
モンテーニュ隨想錄（三）	關根秀雄	四・〇〇	◎六五八	同 同
シヤーロック・ホームズ（三）	三上於菟吉	・五〇	×三七一	平凡社 日本橋
同（四）	同	・五〇	×三八二	同 同
同（五）	同	・五〇	×三八四	同 同
同（六）	同	・五〇	×四二五	同 同
日本文學全史 上代文學史（上）	佐々木信綱		◎五八一	東京堂 麹町
長谷川昭道全集（下）	信濃教育會	三・五〇	◎六七三	信濃毎日新聞社 長野
山の隣人	長尾宏也	二・二〇	○二四八	竹村書房 四谷
【十一月】				
俳句全集（一一）分類	正岡子規	一・五〇	○五三六	アルス 神田
大芭蕉全集（四）	北原義太郎	二・〇〇	○五〇七	大觀堂書店 淀橋
劉向說苑	公田連太郎	三・五〇	◎五〇三	東明書院 本郷
源氏物語蕃山抄	神山閑次	二・五〇	◎二九八	巧藝社 神田
隨筆瀧澤馬琴	眞山青果	二・五〇	○二八八	サイレン社 同
矢野松五郎遺稿集	吉岡齊一郎	一・八〇	◎二七〇	矢野松五郎遺稿集刊行會 長野
產青聯讀本	西尾愛治	・五〇	○一八二	太基書店 神田
煮くたれて	河東碧梧桐	一・八〇	○二九八	双雅房 杉並
上書式辭演說大集成	中根榮	二・五〇	◎五四八	誠文堂新光社 神田
ウェッフミ（一〇、一一）	安藤一馬	非	△	神代文化研究會 同
文藝草子	宇野浩二	一・九〇	○四三七	竹村書房 四谷
難思（改訂版）	村田鐵三郎	一・八〇	○三一八	有光社 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
杉谷代水選集	杉谷惠美子	二・八〇	○四六六	富山房 神田
關口先生の還暦を祝して	杉村伊兵衛	非	◎三五〇	關口先生還暦祝賀會準備委員會 芝
ゴーリキイ文學論	熊澤復六	一・〇〇	○二八六	三笠書房 同
日本文學變遷史	橘文七	一・八〇	○三三六	大伸堂書店 神田
偶然と文學	中河與一	一・二〇	○三五一	第一書房 麹町
コスモス（一）	西村豐吉	一・六〇	◎三〇七	叢文閣 同
ゲエテ頌	ポオル・ヴアレリイ 佐藤正彰譯	一・〇〇	×一〇七	野田書房 牛込
バカやなぎ	尾崎士郎	一・八〇	○三七六	慈雨書洞 四谷
キエルゴール選集一	伊藤鄕一 外三名	二・五〇	◎四三三	改造社 芝
素朴	濱田槇尾	二・〇〇	○二七一	洛陽書房 京都
書窓雜筆	平田禿木	二・〇〇	○三一四	双雅房 杉並
映畫脚本構成論	安田清夫	一・五〇	○二三五	映畫評論社 淀橋
處女日程	細田源吉	二・二〇	○五五〇	田版部 芝
藤村文庫一 夜明け前（第一部）	島崎藤村	二・三〇	○七二八	黎明社 牛込
同 夜明け前（第二部）	同	二・三〇	○七二六	新潮社 同
西條八十詩謠全集（二）	西條八十	二・〇〇	○四七九	千代田書院 麹町
死後のために	櫻井忠溫	一・五〇	○三八五	千倉書房 京橋
傳藤原公任藍紙萬葉集	武田基一	二・三〇	變形帙入一冊	武田盤彩堂 下谷
取殘かれた一家	小松龍太郎	非	○四六〇	小松龍太郎 大分
へなぶり趣味（秋の卷）	橋本權兵衛	非	○一七三	久世會 神田
私小說論	小林秀雄	一・一〇	×一九七	作品社 澁谷
藝術史の課題	植田壽藏	二・〇〇	◎三三三	弘文堂書房 神田
自由論	J・S・ミル 柳田泉譯	一・三〇	○二二五	春秋社 日本橋
ゴリキイ文學論	大竹博吉	一・〇〇	○三〇三	ナウカ社 神田
萬葉集評釋（第一册）	金子元臣	四・五〇	◎六五九	明治書院 神田
大日本文庫文學篇 萬葉集（上）		非	○四一三	春陽堂 日本橋
夫婦に於ける嫉惡性	ヴェルデン 平野馨 外一名譯	二・五〇	○四七七	平野書房 本郷
乳と蜜の流るゝ鄕	賀川豐彥	一・三〇	○四七二	改造社 芝
上記鈔譯	島田晴光	非	△二二七	島田晴光 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
現代文章讀本	鵜塚壽夫	二・八〇	× 八九八	有宏社 神田
徒然草新解	武田祐吉	三・〇〇	◎ 四六三	山海堂出版部 同
源氏物語古註	久松潛一		卷物一卷	大塚巧藝社 本郷
土にひそむ	犬田卯	一・五〇	○ 四三七	不二屋書房 芝
日本趣味藝術叢書 挿花藝術	西堀一三	二・三〇	◎ 三二五	成美堂書店 日本橋
物語日本文學二二 雨月物語	藤村作		○ 二二四	至文堂 牛込
東北の細道に立つ	齋藤清衛	一・六〇	○ 四八三	春陽堂 日本橋
アリエル（シエリイの生涯）	モオロア 山室靜譯	一・五〇	○ 三八三	耕進社 本郷
一異端者への手紙	小泉八雲 小泉一雄譯	一・五〇	◎ 一六一	第一書房 麴町
一粒の麥もし死なずば	アンドレジイド 堀口大學譯	一・五〇	○ 六七二	同 同
向日葵之書	江口渙	二・〇〇	○ 三七四	樂浪書院 中野
萬葉集總釋（二）	吉澤義則 石井庄司		○ 五三一	同 同
啄木短歌評釋	矢代東村 渡邊順三	一・〇〇	○ 二四三	ナウカ社 神田
立命館三十論文集 文學篇	小泉苓三	三・〇〇	◎ 四〇一	立命館出版部 京都
立命館三十論文集 法經篇	淺井清信	三・五〇	◎ 五八七	立命館出版部 京橋
現代隨筆全集（七）		二・〇〇	○ 五〇五	金星堂 神田
英詩概論	齋藤勇	二・〇〇	○ 二六四	研究社 麴町
名家俳句集	塚本哲三	非	× 八六四	有朋堂 神田
丹波の牧歌	深尾須磨子	一・八〇	○ 二七一	書物展望社 京橋
作者別萬葉集評釋二 柿本人麿	窪田空穗	一・五〇	○ 三三二	非凡閣 小石川
作歌道雜話	尾山篤二郎	二・〇〇	○ 三六一	人文書院 京都
隨筆 時代を歩む	藤田進一郎	二・〇〇	○ 三三八	同 同
すみだ川	永井荷風	二・五〇	◎ 一二六	小山書店 小石川
俳句作法講座（三）	山本三生	二・〇〇	○ 五一〇	改造社 芝
モンテーニュ隨想錄（三）（改訂版）	關根秀雄	四・〇〇	◎ 六九八	白水社 神田
戲曲 國體明徵	石角春之助	・六五	○ 一四一	栗田書店 同
若きゲーテ研究	木村謹治	三・八〇	◎ 七一七	伊藤書林 麴町
書齋管見	楠瀨日年	二・五〇	○ 一八八	翰墨同好會 杉並

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
續國譯漢文大成文學部（一）李太白詩集上			◎ 八一四	國民文庫刊行會 神田
藤浪先生追悼錄	清野謙次	非	△ 四六九	人文書院 京橋
良寛隨筆	津田青楓	二・五〇	○ 三六〇	翰墨同好會 杉並
【十二月】				
定本清澤滿之文集	稲葉昌丸 安藤州一	一・八〇	○ 五五〇	第一書房 麴町
書翰十年（改訂版）	德富健次郎	三・八〇	○ 一〇三七	青波書店 神田
現代ソヴエト文學全集（五）	上脇進 大平章	一・〇〇	○ 四六五	三笠書房 同
郊外通信	加藤武雄	一・七〇	○ 三一九	健文社 同
國文學試論（三）	池田勉 外三名	一・〇〇	◎ 二三四	春陽堂 日本橋
解釋學表現學及意義學	渡部政盛	二・五〇	○ 三五二	啓文社 本郷
作者別萬葉集評釋（四）大伴旅人山上憶良	尾上篤二郎	一・五〇	○ 三〇五	非凡閣 小石川
龍	小林五郎	一・二〇	○ 三三二	新詩社 世田谷
隨筆 南窓	河井酔茗	一・八〇	○ 二六三	人文書院 京都
タイヤルは招く	大島正滿	一・五〇	△ 二三六	第一書房 麴町
旅塵	田澤義鋪	一・七〇	○ 五七二	日本青年館 四谷
僧房綺談	服部如實	二・〇〇	○ 三四〇	人文書院 京都
洛風會十周年記念誌	福原誠三郎		◎ 九一八	洛風會 杉並
蝦夷地は歌ふ	河合裸石	二・〇〇	○ 五三六	富貴堂書房 北海道
愛染明王影向松		非	◎ 三〇	米山堂 牛込
觸角と吸盤	畑耕一	一・二〇	○ 二一八	交蘭社 小石川
異國物語（漢譯）	橋川時雄		◎ 帙入一部	三秀社 神田
白衣の女人	菅周一	非	○ 六四	菅周一の詩社 品川
轉向作家の手記	細田源吉	一・五〇	○ 四一〇	健文社 神田
日本文學會史 江戸文學史（中）	高野辰之		◎ 九〇三	東京堂 麴町
講演速記錄	清水正茂	非	◎ 九八	滿洲特産協會 深川
大芭蕉全集五（連句篇下）	北原義太郎	二・〇〇	○ 四一八	大觀堂書店 淀橋
くものいろ〳〵	與謝野晶子	一・八〇	○ 四五四	教育圖書出版社 大阪
アルベルト シュワイツエル	佐藤充	一・三〇	○ 二六〇	關谷書店 神田
新潮文庫（一五六）現代詩人全集	堀口大學	・三五	× 一七三	新潮社 牛込
尼崎本萬葉集	京都帝國大學文學部		○ 箱入一册	京都帝國大學文學部 京都

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
歸朝隨筆	菅芳太郎	・七五	○三四三	寶文館 日本橋
山東京傳の研究	小池藤五郎	五・五〇	◎八〇八	岩波書店 神田
知性の敗北	池島重信	一・五〇	○三六四	三笠書房 同
異國物語（和譯）	橋川時雄		◎帙入一部	三秀社 同
六十一莖集	五十嵐力	五・〇〇	◎三二六	早稲田大學出版部 淀橋
現代隨筆全集（八）		二・〇〇	○四八七	金星堂 神田
口譯新註枕草紙	小林榮子	三・五〇	◎五四六	言海書房 小石川
ボオドレエル抒情詩集	矢野文夫	二・二〇	○三三八	學而書院 下谷
萬葉集東歌評釋	中村烏堂	一・五〇	◎二三四	新英社 赤坂
白樂天詩集一 續國譯漢文大成文學部第十卷			◎七五八	國民文庫刊行會 神田
日本古典全集 古名錄（五）	正宗敦夫	非	○三八七	日本古典全集刊行會 豐島
支那文學概論	青木正兒	一・五〇	◎二四三	弘文堂書房 神田
一九三五年詩集	內野郁子	一・二〇	○二九九	前奏社 杉並
講演と文章滿洲問題	杉本忠男	・二〇	○一二四	斯文書院 牛込
戀愛と結婚の書	菊地寬	一・四〇	○二八一	モダン日本社 麴町
偶然性の問題	九鬼周造	二・二〇	◎三二一	岩波書店 神田
就眠儀式	木々高太郎	二・〇〇	○四一八	改造社 芝
プリズム	下村海南	二・〇〇	○六九四	四條書房 神田
京都帝國大學文學部舊鈔本景印第三集	京都帝國大學文學部		△帙入五册	京都帝國大學文學部 京都
幽嶂閑話	林有章	非	○三五六	林有章 埼玉
木女	船越正藏	・六〇	○五二	自由世界社 島取
寂光愛	久米正雄	一・八〇	○二五七	新小說社 神田
中野重治詩集	中野重治	一・〇〇	○一七	ナウカ社 同
撫松餘韻	松本健次郎	非	◎八一四	松本健次郎 福岡
伏屋の曙續々編	座古愛子	一・〇〇	○三八	獨立堂書房 同
勝ち運負け運	佐々木邦	一・二〇	○五三	新潮社 牛込
好色之戒め	武田麟太郎	一・八〇	○三〇四	文圓堂書店 本郷
日本名詩選	山田準	一・八〇	○三七八	章華社 目黑

西勝造先生著

便秘

金一册・菊判製本綴美裝函入・印刷鮮明
紙數二三〇頁
正價二圓
送料一領内地十四錢土二十錢

現今治療醫學の進歩發達は眞に驚くべきものであるが、凡ゆる疾患が便秘に原因してゐることが明瞭になつたのは極めて新らしいことである。而乍ら之が最近の治療醫學に對し如何なる意義を有するかに關して記述された邦文書は皆無であつた。

著者は之を遺憾として多年の研究と日子とを費して本書を著述せられたのである。

本書の內容は佛蘭西原著に倣ひ

第一章　便秘の歷史的考察　第二章　結腸の生理學
第三章　便秘の分類　第四章　便秘の類別診斷
第五章　傷害性便秘　第六章　機能性便秘の治療
第七章　結語

の七章より成り、其の說く所懇切適易にして讀者は快々裡にそれを讀破し便秘の眞髓を會得する事極めて容易なるべく、敢て多忙なる臨床醫家各位に謹みて本書を推奬する所以である。

近刊新

西勝造先生著

アチドージスとアルカロージス

金一册・菊判紙數二五八頁・挿圖三二個
正價二圓八十錢　送料十四錢

アチドージスとカロージスは生體に於て、酸及び鹽基の平衡が變調を來した際に發現する狀態であつて、最近、酸及び鹽基平衡の障害問題は頓に、その重要性を加へ來つてゐるこの際、多年この問題に關し、研究せられたる著者が近著**グラハム**氏**モーリス**氏共著を經とし、著者の經驗を緯として完成せられたものである。

本書は四篇に分ち、第一篇を總論とし、第二篇を本論となし、第三篇を結論として、第四篇を附錄となしてゐる。從來醫書に見ざるの異例である。結論中に經書及び四書の中庸を拉し來り、佛英和文を參照せられたるなど人體をして部分的に觀察せずして、全體觀となし、心身一如と觀ぜられし點、蓋し一讀の價値あると信ずるものである。

發行所　東京市本郷區富士町二番地　文光堂書店　振替東京一七五三七　電話小石川二七〇七

演劇史研究

★……元祿劇篇……★

- 元祿劇概說　高野辰之
- 元祿劇以前　鈴木英輔
- 元祿期の世話狂言に就て　瀧田英二
- 元祿歌舞伎劇の管樂に就て　草野悟朗
- 社會經濟より見たる元祿劇　高井重德
- 俳優分業の完成まで　吉川義雄
- 元祿歌舞伎から次の時代へ　伊原青々園
- アストン氏の近松觀　菅原太郎譯
- 近松と山本角太夫　高橋宏

★……附錄……★

- 狂言本解題　上方の部　江戸の部
- 役者評判記解題　雜書解題
- 主要俳優略傳　付　坂田藤十郎年譜　市川團十郎年譜
- 心中鬼門角解說
- 心中鬼門——複製本文

菊判クロース　四百五十頁　定價參圓五十錢　送料廿二錢

日本の演劇史研究の最高峯　演劇關係者は一本なくして能はず！

東京帝國大學演劇史研究學會編

源氏物語蕃山抄

熊澤蕃山原著　菊判總クロース　三百餘頁　定價貳圓五十錢　送料十四錢

文學博士　山田孝雄先生序
石崎又造先生校註並解說

本書は藏書家として又愛書家として有名なる神山閑次先生の發見に係る古寫本に據り嚴密なる校訂を加へたる蕃山の源語講釋である。

此書は蕃山一家の識見を以て源氏物語の微旨を發揮せるものにして、その爲政家としての觀察その儒家としての觀察、更らに國朝の典古に通ぜる著者としての觀察雅樂に精通せる著者としての觀察等到る處に躍如たるものあり、尋常書生の著にあらず、源氏物語の研究として眞に一の異彩を放てるものなり。

發行所　東京市神田須田町一ノ七　藝巧社　電話神田(25)二二九四　振替東京四〇六六六

最新トーキーの製作と映寫の實際

日本大學教授　仲木貞一・吉田正長共著

全國書店百貨店にあり
——賣切の節は直接發行所へ——

最新刊！大好評

四六判二一九頁
ロースト上製
説明圖寫眞版入

定價　壹圓五拾錢
—送料十五錢—

『物言はぬ映畫』は最早過去の遺物となつた。見よトーキー大黃金時代を。しかしトーキーファンにしてトーキーが如何にして製作されるかを知らぬは正に恥だ！トーキーは如何にして製作され如何にしてスクリーンに再生されるか？その基礎的知識から技術の實際までを懇切に明快に述べた本書こそ1936年トーキー時代第一に讀むべき書だ！トーキー製作に從事する人人トーキー映寫に當る人將來トーキー技術家たらんとする人人は勿論トーキーファン必讀の書だ！

・大阪毎日新聞評・

トーキー萬能時代にある今日實際的なトーキー常識の充實に志す人人の參考書として新時代の新藝術たる映寫技術の學、トーキー實際知識の目的達成を期したものである。

・東京日日新聞評・

著者は藝術的に役立たしめるためにトーキーの如何なる物であるかを說明したものであるといつてゐるが、トーキーの機械の實際や、また映寫技術など、トーキー製作に關する書籍等、また撮影する實際家等、いつて必要な事項は悉く網羅してある、トーキーを製作し、映寫し、また撮影するトーキーに對して興味を持つ人は一讀の價値があらう。

內容見本送呈
—ハガキに本書名附記下記へ—

東京振替　電話神田(25)二二九四
九番　十五三　ノ四一　一六二　町六三　錦四田　神田京　神東京

誠光堂

【七版發行】

東京女子高等師範學校教授 成田順先生著

子供服の時代化

總布製函入美本 四六倍判約六〇〇頁 石版數葉其他圖版豐富

本書は現代我國に於ける子供の洋裝研究に對する大指針であり、最大權威であります。從つて其の內容も著者獨創にかゝるもの多く說明また懇切平易にして、圖版の鮮明なる他に其の比を見ないのであります。しかも製本は堅牢にして優美此上なく、見て美くしく、讀んで解し易く、學校の敎授者にも、家庭の主婦にも、最もよき參考書となり、又學生の敎科書としても、令孃の嫁入文庫としても、それ〴〵至寶のものと信じます。子供服の最新の流行と其の仕立方のコツを知りたい方は速に本書をお求め下さい。

定價金四圓八十錢 送料金廿二錢

四十二版發行

洋裁學習書

全一冊 菊判二七〇頁 送料十四錢

總布製函入美本 定價金一圓參拾錢

五版發行

ファッションスケッチ

全一冊 石版三十九葉袋入美裝 定價金六十錢 送料金四錢

東京市神田區錦町三ノ一五 振替東京一八七二番 電話神田三五〇九番 大成書院

●好評嘖々の新刊と重版書●

梶康郎著	最新法學提要	送價二、〇〇	10
法曹閣編	民法通解 重要判決例總覽	送價三、〇〇	三五
島津嘉孝著	改正選擧諸法令解說	送價一、七〇	六
梶康郎著	判例式例 民法釋義 總則編 物權編	送價二、五〇	二
梶康郎著	判例實例 民法釋義 債權編	送價三、〇〇	二
梶康郎著	判例文例 民法釋義 親族編 相續編	送價二、八〇	二
司法省編	改正民事訴訟法理由	送價一、五〇	四
早川彌三郎著	改正民事訴訟法要義	送價三、九〇	三五
梶康郎著	刑事訴訟法新釋義	送價二、五〇	二
梶康郎著	國際公法經濟學 新釋義	送價二、〇〇	二五
梶康郎著	改正治安維持法案現行治安維持法 解說	送價一、八〇	六
法曹閣編	比較 刑法改正豫備草案	送價一、〇〇	六
梶康郎著	書式判例 新手形法釋義	送價一、五〇	二二
峰川宏之鈴木啓史著	民事訴訟の通俗化と 訴訟の實際知識	送價二、八〇	二
横田秀雄監修	法律提要 全	送價三、九〇	三
民衆法令普及會	破產・和議の實際知識	送價二、〇〇	二
小池恒由著	土地建物 明渡の實際知識	送價一、二〇	10
鈴木啓史著	民衆本位 登記の實際	送價二、五〇	二
法曹閣編	正文民法	送價一、四〇	四
法曹閣編	正文民事訴訟法	送價一、三五	二
法曹閣編	正文刑法・刑事訴訟法	送價一、三五	二
法曹閣編	改正市制町村制	送價一、二〇	二
梶康郎著	實例判例 市制町村制釋義	送價一、五〇	二四
島津嘉孝編	改正全國青年學校國民・青年・軍事・試驗諸法令總攬	送價一、八〇	六
鈴木啓史著	通俗解說 金錢債務調停法と其運用	送價一、五〇	四
坂田幸太郎著	非常時法律の權益認識	送價一、八〇	二四
小池恒由著	私生子と其法律關係	送價一、一〇	10
鈴木啓史著	代書人となる秘決	送價一、〇〇	八

東京淺草區淺草橋一ノ五 振替東京六八〇三番 電話淺草(四〇八)一八一 松陽堂宮本書房

優良高級參考書目錄

東京市神田區神保町二ノ十
振替東京二一六九一番
山海堂出版部

著者名	書名	定價送料
隈部一雄先生著	內燃機關學	定價金拾圓 送料參拾錢
野口尙一先生著	應用彈性學	定價四圓五拾錢 送料貳拾貳錢
福田武雄先生著	鐵筋コンクリート理論	定價七圓五拾錢 送料貳拾貳錢
小倉金之助先生著	工業數學	定價參圓八拾錢 送料貳拾貳錢
藤田外次郎先生 刈屋地人次郎先生 鶴島二郎先生 合編	再訂圖計算及ビ圖表 普及版	定價壹圓五拾錢 送料八錢
小倉金之助先生譯註	新訂數學公式（附）要項及ビ諸表	定價參拾錢 送料拾錢
柳原吉次先生著	初等幾何學講義	定價參圓 送料貳拾貳錢
小倉金之助先生譯註	サーモン 圓錐曲線 解析幾何學	定價四圓 送料貳拾參錢
小倉金之助先生共 武邊松衞先生譯	ブーレー初等代數學	定價參圓五拾錢 送料貳拾貳錢
三守守先生譯	ペテルセン 幾何學作圖題解法	定價壹圓五拾錢 送料拾錢
佐藤良一郎先生譯	數學教育名著叢書(1)ボレル幾何學	定價貳圓五拾錢 送料拾四錢
石井省吾先生譯	數學教育名著叢書(2)ボレル代數學	定價貳圓九拾錢 送料貳拾貳錢
石井省吾先生譯	數學教育名著叢書(3)ボレル平面三角法 ナン地圖作製法	定價貳圓 送料拾四錢
新宮恒次郎先生譯	數學教育名著叢書4ラッグクラーク 初等數學の基礎	定價貳圓四拾錢 送料拾四錢
小倉金之助先生共著	數學教育名著叢書(5)ザンデン 實用解析學	定價貳圓五拾錢 送料拾四錢
近藤鷲先生譯	數學教育名著叢書(6)カジヨリ初等數學史	定價四圓 送料貳拾貳錢
小倉金之助先生譯 井出彌門先生補	數學教育名著叢書(7)ペリー初等實用數學	定價貳圓五拾錢 送料貳拾貳錢
新宮恒次郎先生註譯	數學教育名著叢書(8)ヤングモルガン 初等數學解析	定價參 送料貳拾貳錢
小倉隆先生譯	新興物理學	定價參圓五拾錢 送料拾四錢
福田光治先生著	新編高等物理學 全二	定價八圓拾錢 送料參拾錢
松崎義雄先生著	感光色素	定價參 送料拾四錢
尾形輝太郎先生著	光化學	定價五 送料貳拾貳錢
有賀輝先生著	氣體製法化學	定價參 送料拾四錢
四方敬一先生著	氣體分析化學	定價參圓五拾錢 送料拾四錢
四方敬一先生著	膠質化學	定價貳圓五拾錢 送料拾四錢
箕作新六先生著	徒然草新解	定價參 送料拾四錢
武田祐吉先生著	萬葉集新解 上下二卷	定價六 送料貳拾貳錢
武田祐吉先生著	古事記評釋	定價參圓五拾錢 送料貳拾貳錢
中島悅次先生著	明治文學序說	定價貳圓五拾錢 送料拾四錢
藤村作先生 久松潛一先生共著		

優良受驗參考書目錄

東京市神田區神保町二ノ十
振替東京二一六九一番
山海堂出版部

著者名	書名	定價送料
小野圭次郎著	增訂最新研究英文の解釋	定價壹圓五拾錢 送料八錢
小野圭次郎著	最新研究英語の作文	定價壹圓五拾錢 送料八毛
小野圭次郎著	最新研究英語の文法	定價壹圓八拾錢 送料六錢
小野圭次郎著	最新研究初步の英文法	定價壹圓 送料六錢
小野圭次郎著	最新研究英語の單語	定價壹圓 送料六錢
小野圭次郎著	最新研究英語の熟語	定價壹圓 送料六錢
幸野省三著	受驗算術の研究（附）方程式の解き方	定價九拾錢 送料六拾錢
藤森良藏著	算術學び方考へ方と解ぎ方	定價壹圓參拾錢 送料六錢
藤森良藏著	增訂新版代數學初步學び方考へ方と解き方	定價壹圓拾錢 送料六錢
藤森良藏著	三訂改版代數學學び方考へ方と解き方	上下定價壹圓拾錢 送料各六錢
藤森良藏著	改訂新版三角法學び方考へ方と解き方	定價壹圓 送料六錢
古田信夫著	代數幾何融合問題の研究	定價七拾錢 送料六錢
隈部次雄著	最新研究國語の單語	定價壹圓 送料六錢
湯地孝著	最新研究現代文の解釋	定價壹圓參拾錢 送料六錢
佐藤正範著	改訂最新研究國文の解釋	定價壹圓參拾錢 送料六錢
佐藤正範著	增訂最新研究國文法の要領	定價參拾五錢 送料貳錢
佐藤正範著	最新研究漢文法の要領	定價參拾五錢 送料貳錢
佐藤正範著	最新研究漢文の解釋	定價壹圓六拾錢 送料八錢
佐藤正範著	推理的新研究化學の解法	定價壹圓 送料六錢
滋賀多喜雄著	改訂推理的新研究物理の解法	定價壹圓貳拾錢 送料六錢
大島久次郎著	最新研究物理の精解	定價壹圓 送料六錢
太田資郎著	學習受驗基礎物理學詳解講義	定價貳圓 送料拾四錢
桑原親通著	最新研究西洋歷史	定價壹圓參拾錢 送料八錢
桑原親通著	改訂最新研究日本歷史	定價壹圓五拾錢 送料八錢
桑原親通著	最新研究東洋歷史	定價壹圓 送料六錢
川合重太郎著	最新研究外國地理	定價壹圓參拾錢 送料六錢
川合重太郎著	最新研究日本地理（附滿洲國地理）	定價壹圓 送料六錢
鈴木豐著	最新研究動物學の講義	定價壹圓參拾錢 送料六錢
鈴木豐著	最新研究鑛物學の講義	定價壹圓 送料六錢
宮本幸惠著	新撰用器畫法演習	定價貳圓五拾錢 送料拾四錢
關信雄著	實用測量法	定價壹圓貳拾錢 送料拾錢

二彰文館の小學校・青年學校教科書二

稲村松雄著　昭和10. 2. 23日檢定濟
NEW AGE ENGLISH READERS
FOR ELEMENTARY SCHOOLS
定價 1卷 金19錢 / 2卷 金19錢 / 送料 金4錢

彰文館編輯部　昭和10. 12. 20日檢定濟
FIRST ENGLISH PENMANSHIP
FOR ELEMENTARY SCHOOLS
定價 1卷 金7錢 / 2卷 金7錢 / 送料 金2錢

稲村松雄著　昭和10. 1. 23日檢定濟
Revised MODERN LIFE READERS
FOR ELEMENTARY SCHOOLS
定價 1卷 金24錢 / 2卷 金24錢 / 送料 金4錢

稲村松雄著　昭和9. 2. 7日檢定濟
GIRLS' NEW ENGLISH READERS
FOR ELEMENTARY SCHOOLS
定價 1卷 金18錢 / 2卷 金18錢

稲村松雄著　昭和8. 2. 4日檢定濟
NEW ROYAL CROWN READERS
FOR ELEMENTARY SCHOOLS
定價 1卷 金19錢 / 2卷 金19錢

野垣經一著
MODERN ENGLISH=JAPANESE DICTIONARY
定價 金35錢 / 送料 金4錢 / ポケット型

後藤一郎著　昭和10. 2. 2日檢定濟
改訂 新制簿記教科書
菊版全二册
定價 上卷 金19錢 / 下卷 金22錢

彰文館編輯部　昭和10. 2. 5日發行
高等小學 實踐商業書式
定價 上卷 金15錢 / 下卷 金20錢

彰文館編輯部　昭和10 2. 2日發行
實踐商業簿記帳
定價 上卷 金15錢 / 下卷 金20錢

後藤一郎著　昭和10. 2. 7日發行
高等小學 標準珠算教科書
定價 上卷 金18錢 / 下卷 金18錢

川村貫治著
標準小學珠算教科書
定價 尋常4年ヨリ6年用まで 各金11錢

日本珠算研究會著　昭和9. 3. 5日發行
新珠算傳票
定價 金8錢

作法教授研究會　昭和10. 2. 10日發行
現代小學作法教本
定價 尋常科1年ヨリ6年マデ 各金8錢 / 高等科用金12錢

高橋喜藤治著　昭和9. 3. 28日發行
教科書準據
算術補充問題集
尋常科3年より 高等科2年まで 各金12錢

東京市神田區小川町二丁目三　彰文館　電話神田三四一八番　振替東京六一一九六番

斷然卓絶・賣行第一位
東洋圖書の指導原論

最も確なる
最も精しい
最も良い

廣島高等師範學校訓導 堀之內恒夫著	東京高師 馬淵冷佑著	奈良女子高等師範學校訓導 河野伊三郎著	甲子書道會總務 竹田津永安著	東京女子高等師範學校訓導 山內俊次著	奈良女子高等師範學校訓導 清水甚吾著	奈良女子高等師範學校教授 石澤吉廬著
六十版	二百廿版	百五十版	百版	五十版	五十版	廿八版
尋常小學 修身新指導書	小學 讀方教育書	小學 國語讀本指導精案	小學 書方手本新指導書	標準細目活用補材 新算術指導精案	尋常小學 算術新指導書	高等小學 家事新指導法
卷三 價二・二〇（大隅錄付） 卷二 價二・〇〇（附錄 木口小平の肯像） 卷二 價二・二〇（附錄 橿原神宮）	卷七 價二・二〇（大隅錄附） 卷一・二・三・四【價二・〇〇】 卷五・六【價二圓二十錢】	卷七 價二・四〇（附錄 讀本漢字表つき） 卷一・二・三・四【價二・二〇】 卷五・六【價二・四〇】	尋四上 甲種用 價・二三〇【新案折疊式書方掛圖つき】 尋一用 尋二上 尋二下 尋三上 尋三下【各卷附錄共價二・三〇】	尋三上 價二・二〇（附錄付） 尋一上（價・七〇） 尋二下（價二・二〇）送〇・三 各卷數圖數量數字表附錄付	尋三上 價二・二〇（附錄付） 尋一上（價・七〇） 尋二下（價二・二〇）送〇・三 各卷數字數圖數量表附錄付	高一用・價二・八〇 高二用・價二・八〇
			高一用（男女併用）價・二八〇 高二用（男女併用）價二・八〇			

東京 大阪 發兌　東洋圖書株式會社資合
東京市神田區神保町一丁目　振替東京一〇三七番
大阪市南區內安堂寺町一丁目　振替大阪三九五五六番

支那小史

黄河の水

京城帝大教授

鳥山喜一 先生著

→支那の最も正しき理解
→東洋史の完全なる知識
→文藻豊富な歴史物語

四六判・五〇〇頁・索引・寫眞七〇頁（内原色刷八頁）百二十五圖地圖十圖・洋布・美裝
特價一圓八十錢・送料十四錢

廉價普及版發賣

『黄河は實に支那のシムボルであります』

其の長く廣い流域の變化にも似たる支那の社會の過ぎし跡。窺ひ知れぬ深い底に包む支那民族の裡に包む力。その遠き遠き河源にも擬すべき支那文化の淵源。

『本書は正にこの民族の通史であり、繪卷物であります』

齋藤聖章先生（東京高師教授）は本書を評して―東洋史が國民教科上に位置を占めてゐるのは、主として支那文化の發展のあとを尋ね、我が日本文化の淵源を知ると云ふ點にある。從來の東洋史教科書は支那王朝の沿革史を經として、諸所に文化史を挿入し而も學者文人等の名詞を列擧するに過ぎない。從つて生徒は何等の感興も起さず我が學問藝術を理解する助けにならぬ。のみならず、支那文化の發展の經路さへ正しく見得ないのである。

名は國民教科と云つても實は國民生活に殆んど觸れないのである。然るに本書は是等の書と全然趣を異にし上古に於ては指南車文字の發明から聖人の出現に及んで儒教の起りを知らしめ、中世にては秦の支那統一、佛陀の禍音、ローマへの道を述べ、次に隋唐文華の燦然たる光景を描出し、特に近古に於ける宋代の學問藝術は我が奈良時代と關係を聯想せしめ、我が德川時代文化に影響する所甚大なるを聯想せしめる。要するに本書は中等諸學校教科書として殆んど理想に近いものと云つてよい。寧ろ文部省檢定濟東洋史教科書として公許せらるを不審する程である。東洋史の任に當る諸彦は本書の如きを教科書代用とせらるべく、生徒にの「いやな東洋史」と云ふ嘆聲を發するものなからば、國民教科としての東洋史の眞價値を發揮し得るであらう。

東京・神田・駿河臺三ノ六
刀江書院
振替東京七三三一
電話神田一二一一
一七八一
九

賴山陽名著全集

楳崖 賴成一
好尚 木崎愛吉 責任編著

一、賴山陽先生直系五世の令孫楳崖賴成一、現代山陽研究の權威者好尚木崎愛吉兩先生の責任編著であるから資料の豊富にして確實なること天下無比であり、以つて定本となすに足ること。

全十卷

第一卷 日本外史 上卷
第二卷 日本外史 下卷
第三卷 日本政記
第四卷 通議文集
第五卷 詩集日本樂府
第六卷 春秋講義書
後題跋其他
別卷第一 山陽翰譜
別卷第二 日譜評論集
別卷第三 遺墨集

四六判五〇〇頁内外 特製布裝 函入 美本 口繪アート紙別刷寫眞入
定價每卷 二圓五〇錢
但し第十卷山陽遺墨集に限り 定價五圓
送料 每卷 東京市内六錢 地方二錢 臺灣樺太 二四錢 朝鮮 二四錢 支那滿洲米六〇錢

全十卷前金一時拂特に割引二五圓
他に送料 東京市内六〇錢 地方二圓二〇錢

全卷前金一時拂の方に限り合計定價二十七圓五拾錢のところ特に金貳拾五圓也（他送料東京六〇錢地方二圓二〇錢申受）に割引提供

全十卷を前金一時拂の方に限り全卷前金申込みの方に特に八圓に割引提供す

東京市日黒區中目黒二ノ五八二
發行元 章華社
電話高輪(44)三〇四五番 振替東京六七五二二番

大取次
東京 櫻原文盛堂
大阪 柳原書店
名古屋 川瀬書店

藤田東湖全集

高須芳次郎 編著

每卷 四六判ルビつき三六〇頁内外 上製 絹布裝 函入 美本 口繪アート紙別刷寫眞數葉入
定價 每卷 一圓五〇錢
全六卷前金一時拂八圓―に割引
送料 每卷 東京市内六錢 地方 一四錢 臺灣樺太 二四錢 朝鮮 二四錢 支那滿洲米 六〇錢

【全六卷】

第一卷 回天詩史 常陸帶
第二卷 弘道館記述議
第三卷 東湖詩歌集
第四卷 隨筆小品集
第五卷 東湖書翰集
第六卷 東湖封事篇

◇本全集刊行の趣旨を賛し全六卷の前金申込みの方に限り特に八圓に割引提供す
◇全六卷分前金申込みの方に限り額面川藤田東湖先生肖像を贈呈す

＝二大奉仕＝

東京市日黒區中目黒二ノ五八二
發行元 章華社
電話高輪(44)三〇四五番 振替東京六七五二二番

大取次
東京 櫻原文盛堂
大阪 柳原書店
名古屋 川瀬書店

コドモ繪本
教育コドモ紙工品

東京市神田區東福田町壹番地
合名會社 **金井信生堂**
電話浪花(67)代表三一八番(2)
振替東京一三八三七番

品番	品種	東京賣價
1	大判立型並八丁王様ブック	五〇
2	同上八丁ナカヨシエホン	五〇
3	同並十二丁チルドレンブック	一〇
4	同上十二丁幼年幼女ブック	一〇
5	同上十二丁カテイブック	一〇
6	同特上十二丁ニッポンエホン	一〇
7	同別綴優良コドモエホン	一〇
9	大判角型上十丁ハッピーブック	一〇
10	大判立型上十丁プリンスブック	一〇
12	大判横型十六丁漫畫漫畫ノ王様	一〇
14	四六判横型三十丁漫畫コドモ漫畫	一〇
15	四六判立型別綴漫畫	一〇
16	四六判横型漫畫ニコ〳〵漫畫館	五〇
17	別判角型上十二丁フキルム漫畫	五〇
18	立長型カハリエ人形エホン	五〇
19	大判立型別製ウゴクエ	一〇
20	同ペピーパノラマ	二〇
21	別型角型特許レコードエホン	二〇
22	別判角型カテイエウチエン	二五
24	大判横型グレイヨン模範クレイヨン畫帖	一〇
25	菊判横型クレイヨン小學クレイヨン畫帖	五〇
26	同兒童クレイヨン畫帖	五〇
27	角型クレイヨンヤサシイクレイヨン畫帖	五〇

品番	品種	東京賣價
28	大角型クレイヨンエノウマクナルクレイヨンブック	六〇
29	四六判横型レイヨンクレイヨンヌリエ	三〇
30	大判立型幼年幼女カタガミヌリエ	一〇
31	同幼年ウツシヌリエ	五〇
32	別判横型色切紙手工畫	二五
33	大判立型別綴並製名作童謠	三五
31	同特製厚表紙	七五
35	角型特製日本漫畫童話エホン	二〇
71	模範クレイヨン畫帖四册入	四〇
72	小學クレイヨン畫帖四册入	二〇
73	兒童クレイヨン畫帖六册入	二五
74	ヤサシイクレイヨン六册入	二五
75	エノウマクナルクレイヨンブック五册入	三〇
76	クレイヨンヌリエ四册入	一〇
88	オサイクアネサマキセカヘ函入	二〇
89	幼女きせかへ函入	二〇
90	ハツビー人形函入	二〇
91	きせかへお人形あそび(角型)函入	二〇
92	きせかへ優美人形二人まゝごとあそび(角型)函入	二〇
95	オサカナゲーム魚釣あそび函入	二〇
96	クミタテ動物園アソビ函入	二〇
97	千代紙おさいく函入	二〇
98		四五

フランス語

（著者）東京外語佛語部 六教授執筆 **最新フランス語講座**（全六卷）各卷一圓二〇錢 八錢

東京高等商船講師 久持義武著 **ABCからのフランス語自修** 一圓 六錢

支那語

辭書

陸軍士官學校教官 藤木・麻喜共著 **支那語發音字典** 一圓五〇錢 六錢

東京京橋商業講師 井武男編 **華日辭典** 特價一圓五十錢 六錢

參考書

東京外語支那語三教授執筆 **支那語講座**（全三卷）各卷六〇錢 六錢

東京外國語學校清水・有馬著 **支那新聞の讀み方** 短期時文 一圓五〇錢 六錢

外語學院出版部編 **滿洲語問題の捉へ方** 研究受驗參考 一 圓 六錢

東京外語助教授內之宮金城著 **初等支那語作文** 軍事と警察用 八〇錢 六錢

陸軍士官學校教官藤木敦實著 **滿洲語會話** 一圓二〇錢 四錢

教科書

東京外語教授宮越健太郎著 **最新支那語教科書** (一)會話篇(定價九〇錢)(二)作文篇(定價八〇錢)(三)時文篇(定價九〇錢)

雜誌

東京外語教授宮越先生主幹 月刊雜誌 **支那語** 毎月三〇錢 一錢

東京神田三 東京保神町 **外語學院出版部** 振替口座東京七五五四二

改訂教科書準據

受驗研究社の優良受驗準備書

◇改正入學考査に常識試問筆記試問の準備書◇

木山淳一著	改訂常識を養ひ增補讀解力を練る完成國語模範學習書	定價	尋五用	金六拾錢
木山淳一著	問題の研究解答の要諦 模範讀方	定價	尋五・六用	各九十二錢
廣島高師教官 山本孫一著	答案式解き方 あらゆる問題の算學	送料	價	金八十二錢
木山淳一著	常識を養ひ思考を練る 算術模範學習書	定價	尋三用	金卅五錢
			尋四用	金卅五錢
			尋五用	金六十錢
			尋六用	金六十錢
		送料		各八錢
木山淳一著	完成實習讀方 尋一・二・三・四・五・六學年用 算術	各定價		十參拾二錢
木山淳一著	要點の研究 生きた地理の學習	定價	尋五用	金五拾錢
			尋六用	金五拾錢
		送料		八錢
木山淳一著	要點の研究 生きた國史の學習	定價	尋五用	金五拾錢
			尋六用	金五拾錢
		送料		八錢
木山淳一著	要點の研究 生きた理科の學習	定價	尋四用	金四拾錢
			尋五用	金五拾錢
			尋六用	金五拾錢
		送料		各八錢
長田教育研究會著	七科 生きた實力學習書	定價		壹圓貳十錢
		送料		八錢
長田教育研究會著	自問自答 生きた國地理史學習書	定價		金八十二錢
		送料		拾錢
長田教育研究會著	力のつく研究 生きた算術學習書	定價	尋五用	六拾錢
			尋六用	六拾錢
		送料		八錢
受驗研究社編輯部編	九科 全科考査の模範解答	定價		十八錢
		送料		二拾錢
木山淳一著	問題の研究解答の要諦 模範算術	定價		八十八錢
		送料		拾錢

發行所 大阪市西區新町南通三ノ四八 振替口座大阪三九七二五番 東京市神田區神保町一ノ五九 振替口座東京七八七六四番 受驗研究社

受驗參考叢書新制度版

最も理解し易い	參考日本地理
最も理解し易い	參考外國地理
最も理解し易い	參考地理學通論
最も理解し易い	參考西洋歷史
最も理解し易い	參考東洋歷史
最も理解し易い	參考日本歷史
最も理解し易い	日本歷史の要點
學習受驗	參考動物學
學習受驗	參考植物學
學習受驗	參考鑛物學
學習受驗	參考博物通論
學習受驗	參考生理衛生學
學習受驗	參考物理學
學習受驗	參考化學
教科書付	英文法參考書
	參考古今和歌集詳解
學習受驗	參考徒然草詳解
學習受驗	參考玉かつま詳解
答案式解き方	あらゆる受驗問題の物理學
答案式解き方	あらゆる受驗問題の漢文
答案式解き方	あらゆる受驗問題の代數學
答案式解き方	あらゆる受驗問題の幾何學

定價各2.00 特價各￥1.20

最も理解し易い 要點の研究叢書

最も理解し易い	日本地理要點の研究
最も理解し易い	外國地理要點の研究
最も理解し易い	日本歷史要點の研究
最も理解し易い	東洋歷史要點の研究
最も理解し易い	西洋歷史要點の研究
最も理解し易い	地理學通論要點の研究
最も理解し易い	物理學要點の研究
最も理解し易い	化學要點の研究
最も理解し易い	動物學要點の研究
最も理解し易い	植物學要點の研究
最も理解し易い	生理衛生要點の研究
最も理解し易い	國文解釋要點の研究
最も理解し易い	漢文解釋要點の研究
最も理解し易い	英文解釋要點の研究
最も理解し易い 上級用	英作文要點の研究
最も理解し易い	受驗代數學要點の研究

定價各￥.65

受驗參考叢書（最新版）

最も理解し易い 日本源史・東洋歷史・西洋歷史	參考受驗歷史
最も理解し易い 日本地理・外國地理・地理通論	參考受驗地理
最も理解し易い	參考日本歷史（初級用）
最も理解し易い	參考日本歷史（上級用）

定價各￥1.20

發行所 大阪市西區新町南通三ノ四八 振替口座大阪三九七二五番 東京市神田區神保町一ノ五九 振替口座東京七八七六四番 受驗研究社

御客樣の利益
良品廉賣
商賣熱心
送品確實
印刷鮮明
奇想天外
在品豐富
自信の有る品

東京・神田・神保町・二ノ二三
尚美堂本店
振替東京一一四二二番
電話九段(33)(營業部、二〇七一番 印刷部、一三一九番)

各種印刷引受
國産額臺
地球印ヱハガキ
アルバム・カード
カレンダー
額・掛軸・綸紙
寫眞撮影・修正
寫眞工業一般

文藝家協會編
文藝行動日記　價一・二〇　送・一八

三上於菟吉著
探偵小說幽靈賊　價一・二〇　送・一四

サントブウヴ著・石川湧譯
わが毒舌　價一・八〇　送・一四

スタンダール著・齋田禮門譯
パルムの僧院　價三・二〇　送・一八

藤澤桓夫著
大阪の話　價二・〇〇　送・一八

魯迅著・增田涉譯註
支那小說史　價五・〇〇　送・一八

岡本綺堂譯著
支那怪奇小說集　價二・〇〇　送・一八

眞山青果著
隨筆瀧澤馬琴　價二・五〇　送・一八

三上於菟吉著
隨筆わが漂泊　價二・三〇　送・一八

長谷川時雨著
草魚　價一・四〇　送・一四

ダベンポート著・大江專一譯
軍閥王ザハロフ　價一・五〇　送・一四

中山太郎著
愛慾三千年史　（發禁）

三上於菟吉著
青空無限城　價一・六〇　送・一四

石坂洋次郎著
金魚　價二・〇〇　送・一八

三上於菟吉著
燃える處女林　價一・八〇　送・一四

林房雄著
浪曼主義者の手帖　價一・八〇　送・一八

東京・神田・一ツ橋
教育會館内
サイレン社
振替東京八三二八一
電話九段四一五一

最新寫眞講座

全十七卷

菊判各卷二五〇頁以上、說明寫眞版、圖版圖表滿載、總クロース、總アート燦然たる大豪華版

會員募集

毎月一回配本

申込金不要、會費　毎月二圓

送料十四錢

第十二回配本

現像の實技

「現像の實技」の內容

現像……久米福衛

定着……長口宮吉

水洗及乾燥……岡利亮

增感及減感……富岡弘

撮影以後の操作は寫眞術に於て肝心の決定と共に最も重要なる過程をなすもので ある。本書は撮影以後の處理に就て各講師が最新の研究を披瀝し、その蘊蓄を傾倒して實際的に講述されたもので全寫眞家必讀の名著である。

好評！配本濟名著

現代寫眞術

撮影の實際

風景・靜物・生態

人物寫眞の寫し方

各種撮影法（前篇）

各種撮影法（後篇）

燒附と修正

引伸印畫法

特殊印畫法

小型映畫の寫し方

實用寫眞科學

東京神田神保町三

振替東京二四八八

電話九段（二二）七五六

アルス

ローライ寫眞術

北野邦雄先生著

寫眞界待望の名著愈々出づ！

精巧なる機構と顯微鏡的正確さと機關銃的偉力とに於て全寫眞界を風靡したライカ、コンタックス等の小型カメラも今やその發展過程を終へたかの觀を呈し最近寫眞界の興味は新鋭「二つ玉ロライフレックスの出現に集中された「見よ!!ロライコルト、スパーブ、イコフレックス、フォスフレックス、パルフェクタブリリアント等二つ玉の世界的進出を!!一ケにしてカメラ三ケの機能を具有し而も焦點は肉眼によつて合され密着によく引伸によく現像燒付其の他撮影後の操作極めて簡易である。ライカの强敵二つ玉果して將來の寫眞界に君臨するかどうか

本書はロライフレックスの研究家にして、實際家たる著者が其の機構の解說より、撮影仕上げに至るまで凡ゆる問題に就き、長年の體驗と最新の研究を披瀝して徹底的に解明された唯一空前の名著である。明日の寫眞界をリードせんとするローライ寫眞術！全寫眞家の必讀を希望する。

四六判　參考印畫　二九〇頁　總トーン　六十三圖　挿畫無數

定價二圓　送料四十錢

アルス

東京神田神保町三

振替東京二四八八八

浦和高等學校教授 江見節男先生著

（最新刊）

學習受驗化學のあたま

〔內容見本急呈〕

四六判上製・紙數約四百頁 三色版及寫眞版十六葉入 定價壹圓七拾錢・送料十錢

化學の準備は此整然たる理想的良書で!!

本書は高等專門學校の入學試驗に應ずる生徒諸君に捧ぐ。實に最新の化學の最近の知識を解説し入學試驗に發展する快驗に著しく頗る容易な記述である。

一、第一編化學通論、第二編非金屬、第三編金屬、第四編有機化合物の四編に大別す。

二、挿入寫眞版及圖版に分類し多數の四十七章に依り各問題を明解す。

三、各章の終りに從來の入試問題を選出して揭げ重要問題を練習に資せり。

四、揭載專門學校の昭和九、十年度高等學校入學試驗問題を雜誌の實力涵養に資せしめ

五、學習者の便に供せり。萬國原子量表及索引を附す。

●本書の內容●

本書は一般學生の基礎學力を簡明に會得せしめ、學生の知識を豐富ならしめ、學生の思想を明確ならしめ、學生の趣味を高尚ならしめ、學生の意志を強固ならしめ、學生の實力を充實ならしめ、學生の人格を高尚ならしめ、學生の生活を簡易ならしめ、學生の生涯を幸福ならしめ、學生の國家を隆盛ならしめ、學生の世界を平和ならしめ、學生の宇宙を無窮ならしめ、學生の人類を永遠ならしめ、學生の萬物を生成ならしめ、學生の天地を開闢ならしめ、學生の太陽を輝光ならしめ、學生の月星を運行ならしめ、學生の風雨を調和ならしめ、學生の雷電を震動ならしめ、學生の山川を高低ならしめ、學生の草木を繁榮ならしめ、學生の鳥獸を飛走ならしめ、學生の魚蟲を游泳ならしめ、學生の人間を生活ならしめ、學生の人類を繁榮

物語日本文學 全二十四卷

東京帝大教授 文學博士 藤村作
東京帝大講師 志田義秀
國學院大教授 文學博士 武田祐吉 共
東京帝大講師 文學博士 島津久基
東京帝大助教授 文學博士 久松潛一
東文理大講師 池田龜鑑
大阪女專校長 能勢朝次 共
平林治徳 譯

一、古典文學の現代語譯書は在來澤山ある。併し本叢書のごとくそれぞれの專門學者が學術的根據に立脚して各原典の味を失はずして而も創作的態度を以て何人にも興味を以て面白く讀めるやう平明に書き著された一つのものは、本叢書の特色の一として誇るものは各擔當者が各原作者の嚴密精細にして平易妥當なる解說が試みられてゐることで國文學研究に志す人々に取つて最も有益なる參考資料となる。

一、凡そ文學に關心を持つ一般讀者は恰も現代の小說を讀むが如き興味と氣樂な氣分を以て知らず知らずの間に古典の凡てに通ずることが出來るといふ利益がある。

刊行期日

昭和十年五月より毎月二册づつ刊行して昭和十一年四月全二十四卷完結。但し編輯の都合により必ずしも卷數の順を逐つて發行致しません。

申込手續

申込金不要。第一回より拂込の方に限り送本します。

會費

毎月拂込 金二圓 | 送料 東京市內金六錢 內地 十四錢 | 郵・電・遞部十八錢

第一卷 第一回配本（十年五月） 古事記 第廿一卷 一茶一代物語
第二卷 第二回配本（十年六月） 堤中納言物語 第十八卷 西鶴名作集
第三卷 第三回配本（十年七月） 竹取物語 第十二卷 平家物語
第八卷 第四回配本（十年八月） 蜻蛉日記上 第廿三卷 假名手本忠臣藏
第五卷 第五回配本（十年九月） 源氏物語上 第十九卷 近松世話物集
第十五卷 第六回配本（十年十月） 徒然草 第廿四卷 椿說弓張月
第十卷 第七回配本（十年十一月） 大鏡 第廿二卷 雨月物語
第四卷 第八回配本（十年十二月） 落窪物語 第十六卷 義經記
第六卷 第九回配本（十一年一月） 源氏物語下 第十三卷 太平記
第七卷 第十回配本（十一年二月） 枕草子 第十七卷 曾我物語
第二卷 第十一回配本（十一年三月） 萬葉集 第十四卷 增鏡
第九卷 十一年四月配本の分 蜻蛉日記下 更級日記 第二十卷 芭蕉一代物語

發行所 東京市牛込區拂方町二十七番地 振替東京二九五〇七番 至文堂

いてふ本

最新刊

定價一册 五拾錢 送料六錢

日本外史 上
論語 全
愚管抄 全
增鏡 全
源氏物語（桐壺—花散里）
文章軌範 全
白隱法語集 全
駿臺雜話 全
益軒養生訓 附家道訓

最も信賴できる內容
最も優雅な裝幀
最も至廉な價額

既刊目錄

古事記 上下 全
萬葉集 全
枕草子 上下 全
曾我物語 全
義經記 上中下 全
平家物語 上下 全
徒然草 全
神皇正統記 全
近松鶴心中物語 全
西鶴諸國物語 全
俳諧七部集 全
蕪村七部集 全
雨月物語 全
武將感狀記 全
武士道 全
經國美談 全
唐詩選 全
三體詩 全
日蓮聖人御書 全
釋迦八相倭文庫 全
修學寶庫 全
紫式部舍源氏物語 全
いろは文庫 一・二 全
新編水滸畫傳 全四册
東海道中膝栗毛 上下
以下續々刊行

いてふ本の榮 進呈

◇いてふ本は分賣いたしますから御自由に御選擇下さい。

◇はがきにて御申込になれば、新刊出來と同時に新刊御通知申上げます。

◇本書は御贈答用として特に組合せ帙入のものもあります。（帙卅錢）

東京市神田區錦町一
三教書院
振替東京四五八〇番
電話神田二四〇八番

改造社長 山本實彥著

蒙古

重刷又重刷

四六判上製 定價一圓二十錢 送料十四錢

「滿鮮」姉妹篇

小說よりも面白く、そして問題の蒙古及北支の該心を摑める書。刻下出版界で驚異的の賣行を示す!!

蒙古内容目次

蒙古の朝、夢のあと、國境の對立、國境の夜、達賴湖、ケルレン河、三河の白露人、扎蘭屯の自然、旗長の會議、蠅の都、ホロンバイル、大草原横斷、甘珠兒廟、ハルハの話、大興安嶺とオロチョン、興安嶺の花、北平から張家口、灰色の燕、歸化城一瞥、王昭君の墓に詣づ、内蒙古自治政府、滿洲國の蒙古人の問題、名馬の歌、沙漠の鹽、齊王、外蒙、南新京驛、南將軍、張景惠と呂榮寶、邂逅、鐵江のほとり、ネルソン、ねむの花、北支五省の風雲、北支問答、北支の時事問題、醇盤その他、天津の宿、死の前の成吉思汗(前篇改造所載)同後篇

東京市芝區新橋七番
振替東京八四〇二番
改造社發行

滿鮮閑集
定價一圓五十錢
送料一圓八十錢
定價一圓五十錢
送料十四錢

東京日日新聞社
大阪毎日新聞社 共編

天然記念物を探る

寶庫 愛玩態

別刷寫眞多數挿入 菊判上製三五〇頁餘

定價金三圓五十錢 送料三十三錢

こいなてれさ底徹だ未に讃認の般一民國が物念記然天きべふ云もと寶國の然自日東毎大秋昨、にめたろす調高をと値價的術學と義意在存のそ、てしと み憾をと。る送に界書讃てめ纏に本一今、のもるせ博を讃絶の世てれさ載連に上紙兩の。上見にゝこをり詩の土鄉よ々人。引手好の學科然自るなに爲てく白面

發行所 株式會社 盛文館

番三四七阪大替振
通北觀區西市阪大

ノーベル賞委員會員に推薦せらるたる

齋藤秀三郎先生の四大名著

英文法精義

千二百餘頁

本書は英語研究の最高峰を示す貴重なる文献である。著者が内容は我々日本人最も使用難しとする冠詞の細大剰さざる徹底的研究の最も簡潔つ眞に英語英文の變轉自在の運用を把握し、解明に至ねば文に於ける生命の重大役割の表裏を盡したる單なる初步英語、教科書に應用すべき實用英語に止まらず、進んで社會に世界文化の源泉人生の領域に入り、又之を西歐文明の基礎を築かんと欲する者の必ず習ふべき文學を探求し、低級の綜合的一冊の學問を得る士は一頁一章一節の活きた英語の力を得、一章一節を究むれば一章一節の妙趣を味ひ盡せば一節一句ぬ生命的著作である。

前置詞大完

千三百四十頁

本書は前置詞の大辭典にして併せて英語英文のエンサイクロピーデアである。前置詞の重要なる今更贅說の要なし、其使用法變化無限、到底如何なる學書文法書も、能く之を盡し能はざる所なり、先生はこの變化限りなき前置詞を整然たる秩序透徹せる理路に則り、無數の文例に分析討究して貽する所なき世界的名著である。

各冊 特料五圓五十錢 定價金七圓 送料二十二錢 四六判・上製 內容見本進呈

基本動詞大典

千二百餘頁

英語に於ける八品詞の中、最も重要なるものは何と云つても動詞と前置詞である。本書は前置詞大完の絕好の姉妹篇といふべく恰も車の兩輪、鳥の兩翼の如く相倚り相俟つて英語の本體、骨髓の脈絡を一貫するの寶玉にして全世界に類を見ざる珍品である。本書には約百個の基本動詞を收め之を叙說するに無數の適切美妙なる文例を以てし、聊かも人爲的の理論を加へず讀むものをして自然に悟入せしむる實に基本動詞の一大パノラマにして、その効用語學の海洋を行く者の羅針盤である。

實用英文典

千百二十餘頁

本書は、實用英文典の名に背かざる綜合完成的唯一無二の參考英文法書にして、英文を草し、英語を語りまた英文學精髓の補捉體得を志す人をして斯學を徹底せしむる必備の聖典である。

第一高等學校・廣島高等師範學校・女子大學米國ハーヴアード大學にて教科書に採用せるシカゴ大學教授マンリー氏、南加大學教授ゴー氏其他知名の學者擧つて推稱。

本書の眞價

東京・錦町一ノ三 神田 正則英語學校出版部 振替東京四一一一 電話神田一三七〇

受驗にも學習にも本書を

看過して悔を千載に殘し給ふなし

正則英語學校編輯部譯註

十六版

齋藤 新標準英文典

四六判美裝六百九十頁 定價二圓五十錢 送料十四錢

- 本書は英學界の巨人齋藤秀三郎先生が特に受驗生及び中學四五年生の爲に編纂された絕對權威の參考書である。
- 英文典であると同時に英文和譯
- 和文英譯の綜合練習を兼ねたる絕好の自修書である。
- 諸君の座右より種々幾多の雜書を一掃せよ徒らに疲勞と混迷を招くのみ。本書に據れば漫然諸書を涉獵する必要無く優に學習の勞を省き頭腦整理を助け、應用力を增し徹底的に理解せらる。

讀者の聲 內容見本 進呈

初學者本位の わかり易い英文法

齋藤秀三郎先生著

初等自習 **基本英文法**

本書は誰にもわかるやうに懇切平易に解き、面白く見ながら完全に覺えられる絕好の自修參考書である

三五判上製 二百四十頁 定價七十錢 送料六錢

本書によつて眞の 英作文を學べ

松田介三著

標準和文英譯

四六判上製 二百六十頁 定價一圓二十錢 送料十錢

本書は學生諸氏が受驗準備の爲め且又一般英語研究者のためにも、特に最大困難となされてゐる和文英譯の良い手引たらんことを期して編纂されたものである。

題材としては先づ最近十年間の官立、私立高等諸專門學校入學試驗問題中の最も適切な和文英譯より始め順を追ふて漸進的に程度を高め面白く且つ自然に實力を養ひ完全なる學力の增進を計ることに苦心したる絕好の自修參考書である。

東京・錦町一ノ三 神田 正則英語學校出版部 振替東京四一一一 電話神田一三七〇

アトリエ社の七大出版

内容見本進呈

東京市牛込區喜久井町三四
アトリエ社
電話牛込六四二一番
振替東京六六〇〇二番

全譯 芥子園書傳

＝圖解・南畫技法大全書＝

全十三册・和裝

◆中村・不折藏本
◆小杉放庵註解
◆公田連太郎譯文
支那庫熙乾隆版の複製全譯

會費毎月 壹圓參拾錢

日本書實習帖

現代日本畫壇一流揮毫四十餘大家・全十二卷

會費毎月 壹圓五拾錢

日本畫實習帖の續篇。色紙短册等の形式による、日本畫手本として最初の試み。興味横溢！

續日本書實習帖

色紙・扇面・團扇・短册の新手本・全六卷

會費毎月 壹圓五拾錢

現代ユーモア小說全集

ユーモア文壇花形作家の總出動・全十二卷

佐々木邦、辰野九紫、サトウハチロー、北村小松、德川夢聲、中村正常、中野實、益田甫、獅子文六、岡成志、伊馬鵜平、乾信一郎、十二作家の傑作小說！

會費毎月 壹圓

現代連續漫畫全集

痛快な連續漫畫毎卷二篇に附錄つき・全八卷

前川千帆、下川凹天、麻生豊、長崎抜天、宍戸左行、宮尾しげを、池田永一、治坂本牙城、武井武雄、河盛久夫、市川士、井近藤日出造、松下井知夫、横山隆一、田河水泡、小野佐世男、諸氏の傑作漫畫

會費毎月 壹圓

現代洋畫大全集

全洋畫壇百二十作家の原色版百廿葉・全十二卷

原畫を眼前に見る如き精巧の原色版毎卷十葉、各解說を附し、額面用となる絕對的廉價版、洋畫の大衆的進出！

會費毎月 壹圓五拾錢

漢詩大講座

一流漢詩人漢學者指導未曾有の講座・全十二卷

漢詩の概論、作詩法、名詩評釋、鑑賞等に亘る漢詩の智識を綜合的に研究せしむる本邦未曾有の大規模の講座成る！

會費毎月 壹圓

黒白書房の大好評重版探偵小説書

四版 大下宇陀兒著 **奇蹟の處女** 一・五〇・二四

四版 甲賀三郎著 **體溫計殺人事件** 一・五〇・二四

五版 ベントレー作延原謙譯 **トレント最後の事件** 一・五〇・二四

三版 海野十三著 **俘囚** 一・五〇・二四

拾版 夢野久作著 裝幀山下謙一

近世快人傳

男子の眞面目とはかう云ふものだ！
これは在來の黴臭い人物傳とは違ふ。著者は故其日庵杉山茂丸氏の俊息であり、現日本の探偵小說界に快筆を謳はれる夢野久作氏である。玄洋社の巨傑頭山滿翁、天下の惑星杉山茂丸、熱血の志士奈良原到、さては仁俠湊屋仁三郎等の言動は、或ひは豪宕不羈の氣慨を以て、或ひは輕妙洒脫の筆を以て本書中に躍動する。
神經衰弱など吹飛ばすこと下らぬ宗教書以上！

四六判布製 定價壹錢貳拾錢
希觀寫眞數葉 送料十四錢

月刊探偵
探偵雜誌 定價拾錢 送料二錢

世界探偵傑作叢書

黒白書房版

各冊定價一圓 送料十錢

(1) エラリー・クイーン作 大門一男譯 **支那オレンヂの秘密**
(2) ルーフアス・キング作 田島滋三譯 **緯度殺人事件**
(3) エル・ゼー・ビーストン作 延原謙譯 **二枚の肖像畫**
(4) アール・デル・ビガース作 乾信一郎譯 **黒い駱駝**
(5) デイ・ケイ・ウイツプル作 横溝正史譯 **鐘乳洞殺人事件**
(6) エフ・ウイルス・クロフツ作 甲賀三郎譯 **英海峽の怪奇**
(7) エス・エー・ステーマン作 川井蕃譯 **人環**
(8) エラリイ・クイーン作 大門一男譯 **西班牙岬の秘密**
(9) オークレイ夫妻作 新井無人譯 **クリヴドン事件**
(10) モーリス・ルブラン作 岡田眞吉譯 **妖魔の復讐**
(11) ジョルジュ・シムノン作 別府三郎譯 **黄色い犬**
(12) マデロン・セントデニス作 延原謙譯 **レビウ殺人事件**
(13) アントニイ・アボット作 新井無人譯 **世紀の犯罪**
(14) アルフレッド・マシヤール作 水谷準譯 **爆彈**
(15) アガサ・クリスティイ作 河瀨廣譯 **三幕の悲劇**

續刊
當りくじ殺人事件 コニントン
第二の銃聲 パークレイ
放送局の殺人 ジールガッド

俳句文藝の樂園	飯田蛇笏	二・〇〇	〇	交蘭社（小石川）
中世日本文學	齋藤清衛	二・八〇	◎	文學社（神田）
日本文藝學	岡崎義惠	三・二〇	◎	岩波書店（同）
物語日本文學（四）落窪物語	藤村作			
吉屋信子全集	吉屋信子	一・五〇	〇	新潮社（同）
京都帝國大學文學部景印舊鈔本第四集	京都帝國大學文學部		△	帙入三冊 京都帝國大學文學部
蕗原拾葉（第一輯）	上伊那郡教育會	非	◎	一二〇 上伊那郡教育會（長野）
若き日の良寛	江原小彌太	一・五〇	〇	五〇二 第一書房（麴町）
ウエッフミ	安藤一馬	非	△	一九二 神代文化研究會（神田）
明治、大正、昭和勅題歌集	星野小次郎	二・八〇	◎	四〇〇 萬里閣（芝）
徒然草解釋	塚本哲三	四・〇〇	◎	六五七 有朋堂（神田）
最後の勝利	井上如眞	一・八〇	〇	七六〇 漠刊行會（大阪）
日本文學新選	安藤常次郎	一・八〇	〇	三七〇 大觀堂書店（淀橋）
あの道この道	吉屋信子	一・三〇	〇	三九二 大日本雄辯會講談社（小石川）
詩集辛抱づよい者へ	松田解子	・五〇	〇	二二四 同人社書店（神田）
萬葉集全釋（第六册）	鴻巣盛廣	六・三〇	◎	五七八 廣文堂書店（京橋）
國文學研究（五）	早稻田大學國文學會	二・五〇	◎	四〇六 早稻田大學出版部（牛込）
古今和歌評釋（上）	窪田空穗	四・五〇	◎	七六四 東京堂（麴町）
時文研究 支那新聞の讀み方	清水元助 有馬健之助	一・五〇	〇	二一九 外語學院出版部（神田）
爐邊と樹蔭	松本泰	二・〇〇	〇	二四七 岡倉書房（同）
英詩文叢攷	尾島庄太郎	三・五〇	◎	三七八 大觀堂書店（淀橋）
颺（いたち）	眞船豐	一・六〇	〇	三二一 双雅房（杉並）
西條八十詩謠全集 六民謠	西條八十	二・〇〇	〇	四五六 千代田書院（麴町）
藤澤博士遺文集（中）	高木貞治	非	◎	七四六 藤澤博士記念會（木郷）
血笑記	松本眞一	・五〇	〇	三三二 宮井書店（和歌山）
書翰十年	德富健次郎	三・八〇	〇	一〇三七 岩波書店（神田）
村夫子	藤戸川文彥	・八〇	×	二〇〇 廣陵社（同）
灰に書く	岡田指月	一・八〇	〇	三一二 大乘社（麴町）
一日一言	三宅雄二郎	二・〇〇	〇	四六六 帝都日々新聞社出版部（芝）
利玄と憲吉	川田順	一・八〇	〇	三三八 岩波書店（神田）

參謀本部
地圖
陸地測量部

內地・朝鮮・臺灣・樺太・
及新刊行滿洲國之各種
地圖區域一覽表

御申込ニヨリ進呈

元賣捌

つるや書房

岸他丑

東京市麴町區九段坂下
電話九段(33)二四二八番
振替東京二三八八四番

書名	著譯者	定價	形體 頁數	發行所
文人墨客を語る	市島春城	三・〇〇	〇六七六	翰墨同好會 杉並
北方への旅	アン・リンドバーグ 深澤正策譯	一・五〇	〇三九四	改造社 芝
講演と文章（内政問題）	杉本忠雄	・二〇	〇一五八	斯文書院 牛込
新潮文庫（一五五）現代詩人全集	生田春月	・二五	×二〇〇	新潮社 同
講演と文章（外交問題）	杉本忠雄	・三〇	〇三二七	斯文書院 同
血と錢	山岡光太郎	二・〇〇	〇四五二	植田印刷所 同
如是ツアット説法 ウストラー	登張竹風	二・八〇	〇五九九	山本書店 同
講演と文章（支那問題）	松本忠雄	・四〇	〇三五五	斯文書院 同
景教の研究	佐伯好郎	一五・〇〇	△一三五二	東方文化學院 東京研究所 小石川
ゲーテ	ベネデット クローチエ 早乙女龍雄譯	一・〇〇	〇二一七	木村書店 品川
金環蝕	久米正雄	一・八〇	〇三三三	新小説社 神田
鼓腹集	高瀬武次郎	二・五〇	〇四四五	洗心洞文庫 大阪
海道記新註	野呂匡	三・〇〇	◎二六四	育英書院 澁谷
文學論（削除版）	マキシム ゴーリキイ 本間七郎譯	一・八〇	〇四一四	改造社 芝
前向き文學論	江間道助	一・五〇	〇二八五	木村書店 品川
詳釋江戸文學叢書 傑作淨瑠璃集（下） 隆盛時代	樋口慶千代		◎八九六	大日本雄辯會講談社 小石川
佛魔抄	小野賢一郎	二・〇〇	〇二九九	双雅房 杉並
山莊三年	室伏高信	一・八〇	〇五二〇	モナス 小石川
隨筆かにかくに	楚人冠	一・八〇	〇三九〇	四條書房 神田
ゲーテ以後	上村清延	二・三〇	◎二九七	白水社 同
理論設計 鐵塔	眞島卯太郎	三・五〇	◎二八八	修敎社書院 同
不盡想望	石川三四郎	二・〇〇	〇三四八	書物展望社 京橋

（七）小說

○創作 ○飜譯 ○戲曲 ○講談 ○落語 ○小話

【一月】

書名	著譯者	定價	形體 頁數	發行所
春琴抄	谷崎潤一郎	一・二〇	〇五〇七	創元社 芝
アラス戰線へ	諸岡幸麿 石井鐵郎	一・五〇	〇四三八	軍人會館事業部 麴町
宇野信夫戲曲集	宇野信夫	一・五〇	〇三三七	丸之内出版社 京橋
花咲く樹	小島政二郎	一・二〇	〇四四二	新潮社 牛込
感激小説日本人の血	青木信太郎	二・〇〇	〇四七二	近代文藝社 大阪
武居遺文小集	武居巧 非◎	二九六	武居巧	兵庫
まだ見ぬ親	五來素川	一・〇〇	〇三九一	平凡社 日本橋
ドグラ・マグラ	杉山萠圓	一・九〇	〇七三九	松柏館書店 同
勿忘草	吉屋信子	一・五〇	〇二七八	麗日社 杉並
僧兵	今春聽	一・八〇	〇五七九	政經書院 京都
水戸黄門	大佛次郎	一・七〇	〇六七〇	中央公論社 麴町
銀座八丁	大佛次郎	一・八〇	〇三四五	改造社 芝
戲曲集村道	武田麟太郎	一・八〇	〇三四三	竹村書房 四谷
傳記小説賴山陽	木村毅	一・五〇	〇三〇六	千倉書房 京橋
芦屋夫人（改訂版）	丸尾長顯	一・〇〇	〇一八九	近代人社 大阪
踊る影繪	大倉燁子	一・五〇	〇四三一	柳香書院 京橋
死線（日本海々戰以後）	アー・ノヴィコフ プリボイ 岩井清譯	一・〇〇	〇二八三	ナウカ社 神田
亂歩傑作選集（一）	江戸川亂歩		〇四九八	平凡社 日本橋
黄金假面	尊生田長江	一・八〇	〇四三四	香風閣 神田
創作釋	山田清作	非△	二米	由堂 牛込
稀書複製會（九ノ三）繪本このころくさ	富岡直方	非〇	四三	古今稀書刊行會 四谷
這奇的見世物語	長田幹彥	・八〇	×三三	新小説社 神田
情話新集三藝者三代記	浦口文治	一・五〇	〇二九七	三省堂 同
新ハムレット				

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
全譯小さき人々	清涼言	一・〇〇	〇五七八	現實處 牛込
細菌の獵人	和田日出吉	一・五〇	〇三五一	昭和書房 神田
戯曲 悉達太子と耶輸陀羅妃	金子元臣	一・〇〇	◎七四	河出書房 日本橋
西郷とその徒	香春建一	一・六〇	〇五二五	大道社 神田
三萬兩五十三次上卷	野村胡堂	一・七〇	〇七三三	中央公論社 麹町
東健而ユーモアナンセンス集	東靜枝	一・三〇	〇三五二	一元社 本郷
石榴	栗木和夫	一・〇〇	〇二一五	制作社 府下
地上に待つもの	山田清三郎	一・二〇	〇三八一	ナウカ社 神田
晴れゆく社會	河村舜應	一・八〇	〇三七四	牛山堂書店 麹町
賭博場殺人事件	ヴィアン伴大矩譯	一・六〇	〇三〇六	日本公論社 神田
ボオドレエル惡の華	矢野文夫	二・五〇	〇四七〇	耕進社 本郷
島を愛した男	宮西豊逸	一・〇〇	〇三三九	健文社 麹町
傳法ざむらひ	長谷川伸	二・〇〇	〇三二八	新小說社 神田
日像月像（三家庭）	菊池寛	一・二〇	〇五一八	新潮社 牛込
農村	大田卯	一・八〇	〇六三九	平凡社 日本橋
三萬兩五十三次（下）	野村胡堂	一・七〇	〇六八〇	中央公論社 麹町
丹下左膳（日光の卷）	林不忘	一・七〇	〇六〇五	新潮社 牛込
黑蜥蜴・妖蟲	江戸川亂歩	一・六〇	〇四三一	同 同
あるぷす大將	吉川英治	一・八〇	〇四一五	改造社 芝
【二月】				
書淫行狀記	齋藤昌三	三・〇〇	◎二二	書物展望社 京橋
有島幸子家集	有島生馬	非	〇四八二	有島生馬 麹町
大東京獵奇	吉井武平	一・三〇	〇三二〇	龜甲堂 豊島
村里生活記	結城哀草果	一・八〇	〇三〇九	岩波書店 神田
驚洲隨筆	小林鷺洲	非	◎三〇一	新華道研究會 下谷
日本怪奇物語（江戸時代篇）	富岡直方	一・五〇	〇三〇九	二松堂書店 神田
同（明治大正昭和篇）	同	一・五〇	〇二九五	同 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
舊圖日本橋	長谷川時雨	二・三〇	〇三三三	岡倉書房 神田
情熱の火	前田曙山	一・三〇	〇三七九	宏元社書店 大阪
お高祖頭巾の女	同	一・三〇	〇三五四	同 同
覆面の義人	同	一・五〇	〇五〇八	同 同
黑髮夜叉（前編）	同	一・三〇	〇三九二	同 同
同（後編）	同	一・三〇	〇三八五	同 同
修養太閤記	矢田挿雲	一・五〇	〇三四八	千倉書房 京橋
望空夜話	北村小松	一・三〇	〇二七〇	岡倉書房 麹町
青年林房雄	林房雄	一・二〇	〇四〇四	政經書院 京都
アンドレジイド贋金つくり	山内義雄	一・五〇	〇六二	白水社 神田
安政の大獄（前編）	大佛次郎	一・八〇	〇三七五	改造社 芝
盜人旦那	子母澤寛	一・八〇	〇四七八	同 同
貞操問答	菊池寛	一・五〇	〇五三八	同 同
亂歩傑作選集（二）蜘蛛男	江戸川亂歩	一・五〇	〇四七五	平凡社 日本橋
雨の念佛	宮城道雄	非	〇二八〇	三笠書房 神田
牛門漫筆	松波仁一郎	二・〇〇	〇三七八	日本評論社 京橋
鶴	内田百閒	二・五〇	〇三九九	三笠書房 神田
隨想隨筆素人の疑問	齋東野人	一・六〇	〇三三八	立命館出版部 京都
慈眼山隨筆	室生犀星	二・二〇	〇三〇四	竹村書房 四谷
樹氷	大佛次郎	二・〇〇	〇二九一	新小說社 神田
泣蟲小僧	林芙美子	二・〇〇	◎三九一	改造社 芝
時間	稻木明	一・二〇	〇一四六	萬世社出版部 淀橋
三人	アンドレ・シュアレス作宮崎嶺雄譯	二・八〇	◎四〇四	山本書店 麹町
蚕の市	石黑敬七	二・〇〇	〇三三六	岡倉書房 神田
樽	FWクロフツ作森下雨村譯	一・五〇	〇三六二	柳香書院 京橋
絹の泥靴	佐藤紅綠	一・二〇	〇五四八	新潮社 牛込
九十五點主義	永田秀次郎	一・二〇	〇二九三	實業之日本社 京橋
人形聖書	林芙美子	一・五〇	〇三三九	麗日社 杉並
釋迦とその弟子	甲斐靜也	二・〇〇	〇四五一	佛教年鑑社 牛込
信仰實話白馬の騎手	鎧田研一	一・二〇	〇三六三	不二屋書房 芝

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
乞食裏物語	石角春之助	一・三〇	〇二七〇	丸の内出版社 京橋
戲曲 聖德太子	水戸愛川	一・二〇	〇二二	佛教年鑑社 牛込
【三月】				
日本近世大悲劇名作全集六 青春	小栗風葉	一・〇〇	〇六二九	中央公論社 麴町
亂歩傑作選集三 白髮鬼	江戸川亂歩		〇四三七	平凡社 日本橋
芥川龍之介全集七	芥川龍之助		〇六四七	岩波書店 神田
旅順攻圍軍	木村毅	一・六〇	〇三四一	大日本雄辯會講談社 小石川
パニヨル作ファニー	永戸俊雄	一・〇〇	〇二八六	白水社 神田
新修シエークスピヤ全集十四 ヘンリヒヤ全集—八世	坪内逍遙	・七〇	×二五八	中央公論社 麴町
新修シエークスピヤ全集一 戀の骨折損	同	・七〇	×二六二	同 同
岩波文庫(一)二二三—二二五 ジヤン・クリストフ	ロマン・ローラン 豐島與志雄譯	・六〇	×三四五	岩波書店 神田
岩波文庫神々の復活(三)二〇八七—二〇八八	メンジユコーフスキイ 米川正夫譯	・四〇	×二七九	同 同
岩波文庫月下の惨劇他五篇二二三—二二四	森村豐	・四〇	×三一九	同 同
太閤記二	矢田義勝	一・〇〇	〇六三八	中央公論社 麴町
母	マキシム・ゴリキイ 村田春海譯	一・五〇	〇六七七	ナウカ社 神田
バイロン	アンドレ・モウロア 木村毅譯	二・三〇	〇六九八	改造社 芝
小草をさゝぐ	吉田絃二郎	・九〇	〇二九九	同 同
慾望	谷川徹三	二・五〇	〇四五四	三笠書房 神田
百夜	田山花袋	一・八〇	〇五二五	中央公論社 麴町
岩波文庫 反時代的考察(上卷)	ニイチエ 井上政治譯	・四〇	×二三三	岩波書店 神田
岩波文庫 神々の復活(四)	米川正夫	・四〇	×二七九	同 同
岩波文庫 ジヤンクリストフ 二	豐島與志雄	・四〇	×二三〇	同 同
岩波文庫 隊を組んで歩く妖精達	山宮允	・四〇	×二三二	同 同
岩波文庫 アルト、ハイデルベルグ	番匠谷英一	・二〇	×一五二	同 同
母の死	中勘助	一・八〇	〇二四九	同 同
岩波全書 小惑星	平山清次	・八〇	×一六八	同 同
岩波全書 蠶	石森直人	・八〇	×二四八	同 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
鳴門秘帖 大衆文學一 名作選回	吉川英治	一・〇〇	〇一三一六	平凡社 日本橋
短篇戲曲集 惜春	圓地文子	二・五〇	〇四五一	岩波書店 神田
鋸くず	山田清作	非◎		米山堂 牛込
焰	原民喜	一・〇〇	〇二一九	東京印刷株式會社 深川
【四月】				
花嫁學校	片岡鐵兵	一・五〇	〇五二〇	中央公論社 麴町
ベンガルの槍騎兵	飯島正	一・二〇	〇二八三	西東書林 京橋
色さんげ	宇野千代	一・五〇	〇三二三	中央公論社 麴町
大空放哉傳	河本綠石	一・五〇	〇二〇〇	香風閣 神田
奇蹟の處女	大下宇陀兒	一・五〇	〇三六三	黑白書房 牛込
亂歩傑作選集一 寸法師	江戸川亂歩		〇三九七	平凡社 日本橋
戲曲 釋迦	友松圓諦	非	〇二四八	安民窟學寮 深川
松のや露八	吉川英治	一・五〇	〇五〇〇	新潮社 牛込
太閤記(第三)	矢田義勝	一・〇〇	〇六三三	中央公論社 麴町
寢室の囁き	堀伊八	三・五〇	〇四六七	自然社 京都
髮	三上秀吉	一・〇〇	〇一四八	制作社 東京府
肉の生贄	前田曙山	一・三〇	〇三九三	宏元社書店 大阪
直木三十五全集	直木三十五		〇三九六	改造社 芝
明治建設	木村毅	一・二〇	〇四〇七	同 同
萬代曾我 第二番目 おはん長右衞門	賴桃三郎	非	〇五〇	賴桃三郎 本郷
世間胸算用詳解	植村邦正	二・五〇	◎二八三	大同館書店 神田
江戸俠客傳	林和	二・三〇	〇三三四	日本公論社 同
杏掛時次郎 並長八郎	長谷川伸	一・〇〇	〇二二三	平凡社 日本橋
長谷川伸一本刀土俵入 戲曲集	同	・八〇	×二三六	新小說社 神田
荒木又右衞門	同	・八〇	×二三三	同 同
暗闇の丑松	同	・八〇	×二三二	同 同
杏掛時次郎	同	・八〇	×二五七	同 同
日本戲曲選	守隨憲治	二・五〇	〇三六二	至文堂 牛込
豐太閤出世錄	武田完二	二・五〇	〇五〇三	大同館書店 神田
道化役	豐島與志雄	一・八〇	〇三五八	言海書房 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
睡り人形	木口高太郎	一・五〇	〇三六二	春秋社 日本橋
貧者の安住	加藤一夫	一・六〇	〇三九一	不二屋書房 芝
【五月】				
正史實傳 いろは文庫（上）	鈴木種次郎	・五〇	〇三四四	三教書院 中野
エノケン爆笑傳	安藤十九木	一・五〇	〇三七八	言海書房 京橋
修紫田舎源氏（一）	鈴木種次郎	・五〇	〇二七八	三教書院 中野
釋迦八相倭文庫	同	・五〇	〇三一四	同
近松心中もの	同	・五〇	〇二五二	同
夢のハイキング	礒部晋	一・五〇	〇三八四	經濟知識社 麹町
ラモオの甥	本田喜代治	一・五〇	〇二六六	芝書店 品川
芥川龍之介全集（八）	芥川龍之介		〇六三五	岩波書店 神田
サンテクジュペリ 南方飛行便	堀口大學	一・二〇	〇二四三	第一書房 麹町
正史實傳 いろは文庫（下）	鈴木種次郎	・五〇	〇三三八	三教書院 中野
亂歩傑作選集 吸血鬼	江戸川亂歩		◎四八三	平凡社 日本橋
探偵小說 氷の涯	杉山泰道	一・七〇	〇四五九	春秋社 日本橋
靜かなるドン	ロホフ 外村史郎譯	一・五〇	〇七八九	三笠書房 神田
家なき兒	エクトル マロー 上方屋編輯部	・七〇	〇一九五	上方屋書店 芝
小青春の道	松本重敏	一・〇〇	〇二四八	千倉書房 京橋
修羅道春秋 敵打日月双紙	三上於菟吉	一・〇〇	〇三三二	平凡社 日本橋
現代ユーモア小說集全	佐々木邦		〇五〇五	アトリエ社 牛込
世路第一歩求婚時代				
悲戀 心中薩摩唄	中村眞一	一・五〇	〇四八〇	博刚社書店 大阪
夜叉菩薩	吉川延	一・五〇	〇五三七	同
評釋江戸文學叢書 傑作淨瑠璃集（上）	樋口慶千代		◎八四四	大日本雄辯會講談社 小石川
傳說の都（鴨東鴨涯の卷）	石川琴水	一・五〇	〇一六八	滑瑠璃世界社 京都
蜜蜂マアヤの遍歷	ワルデマアル ボンゼルス 長尾宏也譯	一・七〇	〇二八六	竹村書房 四谷
直木三十五全集	直木三十五		〇四八一	改造社 芝
薔薇色の道	中村武羅夫	一・二〇	〇五三三	新潮社 牛込
大楠公	近藤哲郎	・八〇	〇二五五	學藝社 京橋
探偵小說 われは英雄	水谷準	一・五〇	〇四一六	春秋社 日本橋
ツルゲーネフ全集	原久一郎	一・八〇	〇三七四	隆章閣 神田
秘說 江戸一代女	林和	一・八〇	〇三八五	日本公論社 同
プロレタリア短篇小說集	冬枯れ 德永直	一・五〇	〇四七二	ナウカ社 同
ニイチエ全集	生田長江		〇四三一	日本評論社 京橋
小林多喜二全集	小林三吾	一・八〇	〇六〇五	ナウカ社 神田
ユウレカ	エドガー・アラン・ポウ 西村孝次譯	二・〇〇	◎一八九	山本書店 牛込
ドストイエフスキイ全集	中山省三郎	二・五〇	◎七五一	三笠書房 神田
黑死館殺人事件	小栗虫太郎	一・七〇	〇四四六	新潮社 牛込
吉田絃二郎全集	吉田絃二郎	一・五〇	〇四九〇	同
支那現代社會小說 揚州綺談	山縣初男	二・五〇	〇六七三	秋豐園出版部 神田
教育小說 野薔薇	志垣寛	二・五〇	〇四四五	東洋圖書株式會社 同
續良寛さま	相馬昌治	一・五〇	〇二四七	實業之日本社 京橋
藝妓讀本	三宅孤軒	一・八〇	〇三六〇	全國同盟料理新聞社 神田
大楠公	近藤哲郎	・八〇	〇二五五	學藝社 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
まごころ	村上寛	一・〇〇	◎三四四	文友堂書店 大阪
有朋堂文庫 源平盛衰記（上）	塚本哲三	非	×八六六	有朋堂 神田
同 大久保武藏鎧	同	同	×五四六	同
同 新編水滸畫傳	同	同	×六四六	同
新作探偵小說全集 蠢く觸手	江戸川亂歩	一・五〇	〇四四三	新潮社 牛込
吉野屋酒樂	飯塚傳太郎	一・〇〇	〇	飯塚傳太郎 靜岡
怪奇探險ルバン全集一〇	保篠龍緒		×三三〇	平凡社 日本橋
同（九）	同		×四六三	同
配偶	山田一夫	二・三〇	〇三〇四	岡倉書房 神田
悲劇の誕生	野中正夫	一・六〇	〇三一六	木村書店 品川
太閤記（四）	矢田義勝	一・〇〇	〇五八九	中央公論社 麹町
相愛男女和合の秘訣	立花天外	・六〇	×一九五	博榮堂書店 大阪
犯罪實話 或る嬰兒殺し	杉原辨太郎	・五〇	〇一四七	柳屋書店 京都
一人三人全集 もだんでかめろん	谷讓次	一・五〇	〇四八〇	新潮社 牛込

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
バルザック全集	小西茂也 新城和一	二・五〇	◎四八一	河出書房 日本橋
欺かざるの記	國木田獨歩	二・〇〇	○六八六	神谷勵 神田
女をめぐる疾風	小川未明	一・二〇	○二八〇	不二屋書房 芝
新潮文庫 寶島	スティヴンソン 柳川春浪	・四〇	×二九七	新潮社 牛込
新潮文庫 終夏	小栗風葉	・三〇	×二三二	同
同 澄める青空	生田春月	・二五	×一六七	同
同 自然の惠み	ストリンドベルク	・三五	×二三八	同
同 痴人の告白	三井光彌	・四五	×三七三	同
同 魔人	大下宇陀兒			同
有朋堂文庫 源平盛衰記	塚本哲三	非	×八一六	有朋堂 神田
同 新編水滸畫傳	同	同	×六八七	同
同 護國女太平記、金澤實記、伊達顯秘錄	同	同	×六〇七	同
修紫田舍源氏		・五〇	○三〇八	三教書院 中野
一人三人全集 もだんでかめろん	谷讓次	一・五〇	○五六六	新潮社 牛込
囚はれた大地	平田小六	一・〇〇	○四四五	ナウカ社 神田
岩波文庫 永遠の相下に他三編	デルバンド 條田英雄譯	・二〇	×一一〇	岩波書店 神田
同 アンナカレーニナ	トルストイ 中村白葉譯	・六〇	×四〇七	同
情熱の手紙	竹內米太郎	・五〇	×二四九	香蘭社書店 下谷
鞍馬天狗 地獄の門	大佛次郎	・九〇	○三三八	新小說社 神田
萬華鏡	寺田寅彥	一・〇〇	○二三五	岩波書店 同
新修シェークスピヤ全集 間ちがひつゞき	坪內逍遙	・七〇	×一五四	中央公論社 麴町
同 シェークスピヤ研究栞	同	・七〇	×四一〇	同
世界文學名著文庫 貧しき人々	ドストエフスキイ 荻島亮譯	・三〇	×二二三	文新社 神田
同 罪と罰	同	・三五	×二七八	同
同 櫻の園かもめ	チエホフ 花井修三郎	・三〇	×二三〇	同
同 叔父ワーニヤ外一篇	同	・三〇	×一四四	同
世界文學名著文庫 ロメオとジュリエット	シエークスピヤ 佐藤寬譯	・二〇	×二五一	文新社 神田
同 ハムレット	同	・二五	×一九三	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
世界文學名著文學 女の一生	モーパサン 上濱清一譯	・四〇	×三五三	文新社 神田
同 いん底	ゴオリキイ 本尾源藏	・二〇	×一五四	同
同 太陽の子	同	・二五	×一九一	同
同 退屈まぎれ外四篇	同	・二〇	×一六三	同
同 人形の家	イプセン 河合逸二譯	・二〇	×一五八	同
同 野鴨	同	・二五	×一九七	同
同 樽外八篇	モーパサン 上濱清一譯	・二〇	×一五八	同
同 神曲	ダンテ 竹村眞手雄譯	・二五	×一八二	同
同 青い島	メエテルリンク 河合逸二譯	・二五	×一八九	同
同 その前夜	ツルゲエフ 品川準譯	・二五	×二七六	同
同 ルーヂン	同	・三〇	×二二八	同
同 結婚の幸福	トルストイ 太田正一譯	・二五	×一八八	同
同 光は闇の中に輝く	同	・二〇	×一六三	同
同 死の舞踏	ストリンドベルヒ 本野盛三譯	・二〇	×二二六	同
亂歩傑作選集 闇に蠢めく	江戸川亂歩		○四一四	平凡社 日本橋
街のギャング檢擧物語	魂實處	・一〇	○四八	魂實處 神田
人間復興	武內了溫	一・二〇	○二六一	文化時報社出版部 京都
【六月】				
怪奇探偵青い眼の女 ルパン全集	保篠龍緒		×三六〇	平凡社 日本橋
同 八點鐘	同		×三八九	同
處女とジプシー	D・H・ロレンス 木下常太郎譯	一・〇〇	○一七〇	健文社 麴町
いて ふ本 新編水滸傳(一)	鈴木種次郎	・五〇	○三五四	三教書院 中野
トルストイ全集(一四)	神田龍一	二・八〇	○	トルストイ全集刊行會 日本橋
世界の終り	マツケープ 開國文化研究會	二・二〇	○三〇八	大勝館 神田
生命の舞踏	岡島鋼次郎		○四三四	同 同
芥川龍之介全集	芥川龍之介		○五九六	岩波書店 同
體溫計殺人事件	甲賀三郎	一・五〇	○三六九	黑白書房 牛込
週刊朝日文庫 スピード結婚魔	大道弘雄	・三〇	×二六九	朝日新聞社 大阪
浮瑠璃廊色上集 成双紋簞笥	頼桃三郎	非	◎三八	頼桃三郎 本郷
青空無限城	三上於菟吉	一・六〇	○四四八	サイレン社 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
結婚愛	マリーストープス	一・〇〇	〇一八一	不二屋書房 芝
白い壁	小倉清太郎 本城陸男	一・二〇	〇四二六	ナウカ社 神田
椿姫	西條八十	一・五〇	〇五七三	文圓堂書店 本郷
戲曲源氏物語	番匠谷英一	二・〇〇	◎二九一	河出書房 日本橋
小說虎公	佐藤紅綠	一・八〇	〇三八二	宏元社書店 大阪
同月	菊池幽芳	一・八〇	〇六一一	同
同生さぬ仲	柳川春葉	二・〇〇	〇九四三	同
同鳩の家	佐藤紅綠	二・〇〇	〇九八二	同
大衆文學國定忠治名作選	子母澤寛	一・〇〇	〇一一〇八	平凡社 日本橋
怪奇探偵小說人間豹	江戸川亂步	一・二〇	〇三三八	春秋社 同
太閤記	矢田挿雲	一・〇〇	〇六二九	中央公論社 麹町
道中女仁義	長谷川伸	一・二〇	〇五二三	新潮社 牛込
眼鏡	山田幸五郎	二・〇〇	◎一八〇	岩波書店 神田
圓朝怪談全集	三遊亭圓朝	一・二〇	〇五七一	改造社 芝
日本小說文庫 明暗三世相前篇	夏目漱石	・四〇	× 三四五	春陽堂 日本橋
同（後篇）	同	・四〇	× 二六三	同
維新歷史小說全集 大政奉還	矢田挿雲	一・二〇	〇四四九	改造社 芝
圓朝怪談全集	三遊亭圓朝	一・二〇	〇四六四	同
小林多喜二全集	小林三吾	一・八〇	〇六一八	ナウカ社 神田
黑谷村	坂口安吾	一・七〇	〇二九三	竹村書房 四谷
死の家の記錄	中村白葉	二・五〇	◎四六六	健文社 麹町
現代ユーモア小說全集 青春音頭やきもち讀本	サトウハチロー	一・〇〇	〇五〇一	アトリエ社 牛込
維新歷史小說全集 志士傳奇	田中貢太郎	一・二〇	〇四四四	改造社 芝
チエーホフ全集	中村白葉	二・五〇	〇四六六	金星堂 神田
大菩薩峠（一四）	中里介山	一・五〇	× 六五七	隣人之友社 日本橋
釋迦八相倭文庫	鈴木種次郎	・五〇	〇二七八	三教書院 中野
教育訓導の上京小說	爲藤五郎	二・五〇	〇五四八	東洋圖書株式合資會社 同
一人三人全集 短篇集明日の蜃氣樓	牧逸馬	一・五	〇五九八	新潮社 牛込
聖者の懺悔	八住利雄	一・五〇	〇五六五	四條書房 神田
復活（カチューシヤ物語）	トルストイ 相馬泰三譯	一・〇〇	〇三一〇	學而書院 下谷
岩波文庫 懺悔	トルストイ 原久一郎譯	・二〇	× 一四一	岩波書店 神田
同煙	ツルゲーニエフ 原久一郎	・四〇	× 三三五	同
同アンナカレーニナ	トルストイ 中村白葉譯	・四〇	× 二三一	同
教育小說野薔薇	志垣寛	二・五〇	〇四四五	東洋圖書株式合資會社 同
有朋堂文庫新編水滸畫傳	塚本哲三	非	× 六四八	有朋堂 同
同大岡政談	同	同	× 六八二	同 同
探偵小說死頭蛾の恐怖	甲賀三郎	一・六〇	〇四六一	春秋社 日本橋
大宇宙の旅	ジーンス 村上忠敎	二・五〇	〇三一三	恒星社 芝
沙漠の國	笠間杲雄	一・八〇	〇三六九	岩波書店 神田
馬で去つた女	ロレンス 宮西豐逸	一・〇〇	〇二六九	牛山堂 麹町
直木三十五全集	直木三十五		〇四一五	改造社 芝
日本小說文庫 明暗三世相前篇	同	・四〇	× 三三七	春陽堂 日本橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
現代戰爭文學全集 猛る空 中艦隊	フルデスン	一・二〇	〇二八一	香鳳閣 神田
新作探偵小說全集 姿なき怪盜	小泉泰明			
實錄新十傑 勝海舟	甲賀三郎	一・二〇	〇四四三	新潮社 牛込
伊藤痴遊	ボオル、ヴエルレエヌ 河上徹太郎	一・五〇	〇二一〇	芝書店 品川
叡智	トルストイ 中村白葉	・四〇	× 二四七	岩波書店 神田
同惡童物語	ルウドキヒ トオマス 實吉捷郎譯	・二〇	× 二三八	同 同
音畫抄 春琴お琴と佐助	島津保次郎	一・五〇	◎二九六	映畫世界社 麹町
佛敎小說熊谷蓮生坊	鶴田滿泉	一・〇〇	〇二〇三	敎學週報社 芝
楠木正成	安岡正篤	・二〇	◎三三	金鷄學院 小石川
バルザツク全集	太宰施門 外三名	二・五〇	◎四九一	河出書房 日本橋
お傳地獄	邦枝完二	一・八〇	〇六〇四	千代田書院 麹町
亂步傑作選集（七）	江戸川亂步		〇四三一	平凡社 日本橋
【七月】				
火打石の火	平山米三	一・二〇	〇三三三	凡人社 木郷

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
有朋堂文庫新編水滸畫傳	塚本哲三	非	×六四八	有朋堂 神田
ゲーテ全集（十一）	岩崎眞澄	一・五〇	○五四九	ゲーテ全集刊行會 淀橋
丹那殺人事件	森下雨村	一・五〇	○三六〇	柳香書院 京橋
魚草	長谷川時雨	一・四〇	○二三七	サイレン社 神田
有朋堂文庫 花唇八外二篇 笑人	塚本哲三	非	×六六四	有朋堂 同
人生初年兵	佐々木邦	一・五〇	○五一九	大日本雄辯會講談社 小石川
有朋堂正史 伊呂波文庫實傳	塚本哲三	非	×七七六	有朋堂 神田
三上於菟吉全集 一 雪之丞變化	三上於菟吉		○七三〇	平凡社 日本橋
怪奇ルパン全集（一三）	保篠龍緒		×四六二	同 同
世界名作文庫一五一 蕩兒の歸宅（外五篇）	アンドレイジード 林文雄譯	一・二五	×一九七	春陽堂 同
評釋江戸文學叢書 西鶴名作集	藤井乙男		◎七八五	大日本雄辯會講談社 小石川
怪奇ルパン全集一回 探偵 怪屋の怪奇	保篠龍緒		×三八四	平凡社 日本橋
靜かなドン（第一部）	ショーロホフ 上田進譯	一・三〇	○八五二	ナウカ社 神田
修紫田舍源氏（三）		・五〇	○二八二	三敎書院 中野
大思想文庫七 ダテン神曲	黑田正利		○一八八	岩波書店 神田
映畫脚本構成論	安田清夫	一・五〇	○三三五	映畫評論社 淀橋
大宴會	內田百閑	一・〇〇	○三三〇	三笠書房 神田
有朋堂文庫 昔話稻妻表紙 本朝醉菩提	塚本哲三	非	×五三二	有朋堂 同
照る日くもる日（外三篇）	大佛次郎	一・〇〇	○二〇六	平凡社 日本橋
世界名作文庫一七七 アミンタス	アンドレジード 新庄嘉章譯	・二五	×一八六	春陽堂 同
モルナお人好しの仙女	飯島正	一・〇〇	○二八一	西東書林 京橋
芥川龍之介全集九	芥川龍之介		○七八一	岩波書店 神田
太閤記六	矢田挿雲	一・〇〇	○五八一	中央公論社 麴町
母と子（母への手紙）	イルリッフ 山內義雄譯	一・〇〇	○三二五	白水社 神田
夜光蟲	久保田万太郎	二・〇〇	○一七〇	双雅房 杉並
新選文學叢書 ロレタリア總輯3 兒童小說集		・五〇	○二八二	ナウカ社 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
岩波文庫一二〇〇—一二〇一 生	田山花袋	・四〇	×二三九	岩波書店 神田
長篇小說 第九の王冠	山中峯太郎	一・〇〇	○二六四	實業之日本社 京橋
トレント最後の事件	E・Cベントレー作 延原謙譯	一・五〇	○三五二	黑白書房 牛込
週刊朝日文庫（一）三十九號室の女	森下雨村	・三〇	×二八〇	朝日新聞社 大阪
岩波文庫（一二〇三）爐邊のこほろぎ	ディケンズ 本多顯彰譯	・二〇	×一四八	岩波書店 神田
ルナアル日記（一八九七—一八九九年）	岸田國士	一・五〇	○三一〇	白水社 同
スパイは躍る	山本實	・一〇	○六八	東京パンフレット社 中野
情痴犯罪捕物秘帖	高井壯吉	一・八〇	○四七六	昭興堂書店 下谷
吉田絃二郎全集（三）	吉田絃二郎	一・五〇	○五〇七	新潮社 牛込
重役病患者	井東憲	一・八〇	○五〇六	健文社 麴町
殺人流線型	大倉燁子	一・五〇	○三五一	柳香書院 京橋
【八月】				
評釋江戸文學叢書 歌舞伎名作集（上）	河竹繁俊		◎七九〇	大日本雄辯會講談社 小石川
怪奇探偵ルパン全集（一五）813	モリス ルブラン 保篠龍緒譯 長谷川清志	一・六〇	×五一八	平凡社 日本橋
鬼面佛心			○二九六	三才書院 杉並
怪奇探偵ルパン全集（六）怪紳士	モリス ルブラン 保篠龍緒譯		×二〇〇	平凡社 日本橋
修紫田舍源氏（四）		・五〇	○二九八	三敎書院 中野
會我物語（下）	同	・五〇	○二八〇	同 同
トルストイ全集（五）戰爭と平和（下）	神田龍一	二・八〇	○二七六	トルストイ全集刊行會 日本橋
維新歷史小演劇（一〇）戊申戰役	野村胡堂	一・二〇	○四三七	改造社 芝
直木三十五全集十八 轉覆車	林明道	一・〇〇	○二六三	山田全一 牛込
現代戰爭文學全集（四）最初の十萬人	ヤン・ヘイ櫻井忠溫譯	一・二〇	○四六二	香風閣 神田
世界名作文庫（四三七）惱めるジャン	セフ・エフラミュズ 石川淳譯	・二五	×一八七	春陽社 日本橋
双心臟	牧逸馬	一・二〇	○五〇八	新潮社 牛込
映畫讀本	來馬雪夫	一・八〇	○三六五	書林絢六洞 淀橋
現代ソヴエト文學全集（二）開かれた處女地	米川正夫	一・五〇	○六一九	三笠書房 神田
支那小說 封神傳	三浦義臣	一・五〇	○三四四	言海書房 小石川
西鶴物		・五〇	○二二六	三敎書院 中野

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所
岩波文庫（一二〇四）母への手紙	フキリップ三好達治譯	・二〇	×	三九	岩波書店 神田
有朋堂文庫 娯節川敎草女房形氣	塚本哲三	非	×	七四	有朋堂 同
岩波文庫（一二〇五）ジャクリーヌと日本人	ヤーコブ相良守峯譯	・二〇	×	一四一	岩波書店 同
有朋堂文庫 黃表紙十種	塚本哲三	非	×	二九八	有朋堂 同
有朋堂文庫 近世說美少年錄（上）	同	同	×	五八	同 同 傳記小說
新編水滸畫傳（二）		・五〇	○	二九六	三敎書院 中野
丹下左膳	林不忘	一・二〇	○	六〇八	新潮社 牛込
太閤記（七）	矢田挿雲	一・〇〇	○	六三	中央公論社 麴町
探偵小說 殺人技師	大下宇陀兒	一・六〇	○	四二〇	松伯館書店 日本橋
東海道中膝栗毛（上）		・五〇	○	二六〇	三敎書院 中野
大衆文學名作選（六）大岡政談・つゞれ烏羽玉	林不忘	一・〇〇	○	一七四	平凡社 日本橋
父	內田誠	六・〇〇	◎	一八	双雅房 杉並
新人傑作 探偵小說選集	末廣浩二	・八〇	○	二五四	ぷるふいる社 淺谷
鞭を鳴らす女	岸田國士	一・六〇	○	三五八	作品社 京橋
七寶の柱	小島政二郎	一・八〇	○	四七七	新潮社 牛込
ヴィツキペウム 乙女の湖	岡田眞吉	一・二〇	○	三一六	西東書林 京橋
談怪巡禮 妬婦傳	蘆谷重常	一・五〇	○	二九四	言海書房 小石川
傳記小說 高橋是清	小杉健太郎	一・二〇	○	三六八	千代田書院 麴町
燃える處女林	三上於菟吉	一・八〇	○	五四〇	サイレン社 神田
東京哀歌	加藤武雄	一・二〇	○	五二三	新潮社 牛込
昆蟲記（五）	アンリ・ファブル鷲尾猛譯	一・五〇	×	四〇五	叢文閣 麴町
全貌（三）	北原白秋	一・八〇	×	五九九	アルス 神田
紅塵無門	吉安新次	一・五〇	○	三三〇	言海書房 小石川
夜の喫煙	新居格	一・三〇	○	二三五	不二屋書房 芝
月	辰野九紫	一・〇〇	○	四九四	アトリエ社 牛込
世界名作文庫（二四〇）學者の妻外三篇	廣谷千代造譯	・二〇	×	一一四	春陽堂 日本橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所
伊藤痴遊 快傑傳	伊藤痴遊	三・五〇	○	一九三四	平凡社 日本橋
きよろろ鶯	北原白秋	三・〇〇	○	五八一	書物展望社 京橋
ユーモア新傑作集	奧野他見男	一・二〇	○	三〇六	新興出版社 牛込
曉の獵人	牧逸馬	一・八〇	○	四〇〇	新潮社 同
瘤（短篇集）	山本有三	二・八〇	◎	三〇四	改造社 芝
新潮文庫（一三七）森の處女	ビヨルンソン上田三芳吉譯	・四〇	×	二〇三	新潮社 牛込
亂步傑作選集（八）魔術師	江戸川亂步		○	四三三	平凡社 日本橋
殺人犯	ヘゲデュス角岡知良譯	一・〇〇	○	二四〇	言海書房 小石川
新潮文庫（一三八）ルマンとドロテア	ゲエテ秦豐吉譯	・二五	×	一一三	新潮社 牛込
俠漢前田幸作の全貌	若杉清一	・一〇	◎	一八	九州讀賣新聞社出版部 福岡
曾我物語（上）		・五〇	○	二一〇	三敎書院 中野
週刊朝日文庫（二）テパートの白魔	大道弘雄	・三〇	×	二四六	朝日新聞社 大阪
新潮文庫（一三六）ランデの死物	アルツイバアセフ原久一郎譯	・三〇	×	三一四	新潮社 牛込
義人謝花昇傳	新興社	一・六〇	○	四二三	新興社 神田
火彩國風景	海野十三	一・六〇	○	四〇四	春秋社 日本橋
物語日本文學（二三）假名手本忠臣藏	藤村作		○	二三八	至文堂 牛込
奇蹟の扉	大下宇陀兒	一・五〇	○	四三五	新潮社 同
東海道中膝栗毛（下）		・五〇	○	二一八	三敎書院 中野
バルザックの生涯	若園清太郎	一・三〇	○	二六七	建設社 牛込
チエーホフ全集（一）	中村白葉	二・五〇	○	四七三	金星社 神田
新編水滸畫傳（三）		・五〇	○	二八六	三敎書院 中野
日本小說文庫（三二三）生活線ABC（前篇）	細田民樹	・四〇	×	三一五	春陽堂 日本橋
日本小說文庫（三二三）生活線ABC（後篇）	同	・四〇	×	三三	同 同
エロ的密書 ラブレローマンス	ターー	・三五	×	二〇八	忠文館 大阪
現代ユーモア小說全集（四）街頭連絡醫者と坊主	北村小松	一・〇〇	○	四六七	アトリエ社 牛込
激流 三上於菟吉全集（二）	三上於菟吉		○	七七七	平凡社 日本橋
探偵小說 オフェリヤ殺し	小栗虫太郎	一・六〇	○	三九二	春秋社 同
吉田絃二郎全集（一三）	吉田絃二郎	一・五〇	○	五三一	新潮社 牛込
ソヴエト極地探檢船チエリユスキン號の最後	平岡雅英	一・五〇	○	三七一	ナカウ社 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
新作探偵小說處女白骨の處女	森下雨村	一・五〇	〇四四五	新潮社 牛込
直木三十五全集（一〇）	直木三十五		〇四七四	改造社 芝
【九月】				
國際スパムツソリニイ小說敗るゝ日	オツブン ハイム 深澤正策譯	一・〇〇	〇三三〇	新潮社 牛込
直木三十五全集（一九）	直木三十五		〇五九九	改造社 芝
有朋堂文庫 倩柴田舍源氏（上）	塚本哲三	非	×六三八	有朋堂 神田
田上於菟吉全集（三）愛憎秘錄雪之丞變化（續）	三上於菟吉		〇七一三	平凡社 日本橋
人生これで一人前	松原謹治	一・五〇	〇三七二	千倉書房 京橋
軍事小說 世界は平和？	中島武	一・五〇	〇三九九	學而書院 下谷
有朋堂文庫 浮世風呂 浮世床	塚本哲三	非	×六一四	有朋堂 神田
有朋堂文庫 近世說美少年錄（下）	同	同	×六三〇	同 同
一つの死	新田有明	・五〇	〇一五八	生命會出版部 東京
人狼—怪奇殺人 モーパッサン傑作短篇集（一）戀愛小說集	伊東銳太郎	一・五〇	〇三三五	日本公論社 神田
物語日本文學（一九）近松世話物集	藤村作			
大衆文學名作選（七）新撰組・長學大講義	白井喬二	一・〇〇	〇二一七四	平凡社 日本橋
隱者の夕暮	ロベスタ ツチ 神島政雄譯	一・八〇	〇二〇六	目黑書店 神田
熱情のハートより 愛の手紙	青年圖書刊行會	・四〇	×二四三	泰光堂書店 下谷
英雄行進曲	佐藤紅綠	一・〇〇	〇四四六	大日本雄辯會講談社 小石川
大菩薩峠 映畫豪本	中里介山	非	◎三一四	隣人之友社 日本橋
リアリズム文學叢書一 石田三成	貴司山治	・五〇	〇一六一	文學案內社 京橋
魂を衝る男	アンドレロモオロア 百代譯	・九〇	〇一三五	作品社 同
自分の鷄	丹羽文雄	二・〇〇	〇四一七	双雅房 杉並
ユーモアちやつかり夫婦小說集	林二九太	一・三〇	〇四二〇	實業之日本社 京橋
惡太郎	尾崎士郎	一・五〇	〇三八八	黎明社 芝
世界名作文庫（八〇）	アタラ・ルネ 林文雄	・三五	×一六一	春陽堂 日本橋
殺人姪樂城	昌幸	一・三〇	〇二七八	版畫莊 京橋
太閤記（八）	矢田挿雲	一・〇〇	〇六六九	中央公論社 麹町
雨瀟瀟	永井荷風	三・〇〇	〇六七	野田書房 牛込
質金つくりの日記	鈴木健郎	一・〇〇	〇三三八	白水社 神田
悲戀文 ラブレター	青年圖書刊行會	・四〇	×二四三	泰光堂書店 下谷
探偵小說 鬼火	横溝正史	一・五〇	〇三〇八	春秋社 日本橋
亂步傑作選集（九） 盲獸	江戸川亂步		〇五〇八	平凡社 日本橋
龍涎香	久米正雄	一・八〇	〇五一四	改造社 芝
戲曲 ボオルボヌ外一篇	ロマン・ロオラン 長谷川義雄譯	・七〇	〇二〇四	立命館出版部 京橋
岩波文庫二三一—二三二 屋根裏の哲人	エストウル 木村太郎譯	・四〇	×二三〇	岩波書店 神田
トルストーイ愛の曆	原久一郎	一・五〇	〇四二六	三笠書房 同
岩波文庫一二一九	近松門左工門 近藤忠義校	・三〇	×一四四	岩波書店 同
曾根崎心中 用明天皇・職人鑑	キルーフアス 田島滋三譯	一・〇〇	〇三〇一	黑白書房 牛込
緯度殺人事件	エラリー クイーン	一・〇〇	〇二九一	同 同
支那オレンヂの秘密	大門一男譯			
パルムの僧院	スタンダール 田禮門譯	三・三〇	〇六六五	サイレン社 神田
探偵捕物肉の犧牲	白井賢二	一・五〇	〇四五六	泰光堂 下谷
物語日本探偵小說傑作集	江戸川亂步	二・二〇	〇七四〇	春秋社 日本橋
二枚の肖像畫	L・J・ピーストン 延原謙譯	一・〇〇	〇三〇五	黑白書房 牛込
ゴルダー	ネモロフスキイ イレーメ	一・三〇	〇三〇一	西東書林 京橋
竹藪の家	内田岐 三雄譯	一・五〇	◎	ポン書店 豐島
浪曼主義者の手帖	林房雄	一・八〇	◎二七五	サイレン社 神田
フオサイト家物語	小稼義男	二・五〇	◎四三六	四條書房 同
現代ユーモア小說集 嘯扇樂屋導 碁盤貞操帶（五）	德川夢聲	一・〇〇	◎四七四	アトリエ社 牛込
第二線	小沼美知彥	一・〇〇	◎五七二	第二線之友社 木郷
津輕の野づら	深田久彌	二・二〇	◎二四九	作品社 京橋
理想のマンスフイールド短篇集 家族	岩倉具榮	一・八〇	〇二四五	東京精神分析學研究所出版部 木郷
維新秘史小說全集（一） 黑船來	菊池寬	一・三〇	〇三七四	改造社 芝
科學小說 太平洋！	北連城	一・五〇	〇三七二	日本公論社 神田
世界名作文庫一八七 シユーアン黨前篇	パルザック 和田顯太郎譯	・四〇	×二八三	春陽堂 日本橋
萬五郎青春期	野村胡堂	一・二〇	〇五六六	新潮社 牛込

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
世界名作文庫（三二）カスタブリッヂの市長（後篇）	ハーディ 宮島新三郎譯	・四〇	×三三	春陽堂 日本橋
日本小說文庫 三七七 白髮鬼	江戸川亂步	・三〇	×二〇八	同
同 三八一 ユーモア小說猥婦	佐々木味津三	・二〇	×一四二	同
大日本文庫文學篇 近松淨瑠璃傑作集下	和田利彥	非	○五八〇	春陽堂
牡蠣	林芙美子	・二〇	◎三四〇	改造社
維新秘史小說全集（八）薩英戰爭	白井喬二	・二〇	○四七六	同
秋の朝	吉田絃二郎	・八〇	○三八〇	同
祖國の娘	倉田百三	・五〇	○四八八	平凡社
昭和草双紙 江戸囃男祭	鈴木氏亨	・八〇	○五六五	春秋社
續人生劇場 愛慾篇	尾崎士郎	・五〇	○五一〇	竹村書房
情痴の華	堀伊八	・五〇	○四五二	自然社
【十月】				
大衆文學名作選（八）落花の舞	前田曙山	・〇〇	○二八四	平凡社
小酒井不木作集 闘爭	小酒井久枝	・六〇	○四二三	春秋社
西班牙狂想曲	ビュルス	・〇〇	○三二四	西東書林 京橋
おろしや船	飯島正譯 目黑十郎	・〇〇	○三六四	言海書房 小石川
愛と殘酷	堀伊八		○三〇九	文藝刊行會 京都
亂步傑作選集一〇 孤島の鬼	江戸川亂步		○四八八	平凡社 日本橋
バルザック全集（二）	吉江喬松 恒川義夫	・五〇	◎三六一	河出書房 同
荊棘の冠	里見弴	・〇〇	○二三〇	中央公論社 麹町
和蘭陀靴の秘密	エレリー クイーン 露下孝譯	・六〇	○三四七	春秋社 日本橋
現代ユーモア小說全集六 虹の下の街 チエコとチヤコ株式會社	中村正常	・〇〇	○四七〇	アトリエ社 牛込
小群盲珠を失ふ	平田純秀	・六〇	○二七四	東光社 淀橋
青年戲曲集	熊谷辰治郎	・四〇	○一五五	日本青年館 四谷
日本小說文庫（三八二） ユーモア小說 戀を吹く喇叭	佐々木味津三	・二〇	×一四五	春陽堂 日本橋
サンドブツグ わが毒舌	石川湧	・八〇	○三二四	サイレン社 神田
世界探偵名作全集一 赤毛のレドメイン家	フイツツ ボツツ	・五〇	○三四三	柳香書院 京橋
春陽堂文庫（一二六） 太閤記（九）	井上良夫譯 矢田挿雲	・〇〇	○六六〇	中央公論社 麹町
同（一二八） 荒絹	志賀直哉	・五〇	×二六〇	春陽堂 日本橋
日本小說文庫（三七四） 綠草心理	前田夕暮	・三〇	×一七七	同
本朝俠客列傳	佐々木味津三	・三五	×二七二	同
或る討伐隊員の手記	安藤盛	・五〇	○四二〇	言海書房 小石川
美妙選集（上）	山田武彥	・〇〇	◎六八一	立命館出版部 京都
同（下）	同	・〇〇	◎五六九	同
創作集越天樂	近衞直麿	・〇〇	△一二〇	近衞家 麹町
異風黑白記	大佛次郎	・二〇	○五二二	新潮社 牛込
岩波文庫 二三三—二三五 フイリツプ短篇集 小さき町にて	淀野隆三	・四〇	×二九二	岩波書店 神田
同 昔がたり 二三八—二三九	杉捷夫譯 アナトール フランス	・四〇	×二九八	同
同 寶島 二三〇—二三一	ステイーヴンスン 佐々木直次郎	・四〇	×三三五	同
大島萬世戲曲集	大島萬世	・五〇	○三九八	演劇研究社 豐島

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
ゲーテ全集（八）	倉田割 伊藤武雄	・五〇	○四七七	ゲーテ全集刊行會 淀橋
新進プロレタリア文學總叢（五）悲しき愛情	平林たい子	・二〇	○三四九	ナウカ社 神田
日本小說文庫（三一三） 小笠原壹岐守	佐々木味津三	・五〇	×二六九	春陽堂 日本橋
西鶴全集（四）	正宗敦夫	非	○八五	日本古典全集刊行會 豐島
物語日本文學（二四） 椿說弓張月	藤村作		○二四八	至文堂 牛込
自選傑作集	吉川英治	・〇〇	○四一二	新英社 麹町
シャーロック ホームズ（一）	江戸川亂步	・五〇	×四〇七	平凡社 日本橋
同（二）	同	・五〇	×四五三	同
世界探偵傑作叢書 鐘乳洞殺人事件（五）	横溝正史	・〇〇	○二九七	黑白書房 牛込
血液型殺人事件	甲賀三郎	・五〇	○三四九	ぶろふいる社 淺谷
キエルケゴール選集（二）	桑田秀延 外二名	・五〇	◎四五三	改造社 芝
石榴	江戸川亂步	・〇〇	○三二一	柳香書院 京橋
我が成長	佐藤春夫	・五〇	○一七九	新小說社 神田
世界探偵傑作叢書 墨い駱駝（四）	アールデルビガアス 乾信一郎譯	・〇〇	○三四六	黑白書房 牛込

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
競馬殺人事件	ヴァイアン	一・六〇	〇三七	日本公論社 神田
松五郎捕物帳	伴大矩譯 栗島狹衣	一・三〇	〇四一九	松光書院 大阪
晴れゆく虹	北島春石	一・五〇	◎五〇四	春江堂 日本橋
世界名作文庫（一七）ヂャック第一部	ドオデエ 八木さわ子譯	・四〇	×二九八	春陽堂 同
支那小說 四嬌奇緣	山縣初男	二・五〇	〇五八〇	秋豐園出版部 神田
【十一月】				
怪談と名刀	本堂平四郎	二・〇〇	〇三八八	羽澤文庫 淺谷
信仰小說 微笑	片桐龍子	二・〇〇	〇五四六	忠誠婦德會 岐阜
憎しみの坩堝	藤澤恒夫	一・五〇	〇三六八	政經書院 京都
難思	村田鐵三郎	一・八〇	〇三八〇	有光社 麴町
探偵小說集 俘囚	海野十三	一・五〇	〇四二〇	黑白書房 牛込
振袖役者	邦枝完二	一・八〇	〇五八〇	秋豐園出版部 神田
水戸黃門漫遊二頭馬車	本橋龍雄	一・二〇	〇三二九	春江堂 日本橋
人と藝術	津村京村	一・二〇	〇三二九	人と藝術社 淺谷

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
大衆文學名作選八 半七捕物帳白蝶怪	岡本綺堂	一・〇〇	〇一五七	平凡社 日本橋
三上於菟吉全集五 日輪	三上於菟吉		〇五六五	同
受難の生母	山中峰太郎	一・七〇	〇四一四	新潮社 牛込
世界名作文庫 虐げられし人々	ドストエフスキー 昇曉夢譯	一・五〇	〇五〇四	同
同 父と子・處女地	ツゲーネフ 米川正夫譯	一・五〇	〇五二四	同
同 ファウスト其他	ゲーテ 秦豐吉譯	一・五〇	〇五三三	同
同 アンナ・カレーニナ上	トルストイ 原久一郎譯	一・五〇	〇五六四	同
白き處女地	ルイエモン 山內義雄譯	一・〇〇	〇三一九	白水社 神田
有朋堂文庫 東海道中膝栗毛	塚本哲三	非	×七七四	有朋堂 同
春色籬の梅	森楚水 中村善市	一・二〇	〇一九四	春水書房 小石川
直木三十五全集（一七）	直木三十五		〇三九〇	改造社 芝
新撰劇作叢書 二十六 番館	川口一郎	・八〇	〇一七八	白水社 神田
同 澤氏の二人娘	岸田國士	・八〇	〇一八二	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
リアリズム文學叢書 逆流に立つ男	德永直	・五〇	〇一四五	文學案內社 京橋
猫町	萩原朔太郎	・七〇	◎三七	版畫莊 同
その流域	賀川豐彥	一・三〇	〇三六九	大日本雄辯會講談社 小石川
世界探偵傑作叢書七 殺人環	川井蕃	一・〇〇	〇二九二	黑白書房 牛込
有朋堂文庫 椿說弓張月	塚本哲三	非	×八一〇	有朋堂 神田
同 修紫田舍源氏（下）	同	非	×六三八	同 同
同 窓のすさみ（外二篇）	同	非	×五二〇	同
ジョルジュ・サンドへの書翰	タギアフ 中村光夫譯	二・〇〇	〇三三五	文圓堂書店 本郷
亂歩傑作選集一一 獵奇の果	江戸川亂歩		〇四一二	平凡社 日本橋
遊戲菩薩	吉川英治	一・四〇	〇三五五	新英社 麴町
神童 外二篇	ハツレー 平田秀木譯	一・五〇	〇三三五	研究社 同
室町時代短篇集	笹野堅	六・八〇	◎四七一	栗田書店 神田
大語園八	巖谷小波	二・八〇	◎七八四	平凡社 日本橋
探偵小說 地獄橫町	渡邊啓助	一・七〇	〇四四八	春秋社 同
手紙の女	大佛次郎	二・〇〇	◎二一三	竹村書房 四谷
モンパルナスの夜	ジョル・ジュ・シメノン 永戸俊雄譯	一・二〇	〇二七三	西東書林 京橋
モーパッサン傑作短篇集（三）	エドガ A・ポオ 辰野隆	一・〇〇	〇二八四	河出書房 日本橋
覺書	吉田健一譯 岡本綺堂	一・三〇	〇二四一	芝書店 品川
支那怪奇小說集	ポオ レエルド 矢野文夫譯	二・〇〇	〇四八五	サイレン社 神田
惡の華	ボオドレエル 中野實	二・五〇	〇四六六	耕進社 本郷
現代ユーモア小說全集七 パパの青春・新女性大學	芹澤光治良 新庄嘉章	一・〇〇	〇四八六	アトリエ社 牛込
情痴の華	堀伊八	二・五〇	◎四七七	河出書房 日本橋
バルザック全集（五）	井上宗次	・二〇	×一〇五	春陽堂 同
世界名作文庫（四三八）歸鄉	土岐善麿	一・五〇	〇三三五	四條書房 神田
影を踏む	寺田瑛	一・五〇	〇三一八	三餘書房 麴町
分連續線街を拾ふ	生田長江 外二名	一・五〇	〇五八九	新潮社 牛込
漂ふ草花	富澤有爲男	一・八〇	〇四三一	那須書房 王子
評譯江戸文學叢書 諸本傑作集	和田萬吉		◎七八九	大日本雄辯會講談社 小石川

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
空の王者	武富邦茂	一・二〇	〇三七六	實業之日本社（京橋）
日本小說文庫三五五 國定忠次前篇	子母澤寛	・三〇	×二三四	春陽堂（日本橋）
同 （三七六）後篇	同	・三〇	×二三三	同
【十二月】				
青銅の基督	長與善郎	一・五〇	〇二六四	荻原星文館（神田）
岩波文庫三色菫 一二五四 溺死	シュトルム 伊藤武雄譯	・二〇	×一五四	岩波書店（同）
酒と酒	佐藤春夫	一・五〇	〇二七四	荻原星文館（同）
世界探偵傑作叢書八 西班牙岬の秘密	エラリイ・クイーン	一・〇〇	〇二六四	黑白書房（牛込）
岩波文庫 一二五五 地平の彼方	オニール 清野一郎譯	・二〇	×一四四	岩波書店（神田）
世界探偵傑作叢書九 クリヴドン事件	オクレ夫人 新井無人譯	一・〇〇	〇二八六	黑白書房（牛込）
トロツトと猫と犬	アンドレ・リシュチンベルジュ 望月百合子譯	一・二〇	〇二一七	ふらんす書房（澁谷）
世界探偵名作全書三 赤色館の秘密	A・A・ミルン 妹尾アキ夫譯	一・五〇	〇三〇九	柳香書院（京橋）
新錢形平次捕物控 篇	野村胡堂	一・五〇	〇五二〇	千代田書院（麹町）
世界名作文庫二四一 後尾車にて・路上	レオンハルト・フランク 小島尙譯	・二〇	×二二六	春陽堂（日本橋）
現代ユーモア小說全集（八）	益田甫	一・〇〇	〇四八四	アトリエ社（牛込）
新潮文庫（一五九）浴槽の花嫁	谷讓次		×四〇三	新潮社（同）
同 （一六〇）もだんかめろん	同		×三〇六	同
煙草と惡魔	芥川龍之助	一・五〇	〇二〇〇	荻原星文館（神田）
續股旅新八景	長谷川伸	一・〇〇	〇三六四	新小說社（神田）
支那大盜傳	澁川玄耳	二・〇〇	〇三六六	白永社（麹町）
ゲーテ全集（二六）	山本三生		〇六二一	改造社（芝）
恩讐の彼方に	菊池寛	一・五〇	〇二八三	荻原星文館（神田）
新潮文庫一五八 テキサス無宿	谷讓次	・四〇	×二九三	新潮社（牛込）
戀の決死隊 滿蒙獨立の秘話	濱本浩	・一〇	〇四六	第百書房（芝）
新潮文庫一五四 アイヴンホー下	スコット 日高只一譯	・四五	×三八四	新潮社（牛込）
梅の咲くころ	吉田絃二郎	・八〇	〇二六二	同（同）
日本小說文庫三八四 隱密一代男	佐々木味津三	・三五	×二五六	春陽堂（日本橋）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
岩波文庫一二三八―二二九 ジヤン・クリストフ七	ロマン・ローラン 豐島與志雄譯	・四〇	×二七四	岩波書店（神田）
藤岡博士言語學功績記念論文集	小倉進平	四・〇〇	〇六九五	同（同）
お酒落狂女 燃ゆる血潮	本田美禪	一・〇〇	〇一六八	平凡社（日本橋）
ドストイエフスキイ全集（三）	熊澤復六	一・五〇	〇六五三	三笠書房（神田）
耶蘇	武者小路實篤	一・〇〇	〇二〇四	山本書店（牛込）
トルストイとドストエーフスキイ	メレジユコーフスキイ 昇曙夢譯	一・一〇	〇五六〇	東京堂（麹町）
探偵小說 狂樂師	大下宇陀兒	一・六〇	〇五〇八	春秋社（日本橋）
ジイド全集（一八）		一・五〇	〇六三一	金星堂（神田）
トルストイ全集（一三）	神田龍一	二・八〇	〇	春秋社（日本橋）
探偵小說 殺人鬼	濱尾四郎	一・八〇	〇五〇七	同（同）
野鳥と共に	中西悟堂	二・八〇	◎三八〇	集林書房（神田）
戀の絞章				
支那仙人傳	澁川玄耳	二・〇〇	〇三八二	白永社（同）
新撰劇作叢書 おふくろ他三篇	田中千禾夫	・八〇	〇一七二	白水社（神田）
新潮文庫（一五七）山上に立つ	野口米次郎	・三〇	×二二二	新潮社（牛込）
ドラゴン殺人事件	S・S・ヴアンダイン 伊大知譯	一・二〇	〇四一九	日本公論社（神田）
瀨戸內海の子供ら	小山祐士	・八〇	〇一九五	小山祐士（同）
白魔	ローラ・ジヤースカレット 森下雨村譯	一・六〇	〇三九四	春秋社（日本橋）
チエーホフ全集（一四）	中村白葉	二・五〇	〇三七四	金星堂（神田）
尾州家河內源氏物語開題	鈴木信吉		非◎四一四	尾張徳川黎明會（豐島）
チヤタレイ夫人の戀人	D・H・ロレンス 伊藤整譯	一・八〇	〇五九五	健文社（神田）
綴方讀本	鈴木三重吉	一・六〇	〇五八四	中央公論社（麹町）
モーパッサン傑作短篇集	豐島與志雄	一・〇〇	〇三〇六	河出書房（日本橋）
冀の誓ひ	武者小路實篤	一・三〇	〇四七二	新潮社（牛込）
文藝傑作選集釋迦と其弟子	福永恭助	一・五〇	〇二六〇	荻原星文館（神田）
ヴアリエテ	ボオドレエル 中島健藏外一名	一・五〇	〇二九二	白水社（神田）
北極の狼犬	ジヤック・オブライエン 赤城利夫譯	一・三〇	〇一三三	不二屋書房（芝）

號數活字（舊活字）の大きさ

活字に就て正確な數的觀念は容易につき難いものである。

殊に在來の號數活字、例へば一號と二號の差異を正確に知るには一號は四號の四倍であり、二號は五號の四倍であるから、其差は四號と五號の差の四倍といふやうな複雜な事になる。

初號
一號
二號
三號
四號
五號
六號
七號

四號と五號との差などに至つては尙更らである。又ポイント式でない歐文活字のルビーとプレビア或はボルジョイスとロングプライマー等の大さの差異になると、歐文活字に通じた者でない限り直ぐ分るものではない。

（八）國語

○文典○作文
○習字

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
學術論文の書き方	五島茂	一・〇〇	〇二二五	甲文堂書店（向島）
誤用の文法	小林英夫	三・〇〇	◎二六三	春陽堂（日本橋）
【二月】				
五體法書	七條愷	三・〇〇	變形五冊	西東書房（神田）
和洋手本大成（十一・十二）	下中彌三郎		△二冊	平凡社（日本橋）
行成字鏡	早川友惠	二・八〇	◎	西東書房（神田）
【三月】				
漢碑之研究附蔡邕考	中村不折		變形二三	雄山閣（麹町）
王鐸書草書詩卷	中村丙午郎	三・〇〇	變帙入形一部	孔固亭眞蹟刊行會（下谷）
國語詳解日本國語文法	玉三泉	三・〇〇	◎四九四	岡崎屋書店（神田）
【四月】				
現代作文講義及文範	高木斐川	三・三〇	〇一〇二四	教文社（麹町）
古鈔本玉篇卷（第十八後分）	東方文化學院		卷物	東方文化學院（小石川）
同（第十九殘簡）	同		同	同
和樣手本大成	下中彌三郎		△帙入二冊	平凡社（日本橋）
師範大學講座國語教育	宮邊富次郎		◎箱入四冊	建文館（牛込）
硯墨新語	飯島茂	五・五〇	◎五三三	雄山閣（麹町）
國文故實風俗語集釋	江馬務	四・五〇	◎五三四	共立社（神田）
新撰文章百科大辭典	日本文章研究會	三・〇〇	〇五五八	白線社（同）
言語學方法論考	小林英夫	六・〇〇	◎七八七	三省堂（同）
書道全集（三）草假名部（五）	下中彌三郎		△	平凡社（日本橋）
同	同		△	同（麹町）
書道大講座	柳田伊秀		△	誠文堂（神田）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【五月】				
國語の匂ひと韻	淺野信	二・八〇	◎三六	大岡山書店 麻布
土佐の方言	土井入枝	一・〇〇	○二六五	春陽堂 日本橋
現代國語教育の革新	坂本豊	二・五〇	◎三〇四	明治圖書株式會社 京橋
岩波全書 國語學史要	山田孝雄	・八〇	×三〇	岩波書店 神田
師範大國語學講座 教育（十二）	宮邊富次郎		◎箱入四冊	建文館 牛込
增補 國語音韻論	金田一京助	二・五〇	◎四二〇	刀江書院 神田
漢文の訓讀によりて傳へられたる語法	山田孝雄	三・〇〇	◎三八〇	寶文館 日本橋
書道全集			△	平凡社 同
和樣手本大成			△帙入二冊	同
作法文範 書翰文 古今名家大集成	ヤシマ書房編輯部	二・七〇	○一四三	ヤシマ書房 神田
傳藤原行成 和漢朗詠集	武田基一	二・三〇	◎帙入二冊	武田墨彩堂 下谷
篆隸文體		非	△	古典保存會事務所 神田
【六月】				
書道全集（二）			△	平凡社 日本橋
書道全集（草假名部六）			△	同
【八月】				
昭和碑法帖大觀 新選周宣王石鼓文	田中和市		變形	寧樂書道會 奈良
聚寶帖	豐道慶中	五・〇〇	△折疊	今井閑僊 千葉
日本古典全集 倭訓類林（下）	正宗敦夫	非	○三五六	日本古典全集刊行會 豐島
書道大講座（二）	柳田伊秀		△	誠文堂新光社 神田
和樣手本大成（一〇）			△二冊	平凡社 日本橋
國語の心	勝部謙造	二・〇〇	○二九四	同文書院 四谷
王仁書畫集（一）	平井契地	一五・〇〇	△	天聲社 京都
日本語の音聲學的研究	高松義雄	三・五〇	◎三〇五	厚生閣 麹町
書道全集（九）			△	平凡社 日本橋
同（一〇）			△	同
【九月】				
書契淵源（三）	中島竦	六・〇〇	◎箱入三冊	文求堂書店 本郷
大かゞみ	七條憲	非	◎	古典保存會事務所 神田
和樣手本大成（一二）			△二冊	平凡社 日本橋
大言海	大槻文彦	六・五〇	△一〇四三	富山房 神田
言葉と人生	鳴海連	二・〇〇	○二七九	東宛書房 麹町
古語拾遺精義	溝口駒造	四・五〇	◎五四八	中文館書店 牛込
新修日本書道史	奥山錦洞	三・八〇	◎四八一	啓文社 本郷
書道全集（一三）			△	平凡社 日本橋
同（一四）			△	同
【十月】				
國語表現學	城戸幡太郎	二・八〇	◎三九一	賢文館 神田
國語教育のための國語概說	山田正紀 菅野清 福田初太郎	二・五〇	◎三六九	星野書店 京都
皇覽光墨集		非	△	皇覽會 麹町
大和繪法帖第一輯 新選大觀第八卷	田中和市		變形	寧樂書道會 奈良
鳴鶴先生叢話		三・八〇	◎三〇二	興文社 日本橋
文字を使う法	高田琴三郎	一・五〇	○四四五	千倉書房 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【七月】				
最新速記術獨習	森澤訥行	一・八〇	○三七八	自治刊行社 京橋
婦人書道講座	柳田伊秀		△	誠文堂新光社 神田
動詞の起原的研究	新井無二郎	三・八〇	◎五二八	中文館書店 牛込
翰墨談	後藤朝太郎	二・五〇	○三七七	翰墨同行會 杉並
和樣手本大成（九）	下中彌三郎		△箱入三冊	平凡社 日本橋
假名書道概說	桑田明	三・〇〇	◎三九四	一樂書學院 兵庫
書道全集	下中彌三郎		△二八一	平凡社 日本橋
古典と古語	安藤正次	三・七〇	◎四八九	三省堂 神田
文字は踊る	平野岑次	・五〇	○二八九	大阪毎日新聞社 大阪
展大古法帖（十一）	中根佐一郎	二・〇〇	△	中央書道協會 愛知
寸松菴色紙	武田基一	二・五〇	變形帙入一冊	武田墨彩堂 下谷
受驗國文解釋の綜合的研究	保坂弘司	一・五〇	○八二六	歐文社 淀橋
話法と朗讀法	文部省社會教育局	二・八〇	◎三五一	東洋圖書株式會社 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
書道全集（四）			△	平凡社 日本橋
書道全集（六）			△	同 同
【十一月】				
現代語法概論	丸山林平	一・八〇	○ 四四一	第一書房 麹町
國語音韻論	菊澤季生	三・二〇	◎ 三九二	賢文館 神田
言語哲學	興水實	三・六〇	◎ 四一六	不老閣書房 淀橋
國語國文學講座（一六）			◎	雄山閣 麹町
【十二月】				
埃及文字同源考重計及補遺	板津七三郎		◎ 八六	板津七三郎 愛知

天皇皇族實錄

皇統連綿光輝ある我が皇室の歴史『天皇皇族實錄』は宮内省圖書寮編修課で既に十七年の年月を費して編纂申上げて居たが、最近完成したのでいよ〳〵この程上梓に着手、本年七月中に製本のうへ天覽に供し奉り、宮中に永く御保存あらせられることになつた。原稿は用紙數十萬枚に達し裝幀はB四型、優雅な和書一册約二百四十頁で約三百册、約七萬餘頁の尨大な御記錄になる豫定である。

（九）辭典

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
眞宗大辭典（一）	岡村周薩	五・〇〇	◎ 七八一	眞宗大辭典刊行會 和歌山
最新眼科學大辭典	小磯東吾	三・八〇	◎ 三七二	坂東三弘社 神田
最新外科學大辭典（前篇）	同	三・八〇	◎ 三九二	同 同
同（後篇）	同	三・八〇	◎ 四八三	同 同
最新齒科學大辭典	同	三・八〇	◎ 四八五	同 同
最新小兒科學大辭典	同	三・八〇	◎ 五八八	同 同
川柳辭典	眞繼義太郎	一・五〇	○ 二四〇	興風書院 同
日蘭辭典	フアンデスタット	一〇・〇〇	○ 一三二一	南洋協會 麹町
ソヴエート百科事典	大竹博吉 淡德三郎	四・〇〇	◎ 六七九	ナウカ社 神田
布教百科大辭典（九）	三井晶史 菅原法嶺	二・五〇	◎ 三〇四	東方書院 神田
布教歌謠辭典				
大辭典七（カワーキモン）	下中彌三郎	五・〇〇	△ 六四八	平凡社 日本橋
New Dictionary fo Electrical terms	伊藤榮三郎	三・五〇	○ 四八九	太陽堂書店 神田
銀行會社實務用語辭典	細井藤兵衛	一・二〇	× 二〇八	ダイヤモンド社 麹町
最新模範手紙大辭典	井澤水葉	一・七〇	○ 三三一	博文館 日本橋
法律學辭典一アーケ	末廣嚴太郎 田中耕太郎	七・〇〇	× 六六二	博報館書店 芝
正訓東洋史地人名日漢滿同文辭林（下）	小山愛司	三・二〇	◎	岩波書店 神田
大辭典六（カクタカロン）	下中彌三郎	五・〇〇	× 六二九	中央學會 牛込
兒童百科大辭典一七歷史篇（2）	小原國芳	五・〇〇	× 五八一	玉川學園出版部 淀橋
國民百科大辭典（四）	富山房百科辭典編輯部	七・〇〇	× 八五〇	富山房 神田
現代知識辭典	三井晶史 菅原法嶺	二・五〇	◎ 三三九	東方書院 同
聖書大辭典	馬場嘉市	一五・〇〇	× 一四三七	日曜世界社 大阪

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【三月】				
增補新辭典	藤村作	三・五〇	〇一七七〇	至文堂 牛込
最新願屆書式辭典	大貫將	二・五〇	〇五〇五	經眼社 芝
本草辭典	清水藤太郎	二・〇〇	◎二五三	春陽堂 日本橋
植物學名辭典	牧野富太郎 清水藤太郎	二・五〇	〇三〇三	同 同
The sun English-Japanese Dictionary	村田祐治	二・五〇	×一三八八	日英社 神田
兒童百科大辭典(六)物理篇(一)	小原國芳	五・〇〇	〇五三九	玉川學園出版部 淀橋
大辭典入 キャークトン	下中彌三郎	五・〇〇	〇六五六	平凡社 日本橋
英和海語新辭典	尾崎主稅	三・〇〇	〇六三〇	三省堂 神田
【三月】				
新文典別記上級用	橋本進吉	三・〇〇	◎五七六	富山房 神田
大辭典九(クナーケンタ)	下中彌三郎	五・〇〇	△六四一	平凡社 日本橋
國民百科大辭典(5)(こくみんひゃくかだいじてん)	富山房	七・〇〇	△一六九七	富山房 神田
【四月】				
佛書解說大辭典(一〇)	小野玄妙	七・〇〇	△四五四	大東出版社 芝
和英商業通信辭典	前田定之助	二・五〇	×九四九	寶文館 日本橋
國民百科大辭典六	富山房百科辭典編纂部	七・〇〇	△八五〇	富山房 神田
大日本百科全書	大日本百科全書刊行會	一五・〇〇	◎三〇七三	大日本百科全書刊行會 玉川
大日本百科全書	同	一五・〇〇	◎一〇七一	同 神田
大百科事典八		五・五〇	△六四四	平凡社 日本橋
【八月】				
日滿會話辭典	宮越健太郎	二・九〇	×	富山房 神田
標準ラヂオ大辭典	米澤與三七	四・五〇	○九五三	日本ラヂオ協會 麹町
大辭典(十三)		五・〇〇	△六二五	平凡社 日本橋
陶器大辭典(二)	小野賢一郎	一三・五	△五九六	陶器全集刊行會 芝
萬國新語大辭典	英文大阪毎日學習號編輯局	二・五〇	○一三〇四	大阪出版社 大阪
【九月】				
大日本國民常識大觀	佐野武男		◎一〇七二	教育聯合通信社 京橋
國民百科大辭典七	富山房百科辭典編輯部	七・〇〇	△	富山房 神田
大辭典一四(シュンシンツ)		五・〇〇	△六五二	平凡社 日本橋
補遺日本民族學辭典	中山太郎	二・八〇	○四二九	昭和書房 神田
【十月】				
世界地名大辭典索引	小林房太郎	八・〇〇	△七四三	南光社 神田
世界文藝辭典(一)	吉江喬松	七・〇〇	△六八四	中央公論社 麹町
大百科事典二八索引		一四・〇	△二四〇〇	平凡社 日本橋
廣文庫(第一册)	物集高見	七・五〇	◎三三二	廣文庫刊行會 本郷
兒童百科大辭典(六)	小原國芳	五・〇〇	△五四六	玉川學園出版部 淀橋
露和辭典	八杉貞利	九・〇〇	×一四一七	岩波書店 神田
陶器大辭典(三)	小野賢一郎	一五・〇〇	△六〇八	陶器全集刊行會 芝
大辭典(一五)		五・〇〇	△六五〇	平凡社 日本橋
【十一月】				
日本民謠辭典	小寺融吉	四・〇〇	◎三六八	小澤鋠次郎 淺谷

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
日本刀辭典(新刀篇)	富田正二	四・五〇	△三五九	立命館出版部 京都
【五月】				
大辭典(一〇)	下中彌三郎	五・〇〇	△六六一	平凡社 日本橋
日本文學大辭典別卷	佐藤義亮	五・〇〇	△	新潮社 牛込
新撰和エス辭典	岡本好次	二・五〇	×八〇三	日本エスペラント學會 本郷
机上大辭典	內海弘藏	二・〇〇	×一四九四	根岸與三吉 神田
地學辭典索引	渡邊貫		○二九八	古今書院 同
鹿兒島方言辭典	島戶貞良	一・〇〇	○四五九	島戶貞良 鹿兒島
大辭典	下中彌三郎	五・〇〇	△六四四	平凡社 日本橋
【六月】				
最新支那語大辭典	石山福治	六・〇〇	◎一七四六	第一書房 麹町
增訂教育辭典	篠原助市	八・〇〇	◎二一五	寶文館 日本橋
類似植物分類鑑定辭典	齊藤義三郎	二・八〇	○六二六	啓文社 本郷
法律學辭典(二)(シーコ)	末弘嚴太郎 田中耕太郎	七・〇〇	△八〇七	岩波書店 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
滿蒙歷史地理辭典	佐藤種治	二・三〇	〇三八六	佐藤種治 富山
兒童百科大辭典四 植物篇 二	小原國芳	五・〇〇	△五四〇	玉川學園出版部 淀橋
廣文庫（第二册）	物集高見	七・五〇	◎一〇七八	廣文庫刊行會 本郷
詳解露語熟語辭典	水谷健行	三・八〇	〇三五四	橘書店 牛込
【十二月】				
原寸速解草書大字典	圓道祐之	四・五〇	◎九六〇	大倉書店 日本橋
鐵道用語辭典	大阪鐵道局	八・〇〇	△八三八	博文館 同
和漢故事成語辭海	松村武雄	三・八〇	〇一三五三	有宏社 神田
國民百科大辭典	富山房百科辭典編纂部	七・〇〇	△八五〇	富山房 同

文士の收入

セシル・ロバーツの信するところによると英本國だけでも、小說家が四千人はゐるが、そのうち三千五百人は、年收二百ポンド以下である。彼の見積りでは、英國の文士の平均年收は百五十ポンドから二百ポンドとなつてゐる。ある時彼は、ジャーナリストで小說家のザア・フイリプ・ギブズから「おれは年三萬ポンドは儲けるよ。」と聞かされて、もう少しで氣絕するところだつたといふ。これは勿論でたらめで、三千ポンドだつて眉唾ものだ。

なほロバーツによると、高級車ロルス・ロイスに乘り廻してゐるやうな金廻りのよい文士は、作品自身からといふよりは他の收入でさうした贅澤な生活を維持してゐる—例へば、本が賣れると映畫會社が來て、その本そのものではなく、タイトルを買ふ。すると、作者は、そのタイトルで製作した映畫を見て、それを種に新しい作品を書いて、また儲ける。一方、新聞社から好い條件で原稿の依頼があるといつた風に。

（一〇）外國語

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
英・獨・佛・露 四國語對照文法	乾輝雄	三・八〇	〇五七三	富山房 神田
文學、物理學、化學を學ぶ人の獨逸語根柢	青木一郎	一・五〇	〇二九〇	東京物理學校同窓會 牛込
日滿新會話	山崎桃洲	・七〇	×一六三	近代文藝社 大阪
日滿會話獨修	鹿島修正	・七〇	×一六五	同 同
滿洲語會話獨習	佐藤三郎治	・八〇	〇一六九	巧人社 同
日鮮會話（第一步）	金島苦水	一・二〇	〇三五〇	近代文藝社 同
English short stories	松邑三松堂	一・一〇	〇二四三	松邑三松堂 京橋
獨文新選	松岡敏幸	・九〇	〇九八	尙文堂 神田
English short stories of to-day	若林秀三	一・〇〇	〇一五〇	開隆堂書店 同
Lone of life and other stories	日高月明喜	・五〇	〇一〇六	大倉廣文堂 京橋
Limitations of Science	片岡貴太郎	・九〇	〇一四三	開隆堂書店 神田
Some makers of the modern spirits	長澤英一郎	一・〇〇	〇一七八	大倉廣文堂 京橋
More adventures in England	A. W. Medley	一・一〇	〇一六五	泰文堂 神田
Tess of the D'urbervilles	木村秀夫	一・〇〇	〇一七三	開隆堂書店 同
Sermon on shaiving and other easys	岡部次郎	・八〇	〇一二六	同 同
Abraham Lincoen	清野暢一郎	一・〇〇	〇一四五	同 同
Modern Short Stories	篠原寬	一・二〇	〇一六八	平野書店 京都
Japan-Mancharkno gear book 1935 改訂版	芝東吾		△三二一	ジヤパンマンチ・ユーニー年鑑社 麴町
Who's who in Japan 1934—35	龜坂常三郎	一三・〇〇	〇	フース・フー・イヤパン社 芝
Science in the Changing world	久野眞吉	・六〇	〇一三三	開隆堂書店 神田
Boswell's life of Jhouson	片山俊	一・〇〇	〇一五七	平野書店 京都

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所
滿洲語辭義錄 第一卷	坂卷純一	一・〇〇	◎	二一	日滿皇風協會出版部 川崎
自修露西亞語初步	吉田清一	一・二〇	○	一四六	青木學修堂 神田
簡易露語入門	米川正夫	一・二〇	×	二〇三	橋書店 日本橋
獨文手紙の書き方	竹内萬兵衛	一・八〇	◎	二二八	尙文堂 神田
英語學パンフレット 品詞の機能	中島文雄	・三五	◎	三四	研究社 麴町
同韻律論	清水護	・三五	◎	三〇	同
同シンタクスの短路的傾向	高谷信一	・三五	◎	三三	同
獨逸語の條件法	Carl Schneider	・八〇	○	七九	南山堂 本郷
スペイン語第一步	佐藤久平	一・八〇	◎	一三五	白水社 神田
Untersuchungen über Emlrgochemie, w-Amino -oxysauren, Uergleichhnde Blochemie nnd Uerschied-cnes (1921—1931)	富田雅次		◎	七九八	富田雅次 長崎
Reminisces of childhood.	新渡戸萬里子	二・〇〇	◎		新渡戸萬里子 小石川
Madhyanibhagatika	山口益	六・五〇	◎	二七七	破塵閣書房 愛知
Japan today and Tomorrow.	荒木利一郎		△	一八四	大阪毎日新聞社 大阪
Readings in Business Economics.	木村喜一郎 松井辰之助	非	◎	三三	大同書院 同
The Romance of Japan.	James A.B. Scherer	三・八〇	◎	三八	北星堂書店 神田
Japan-Manchovhuo gear bookuo gear book 1935	芝東吾	一五・〇〇	×	二三一	ジヤパン・マンチユコー年鑑社 麴町
日佛會館學報 佛文編 (第六卷 第三號)	曾我祐邦	一・五〇	◎	二三四	日佛會館 神田
The Spirit of Japan.	宮崎小八郎 外二名	二・〇〇	○	一九九	ストウジ全集刊行會 日本橋
Tokyo Histologische und und experi-mentelle Untersuchungen über die Epiphysenfugen der Kohrenknochen mit Ruchsicht auf ihre Beeinflussung burch burch die innersekretorischen Drusen.	ノエル・ヌエット	二・〇〇	×	五〇枚	ジヤパンタイムス社 麴町
Teikoku Kaiji Kyokai The Imperial Japanese marioe Corporation Register of ships. 1934	佐久間義信	四・五〇	×	九四	本島一郎 新潟
					帝國海事協會 麴町

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所
Financiad and Economic annual of Japan.	大藏省	二・〇〇	×	二七九	內閣印刷局 麴町
We Japanese	エフ・デ・ガリス	二・五〇	◎	二〇〇	山口正造 神奈川
Seven talks on England	Tohn W.Palmer	一・二〇	○	二五四	北星堂書店 神田
The drift of civilization	日進堂	一・〇〇	○	一八四	日進堂 兵庫
Wintry Peacoek	古澤安二郎	・七五	○	一〇六	莊人社 神田
Essays by great scientists	長澤英一郎	・六〇	○	一二三	東京開成館 小石川
Three stories from English Literatuse	同	・七〇	○	一三六	同
Short stories English and American	同	・六五	○	一二七	同
Der kappa 河童	高坂義之	一・五〇	○	二〇一	尙文堂 神田
世界の初	山本經	・八〇	○	一五三	四條書房 同
Ch osen Essays	稻葉三郎	・五三	○	一七二	北星堂書店 同
Thesense of things	岡部次郎	・八〇	○	二二四	莊人社 同
女の心獨和對譯	倉田圭吉	一・五〇	○	一〇三	平原社 京橋
The secret sharrer	橫井德治	・五〇	×	七五	大倉廣文堂 同
ドイツ語文庫 赤帽子	川村義雄	・二〇	×	五一	尙文堂 神田
The John Milton an Essay	西崎一郎	・六〇	○	九一	北星堂書店 神田
Japanese Gardens	國際觀光協會	・五〇	○	一一〇	國際觀光協會 麴町
獨逸語全書 物理と化學 第一編	中山久	一・五〇	×	一七九	日獨書院 本郷
教本大系 第二十二 (獨語)	小立鉦四郎	・四〇	×	六一	南江堂 同
New sketches of men and life	福田市平	一・五〇	○	一二九	丸善 日本橋
モルナール傑作短篇集 2	松室重行	一・二〇	×	一五一	日獨書院 本郷
Kriegsbriefe gefallener studenten	尾崎賢三郎	一・一〇	×	一四四	南山堂 同
綜合的獨逸小讀本	久保直方	・八〇	◎	八一	同
【二月】					
最新獨逸文法	小村實	一・三〇	○	一五一	太陽堂書店 神田
高等英文法	宮井安	・〇〇	○	二二四	嶺光社 同
獨逸語新教程	鼓常良	一・〇〇	○	一三三	大學書林 牛込
Reseasch into the Nature & Scope of Sccent in the light of experimental phonetics	千葉勉	・八〇	○	一〇九	富山房 神田

書名	著譯者	定價	形體 頁數	發行所
學名中心羅典語法	永井一夫	一・三〇	〇一三七	南山堂書店 本郷
支那語現代文の解釋 Festschrift—1934 Ino. Kubo.	藤枝丈夫	一・二〇	〇二四四	大學書林 牛込
The Japan & Manchoukuo 1934—35	立木豊		〇三七八	ヘラルド社 麹町
ジャパン・ラシイヌ	長谷琴治	三五・〇〇	〇五三三	ニューヨーク・ジャパン社 赤坂
近代英詩評釋	工藤肅譯 ジュウルメエトル	三・二〇	◎四六一	川瀨日進堂 兵庫
Sacred Treasures of Nara.	矢野禾積	二・二〇	〇三六三	三省堂 神田
Jaurnal of the Osaka University of Commerce.	松岡朝子	一・五〇	〇六二	北星堂書店 同
Tokyo.	大阪商科大學經濟研究會	一・五〇	〇一三九	同 大阪
ドイツ語文庫	ノエル ヌエット	四・〇〇	〇五〇	ジャパンタイムス社 麹町
幽靈船の話	安井源雄	・四〇	×一〇〇	尙文堂 神田
日佛會話	阿部謙太郎	一・六〇	〇二一九	平原社 京橋
巴里生活	西川融	・九五	〇一九三	平野書店 京都
Our neighbour the moon	飯島隆	一・〇〇	〇一〇〇	大洞書房 澁谷
Far from the madding Crowd	志水三津男	一・〇〇	〇一六二	同 同
Dife and art	尾崎忠男	・九〇	〇一三七	同 同
Essays of modern masters				

書名	著譯者	定價	形體 頁數	發行所
英文方丈記	板倉順治	二・〇〇	〇四四	大京堂書店 神田
Culture and anarchy	宍倉保	一・二〇	〇一七〇	創元社 大阪
An Inland voyagd	村上喜貞		〇一三三	村上喜貞 京都
Die Mandschurei und die weltlage	吉田豊吉	・六〇	〇九一	大倉廣文堂 京橋
初級獨逸語教本	小村實	・八〇	〇二一〇	大學書林 牛込
Neuere Japanische Literatur	篠田一人外	一・七〇	〇一九五	文精社 神田
Neun Marchen	成瀨清	・八〇	〇八三	春陽堂 日本橋
The Nightingale arrives	岡部次郎	一・〇〇	〇一三六	大洞書房 澁谷
Where is mankind going	坂井正一	一・〇〇	〇一三八	同
Best stories from A. E. Coppard	大洞書房	・八〇	〇九七	同
Ariel	藤本籠曉	一・〇〇	〇一四五	同
America to-day	光畑愛太	一・〇〇	〇一二〇	同
A little of everything	山本智道	一・〇〇	〇一三六	續文堂 神田
An outline of the Japanese Judiciary	三宅正太郎	一・〇〇	◎七八	ジャパンタイムス社 麹町

最後の億萬長者	佛和對譯 山根正吉	一・五〇	〇一〇七	平原社 京橋
Eroine's essays	新津米造	一・〇〇	〇二三三	北星堂書店 神田
The cnlture of men	村田勤	・四五	〇六三	興文社 日本橋
A small treasury of the world's literature	同 同	・五〇	〇九三	同 同
Modern essays no 12	石井正雄	・九〇	〇一三三	開隆堂書店 神田
Great maderns short stories	同 同	一・〇〇	〇一九五	同 同
Robert Lynd ("y.y") selected essays	濱林生之助	一・〇〇	〇一四八	修文館 同
【三月】				
An official guide to Japan	鐵道省		×五〇〇	鐵道省 麹町
Admiral Togo	内田太郎		△三五八	世界之東郷 元帥編纂會 京橋
Secrete of Japan	チヤマンラル	二・〇〇	◎三一八	中央公論社 日本橋
Kikai-kogaku no Aramasi	古賀邦夫	四・五〇	△三五〇	日本ローマ字社 麹町
Ahhidharmakosan-yakhya	友松圓諦	三・〇〇	△二一〇	梵文刊行會 豊島
Japanische Religionsges-chichte	ウエーグンデルト	五・〇〇	◎二六七	日獨文化協會 麹町
ミクロネシア語の綜合研究	松岡靜雄	非	◎五五	池田仲一 神田

【四月】				
Handbook of Japanese Art.	津田敬武		◎五二七	三省堂 神田
假名發音附標準獨和辭典	小立鉦四郎	三・五〇	×八〇一	南江堂 本郷
Outlines of Constitutional law	藤井新一	三・八〇	◎二九三	有斐閣 神田
Current Economic problems.	大觀堂編輯部	二・七〇	〇三三九	大觀堂書店 澁谷
Essays on Economics	同	二・五〇	〇三〇二	同 同
Modern Ideas, Social and Economics	同	一・五〇	〇二一七	同 同
English law of Contract	增島六一郎	一・五〇	◎二三八	有斐閣 神田
獨逸語發達史	山田幸三郎	一・八〇	◎一八二	大學書林 牛込
From Japan to Japan	G Caiger	一・五〇	〇一八六	北星堂書店 神田
The Human side of Science	矢川德光	一・五〇	〇一六三	文精社 同
A Treasury of English literature	井手義行	三・〇〇	〇五三一	富山房 同
A New English text	松田良身	三・六〇	◎二六二	小桐新太郎 牛込
of Dental Science				
Current Thought 19.	木舍幾三郎	非	◎一七八	政界往來社 芝

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
現代の日滿（露文）	上田半治郎	非	△一二六	日露通信社 麹町
C. W. Parker; On the state and Constitution	藤井新一	二・五〇	◎二〇四	有斐閣 神田
【五　月】				
Pilot and Srogun	A. B Scher er james	二・五〇	○二五七	James A. B. Scherer 京橋
Fifty-Senenth Aun. ual Report of the Minister of State for Education for 1929—1930				文部大臣官房文書課 麹町
Readings in Social Economics	星野周一郎外二名	一・五〇	◎一六六	甲文堂 大阪
The Vaval Conference and Japan	雪下勝美	非	◎二四	海軍々縮會議國民後援會 麹町
The Way of Japanese Flower Arrangement	アルフレッド ケーツ ローン	一〇・〇〇	△一〇四	教文館 京橋
Elektrokardiogram の臨牀	大橋祐之助	二・五〇	△二四	克誠堂書店 本郷
How to study Commercial English	前田定之助	三・〇〇	◎三一五	有朋堂 神田
Some old Kyoto Gardens and Their Thought	青木節一		△一六	國際振興文化會 麹町
【六　月】				
Current Thought 20	木舍幾三郎	非	◎一七二	政界往來社 芝
Days and Years in Japan Frank H.lee		二・〇〇	○三二八	北星堂書店 神田
Japanese Drama	國際觀光協會	・五〇	○八六	國際觀光協會 麹町
We Japanese	山口正雄	二・五〇	◎二〇〇	山口正雄 神奈川
A Text book of Colloquial Japanese	クリストフ ワーノツス	六・〇〇	◎六五〇	教文館出版部 京橋
Wirtschaft und philosophic	勝本鼎一	一・八〇	◎一一五	南山堂書店 本郷
Catalogue of the Kyushu Imperil University library	九州帝國大學附屬圖書館		△五六六	九州帝國大學附屬圖書館 福岡
The Importtorilf of Japan 1935	大藏省	四・〇〇	△約二四〇	ヘラルド社 麹町
The plates and Diagrams	秋山孝一	七・〇〇	△五五七	海事教育振興會 兵庫
ラテン語階梯	若目田武次	二・五〇	○三七二	健文社 麹町
Asiatic Asia What Roes it mean?	中谷武世	・五〇	◎一九	大亞細亞協會 麹町
Trade and Trade Barriers in the Pacific	フイリップ ライト		◎五五〇	太平洋問題調査會 同
International Disarmamentand Jast peace	水谷吉藏	一・〇〇	◎一〇六	國際協會出版部 日本橋 同

Three plays 唐人お吉其の他	Glenn W. Shaw	二・五〇	○三五八	北星堂書店 神田
Current Thought 21	木舍幾三郎	非	◎一七二	政界往來社 芝
A Bibliography of Finance	增井光藏		△一二五〇	啓業社 麹町
【七　月】				
A Handbook of English and American Literature	W. Bradfa r pSmith	二・五〇	○三八四	北星堂書店 神田
English Poetry and Prose	齋藤勇	三・五〇	○五六二	研究社 麹町
歐文圖書目錄（三）	京都帝國大學法學部經濟部		△	京都帝國大學 京都
A Comlete Guide to Kyoto.	秋山愛三郎	二・五〇	× 二八	近畿觀光協會 同
Art of the dandscape Garden in Japan.	青木節一	二三・〇〇	△二四五	國際文化振興會 麹町
Miscellancons Papers Regarding Japanese plants.	伊藤純一郎	非	△五六二	植物文獻刊行會 京橋
【八　月】				
The Japan Christian Year Book 1935	フレッド イイ	二・五〇	○四六六	教文館出版部 京橋
The Japan Mercantile and Manufacturers Dire tory. 1935—6	デヴィッド ウグラス エヤング	一五・〇〇	◎一五〇八	神戸大阪プレス社 兵庫
獨逸文法辭典	片山正雄	四・五〇	○一〇五二	有朋堂 神田
産業日本（露文）	上田半次郎	二・〇〇	△八四	日露通信社 麹町
Manual of Zen Buddhiem	鈴木貞太郎	五・〇〇	○二三二	鈴木員太郎 京都
The United States And Japan in thne Pacific.	笠井重治	一・五〇	◎一二五	國際出版印刷社 麹町
A Cademic Colours	ペイテー	四・〇〇	△一七二	ペイテー 同
Sunrise Synthesis	毛利八十太郎	一・〇〇	○一五四	北星堂書店 神田
Dao Kapital. I.	Karl Marx	二・〇〇	○九六五	ナウカ社 同
日本語獨習書（露文）	瀨沼格三郎	一・五〇	○二二七	露國研究社 四谷
The KuroZumi Sect of Shinto.	U. E. Hapne.r	五・〇〇	◎二六三	明治聖德記念學會 小石川
スタヤン露語辭典	U. E. CTORHS.	五・五〇	○七五六	橋書店 牛込
教育者のための獨逸語講座（五）	大關將一	非	◎	建文館 同
The Indo Japanese Business Directory.	永田藤次郎	同	△三二六	日印協會 麹町
The Social and Economic History of Japan	本庄榮治郎	五・〇〇	◎四一〇	日本經濟史研究所 京都
兩周金文辭大系改釋	郭沫若	七・五〇	△三册	文求堂書店 本郷
【九　月】				
若きウエルテルの悲み	ゲーテ かとうけんじ譯	一・二〇	○二五五	外語研究社 日本橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
ウエークフイールドの牧師	ゴールドスミス大橋榮三郎譯	二・〇〇	〇六二	外語研究社 日本橋
適用支那語解釋	木全德太郎	二・二〇	〇四五九	文求堂 本郷
Present-duy Nippon	大道弘雄		△一七八	朝日新聞社 大阪
The Japan year book 1935	豐島擴		◎二三八〇	日本外事協會 麴町
Readings in Sociatogy and Politics	齋藤和一 平野常治	一・九〇	◎二〇〇	有斐閣 神田
A Study of Accent	千葉勉	二・五〇	△二三二	冨山房 同
Curent Thonght 23	木舍幾三郎	非	◎一八二	政界往來社 芝
What is Nippon Kokutai? No.1	田中顯一		◎一六	師子王文庫 江戸川
Sketches and Tales from the French	小泉八雲	一・七〇	〇一九六	北星堂書店 神田
學生英和辭典	三省堂編輯所	二・〇〇	〇五四九	三省堂 同
Japanere Meuhandise far Worlds Markets 1936	和田朝一郎	一〇・〇〇	△六三	ジヤパンプレス社 兵庫
New thinking in English by	T.S. Kennard	二・八九 一・九五	〇三三 二九二	開拓社 神田
Treasure Island by	D. D. Palmer			
Easy fairy Tales	開拓社編輯所	二・五〇	〇二〇五 七九	同 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
Gulliver's Travels	開拓社編輯所	・三一	〇九四	開拓社 神田
Popular English Tales	同	・三六	〇七五	同 同
Andersens Fairy Tales	同	・三〇	〇九〇	同 同
Robinson Crusoe	同	・三五	〇二二	同 同
Biographical Stories by	A. S. Hornby	・三三	〇一〇四	同 同
Grimm's Fairy Tales				
An Outline of English Literature	開拓社編輯所	・二五	〇六四	同 同
ディゼルエンジン講義	F. L. Huntley C.M.Wirirn	一・一〇	◎一三九	平野書店 京都
Gardeans of Japan	田島達之輔	三・五〇	◎三八一	漁船機關士協會 芝
Glimpses of the East 1935—36	橋本基	八〇・〇〇	△	座右寶刊行會 本郷
英語學英文學論集三	川田友之		△	川田友之 神田
A Primer of old English Grammar	石川林四郎 西脇順三郎	一・五〇	◎一六五	興文社 日本橋
The Osaka Business Directory 1935	廚川文夫	二・〇〇	◎二三六	文修堂 大阪商工會所 大阪

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
ダウンツウスクラツチ	エーミツチエル	二・〇〇	◎一八六	三省堂 神田
太平洋パン（三）	近藤彌一譯			
フレツト	高野芳信	・一〇	〇三八	太平洋同人 埼玉
日本民族の理想精神				
【十月】				
Current thonght. 24	木舍幾三郎	非	◎一三六	政界往來社 芝
英語論文の書き方	松本環	二・五〇	〇五五七	太陽堂書店 神田
What is Nippon Kokutai? No 2.	田中顯一		◎三八	師子王文庫 江戸川
アラビアンナイト	開拓社編輯所	・二八	〇八四	開拓社 神田
ニュー・シンキング	ケナード	・八〇	〇二四六	同 同
Jinno-Shotoki	飯田茂三郎	六・〇〇	△三二〇	日獨文化協會 麴町
獨逸法律類語異同辨	三潴信三	二・〇〇	〇二七七	有斐閣 神田
フランス語學新考	中平解	二・三〇	◎二四九	三省堂 同
【十一月】				
Bushido	新渡戸稻造	二・〇〇	〇二一一	研究社 麴町
Current Thought. 26	木舍幾三郎	非	◎一六八	政界往來社 芝
Arroms from my quiner or short Sermmons for Samurai of Iesus	宮崎小八郎 外二名	二・〇〇	〇三四〇	ストウジ全集刊行會 日本橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
What is Nippon Kokutai? No 3.	田中顯一		◎六一	師子王文庫 江戸川
Current Thought 25.	木舍幾三郎	非	◎一七六	政界往來社 芝
Japan Illustrated 1936.	光永星郎	一五・〇〇	△七〇四	日本電報通信社 京橋
英語教育叢書一	櫻井役外四名		◎五冊 國入	研究社 麴町
江湖の中	別所梅之助	二・〇〇	〇四五八	獨書院株式會社 本郷
奥陸外交	信夫清三郎	三・五〇	◎六一七	叢文閣 麴町
Organie Syntheses. 1.	朝比奈泰彥	八・八〇	◎六三八	荒井書店 京橋
裏から見た歐洲の外交戰	長谷川了	・一〇	〇四四	今日の問題社 芝
白銅貨と銀貨	イエ、エスホーンビー	・二五	〇五七	開拓社 神田
【十二月】				
What is Nippon Kokutai? No 4.	田中顯一		◎九三	師子王文庫 江戸川
Bikigaku. 1.	田丸卓郎	七・〇〇	◎五二四	岩波書店 神田
Swimming in Japan.	除村一學 岡みち		〇二五九	國際女子親善協會 京橋
獨修ブラジル語講義	中島文重	四・五〇	◎五八九	北斗書院 神田
Japan Today and Tomorrow.	荒木利一郎		△一七六	大阪毎日新聞社 大阪
Tokyo.	ノルエヌエット	二・〇〇	〇五〇	ジヤパンタイムス社 麴町

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
Thinkerd and Thoughts. of East and West.	牧野義雄		◎一七三	三省堂 神田
Li Po. the. chinese Poet,	小畑薫良	二・五〇	○二五六	北星堂 同
Pictorial news of Japan. 1935	不動健治		△	新聞聯合寫眞部 京橋
In far Japan.	Frank H. Hedges	二・八〇	○三三〇	北星堂 神田
Ah, Wilderness !	和田利政	一・五〇	◎一七六	平野書店 京都
Japan-Manchoukuo Year book. 1936	芝東吾		○一三五八	ジヤパンマンチユコー年鑑 麹町
歐文圖書目錄(三)	京都帝國大學法學部		○	京都帝國大學法學部經濟學部
An Illustrated History. of Japanese Ar.	源豐宗		△四八二	星野書店 同
Adventures in far Eastern Journalism.	H. C. W. woodhead	四・五〇	◎二六六	北星堂書店 神田
Diaries of Court Ladied of old Japan.	森安仁子	三・五〇	◎二〇九	研究社 麹町

最新ウエブスター辭典

今を距る百六十年前紐育で四折判の上下二篇の本が出版されたが、これは他でもないアメリカ文化に偉大な貢献をなしたウエブスター英語辭典であつた。

この處女版のウエブスターには僅々七萬語しか載つてゐなかつたが、百六十年後の今年六月二十五日メリアム會社から出版されたウエブスタス・ニユウ・インタナショナル辭典には五十五萬字が收集されてゐる。最新刊のウエブスターに載せられた文字言葉の定義は、あらゆる權威的方面から求めたもので、引用數は實に百六十六萬五千回だと云ふから相當廣汎なもの。語原の改訂は主としてプリンストン大學のベンダー教授、發音法はカーハート氏とハトラム大學のケンヨン教授辭典製作費がざつと百三十三萬ドルだと。

(二) 歷史・傳記

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
平田篤胤先生第一輯	及川健助	・五〇	◎一〇六	石川書店 秋田
重宗芳水傳	重宗雄三	非	◎六五九	故重宗芳水君傳紀編纂會 品川
禁城の烹光	土屋晴義	非	◎五二六	關東玄洋社出版部 芝
維新史籍解題傳記篇	高梨光司	二・八〇	◎三四二	明治書院 神田
日本鄕土物語(下)	片岡重助	・八〇	○四一四	社會教育會 麹町
奈豐助	秦五十子	非	△	秦五十子 四谷
日蓮聖人正傳	鈴木一成	一・五〇	○三一六	平樂寺書店 京都
國學者傳記集成續編	國本浩康	一〇・〇〇	◎六二九	國本出版社 澁谷
本多庸一傳	岡田哲藏	二・五〇	○四五六	日獨書院株式會社 本郷
サー・アイザック・ニユートン	荻津謙治		○二〇〇	荻津トキ 秋田
西行	木村善之	一・五〇	○三六一	第一書房 麹町
土佐橋原勤王烈士列傳	中平定宗		◎三六	中平定宗 高知
少年德川家康傳	中村時藏	二・〇〇	○四九三	大同館書店 神田
眞人横川省三傳	利岡中和	二・〇〇	○四三八	眞人横川省三傳刊行會 淀橋
ベートオヴエン	高田博厚	・六〇	○二〇〇	叢文閣 麹町
高木利太追悼錄	高木まさ	非	△五二七	高木義一 兵庫
政界人物評論	馬場恒吾	一・五〇	○五三三	中央公論社 麹町
近世日本國民史(三三)日露英蘭條約締結篇	德富猪一郎		○五七四	民友社 神田
同豐臣氏時代(四)甲篇	同		○五一四	同 同
世界文化史大系(一六)十九世紀の歐洲諸國(上)	鈴木良		△三五〇	新光社 同
新訂國史大系(五六)增補公卿任(四)	黑板勝美		◎五七二	國史大系刊行會 京橋
日本司厨士協同會沿革史	關根保胤	非	△三八三	日本司厨士協同會 麹町

書名	著譯者	定價	形體	發行所
日本外史論文詳解	坂口利夫	一・五〇	〇三二	大同館書店 神田
重刊明治文化研究（四）	蛯原八郎	一・〇〇	◎一八八	書物展望社 京橋
日支交渉史論	秋山謙藏	三・五〇	◎五四五	内外書籍株式會社 小石川
幕末・明治・大正十年史 同顧八十五	大澤米造	一・二〇	△	東洋文化協會 京橋
國史大年表（四）	日置昌一		〇六三〇	平凡社 日本橋
日本精神文化大系五	藤田德太郎	三・〇〇	◎五二〇	金星堂 神田
齊料集成 吉野室町時代概觀	同	三・五〇	◎五一〇	同 同
大日本史料 第二編一條天皇之五	東京帝國大學	七・〇〇	〇九八六	東京帝國大學文學部史料編纂所
世界歴史大系（一七）西洋中世史	高市慶雄	二・八〇	〇四〇四	平凡社 日本橋
日本精神史話	馬場直美	二・五〇	〇六五六	國民教育會 本郷
切支丹陰謀史	三原保常	・五〇	◎六一	岩元書店 鹿兒島
史料大成（九）中右記（二）	川俣馨一	三・二〇	◎三九七	内外書籍株式會社 小石川
滿洲發達史	稲葉岩吉	五・〇〇	◎五八四	日本評論社 京橋
邦文日本政記	頼山陽 梁岳碧沖	三・五〇	◎五八三	三陽書院 麹町
日本各地傳說集 山陰九州篇 第一卷	大木薫	三・〇〇	◎四二一	赤海月社出版部 麹町
奈良帝室博物館歴史圖像	奈良帝室博物館	一・〇〇	△五枚	奈良帝室博物館 奈良
ロシヤ史	岡田宗司	六・〇〇	◎七一六	學藝社 京橋
維新日誌（第二期）（第十卷）	橋本博	非	×	靜岡郷土研究會 大森
類聚傳記大日本史二 將軍執政篇	長坂金雄		◎五三七	雄山閣 麹町
史觀（七）	岸畑久吉	一・〇〇	◎一八一	早稲田大學出版部 牛込
西條誌（一ノ二〇）	高橋彦之丞	一・〇〇	〇	西條史談會 愛媛
吉良物語	小牧猛	非	◎一六三	青楓會 高知
朝鮮銀行二十五年史	澁谷禮治	非	◎二七六	朝鮮銀行 朝鮮
樂浪彩篋家	藤田亮策		△	便利堂 京都
佐賀藩銃砲沿革史	香島成忠	二・五〇	◎四九六	肥前史談會 佐賀
濱田町史	佐々木清一郎	五・〇〇	◎六〇八	一誠社 麹町
乃木靜子夫人	中村德五郎	一・五〇	〇三九二	乃木靜子夫人刊行所 淀橋
眞木和泉守	宇高浩	五・〇〇	◎九三	菊竹金文堂 福岡
神港人物太平記	川畑伊太郎	一〇・〇〇	◎六七七	新人物評論社 兵庫
國學者谷川士清の研究	加藤竹男	二・八〇	◎二六四	湯川弘文社 神田
武人にして政治家南次郎大將を語る	山田好文	非	◎五五	山田好文 中野
素つ裸のガンヂー	高岡大輔	一・二〇	〇三四四	我觀社 麹町
賀川豐彦	鎧田研一	一・五〇	〇五七二	不二屋書房 芝
堤長發君小傳	泥谷長次郎	非	◎四一九	日本公論社 神田
リヴィングストン傳	政池仁	二・〇〇	〇四〇八	基督教出版社 同
日露戰爭秘史中の實錄	河原操子	一・二〇	〇二八〇	婦女新聞社 淀橋
新十傑三 西郷南洲（下）	福島貞子		〇六五二	平凡社 日本橋
高僧名著選集十三 白隱禪師	伊藤痴遊		〇四八〇	同 同
【二月】	山本勇夫	非		
近世日本國民史（五）豐臣氏時代（乙篇）（二六）	德富猪一郎		〇五〇二	民友社 神田
同 雄藩篇	同		〇五〇八	同 麹町
類聚傳記 大日本史・九・文人篇	長坂金雄		◎五〇〇	雄山閣 麹町
明治維新の大業	德富猪一郎	一・〇〇	〇一八九	民友社 神田
岡崎市史別卷（下）德川家康と其周圍	柴田顯正		◎七三二	岡崎市役所 愛知

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
史料大成（平戸記一）二十四	川俣馨一	三・二〇	◎三三二	内外書籍株式會社
山鹿素行 新譯中朝事實	島津學堂	二・五〇	◎四〇〇	三陽書院
鄕土史研究（一）	長坂金雄	一・三〇	◎二六八	雄山閣
兵隊源平物語 源平の武人と攻勢	井上清吉	一・〇〇	○二六五	木原文進堂
東京市史稿市街篇22	東京市役所		◎一〇四三	同
國史大年表（三）	日置昌一		○七七二	平凡社
維新・明治・大正回顧八十年史（十六）	大澤米造	一・二〇	△	東洋文化協會
市民社會史（上）	ヴイットフオーゲル 新島繁	二・〇〇	◎三九七	叢文閣
日本國民史（一）	齋藤斐章	二・〇〇	◎三八八	賢文館
同（二）	同	二・〇〇	◎三二五	同
同（三）	同	二・〇〇	◎二八五	同
同（四）	同	二・五〇	◎四一六	同
大日本史料第三篇五七 堀河天皇	東京帝國大學	七・〇〇	◎九九三	東京帝國大學文學部史料編纂所
三古事記全釋	大塚龍夫	一・九〇	○五二三	大倉廣文堂
大閣記一	矢田義勝	一・〇〇	○六〇一	中央公論社
五世尾上菊五郎	安部豊	二五・〇〇	△	五世尾上菊五郎刊行會
大作家持の研究	濱古雄	二・〇〇	○三一九	青々館
麻生太吉翁傳	麻生太賀吉	非	◎四九三	麻生太吉翁傳刊行會
【三月】				
國史大觀（一）	櫻井時太郎	六・〇〇 特 四・八〇	◎二一四五	研究社
時代風俗綜覽	江馬務	二・八〇	◎三五七	政經書院
世界の東鄕元帥	内田太郎		△四三五	世界之東鄕元帥編纂會
重亞先覺志士記傳（中）	葛生能久	一〇・〇〇	◎八九八	黑龍會出版部
近畿名蹟全書 奈良縣之四 中部	辰馬六郎	一・五〇	○三〇二	金剛社
甲斐の先史並原史時代の調査	仁科義男	一・八〇	◎一九四	甲斐志料刊行會
島根縣史蹟名勝（七）天然記念物調査報告	島根縣		△	島根縣
わが七十年を語る	林權助	一・八〇	○四三二	第一書房
史料大成（一三）	中右記六 川俣馨一	三・二〇	◎三六六	内外書籍株式會社
武道全集五 日本刀及日本刀史	原田道寛		◎三七一	平凡社
元帥公爵大山巖	尾野實信	四・〇〇	◎九三一	大山元帥傳刊行會
同附圖	同	二・〇〇	◎六三〇	同
元帥公爵大山巖年譜	同	五・〇〇	◎三三九	大久保甲東先生銅像建設會
皇國精神を代表した西鄕南洲と大久保甲東	逆瀨川濟	二・五〇	○四三三	日本不二通信社
三菱創世物語	藤本秀之助	一五・〇〇	△四四四	弘文莊
ペルリ提督日本遠征記（上）	土屋喬雄		○一七六	厚生閣書店
義經と滿洲	小谷部全一郎	一・〇〇	○四七一	三笠書店
一撥雲助博徒	田村榮太郎	一・五〇	○四三七	東京帝國大學
乃木將軍と四國	眞田默雄	一・五〇	◎九六〇	四國教育圖書株式會社
南佐久郡古城址調査	臼田福七	三・五〇	△	南佐久郡教育會
日本古典全集古風土記	正宗敦夫	非	○	日本古典全集刊行會
日本佛教聖者傳九	日蓮		○三六〇	日本評論社
日本刀劍の研究 第二輯	雄山閣編輯局	一・三〇	◎三六六	雄山閣
伊豆の傳說	後藤江村	一・五〇	○三〇八	國文館
良寛百考	相馬御風	四・二〇	◎五九七	厚生閣書店

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
現代史學大系（十三）西洋史	原隨園		◎四〇三	共立社書店
新義甲斐志料集成（十二）	萩原賴平	非	◎六〇一	甲斐志料刊行會
鹿足郡誌	野津左馬之助	非	◎四四〇	島根縣鹿足郡町村長會
岡山今昔記	岡長平	一・七〇	○二五三	中國民報社
日露戰爭秘史中の河原操子	福島貞子	一・二〇	○二八〇	婦女新聞社
高僧名著選集（三） 源信僧都	山本勇夫	非	○五三七	平凡社
實學維新十傑（五） 木戸孝允（下）	伊藤痴遊		○六八〇	平凡社
維新志士銘々傳	安藤德器	一・八〇	○三七八	東光書院
增補改訂 大分縣偉人傳	福岡潤	三・五〇	◎八〇四	大分縣教育會
大石內藏助良雄傳	渡邊正脩		△二〇一	渡邊正脩
日本佛教聖者傳圖 弘法	高神覺昇		○二二四	同
芭蕉全傳	山崎藤吉	三・八〇	◎六五九	叢文閣
大將乃木	横山達三	三・〇〇	◎九九七	日本兵事學會
鳩治郎自傳	大阪毎日新聞社	一・五〇	○二四九	大阪毎日新聞社

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
日本近世儀範志	小野武夫	三・八〇	◎四四八	學藝社 京橋
東洋史辭典	中山久四郎	四・〇〇	○六〇九	雄山閣 麹町
史蹟めぐり 近畿風土記	平野小潜	二・五〇	○五〇六	三陽書院 同
東方文化史叢考	大谷勝眞	三・〇〇	◎五三四	大阪屋號書店 日本橋
樂聖フランツフオンリスト傳	村田七光	二・三〇	○二〇七	村田ピアノ熟 京都
國史を貫く日本精神	宮西一積	一・六〇	○二三一	新生閣書店 神田
國史大年表（二）	日置昌一		○七三二	平凡社 日本橋
五郷と大宰府	西高辻信雅	非	○一四四	太宰府五郷顯彰會 福岡
日本精神に立つ教壇上の國史（壽六）	澁谷光長	一・八〇	○三七五	啓文社 本郷
同 教壇上の國史（壽五）	同	一・八〇	○二九一	同
幕末・明治・大正十年史（十回顧八七）	大澤米造	一・二〇	△	東洋文化協會 京橋
實錄維新十傑（十） 吉田松陰・高杉晉作	伊藤痴遊		○四七一	平凡社 日本橋
福澤諭吉	石河幹明	一・五〇	○五〇〇	岩波書店 神田
類聚傳記大日本史（七）	長坂金雄		◎四八五	雄山閣 麹町
朝鮮開國交涉始末	奥平武彦	一・八〇	◎二〇九	刀江書院 神田
世界歴史大系十三B 日本史第三篇	井野邊茂雄 外二	二・八〇	△六一三	平凡社 日本橋
現代哲學全集第十六卷 考古學	大場磐雄	豫約	○二九七	建設社 牛込
大武鑑（卷一）	橋本博	非	△	大治社 大森
御觸書寶曆集成	高柳眞三 石井良助	五・〇〇	◎五八三	岩波書店 神田
時代タペストリー展覽會圖錄	大隅爲三		△	古今堂 京橋
原語による臺灣高砂族傳說集	臺灣總督府	五〇・〇〇	△七八三	
臺灣高砂族系統所屬の研究（第一册）			△五六一	刀江書院 神田
同（第二册）			△一三一	
帝王之師 杉浦重剛先生	橋五六	一・二〇	○三一八	三幸堂書店 淀橋
近世名士寫眞第五回	井口雄三	一五・〇〇	△一〇枚	近世名士寫眞頒布會 大阪
恭仁山莊等本書影	大阪府立圖書館		△	小林寫眞製版所 京都
新譯日本百將傳	大町芳衛	四・八〇	◎六五六	北斗書院 神田
明治大正大阪市史第二卷	大阪市		◎二一三	日本評論社 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
續神修養 英雄美談	夢想兵衛	一・八〇	○四四五	大仲堂書店 神田
同 孝子美談	同	一・八〇	○四六二	同 同
同 忠臣美談	同	一・八〇	○四三五	同 同
大阪府名譽職鑑（第二編）	浦西健二	五・〇〇	△五八〇	自治名譽職協會 大阪
赤穗義人錄	育德財團	非	△	育德財團 目黑
玉篇 卷第八 殘	東方文化學院	同	卷物	東方文化學院 小石川
玉篇 卷第廿四殘	同	同	同	同 同
唐過所（一卷）	同	同	同	同 同
岐陽雅人傳	野田醒石	三・〇〇	◎四四八	濃印刷株式會社 岐阜支店 岐阜
【四月】				
貯金局史	貯金局		◎八四	貯金局 麻布
世界文化史大系一八 明の興亡と西方の東漸	鈴木良		△三五一	新光社 神田
史蹟調査報告第七輯	文部省		△	文部省 麹町
飛驒風物記	上島善一	二・〇〇	○四一〇	飛驒每日新聞 岐阜
童話史	日本童話協會	三・〇〇	◎四六六	青年教育普及會 神田
福岡縣史資料第四輯	福岡縣		◎八一六	福岡縣 福岡
史蹟めぐり 關東風土記	平野小潜	二・〇〇	○三二三	三陽書院 麹町
滿洲國皇帝 滿蒙太平記	米田華虹	一・五〇	○六三五	日本書院 同
聖天皇と第一帝國	新見龍王	三・〇〇	○五八九	新見波藏 京都
澁谷風土記 舊史編）	有田肇	一〇・〇〇	◎三六九	東京朝報社 澁谷
西海道風土記逸文新考	井上通泰	三・〇〇	◎二五六	巧人社 大阪
日本國民誌（人物篇）	中澤宇三郎		◎約八〇〇	日本國民誌編纂局 京橋
同	同		◎約八〇〇	同 同
矢島楫子傳	久布白落實	二・二〇	◎七五三	不二屋書房 芝
滿洲國皇帝を語る	伊藤隆文	・二〇	○八八	今日の問題社 同
滿洲國皇帝	平野嶺夫	・六〇	○二三二	平原社 京橋
國寶建造物 第二期 第八輯	矢野國太郎	四・〇〇	△	國寶建造物保存會 麹町
高附名著選集 弘法大師	山本勇夫		○五七九	平凡社 日本橋
明治、大正、昭和 大功臣の親族姻族（上）	村田耕堂	一〇・〇〇	◎三五六	
同（下）			◎三一〇	白雲堂書房 王子

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
法式と其故實	松村秀賢	二・〇〇	◎三八	弘文館 神田
明治維新の全貌	早稲田大學講演部	一・八〇	◎四三四	早稲田大學出版部 牛込
田附政次郎傳	伊藤悌造	非	◎二七四	田附商店 大阪
リシェ綜合文化史論（下）	間崎萬里	三・〇〇	◎九六六	刀江書院 神田
集悅 國史指導案批判の新研究	渡邊龍策	二・四〇	◎三八〇	南光社 同
岡田吉顯之傳	岡田純次郎	非	◎三六一	岡田純次郎 本郷
音樂生活二十年	大田黑元雄	一・五〇	○三八一	第一書房 麹町
建國史話	河野省三	一・二〇	○二〇六	日本放送協會出版 同
現代人の日蓮聖人傳	星野武男	四・五〇	◎變三五八	文松堂出版部 京橋
日本刀講座（十一）	長坂金雄		◎	雄山閣 麹町
日本現存文廟	中山久四郎	・八〇	△	斯文會 本郷
近世日本文久大（下）國民史夢一變（篇）	德富猪一郎	五・〇〇	◎五〇	民友社 神田
新譯 太平記物語	生田幸彥	三・〇〇	○二六二	淡海堂出版部 同
實錄維新十傑 坂本龍馬 中岡慎太郎	伊藤痴遊		○五九〇	平凡社 日本橋
滿洲通史	及川儀右衛門	三・五〇	◎五七七	博文館 日本橋
近世名士寫眞	井口雄三		△一〇枚	近世名士寫眞頒布會 大阪
日本國寶全集	文部省		△四冊	日本國寶全集刊行會 澁谷
大武鑑	橋本博	非	△	大治社 大森
國史大年表	日置昌一		○八二七	平凡社 日本橋
京都府茶業史	安達披早吉		◎五一三	京都府茶業組合聯合會 京都
民族日本歷史建國編	白柳秀湖	一・五〇	○三九〇	千倉書房 京橋
福島縣鄉土誌	福島縣女子師範學校	非	◎四九六	西澤書店 神田
日本傳說研究（一）	藤澤衛彥	二・〇〇	○四二〇	三笠書房 同
日本名婦傳	菊池寬	一・二〇	○二〇〇	婦女界社 麹町
史學概說	內藤智秀	二・〇〇	◎二七二	章華社 目黑
神風連血涙史	石原醜男	三・〇〇	◎五七七	大日社 神田
岡田良平先生小傳	杉浦鎭次郎	非	◎二六六	杉浦鎭次郎 小石川
日露の回顧	山元昇		○一〇八	東邦社國威宣揚事業部 京橋
新聞集成明治編年史	中山泰昌		△四八八	財政經濟學會 赤坂

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
人情秘錄維新（前後）	寺島柾史	一・八〇	○三四五	日本公論社 神田
大史料成 吉記（一）	川俣馨一	三・二〇	◎三三八	株式會社內外書籍 小石川
國史大系 德川實紀	黑板勝美		◎八五一	國史大系刊行會 京橋
光顏院鄂子夫人	上原芳太郎	一・五〇	○三一六	興教書院 京都
蓮如	禿氏祐祥	一・五〇	○二六九	法藏館 同
近世露滿蒙關係史	サヴィン 川田秀雄譯	一・八〇	○三三六	福田書房 神田
古墳墓の調査 近畿地方	日本古文化研究所		△	日本古文化研究所 奈良
編年體西洋史觀	矢部周藏	三・〇〇	○四五二	建文館 牛込
わが七十年を語る	林權助	一・八〇	○四三三	第一書房 麹町
參照史實 木戶松南公逸話	婁木忠太	二・〇〇	○五六八	有朋堂書店 神田
中朝事實譯解	黑本植		×一七七	稼堂先生著書刊行會 石川
國際紛爭史考	板倉卓造	二・〇〇	○五三〇	中央公論社 麹町
建武の中興と神宮祠官の勤王	阪本廣太郎		◎二一	神宮祠官勤王顯彰會 三重
幕末・明治・大正 回顧八十年史	大澤米造	一・二〇	△	東洋文化協會 京橋

【五月】

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
近世日本國民史 豐臣氏時代十篇 朝鮮役（上）	德富猪一郎		○六九七	民友社 神田
同 天保改革篇	同		○五一四	同 同
子爵谷干城傳	平尾道雄	六・〇〇	◎八二九	富山房 神田
百偉人傳（一—八）	中川重		○八冊	日本社 本郷
鄉土史研究	長坂金雄	一・二〇	◎二〇九	雄山閣 麹町
時事パンフ日露戰爭レット十二（海軍の卷）と語る	榊原福壽	・一〇	○一五三	時事新報社 同
古事記	鈴木種次郎	・五〇	○一九八	三教書院 中野
東鄉元帥直話集	阿部眞造	一・二〇	○三九五	中央公論社 麹町
大楠公記	片岡重助	一・〇〇	○三七二	社會教育會館 同
秘密事相の研究	栂尾祥雲	五・〇〇	○七五〇	高野山大學版部 和歌山
佛蘭西革命前後	中村善太郎	三・五〇	◎四四〇	改造社 芝
日本近世史要	京口元吉	二・二〇	◎三三〇	廣文堂書店 牛込
馬越恭平翁傳	大塚榮三	非	◎五二六	馬越恭平翁傳記編纂會 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
浪速皇居と大坂城	古川重春	・八〇	○一九一	盛運堂（大阪）
出羽百姓一揆錄	山形縣經濟部		◎二六九	山形縣經濟部（山形）
信濃教育會五十年史	清水曉昇	一・五〇	◎	信濃教育會（長野）
消防發達史 新潟縣	西尾敬介	九・五〇	◎二八〇	消防發達史刊行協會（埼玉）
原修次郎先生	富岡福壽郎	非	○一六〇	弘文社（茨城）
物語日本文學 古事記	藤村作		○二六一	至文堂（牛込）
工藤行幹翁傳記	工藤行幹翁傳記刊行會	二・〇〇	◎五七〇	工藤行幹翁傳記刊行會（神田）
日本名婦傳	菊池寛	一・二〇	○二〇〇	婦女界社（麴町）
鐔大觀	川口陟	二五・〇〇	◎一〇五四	南人社（同）
花井卓藏全傳（上）	大木源二	六・一〇	◎六七四	花井卓藏全傳編纂所（芝）
フオンヒンデンブルグ元帥	安達堅造	一・五〇	◎二〇四	富山房（神田）
明治文化研究	蛯原八郎	一・二〇	◎二六三	學而書院（下谷）
岩波講座 日本歴史	黒板勝美		◎箱入三冊	岩波書店（神田）
名將日露大戰秘史	星野辰男	・二五	○三二〇	東京朝日新聞發行所（麴町）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
新楠公記	蘆谷蘆村	一・二〇	○二三三	刀江書院（神田）
維新前史の研究	井野邊茂雄	四・八〇	◎五六二	中文館書店（牛込）
考古漫筆	住田正一	一・〇〇	○一八〇	海文堂書店（神田）
史料大成		三・二〇	◎三五七	内外書籍株式會社（小石川）
日本刀講座			◎三三二	雄山閣（麴町）
敵討と切腹	谷田左一	一・〇〇	○二〇七	新文堂書店（小石川）
日本の歴史	太平洋研究會	・六〇	○一六七	叢文閣（麴町）
類聚傳記大日本史（一四）	長坂金雄		◎四〇〇	雄山閣（同）
新撰綜合東洋史	宇野東圃	一・二〇	◎一二五	同文書院（四谷）
五十年史	松村	非	◎四二〇	京都取引所（京都）
日本商人史	日本歴史地理學會	二・〇〇	◎三七二	日本學術及會（小石川）
日本傳說研究	藤澤衛彦	二・〇〇	○三八三	三笠書房（神田）
伊達政宗卿	本田鶴吉		◎一四八	伊達政宗公三百年祭協賛會（宮城）
世界歴史大系 東洋中世史	高橋健二・有賀外二名	・八〇	○五七三	平凡社（日本橋）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
百姓尊德	奥平祥一	一・五〇	○三五六	春秋社（日本橋）
續人物春秋	佐々弘雄	一・五〇	○三七二	改造社（芝）
マルコポーロ大旅行記	吉原公平	一・八〇	○三三〇	大同館書店（神田）
考古學概論	早川二郎	二・五〇	◎三二四	白揚社（同）
大楠公展覽會大觀	大道弘雄	・八〇	△	朝日新聞社（大阪）
國史の綱領	堀竹雄	非	◎一九五	中央教學大務課（神田）
神皇正統記（附吉野拾遺）		・五〇	○二三七	三教書院（中野）
藏漢和三譯對校異部宗輪論	寺本婉雅・平松友嗣	五・〇〇	◎二三五	默働社（京都）
明治大正大阪市史	大阪市		◎四四四	日本評論社（京橋）
尼崎志（三）	尼ケ崎市役所	非	◎四五六	尼ケ崎市役所（兵庫）
多聞院日記	辻善之助		◎四七八	三教書院（中野）
古稀新人 高須峰造先生	水野廣德	非	○五一九	高須峰造翁傳記刊行會（世田ケ谷）
博士名鑑昭和十年版	龜坂常三郎	五・五〇	△三七三	フーインズ、ジャパン社（芝）
ピラミッドの正體	酒井勝軍	一・〇〇	○一三八	吉川弘文館（京橋）
楠氏餘薫	佐賀楠公會	非	◎二〇六	木下泰山堂（佐賀）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
實錄維新十傑	三條實美・岩倉具視		○六三	平凡社（日本橋）
近世日本國民史	豐臣氏時代戊篇		○七六三	民友社（神田）
朝鮮役中	德富猪一郎		○五一九	同
同幕府實力失墜時代	同		○三六四	福田雅太郎追懷錄刊行會（同）
追懷錄改訂版	由根倬三	非		
國寶建造物第二期第十輯	矢野國太郎	四・〇〇	△三枚	國寶建造物刊行會（麴町）
日本外戰史	坂本辰之助	五〇・〇〇	◎九五六	萬朝報社（京橋）
趣味の明治維新史	大西郷と僧月照 中村德五郎	一・八〇	○五〇一	弘道閣（神田）
天草島原切支丹一揆史談	石尾環	一・二〇	○二九一	石尾環（長崎）
ゲ・ペウ秘史	豐島擴	一・二〇	○三三一	日本外事協會（麴町）
山口縣人物史	末弘清	三〇・〇〇	△一〇三二	山口縣人會（山口）
麴町區史	麴町區役所		◎一三四	麴町區役所（麴町）
自由黨秩父事件と事件史	油井熊藏	一・〇〇	○三六六	汗牛充棟園（長野）
前後			箱入二個	
新聞日記	宮内省圖書寮			宮内省圖書寮（麴町）
號外 楠公遺芳	中村孝也	非	◎四八三	大楠公六一〇年大祭奉賛會（兵庫）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
増補京都叢書 山州名跡志乾	井田時秀	同	◎四〇六	京都叢書刊行會 京都
大阪帝國大學創立史 勤王事蹟 別格官幣社精史	西尾幾治	同	◎四一三	東京惠濟團 大阪
幕末・明治・大正 回顧八十年史	山田米吉	一三・〇〇	△一〇〇	二六興信所 日本橋
下谷區史	大澤米造	一・二〇	△	東洋文化協會 東京市下谷區役所 京橋
明治初期文化史	東京市下谷區役所	非	◎三二四	東京市下谷區役所 下谷
大楠公を語る	清原貞雄	三・二〇	◎三八九	賢文館 神田
少年武士道史談	大道弘雄	・二〇	○一七六	朝日新聞社 大阪
莊内天保義民 後篇續篇	春藤與市郎	二・〇〇	○三六五	大同館書店 神田
聖德太子	清野鐵臣	一・〇〇	◎一二八	アサヒ印刷所 山形
加藤清正公傳	玉島實雅	非	◎一二六	奥村定吉 大阪
國史大年表	笠田長繼	一・二〇	◎二四四	笠田長繼 熊本
第三十六回史學會大會・三井家主催展覽會圖錄	日置昌一		○七三	平凡社 日本橋
日本史蹟大系	熊田葦城	二・八〇	◎四七一	平凡社
仙臺戊辰物語	橋本虎之介	一・五〇	○三九九	無一文倶書林 宮城
東郷元帥寫眞帖	大日本偉勳顯彰會	三・〇〇	△	大日本偉勳顯彰會 赤坂
平家物語（上）	鈴木種次郎	・五〇	○二四六	三教書院 中野
日本醫籍錄 奥部版	本田六介	一〇・〇〇	△	醫事時論社 小石川
同 中國四國版	同	一〇・〇〇	△	同
同 中部版	同	一〇・〇〇	△	同
同 近畿版	同	一〇・〇〇	△	同
日本醫籍錄	同	三五・〇〇	△	同
仁王洞時代	張赫宙	一・三〇	○四三一	河出書房 日本橋
敦賀郷土史談	山本元	三・五〇	○四四六	山上書店 福井
惠那郡の石器時代	山本榮一	一・五〇	○二二六	惠那郡考古學會 岐阜
古典の研究	本島長		◎一五五	信濃教育會 下伊那郡教育會 長野
【六月】 大日本史料 第六編之二十七	東京帝國大學	七・〇〇	◎一〇五四	東京帝國大學史料編纂所 第三支部 本郷

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
宋元學案人名索引	鈴木直治	一・二〇	○一四三	關書院 豐島
日本文化圖錄	大久保利武	非	△七六	エール大學會 四谷
舊南部藩に於ける百姓一揆の研究	齊藤報恩會		△三六四	齊藤報恩會 宮城
東郷元帥寫眞帖	大日本偉勳顯彰會	三・〇〇	△	大日本偉勳顯彰會 赤坂
世界維新之建設	長谷部太郎	・二〇	○二六	福井行地社 福井
日本女性鑑（下）	大日本聯合婦人會	一・二〇	○四四八	大日本聯合婦人會 麹町
弘榮前官の面影	水原堯榮		○一三	水原堯榮
明治・大正・昭和 日本勃興秘史	三角寛	二・一〇	○二一五三	ヤシマ書房 神田
同	同	三・〇〇	○二二五三	一元社 同
綜合國史研究 上卷	栗田元次	四・八〇	◎約三〇〇	同文書院 四谷
戲作者考補遺	木村默老	八・〇〇	◎四四八	國本出版社 澁谷
史料大成山槐記	川俣馨一	三・二〇	◎三五六	内外書籍株式會社 小石川
近世日本國民史 孝明天皇初期（世相篇）	德富猪一郎		×四七八	明治書院 神田
同 豐臣氏時代已篇（朝鮮役下）	同		×六六一	同 同
日本史新講 第一分册	魚澄惣五郎		◎二八	星野書店 京都
十周年記念史學文學論集	石原謙	三・〇〇	◎三四二	岩波書店 大分
軍神廣瀨中佐傳	有馬成甫	非	○二五八	廣瀨神社創建奉贊會 神田
史蹟名勝天然紀念物調査報告	山形縣		△	山形縣 山形
歷代國務大臣の親族姻族（前篇華族の卷）	村田耕堂	三・五〇	◎三四三	白雲堂書房 王子
難波古道の研究	竹山眞次	・六〇	○二二九	湯川弘文社 大阪
廣島縣史蹟名勝寫眞帖	米本新之助	五・〇〇	△	敎育公報社 廣島
福岡縣史資料	福岡縣		◎七八	福岡縣 福岡縣
時代裂拾遺	橋本基		△帙入六枚	座右寶刊行會 本郷
世界對照 大日本全史	岡本茂男	三・九〇	◎二八二	ヤシマ書房 神田
二宮尊德傳	佐々井信太郎	二・〇〇	○六三五	日本評論社 京橋
必携 國史人名辭典	前島德太郎	一・五〇	○三七〇	大誠堂 同
吉野朝史	中村直勝	三・八〇	◎五一一	星野書店 京都
日本の偉れた人々	武者小路實篤	一・五〇	○二九三	山本書店 牛込
昭和十年版 現代展望郷土誌	長里清		△	帝國聯合通信社 小石川
日本傳說研究	藤澤衛彦	二・〇〇	○三五四	三笠書房 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
傳說と秘史 湖國夜話	樋上亮一	一・五〇	○三七	立命館出版部 京都
滿鮮文化史觀	鳥山喜一	二・五〇	◎二九六	刀江書院 神田
教育功勞者列傳	清水曉昇	一・三〇	◎五〇五	信濃教育會 長野
歷史哲學概論	樺俊雄	一・七〇	○二八六	理想社出版部 麴町
近世名士寫眞	井口雄三		△一〇枚	近世名士寫眞頒布會 大阪
國文六國史三代實錄上	武田祐吉	二・八〇	◎三七六	大岡山書店 麻布
全業界名鑑 國興信錄 昭和十年版	福田龍雄	三五・〇〇	◎	日本貴金屬時計新聞社 京橋
甲斐志料集成(五)(國志部)	萩原賴平	非	◎六八八	甲斐志料刊行會 山梨
歷代國務大臣の親族姻族(中篇平民の卷)	村田耕堂	三・五〇	◎二六四	白雲堂書房出版部 王子
歷史的に視たる日本女性	西村龍徹	一・二〇	○二二六	三友社 四谷
東京府史蹟名勝天然記念物調査報告	東京府		△	東京府 麴町
大奧秘帖	浦司君浪	五・〇〇	◎一八五	世界文學研究會出版部 埼玉
武相叢書 考古集錄	石野漢	一・八〇	◎二〇六	武相考古會 神奈川
東洋史概說	白鳥清	二・五〇	◎二八三	大觀堂書店 淀橋
日本女性史	雄山閣編輯局	一・五〇	◎四五〇	雄山閣 麴町
民族日本歷史(三朝篇)	白柳秀湖	一・五〇	○三六六	千倉書房 京橋
大日本讀史地圖	吉田東伍 蘆田伊人	七・〇〇	△	冨山房 神田
歷史教育講座	四海民藏		◎箱入五冊	四海書房 豐島
國史大年表	日置昌一		○七二〇	平凡社 日本橋
世界歷史大系 西洋近世史	長壽吉	二・八〇	◎五六八	同 同
日本史蹟大系(二)	熊田葦城	二・八〇	◎九七四	同 同
新聞集成明治編年史	中山泰昌		△五一六	財政經濟學會 赤坂
幕末・明治・大正回顧八十年史	大澤米造	一・二〇	△	東洋文化協會 京橋
日本新聞十年史	小松光男	非	○七八	日本新聞社 麴町
開國表裏八十年史(上)	佐久間啓莊	二・〇〇	○五三	三入神社社務所 廣島
京都帝國大學考古文學部陳列館圖錄	濱田耕作		◎六	京都帝國大學文學部 京都
佛蘭西公使ロセスと小栗上野介	神長倉眞民	一・八〇	○四三	ダイヤモンド出版株式會社 麴町

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
國寶建造物第二期第十一輯	矢野國太郎	四・〇〇	△一三枚	國寶建造物刊行會 麴町
南朝之礎柱	大西源一	非	◎二三一	愛洲顯彰會 三重
增補京都叢書 二〇				增補京都叢書刊行會 京都
山州名跡志 坤 附索引	井出時秀		◎	
日本書紀講話	加藤玄智	一・五〇	○三〇八	章華社 目黑
楠木氏新研究	生田目經德	一・五〇	◎二〇三	吉川弘文館 京橋
記者生活二十五年を顧みて	島田信次	一・〇〇	○一三七	和山草舍 山口
岩波訓讀日本書紀(中) 文庫	黑板勝美	・六〇	○三〇八	岩波書店 神田
同 (下)	同	・六〇	○三四一	同 同
現代業界人物集	中島從宜		△二三六	經世社出版部 品川
昭和十年版 學位大系博士氏名錄	井關九郎	三・五〇	△	發展社出版部 世田谷
【ち】【つ】				
鹿兒島縣鄉土史大系・六島津中興史上	杉下重資	二・五〇	◎四七四	杉下重資 鹿兒島
歷史科學の方法論	相川春喜	二・〇〇	◎三六二	白揚社 神田
ビスマーク	鶴見祐輔	一・五〇	○五〇三	大日本雄辯會講談社 小石川
平家物語(中)		・五〇	○二六八	三教書院 中野
有朋堂文庫 太平記・下	塚本哲三	非	×六八八	有朋堂 神田
橫山信毅	大谷荒太郎	二・〇〇	○三二一	宏隆社 麴町
栃木縣史五(政治編)	田代善吉	四・五〇	◎五一〇	下野史談會 栃木
廣瀨中將遺稿	廣瀨誠二	非	◎一九〇	廣瀨誠二 淀橋
贈正一位橋朝臣正成公傳	中村孝也	非	◎二一九	大楠六百年大祭奉賛會 兵庫
大楠公誠忠錄		一・〇〇	◎二五二	雄山閣 麴町
近世日本國民史 三五 公武合體篇	德富猪一郎		○四九二	民友社 神田
近世日本國民史 一〇 豐臣氏時代庚篇 桃山時代概觀	同		○五七〇	同 同
物語日本文學十二 平家物語	藤村作		○二二五	至文堂 牛込
糖界功罪史	石川悌次郎	二・〇〇	○三二九	啓成社 麴町
日本新聞十年史	小松光男	非	○七八	日本新聞社 同
日本傳說研究四	藤澤衞彥	二・〇〇	○三八六	三笠書房 神田
史料大成(二三)	川俣馨一	三・二〇	◎四八八	內外書籍株式會社 小石川
西園寺公望	木村毅	一・五〇	○三八〇	千倉書房 京橋
伯爵國著名政治家略傳			○	海外興業株式會社 東京

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
近世日本國民史 尊皇攘夷篇	德富猪一郎	五・〇〇	◎六〇〇	民友社 神田
類聚傳記大日本史（忠臣志士篇）				
有朋堂文庫 太平記（上）	塚本哲三	非	×七五六	◎四九四 雄山閣 麹町 有朋堂 神田
戰後歐洲に於ける土地制度改革史論	田邊勝正	四・〇〇	◎六八二	協調會 芝
廣瀨中將の面影	陸軍大學校將校集會所		◎四八五	前田岩太郎 麹町
歴史科學	中村德二郎	一・〇〇	◎	白揚社 神田
平家物語（下）		・五〇	〇二一〇	三教書院 中野
日本史蹟大系（三）	熊田葦城	二・八〇	◎五五五	平凡社 日本橋
始政四十周年記念臺灣征討史	大槻正秋	非	〇二四四	臺灣懇話會 麹町
舊事紀之玄旨（一二）	川田井九之助	一・〇〇	◎一〇四	精修會 鹿兒島
新譯古事記	笛木謙治	二・〇〇	◎二七九	荻原星文館 神田
至誠名鑑	秦野新兵衛	非	◎四七二	秦野新兵衛 千葉
【八月】				
同顧七十年	永瀧久吉	非	◎五〇五	永瀧久吉 淀橋
大日本文庫國史篇 神皇正統記無管抄		非	〇四五八	春陽堂 日本橋
佐渡年代史（上）	伊藤純邊	同	◎四六〇	佐渡郡教育會 新潟
獵物語日本（江戸）奇史（時代篇）	富岡直方	一・八〇	〇三〇九	三陽書院 麹町
日本產業組合史	東浦庄治	一・五〇	〇三三一	高陽書院 神田
黑船（前後）	服部之總	・八〇	〇二九三	清和書店 同
民族 日本歴史（封建編）	白柳秀湖	一・五〇	〇四三三	千倉書房 同
日本傳說研究（五）	藤澤衛彥	二・〇〇	〇四三三	三笠書房 京橋
有朋堂文庫 先哲像傳 近世畸人傳	塚本哲三	非	×八二四	有朋堂 神田
育家琦行傳		・七〇	〇一三五	ナウカ社 同
おもしろい時計の歴史	玉城肇譯			
日本精神の根源 太古の聖史	佐々木俊雄	・九〇	◎一六〇	松華堂書店 同
學圓杉先生傳	中村助四郎	非	◎三五二	松陰研究會 山口
獄南史（五）	鈴木覺馬	同	◎一三七〇	獄南史刊行會 靜岡
世界各國史				
日本消費組合史	奥谷松治	一・五〇	〇三〇六	高陽書院 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
日本資本主義發生史	森喜一	二・〇〇	◎三三八	叢文閣 麹町
大日本史料第八編之十七 後土御門天皇	東京帝國大學	七・〇〇	◎一〇七五	東京帝國大學文學部史料編纂所 本郷
有朋堂文庫 保元物語・平治物語・九代記	塚本哲三	非	×七四五	有朋堂 神田
談奇巡禮 姥婦傳	蘆谷蘆村	一・五〇	〇二九四	言海書房 小石川
東京玩具卸商同業組合史	東京玩具卸商同業組合	非	◎二三〇	東京玩具卸商同業組合 神田
寶雲	森暢	二・五〇	△一〇〇	寶雲刊行所 京都
遠野物語（增補版）	柳田國男	三・〇〇	◎四一〇	郷土研究社 小石川
島津齊彬公傳	岩元禧		◎三八八	鹿兒島市教育會 鹿兒島
物語日本獵奇史 明治時代篇	富岡直方	一・八〇	〇二九五	三陽書院 麹町
奉祝皇太子殿下御降誕記念帝都教育家列傳（改訂版）	畠中惣治郎	一〇・〇〇	◎	大東京新報社 牛込
日本建國史考	千村長治郎	一・八〇	◎三三三	東白堂書房 本郷
嗚呼大楠公（六）	近藤源吉	・一〇	〇六四	精神運動社 兵庫
ストウジ傳	宮崎小八郎外二名	二・〇〇	〇三四	ストウジ全集刊行會 日本橋
公爵松方正義傳 坤	德富猪一郎	非	◎二七六	公爵松方正義傳記發行所 赤坂
聖德太子の信仰思想と日本文化創業	黑上正一郎	非	◎三〇〇	第一高等學校昭信會 目黑
日本各地傳說集（山陰九州篇）	大木紅塔	二・八〇	◎四一一	國本出版社 澁谷
史料大成二小右記二	川俣馨一	三・二〇	◎四一三	內外書籍株式會社 小石川
古活字版拾葉（乾坤）	反町茂雄		△帙入二册	訪高會 本郷
近世日本國民史（三六） 朝幕背離緒篇	德富猪一郎		〇五三一	民友社 神田
公爵松方正義傳（乾）	同	非	◎一三〇一	公爵松方正義傳記發行所 赤坂
神護寺名寶展圖錄	恩賜京都博物館		△	芸艸堂 京都
近世日本國家康上卷民史（十一）時代關原役	德富猪一郎		〇五八九	民友社 神田
武將感狀記		・五〇	〇三五八	三教書院 中野
吉野朝太平記	鷲尾兩工	一・七〇	〇四五二	春秋社 日本橋
幕末・明治・大正・回顧八十年史二十一	大澤米造	一・二〇	△	東洋文化協會 京橋
史觀（八）	岸畑久吉	一・〇〇	◎二〇五	早稻田大學出版部 牛込
文學部考古學考古編研究室蒐集品編（九）	東京帝國大學	二・五〇	◎	美術工藝會 神田
世界歴史大系（十一） 朝鮮滿洲史	稻葉岩吉 矢田仁一	二・八〇	◎六〇九	平凡社 日本橋
愛慾三千年史	中山太郎	二・〇〇	〇五〇〇	サイレン社 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
雲州公御藏帳	戸田彌七	非	△	弐玄庵文庫 大阪
國史畫帖大和櫻	竹内省吾	二・五〇	變形	省文社 神田
新聞集成明治編年史 民論大彈壓期（五）明治十五年同十七年			△ 五二〇	財政經濟學會 赤坂
日本史蹟大系（四）	熊田葦城	二・八〇	◎ 四八五	平凡社 日本橋
幕末・明治・大正十年史（二）	大澤米造	一・三〇	△	東洋文化協會 京橋
世界歷史大系（一三）A 日本史（二）	秋山謙藏	二・八〇	◎ 五三九	平凡社 日本橋
新訂增補 國史大系二八（政事要略）	黑板勝美		◎ 七二一	國史大系刊行會 京橋
明治維新志士遺墨 先賢遺芳	京都府	五・〇〇	△ 二三三	更生閣書店 京都
義經記			○ 三〇二	三敎書院 中野
偉人と風土錄	吉松祐一	二・〇〇	○ 四一三	大同館書店 神田
大日本古文書家わけ（一二）（上杉家文書九二）	東京帝國大學	五・〇〇	◎ 六二四	東京帝國大學 本郷
【九月】				
東鄕元帥景仰錄	海軍兵學校	・七五	◎ 二六〇	大日本圖書株式會社 京橋
神田文化史	中村薫	六・〇〇	◎	秀峰閣 神田
近世日本國民史一二 家康時代中卷大阪役	德富猪一郎		○ 五五〇	民友社 同
前津舊事誌	山田秋衛	二・五〇	◎ 三〇八	曾保津之會 愛知
パイロン	鶴見祐輔	一・〇〇	○ 四四八	大日本雄辯會講談社 小石川
永田藏山論附錄 國家總動員に就て	松下芳男	・一〇	○ 四三	普及社 神田
支那古代社會研究	郭沫若 藤枝丈夫	三・五〇	◎ 四六六	東學社 淀橋
日本刀講座（一六）			◎	雄山閣 麴町
增補改纂 世界大戰史講話	森五六	三・五〇	◎ 三四一	軍事學指針社 四谷
日本刀通觀	内田疎天	七・五〇	◎ 八六〇	岡本偉業館 大阪
樂聖傳記叢書四 ベートーヴェン	ヴァンサンタンデイ 小松耕輔譯	一・八〇	◎ 三三	共益商社書店 芝
高松政雄君の制作と著作	中村涿治郎	非	△ 三七四	故高松政雄君記念事業會 京橋
日露大戰の回顧	田中義一	・三〇	○ 一五〇	醫海時報社 小石川
歐米支那古銅精華（七）	梅原末治		△ 帙入一册	田中商會 大阪
日本傳說研究（六）	藤澤衞彥	二・〇〇	○ 四二四	三笠書房 神田
假名名跡集成	昭和切	二・五〇	△	興文社 日本橋
日本傳記大成	一元社編輯部	四・五〇	○ 二〇二四	一元社 神田
四千年の神秘	チオピヤの實情を語る	庄子勇之助 ・一〇	○ 五六	大阪毎日新聞社 大阪
新版大森風土記（一）		杉原庄之助 一・八〇	○ 三一〇	大森研究會 大森
名刀圖譜		本間順治 二五・〇〇	△	大塚巧藝社 本郷
ヘブライ神話と傳說		松元竹二 三・五〇	◎ 六八三	趣味の教育會 神田
バレスヂン傳說		同 三・五〇	◎ 八〇二	同
フランス神話と傳說		同 三・五〇	◎ 七四六	同
ロシヤ神話と傳說		同 三・五〇	◎ 六四二	同
インド神話と傳說		同 三・五〇	◎ 八七四	趣味の教育會 神田
ペルシヤ傳說		同 三・〇〇	◎ 三五八	東學社 淀橋
イギリス神話と傳說		同 三・五〇	◎ 二〇六〇	石黑文吉 同
支那朝鮮臺灣神話と傳說		松元竹二 三・五〇	◎ 八七四	趣味の教育會 神田
日本官職制度沿革史		小中村清矩 三・〇〇	◎ 三五八	東學社 淀橋
加賀藩史料（八）		前田家編輯部 非	◎ 二〇六〇	石黑文吉 同
新訂增補 國史大系五〇		黑板勝美	◎ 八五二	國史大系刊行會 京橋
大日本消防發達史二 千葉縣・栃木縣		藏重耕一 非	◎ 二二八四	大日本消防發達史編纂會 埼玉
增補滿洲地之略沿革 再版記滿文研究錄		小山愛司 五・〇〇	◎ 三冊	中央學會 牛込
北歐神話と傳說		松元竹二 三・五〇	◎ 七五八	大日本消防發達史編纂會 越味の教育會 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
類聚傳記大日本史（五） 武將篇	長坂金雄		◎ 四六一	雄山閣 麴町
改撰日本精神史纂要	亘理章三郎 大杉謹一	一・二〇	◎ 一三六	中文館書店 牛込
歷史教育講座（五）	四海民藏		◎ 箱入五册	四海書房 豐島
中朝事實講話	飯島忠夫	一・五〇	○ 三三	章華社 日黑
哲學者としてのキエルケゴール	ヘフディング 鳥井博郎譯	一・五〇	○ 二二三	第一書房 麴町
日本刀講座（一五）			◎	雄山閣 同
武道全書四 弓道及弓道史	浦上榮 藤直方		◎ 五一九	平凡社 日本橋
集護良親王と皇道日本	岸田三治	・一〇	○ 四三	新東京社 芝
十周年記念擴張史	大阪市役所		◎ 一〇一九	大阪市役所 大阪
世界文化史大系九	宋元時代 鈴木良		△ 三三	誠文堂新光社 神田
有朋堂文庫	義經記 塚本哲三	非	× 八〇〇	有朋堂 同
	我物語 佐伯啓造	二・八〇	◎ 二〇九	鳩故鄕會 奈良
新潟縣史蹟名勝天然記念物調査報告	新潟縣		△ 四二	新潟縣 新潟
近世日本國民史三七 安政條約編	德富猪一郎		○ 六六三	民友社 神田

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所
フィンランド神話とセルビヤ傳說	松元竹二	三・五〇	◎	二五六	趣味の教育會 神田
ギリシヤ・ローマ	同	三・五〇	◎	八二〇	同
ドイツ	同	三・五〇	◎	六九八	同
アイルランド	同	三・五〇	◎	六六七	同
メキシコ・ペルー	同	三・五〇	◎	七四〇	同
スペイン・アナ	同	三・五〇	◎	六三三	同
エジプト・アツシリヤ・バビロン	同	三・五〇	◎	七七八	同
ベルギー・オーストリヤ・ハンガリー	同	三・五〇	◎	八四三	同
日本神話と傳說	同	三・五〇	◎	七七一	同
甲斐志料集成（六）	萩原賴平	非	◎	六二一	甲斐志料刊行會
大阪に於ける幕末米價變動史	鈴木直二	同	◎	三四三	四海書房 豐島
日本文化史 中	上野菊爾		◎	二三四	上野菊爾 富山
日本史蹟大系（五）	熊田葦城	二・八〇	◎	四八七	平凡社 東京

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所
續日本精神史研究	和辻哲郎	二・八〇	◎	四六二	岩波書店 神田
愛知縣史（一）	愛知縣		◎	六九二	愛知縣 愛知
軍神廣瀨中佐傳	有馬成甫	一・〇〇	○	二六八	廣瀨神社創建奉賛會 大分
日本國體叢書三 陸海將軍の親族姻族 第一篇華族の卷	村田耕堂	五・〇〇	◎	四七八	白雲堂書房 王子
土佐國古城略史	小牧猛	非	○	四八六	青楓會 高知
近世偉人傳記叢書 賴山陽先生	本崎好尚 賴樂崖	・六〇	○	八三	山陽會 淺草
日本社會史	瀧川政次郎	一・八〇	◎	三九二	刀江書院 神田
新聞雜誌に現れた明治時代文化記錄集成後編三—四五	石田文四郎	四・〇〇	◎	六三〇	時代文化研究會 同
六泉鼓腹集	高瀨武次郎	二・〇〇	○	二六八	洗心洞文庫 大阪
幕末・明治・大正 回顧八十年史	大澤米造	一・二〇	△	〃	東洋文化協會 京橋
大武鑑（五）	橋本博	非	△		大治社 大森
歐洲政治史講義案一	岡義武		◎	二〇四	岡義武 芝
靖國神社忠魂史（一）	賀茂百樹	非	△	三三三	靖國神社務所 麹町
風雲兒內田信也	イハラキ時事社		○	五六	內田鐵相傳刊行會 深川

理學博士 竹內時男先生校訂・堀口君子先生 中井壽惠先生共著

最新物理學精義

●中等程度の物理學參考書、最新刊・內容充實・價格低廉、まづ內容見本を御覽あれ！

菊判八五〇頁
挿繪一五一五圖
別刷挿圖二七枚
總クロース裝函入
定價三圓八十錢
送料二十二錢

理學博士 箕作新六先生著

中等新化學講義

●最新の學說により中等程度の化學全般を解述したもの、教授者の參考書、學生の自修書

菊判五一〇頁
挿繪三五九圖
別刷挿繪一八枚
總クロース裝函入
定價二圓五十錢
送料二十二錢

［內容見本贈呈］

東京開成館
東京市小石川區小日向水道町
振替東京貯金口座五三二二

東西名著の大衆化！新潮文庫

最も歡迎されつゝあるものを掲ぐ（何れも在庫品豐富）

島崎藤村著	家（上・下）	各三〇	
島崎藤村著	春	四〇	
菊池寛著	勝敗	四五	
菊池寛著	青春圖會	四〇	
山本有三著	風	五五	
二葉亭四迷著	平凡	一五	
芥川龍之介著	羅生門	二〇	
久米正雄著	學生時代	四五	
久米正雄著	破船	六〇	
下村千秋著	天國の記錄・街のルンペン	二五	
小林多喜二著	蟹工船・不在地主	三〇	
三宅やす子著	偽れる未亡人	四〇	
中村武羅夫著	蒼白き薔薇	五〇	
加藤武雄著	久遠の像	四五	
吉屋信子著	海の極みまで	六〇	
吉田絃二郎著	無限	五五	
吉田絃二郎著	人間苦	三〇	
島田清次郎著	地上（地に潜むもの）	三五	
島田清次郎著	地上（地に飯くもの）	四五	
長谷川伸著	直八こども旅	三〇	
吉川英治著	雲霧閻魔帳	三〇	
江戸川亂歩著	パノラマ島奇談	二〇	
大下宇陀兒著	魔人	四五	
小島政二郎著	海燕	四〇	
小栗風葉著	終篇金色夜叉	三〇	
エリオット著 飯田徳雄譯	サイラス・マアナー	三五	
ステイヴンソン著 押川春浪譯	寶島	四〇	
ルツオ・杉本著 生田・大杉譯	懺悔錄（上・下）	上五五 下六〇	
ユーマ著 山内義雄譯	モンテ・クリスト 1・3	各四五	
デユマ著 大宅壯一譯	モンテ・クリスト 4・6	各五〇	
ゾラ著 宇高伸一譯	ナナ（上・下）	上四〇 下三〇	
ペロオ著 中村星湖譯	ボヴリイ夫人	六〇	
モオパッサン著 廣津和郎譯	女の一生	四〇	
ドオデエ著 武林無想庵譯	サフオ	三五	
メリメ著 布施延雄譯	カルメン	二五	
フロイド著 小牧近江譯	小さな町	三〇	
ジイド著 石川淳譯	背徳者	二五	
ルキオ・ヒル著	波止場人夫	三〇	
ツルゲエネフ著 米川正夫譯	父と子	四五	
ツルゲエネフ著 生田春月譯	初戀	二五	
ドストエフスキイ 米川正夫譯	白痴（全四巻）	1・45 2・40 3・35 4・35	
ボッカチオ著 森田草平譯	デカメロン（全三巻）	上55 中50 下50	
吉江喬松著	佛蘭西文學概觀	三〇	
千葉龜雄著	現代世界文學概觀	一五	
木村毅著	小說研究十二講	三五	
森田・昇・野上著	近代文藝十二講	五五	
中澤臨川著	近代思想十六講	六〇	
高須芳次郎著	日本思想十六講	六〇	
北原白秋著	雀の生活	三五	
吉田絃二郎著	小鳥の來る日	三〇	
吉田絃二郎著	草光る	三五	
吉田絃二郎著	木に凭りて	三〇	
吉田絃二郎著	わが詩わが旅	三五	
吉田絃二郎著	山家日記	三五	
吉田絃二郎著	靜かなる土	三五	
生田春月著	眞實に生きる惱み	三五	
生田春月著	生命の道	五五	
トルストイ著 田中純譯	人生論	二〇	
トルストイ著 相馬御風譯	性慾論	一五	
ヘルマンとドロテア 梁川・ゲエテ譯	種の起原（上・下）	各四五	
大木・杉本・ポオ譯	詩歌壇六家著 明治詩歌選	二〇	
白鳥省吾編	昭和詩選	一五	
白鳥・川路・田編	大正詩選	三五	
生田春月著	春月小曲集	一五	
現代詩人全集	島崎藤村集	二五	
現代詩人全集	蒲原有明集	二五	
現代詩人全集	野口米次郎集	二五	
現代詩人全集	北原白秋集	二五	
現代詩人全集	三木露風集	二五	
現代詩人全集	川路柳虹集	二五	
生田・ゲエテ・春月譯	ゲエテ詩集	二五	
生田・ハイネ・春月譯	ハイネ詩集	三〇	
幡谷正雄・バイロン譯	バイロン詩集	二〇	
ワアヅワス・幡谷正雄譯	ワアヅワス詩集	四〇	
ホイットマン・谷正雄譯	ホイットマン詩集	三〇	
白鳥省吾譯			
シエイクスピア著 横山有策譯	ハムレット	三〇	
ゴオルキイ著 久一郎譯	どん底	二〇	
櫻井忠溫著	肉彈	三〇	
谷讓次著	デキサス無宿	四〇	
谷讓次著	浴槽の花嫁	五〇	
谷讓次著	もだん・でかめろん	四〇	

進呈・定價錢單位とのはす下五錢送料は三錢五錢下は五錢以上は六錢以下は八錢以上は十二錢以下は十四錢以下は十六錢以下は十八錢

既刊百數十種・總目錄あり無代

新潮社 東京牛込 振替東京二四七一

商業英語の研究法

商英叢書

早稲田大學教授 前田定之助著

—商英双書 第一篇—

〔内容一班〕
- 商業英語ノ歴史的研究
- 英國文學者ノ用ヒテキル商業英語ノ研究法
- 轉用語及ビ意味ヲ變化シタル語ノ研究法
- 特殊商業用語句ノ研究
- 商業用記事ノ研究
- 貿易用語ノ研究及其研究法
- 英米ニテノ用ヒ方ト意味ヲ異ニスル語句ノ主要
- 英米法ヨリノ研究及研究法
- 英米ニテノ用ヒ方ト意味ヲ異ニスル語句ノ主要ナルモノノ研究

最も簡易化されたる英語に依る最も透徹せる意志の表現

「倉田三郎教授の警鐘」——世界の新聞紙の雄として尊信の天下に誉い The Times が、その本年六月十一、十二の兩日の紙面に於て Basic English の題の下に、その紹介と同情に富む説明を、數欄を費して掲載してゐることは、大に我々の注意を惹く、學界の二大事實である。この際、岡本春三氏の手で、Basic for Business が、有朋堂から譯されて世に出ることをも亦大いに意味深く感ぜられる。蓋くは本書の廣い使用によつて、在來の商業文の無意識の使嘱が、自覺的に簡明の形で行はれることになり、有無相通の途が、情神的にも物質的にも、一層圓滑に進められようと Basic English に多大の興味を懷く自分は切に、感じて止まないのである。

同志社高商教授 岡本春三譯

—商英双書 第二篇—

簡易英語 ベーシック式 商業通信文

壓倒的好評忽ち三版!!

菊判總クロース製函入二五〇餘頁

定價 金貳圓五十錢

送料 金十四錢

壓倒的好評忽ち三版!!

菊判總クロース製函入三三〇餘頁

定價 金參圓

送料 金十四錢

東京振替 東京神田錦町一七四八 有朋堂 株式會社

國際貿易法

商英叢書

小樽高商校長・教授 苫米地英俊著

躍進日本の貿易障は此處に最精鋭の武器を得た

—商英双書 第三篇—

著者の言葉——本書の結構は輸出輸入の二篇とし、各々の Case に附き取引の展開につれ必要なる往復書信、電信は云ふまでも無く、總ゆる書式を載錄し、其範例を示し、且つ國際通信のみならず輸出入相互國内取引の背景をも殘りなく書中に收め、Commercial Correspondence, Foreign Practice 及 Home Practice を打て一丸となし、且つ全篇英和對照、詳細なる脚註を附し、英語運用上の便宜を圖ると共に、邦語書簡文（候文）の文範をも示したれば學生、一般研究者並に實務家に對し、從來類例を見ざる好參考書かと自負するものである

壓倒的好評忽ち六版!!

菊判總クロース製函入本文三〇〇餘頁 ドキュメント一三一枚寫眞一〇〇頁

定價 金四圓五拾錢

送料 金二十二錢

英米両式 商業英語檢討

商英叢書

神戸高商講師 中村長之助著

—商英双書 第四篇—

英國式の傳統を尊ぶか、米國式の簡易平明を採るか、傳統を重んじて繁文縟禮に甘んずるか、平明を尊んでポライトを犧牲にするか、喧々囂々として歸趨に迷ふ貿易人に、英米兩式の長を採り、短を捨て、英文書簡文は斯くあらねばならぬと斷定を下せるものが本書である。著者は謂ふ『……研究材料の選擇に留意しました。次に其材料の示す取引の要點を判然と掴むことに努めました。更に其取引表示のために使用された言葉は果して、當事者の意志と狀勢とに凱切なりや否やの點に心掛けました』

壓倒的好評忽ち三版!!

菊判總クロース製函入三〇〇餘頁

定價 金三圓

送料 金十四錢

東京振替 東京神田錦町一七四八 有朋堂 株式會社

最新 **外國爲替實務誌**
大槻爲八著
菊判箱入六五〇頁 定價四・五〇 送料二二

會計實務誌
計理士 岩垂至著
菊判箱入三七〇頁 定價二・七〇 送料一一〇

內國爲替の理論と實務
川崎第百銀行 神戸秀雄著
菊判箱入三四〇頁 定價三・〇〇 送料一一〇

工業會計實務誌
主計少將 三輪寛 共著
計理士 池田壽太郎
菊判三四〇頁箱入 定價三・〇〇 送料一一〇

銀行實務誌
原靜著
菊判七〇〇頁箱入 定價四・二〇 送料一一〇

實用通信文精義
横濱高等商專教授 村松早苗著
菊判三五〇頁箱入 定價二・五〇 送料一一〇

決算書の作り方見方
計理士 松岡元三郎著
四六判三〇頁 箱入 定價一・五〇 送料一一〇

事務必携
日本產業能率研究所長 上野陽一編
ポケット型 三三〇頁 定價一・〇〇 送料六

最近 **貿易實務誌**
商學士 濱谷源藏著
菊判五六〇頁箱入 定價四・八〇 送料二二

帝國計理士協會理事長 岩垂至著
會社會計實務誌
菊判四五五頁 定價三・八〇 送料一四

同文館刊
東京神田駿河臺下
振替東京一三五番

普及版 **古事類苑** 神宮司廳藏版 (全六十冊) 今回普及版刊行に依て、何人も容易に此の寶庫を入手する機會を得たるは學界の慶事と思ふ。文物の整備は國家の榮であると思ふ。强みである。其に不朽の書を傳ふる絶大の事業であると思ふ。 價一冊六・〇〇 送料同・二二

復古記 東京帝國大學史料編纂所編 太政官編纂 (全十五冊) 復古記は其の名の如く、王政復古の顚末を記したる實直なる文獻也。其の編纂に前後十七年を費したるを見ても、其の完全無比さを窺ふべきもの。今本文索引全十五卷完成す。 價一冊七・五〇 送料同・二二

史料大成 笹川種郎博士 矢野太郎學士共編 (全三十冊) 記錄は文書と共に、重要なる歷史の材料で、其の根底を爲すもの也。本叢書は成書を其後刊行するにあらで、一編の記錄の各所に散在せるを蒐集校訂して、完璧たらしむるもの也。 價一冊三・二〇 送料同・一四

新校 **羣書類從** 各專門大家校訂 (全二十四冊) 今本書を刊行するに當り、細心の用意と嚴密なる出版良心とを以て、名專門家の嚴正なる校訂を經、各卷頭に詳細なる解題を附し、最後に編索引を附し、內容外觀の最善を盡し得たり。本書の校訂註釋は獨特の創見であり、一字一句に正確と愛情とを期したる結果である。更に顧みて、本叢書は良書を選したる點に於て始んで遺憾が無い。何人にも推薦し得べきもの也。 價一冊五・〇〇 送料同・二二

新釋 **日本文學叢書** 各專門大家執筆 (全二十四冊) 日本來紀に我が古代文化の縮圖で、我が民族が形成した最古文明の記錄也。方今思潮界多事なる時、我が先祖の偉大なる努力を回顧するは、最も意義ある事也、切に大方の清鑑を待つ。 價一冊四・五〇 送料同・二二

日本書紀通釋 飯田武鄕著 (全六冊) 總說は神豊の發に重しとする所、其中に大說は最も重要なるもの也。古來之れが註釋書は汗牛充棟である。本書は所謂深遠者の努力に依り之を集大成せるもの。眞に神道界の一大事業也。 價一冊六・〇〇 送料同・二二

大祓詞註釋大成 宮地直一博士 山本信哉博士 河野省三博士共編 (全三冊) 本書は稱好の日本文化史として、强い刺戰と感銘とを與へねば止まぬもの。其の內容は主として我が上代中世の外交史上の興味ある問題を網羅し、我が外交史を世界的觀點に據せて居る。 價一冊五・〇〇 送料同・二二

日支交涉史話 文學士 秋山謙藏著 (全一冊) 會は古代法制上無比の寶典也。今斯界の最大權威三浦藤川兩先生に請うて超稿を煩はし、斯くの如く完全なる定本と精細なる註解とを附して大方に見ゆるは我が學界の堅實の光榮なり。 價 八・五〇 送料・二二

定本 **令集解釋義** 三浦周行博士 瀧川政次郎博士共著 (全一冊) 本書は祭日祝日の式典由來を詳說し、其の眞精神眞意義を明說したるもの、著者は宮內省の要職に在り。日夜職として典儀に與かる。日本人として何人も座右一本を備ふべき寶典なり。 價 一・八〇 送料・一四

祭日祝日謹話 宮內省祭典 八束清貫著 (全一冊)

東京小石川 竹早町二三 **內外書籍株式會社** 電話小石川一〇五四番 振替東京八九六〇番

新修漢和大字典

◎文學博士 小柳司氣太著

★增補版★

小柳博士は最高の人格と全國の權威を結晶した全蘊の斯界の

一、二十字詰三十五行四段組による內容は優に四千頁の辭典に匹敵す。
一、總紙數二千一百餘頁、總字數一萬八百有餘、總熟語成句十萬三千。
一、國字・連語・辨似・俗字・常用漢字略字一覽表を特に附錄す。
一、索引は從來の方法と、更に容易なる番號索引法を採用す。
一、禮器・樂器・冠服の圖は、和漢の圖書より收錄し理解容易。
一、印刷は寫眞凸版を應用し絕對鮮麗。
一、製本は堅牢無比裝幀優美
一、定價の低廉は他に其の比を見ず。

定價（三圓八十錢）
特價 二圓五十錢（送料三十錢）

四六判總布裝天福色金函入……

背模樣押文字箔押……

漆押文字古色金箔押……

◎全國中等學校二千餘校の指定辭書!!

今回博士は更に本字典の完璧を期し、左の如く大增補を斷行す。
一、熟語三千語　一、同訓異義六八頁
一、助字篇二〇頁　一、名乘一覽七頁
●內容見本は直接本社へ……

東京日本橋區本町　株式會社 博文館　振替東京二四〇番

學界の權威悉く本書を推奬す!!

◎文學博士 新村出編纂

全國民待望の綜合國語大辭典!!

本書は從來の國語辭書の長所に、百科事彙式の樣式を加味し、索出の方法は最も引き易い表音式を採用した理想的辭書である。

辭苑

本書は收錄語數十六萬に及び、內容は最新、解釋は平易な口語文を用ひ、而も正確簡明、應用價値の廣大なることは他にその比を見ぬ萬戸必備の辭典である。

（定價 金四圓五十錢）
◎特價金三圓二拾錢（書留送料 內地……四五錢 臺樺鮮滿……七五錢）

四六判大形（タテ六寸六分 ヨコ四寸三分）

◆總クロース裝函入金文字入
◆本文……五・二〇八頁
◆附錄……七五頁
◆語彙總數……十五萬八千百六十四語
◆挿畫數……二千三百五十七圖

全一卷

★編者は斯界の最高權威
★解釋は懇切平易
★新語外來語の充實
★裝幀の高雅製本堅牢
★語彙は廣汎豐富
★語原は妥當正確
★挿畫は典據的確
★率仕的大廉價

內容見本は直接本社へ

東京日本橋區本町　博文館　振替東京二四〇番

鐵道省編纂の案内書

最も正確にて權威あるあの

日本案内記

待望の七卷成る

全國到る處大好評

(1) **東北篇** 紙數四四〇頁 定價一・八〇 送料〇・一〇

(2) **關東篇** 紙數五六〇頁 定價二・五〇 送料〇・一二

(3) **中部篇** 紙數四六〇頁 定價二・〇〇 送料〇・一二

(4) **近畿篇** 上卷 紙數三八〇頁 定價二・三〇 送料〇・一二

(5) **近畿篇** 下卷 紙數五八〇頁 定價二・五〇 送料〇・一二

(6) **中國四國篇** 紙數四九四頁 定價二・五〇 送料〇・一二

(7) **九州篇** 紙數四五二頁 定價二・五〇 送料〇・一二

景觀を尋ねて 紙數一五〇頁 定價一・〇〇 送料〇・六

三日乃至十日位を經濟的に旅行せんとする人の爲に懇切に、全國の景觀を紹介す。

溫泉案内 紙數七〇〇頁 定價一・五〇 送料〇・一四

全日本隅々に到る迄の大小溫泉に關するあらゆる知識を網羅せる堂々七百頁の大寶典

お寺まゐり 紙數九〇〇頁 定價二・〇〇 送料〇・一四

全國主要寺院を悉く掲載して、交通・宗派・開基本尊・國寶・附近の名所史蹟等を詳記す

神まうで 紙數三五〇頁 定價一・五〇 送料〇・一〇

神宮及官國幣社以上の神社に就て交通、祭神、靈驗、例祭、國寶沿革、社殿、神話、傳說等を記す。

東京日本橋區日本町 株式會社 **博文館** 振替東京二四〇番

東京商科大學教授 **牧一著** 受驗本位 **英文和譯新指導**

武藏高等學校教授 **荒牧鐵雄著** 受驗本位 **和文英譯新指導**

代數學解方の新研究 幾何學解方の新研究 著者 **吉岡斗松著** 受驗本位 **代數新指導** **幾何新指導**

第三高等學校教授 **阪倉篤太郎著** 受驗本位 **英文法新指導**

大谷大學教授 **浦川源吾著** 受驗本位 **國文解釋新指導** **漢文解釋新指導**

代數幾何 **融合問題** 指導

各冊 定價 金一円 送料金五錢

發行所 東京日本橋四丁目 **盛林堂** 本書内容見本御申越次第送呈

文學博士　山田孝雄先生
文學士　渡邊眞吉先生
閲校考案

國文法練習用
用言活用廻轉式圖表

（文語篇）既刊
（口語篇）近刊

國文法學習上の最難關は用言の活用にあります。本圖表はこれに習熟せしめる目的を以て、考案したものであります。

使用法は簡單で、廻轉式によつて用言の求める變化は直ちに得られ、逆に、變化した語によつて、その何形に屬するかを知ることが出來ます。

既に一通り國文法を修めた學生には用言に關する知識の整理カードとしても用ひられます。

形はポケット携帶用で、寸暇を利して學習するには最も好適であります。

各篇定價二十錢
送料　二錢

東京辭書出版社編輯部編纂

公民科辭典

四六版　上製　四百餘頁　定價五拾錢　送料六錢

解説篇に於ては現行中等學校使用教科書全般に亘つて連絡を保ち、雜多な公民教材の整理と簡明な解説を以て學習の便を計つた最も要領を得た公民自習書であります。後半は辭典として公民科學習上出會する術語、及び之に準ずる語を網羅してあります。

國文法のたすけ

四六版美裝・初級用・上級用　定價各參拾錢　送料四錢

國文法を最も懇切に説いて、そのコツを説明し、更に豊富な練習問題とその明確な解答を與へ、知らず識らずのうちに實力の養成を計ることを眼目として編纂してあります。内容は之を現行男女中等學校の何れの教科書とも連絡をとり初上級用の二つに分つてあります。

東京市麹町區富士見町二ノ八
株式會社　東京辭書出版社
電話九段一八二三
振替東京二〇八八番

虎の巻

東京辭書出版社版
東京成功社版

株式會社　東京辭書出版社

東京市麹町區富士見町二丁目八番地

懷中稽古本

長唄のしほり	第一編	
同	第二編	
同	第三編	
清元のしほり	前編	
同	續編	
常盤津のしほり	前編	
同	續編	
端唄のしほり	全	
小唄と端唄	全	
新内のしほり	全	
田中三省編著	習字兼用	三體書翰文
同	實用	習字書翰文
同	實用	習字はがき文
同	實用習字	女子書翰文
同	女子習字	四季手紙の書方

半紙石版印刷 全壹冊 和裝美本
各定價金八拾錢◎各送料金六錢

日本マンガ

1	モモタラウ
2	キンタラウ
3	カチカチヤマ
4	ハナサカヂヂイ
5	サルカニカツセン
6	ウサギトカメ
7	ウラシマタラウ
8	シタキリスズメ
9	ブンブクチャガマ
10	イッスンバフシ

サクイマンガ

1	ライオンヘイタイ
2	クロシヤツタイ
3	アカグツサンユウシ
4	アバレタンク
5	コンコンギツネ

四六判四色オフセット印刷
各定價金拾錢◎各送料金二錢

東京市淺草區
淺草橋一ノ三
日吉堂本店
振替東京二五二七六番
電話淺草七四六六番

學習院教授 山本直文編
標音佛和辭典 增補
三四判ポケット型 定價二圓 總革裝・五六〇頁 送一五錢

佛語界の權威
模範 佛和大辭典 增補
專門十大家編 三六判・總革裝 定價九圓 送料三三錢

佛蘭西文學會編 價二八〇 送一四
新佛和小辭典

大阪外語教授 徳尾俊彦編 價二八〇 送一五
新佛和熟語辭典

陸軍大學教授 丸山順太郎編 價二八〇 送一二
白水社 和佛辭典

大分高商教授 野口洪基編 價二五〇 送一五
佛蘭西語 不規則動詞 逆引辭典

滿鐵東亞經濟調査局編
改訂 佛和兵語辭典

Jルノンドオ編 價二八〇 送一五

滿洲國事務官 佐藤通男編 價一五〇 送六
ソウェート略語辭典

白水社露和大辭典
約十五萬語・二二八二頁 (內容見本呈)
原型版 四六倍判・背革裝・價十二圓 送料五七錢(滿鐵線・支八八錢)
縮册版 菊判・パクラム裝・價八圓 送料四五錢(滿鐵線・支七五錢)

フランス語第一歩
著 藏好 盛 河 大授 立教 價 1.00 送 .06

ドイツ語第一歩
神戸高商大講師 加藤一郎著 價 1.00 送 .06

イタリー語第一歩
大阪外語講師 徳尾俊彥著 價 1.50 送 .08

スペイン語第一歩
大阪外語教授 佐藤久平著 價 1.30 送 .08

語學目錄 月報
文藝目錄 送呈
東京市神田駿河臺下六
振替東京二四一七
白水社

日本婦道講座 全六巻

▽日本精神がハッキリと把めて、婦人の生きる正しい道が、スウッと分る、評判の講座。

▽本書出でて、今までの花嫁資格が一變したとまで云はれるほど、女性に缺くことの出來ない嫁入文庫。

▽女ばかりではない、男も知らねばならぬ知識一切をあつめた、これは社會の讀本です。

▽主婦はこれを讀んで、新聞や雜誌の難しい話がスラスラ理解できる。お嬢さんは、三味線やお琴のお嫁入り稽古に本當のハクがつく。

▽それもその筈、家庭生活に必要な宗教、思想、社會問題から家事、家政、手藝、文藝、育兒、料理、裁縫、活花、茶道と、全くモダン百科辭典。

▽義濟會編纂。一流講師五十名動員。

一冊一圓 送料一冊八錢。四六判各四百頁函入美本

好評

日本名婦傳 菊池寛著 一圓廿錢 送料六錢

日常和服裁縫の秘訣 原田惠助著 一圓 送料八錢

肺病征服記 岩瀬又吉著 一圓半 送料十錢

四季の新日本料理 宇多繁野著 一圓半 送料十錢

婦人性典 福井正憑著 八十錢 送料六錢

愛兒の導き方 三田谷啓著 一圓 送料十錢

コドモの相談 三田谷啓著 一圓半 送料十錢

男女貞操讀本 菊池寛・河崎ナツ・五十錢 小倉清太郎 共著 送料四錢

花嫁常識讀本 婦女界社編 三十五錢 送料六錢

家庭秘藥 藥草療法 全書 松島種美著 三十五錢 送料六錢

東京振替市東京 一九二番 麹町区 一口坂 三七

婦女界社發行

和獨文併用 **解剖學** 醫博 岡嶋敬治著 一八・五〇 II 九・〇〇 III 九・〇〇 〒各冊內地二〇 領七七五

組織學總論 醫博 岡嶋敬治著 二・八〇 〒內地一四 領七一八

組織學 醫博 伊澤好爲著 八・五〇 〒內地二二 領七六二

人體寄生蟲學 醫・理博 横川定 理博 森下薫共著 一〇・〇〇 II 一二・〇〇 〒各冊內地二二 領七六二

藥理學 醫博 林春雄著 六・五〇 〒內地二二 領七六二

藥治學講義 醫博 林春雄著 三・〇〇 〒內地一四 領七一八

井上內科新書 醫博 井上善次郎著 醫博 柏戸留吉改訂 一八・五〇 II 一二・〇〇 III 一三・五〇 〒各冊內地二二 領七六二

內科診斷學 醫博 井上善次郎 ドクトル 吉田坦藏共著 一〇・〇〇 〒內地二二 領七六二

外科總論 (日獨混合文) 醫博 高橋信美 醫博 津田誠次 各論近刊 八・五〇 〒內地二二 領七六二

實地外科手術書 醫博 高橋信美 醫博 鈴木五郎共著 一八・〇〇 〒內地三八 領七八八

婦人科學總論 醫博 安藤畫一著 五・〇〇 〒內地二二 領七六二

婦人科學各論 醫博 安藤畫一著 近刊

婦人科手術學 醫博 安藤畫一著 八・〇〇 〒內地二二 領七六二

看護學 千葉醫大看護婦養生所編 上卷 三・五〇 下卷 四・〇〇 〒各冊內地二二 領七六二

醫家獨逸語獨修書 村田正太著 五・五〇 〒一四

圖書目錄御申越次第進呈

吐鳳堂書店 東京本郷龍岡町三一 振替東京四一八 電話小石川七六八七・七〇六六

呈進錄目圖地 發行賣發 房書段九

最新改造 **世界大地圖** 軸製 横四尺縦三尺 定價二、五〇〇 送料三〇〇

最新調査 **日本大地圖** 軸製 横四尺縦三尺 定價二、五〇〇 送料三〇〇

最新改造 **世界大地圖** 四六全判 定價六、〇〇 送料四〇〇

最新調査 **日本大地圖** 四六全判 定價六、〇〇 送料四〇〇

番地入 **新大東京全圖** 袋入 四六全判 定價六、〇〇 送料四〇〇

番地入 **新大東京全圖** 四六半截 定價六、〇〇 送料二〇

大東京區分地圖 區劃交通町名便覽 ポケット型 定價二、〇〇 送料四〇

新大東京 區劃交通町名便覽 ポケット型 定價二、〇〇 送料四〇

最新世界地圖 菊判函入 定價一、五〇 送料一四

和業路屋編 最新調査 **大日本分縣地圖** 併地名總覽 四六倍判 定價二、〇〇 送料三〇

呈進錄目書圖行發社陽春

昭和十一年度版 **東京府** 中等學校入學試驗 **問題及模範解答** 男子用定價八十錢 女子用定價七十錢 送料各十錢

陸軍幼年學校 陸軍工科學校 陸軍少年航空兵 海軍少年航空兵 **入學試驗問題及び模範解答** 四六判 定價六、〇〇 送料四〇

昭和十三年度版準拠 **東京學校案内** 男子用 定價一、七〇 送料八〇 女子用 定價一、六〇 送料六〇

受驗 國史地理科 **三科のねらひどころ** 菊判 定價一、八〇 送料二〇

受驗 **讀方のねらひどころ** 菊判 定價一、八〇 送料二〇

受驗 **算術のねらひどころ** 菊判 定價一、八〇 送料二〇

最後の受驗備準 **全科の總まとめ** 菊判 定價一、五〇 送料八〇

自習 **國語新辭典** 四六判 定價一、八〇 送料二〇

社陽春 圖書出版 振替東京27116番

房書段九 圖門地專 振替東京26667番

東京市神田區神保町三丁目一番地七 電話九段(33)1075番

東洋經濟新報社 發行 圖書目錄

東京市日本橋區本石町三ノ二 電話日本橋(一八一)番、(八三)番、(二四八七)番、(二七八五)番 振替口座東京六五一八番

著者	書名	體裁	定價	郵税
	週刊 東洋經濟新報 (毎土曜日發行)	一ヶ年前金 半ヶ年前金	一五〇〇 八〇〇	郵税共三〇〇 五〇〇
	月刊 英文東洋經濟新報	一ヶ年前金	一〇〇〇	郵税共五〇〇
猪間驢一著	**經濟圖表の見方** 畫き方使ひ方	四六判	三五〇頁	一・五〇 八〇
高橋龜吉著	**金融の基礎知識** 普及版	四六判	四〇〇頁	一・五〇 一二〇
東洋經濟編	**明治大正財政詳覽** 明治大正國勢總覽(普及版一組)	四六倍	一七八頁 一八八頁	一五・〇〇 六〇〇
東洋經濟編	**株式會社年鑑** 十年版	四六倍	六五〇頁	二・五〇 一四〇
東洋經濟編	**經濟年鑑**	四六倍	三四四頁	二・〇〇 一〇〇
東洋經濟編	**生命保險會社の批判**	四六倍	一六〇頁	一・〇〇 二〇
東洋經濟編	**株界二十年** (十一年版)圖表付	四六倍	二七〇頁	一・五〇 一〇〇
東洋經濟編	**短期日日表**	四六判	二二六頁	一・〇〇 六〇
東洋經濟編	**(十一年版)會社かがみ**	四六倍	二四八頁	一・〇〇 六〇
東洋經濟編	**日本經濟年報** (隔年刊行)	四六判	三八四頁	一・〇〇 八〇
大藏省編	**外國貿易月表**	四六倍	一回	一ヶ月 ・八五 四
高橋龜吉著	**日本金融論**	菊判	七〇〇頁	三・〇〇 二〇〇
東洋經濟編	**金本位制の研究**	四六判	六〇〇頁	二・三〇 一四〇
東洋經濟編	**短期新東日日表**	四六判	一五二頁	一・〇〇 八〇
東洋經濟編	**東株日日高低精覽**	菊判	四〇〇頁	三・五〇 一六〇
加藤直士著	**人の使ひ方使はれ方**	四六判	一六〇頁	・五〇 四〇
東洋經濟編	**經濟手帳**	袖珍判	三四〇頁	・八〇 四〇
東洋經濟編	**日本貿易精覽**	四六倍	八三〇頁	八・〇〇 五〇
中瀨勝太郎著	**德川時代の賄賂秘史**	四六判	二四〇頁	一・〇〇 六〇
中瀨勝太郎著	**德川時代の德政秘史**	四六判	二六〇頁	一・〇〇 八〇

東京帝國大學教授
醫學博士 西成甫監修
伊藤元雋

掛圖式 標準人體解剖圖

第一表出來（淺部內臟圖）
第二表近刊（深部內臟圖）

現代に適應せざる憾あることを痛感し、今回、最も優秀なる圖畫の出現を企圖し、茲に斷然筆を更め、彩管を新にして最新の製版技術の進歩を應用し、その印刷に於ては特に細心の注意と多大の努力を拂ひ、以て西博士が嚴密なる監督指導の下に、解體標本を前にして、新進の解剖專門畫家伊藤元氏が其の才筆を振ひ、綿密周到に描出されたもので、畫面は等身大として從來の平面感を避け立體的表現に努め、加之最新の原色寫眞製版印刷による四色或は五色の彩色法は、精巧妙緻に過ぎ實物そのまゝを見る如き感あらしむ。今回先づ（內臟篇）第一表・第二表を發賣し續いて（骨・筋）其他に及ぶ豫定である。

第一表 正價 金四圓送料十四錢
掛圖の大さ 縱四尺四寸 横二尺三寸八分

新刊

ドクトルアーノルドローランド著
九州帝國大學教授
醫學博士 大平得三著

老衰の原因及其豫防

長生したいと云ふのはあらゆる生物の願望であらふ、同して人間に於ては其の願望は殊に熾烈である、從つて色々な長壽法なるものが述べられる、然し所謂長壽法なるものには獨斷に過ぎないものも多い。かゝる獨斷は何處から來るかと云ふに畢竟する處人體の生理學、病理學、臨牀醫學等を一貫した深い根據無く、僅な經驗を基として皮相な判斷を下すからである。長壽を保ちたいならば何故老衰するかを知らねばならん、而して老衰に對し豫防を講じ、治療を施すならば期せずして長壽が得られる筈である。

原著者アーノルド、ローランド氏は老衰現象の豫防及合法的生活を懇切に說き餘す所ない、原著が既に七版を重ね、十二ケ國語に飜譯されて居る事は如何に世界人士の歡迎を受けたかを物語るものである、今此處に大平九大教授の流暢な譯文となつて現れた事は深き喜である、醫師醫學者のみならず教養ある一般大衆に是非お奬めしたい。

菊判二二八頁正價金貳圓五拾錢送料十錢

東京市小石川區水道町一番地 電話小石川一九六三番
東京市本郷區春木町一丁目一番地 電話本郷一五三〇番
東京市中央區銀座二丁目一番地 電話京橋一四九九番
東京市神田區淡路町二丁目一番地 電話神田一五〇五番
南江堂 株式會社

改正國際海上衝突豫防規則解說

逓信技師兼高等海員審判所審判官 永野馬太郎著
菊判本文三二七頁 附錄九五頁
定價三圓五十錢（送料二十一錢）

海文堂編	現行海事法令	・九八〇
森田重次郎	海運實務の指針	五・〇二〇
水口博士	最新商法判例研究	五・〇二〇
佐瀨昌三	自動車運轉手と過失犯	二・八二〇
平井要三	ディーゼル機關	六・五〇三三
大山文武	セミ・ディーゼル機關	二・八二〇
藤崎喜代太	最新塗裝工業並ニ塗料製造法	五・五二〇

發行所
東京神田小川町二丁目一（振替東京八〇九九三）
海文堂
神戸元町三丁目三四〇（振替大阪五〇四〇八）

和獨辭典

南山堂版

特製¥4.50 並製¥4.00

澤井要一・辻善定共編

斯界の絶對的支持を得て聲價愈々揚がる

日本に於て最初の完成せる和獨辭典

總てに優る內容

1. 語彙の豐富. 內容の新鮮
2. 譯語の明快. 懇切
3. 譯語の豐富. 語感の滲出
4. 性. 數. 格の明示. 用例の豐富
5. 檢索の容易. 至便
6. 印刷. 製本の優秀
7. 校閲の嚴正

袖珍判型

縱	190m.m.
横	105m.m.
厚サ	25m.m.
重量	450g
總紙數	1080頁
檢索語彙	50000語
收錄語彙	130000語

裝幀

特製——總羊革裝 背金箔押

並製——總洋布裝 背金箔押

本文用紙 三菱製紙會社 特漉辭典用紙

印刷 精巧なる寫眞縮刷版

南山堂書店發行

東京市本郷區龍岡町

振替東京六三三八番

電話小石川四二三・四七五七番

古代錦繪
浮世繪肉筆
美術參考書
高見澤版畫
古陶器
現代版畫

荒井浮世繪店

東京市下谷區上野町一丁目十五番地

電話下谷(83)三七〇八番

長安畫廊

東京市京橋區銀座二丁目四番地

電話京橋〇二〇九番

バルト著　義認と聖化　送價〇、五〇
松尾相譯　福音主義的教會の危急　送價〇、五〇
同　教會と文化　送價〇、五〇

——基督教叢書——

ハイム著　聖書の世界觀　送價〇、九〇
藤田孫太郎譯　價一、〇〇
ブルンナー著　神と人　送價〇、一〇
菅岡吉譯　基督教世界觀　送價〇、九〇
シュタンゲ著　哲學的世界觀　送價〇、一〇
宮本武之助譯
パタソン著　聖パウロの神學思想　送價一、〇〇
松尾、野川共譯
ブラシュウィック　パスカル『パンセン』序說　送價一、〇〇
中木、直方共譯

メイチェン著　基督教とは何ぞや　送價〇、一〇
角田桂猷譯
ベリイー著　基督教の中心問題　送價〇、一〇
桑田秀延譯
カイパア著　カルヴィニズム　送價二、三〇
上田丈夫譯
ハルナック著　基督教神學及び教理の成立　送價一、〇〇
森敬之譯
佐治良三著　ブルトマン・イエス　送價二、三〇
福富啓泰譯
フォルサイス著　十字架の十字架性　送價一、四〇
麻生陸義譯
グラーブマン著　聖トマス・アクイナス　送價〇、二〇
高桑純夫譯

マイアーズ作　聖パウロ　送價一、五〇
齋藤勇譯註
鐘田研一編著　殉教者の旗　送價一、〇〇
川添繁郎著　病床の樂園　價一、〇〇
村尾圭介著　療養夜話　送價一、二〇
同　療養日々の力　送價〇、一〇
武藏野歌會東雲のまぶた　送價〇、五〇
全生學園兒童詩文集　星　送價〇、三〇
高倉德太郎著　福音的基督教　送價二、〇〇
同　恩寵と眞實　送價一、五〇
著　基督教世界觀　送價一、〇〇
同　著　聖書の來歷　送價〇、一〇
高倉德太郎　(1)神の愛と神への愛　上製　送價一、〇〇
(2)祈禱の戰場　普及版　送價〇、五〇
說教集　(3)決斷的信仰　送價〇、一〇
征矢野晃雄著　信仰と道德　送價二、一〇
同　聖アウグスチヌスの研究　送價二、一四〇

日本神學校編　基督教文獻假目錄　送價〇、八〇
小野村林藏著　土に芽ぐむ生命　送價一、五〇
同　神に憧動する心　送價一、五〇
同　苦難の理解　送價〇、二〇
鈴木傳助著　改革主義の信仰　送價一、四〇
麻生陸義著　パウロ書翰概說　送價〇、六〇
中川景輝著　ロマ書の精神　送價一、五〇
帝國大學學生　森明選集　送價一、五〇
基督教共助會編　日本の使徒　送價〇、九〇
中澤正七編　トマスウキン傳　送價一、五〇
淺野順一著　詩篇選釋（第一卷）　送價一、五〇
同　著　豫言者の研究　送價一、五〇
山谷省吾　(1)後書　テサロニケ前　送價一、四〇
(2)コリント前書　ガラテヤ書
新約聖書　(3)コリント後書　送價一、四〇
新譯と解釋

—柏井全譯纂編全六册—　送價一、五〇
(1)(3)パウロ研究及び神學論文　(2)耶蘇及び福音書研究　(4)寺事評論及び史論　(5)文學・感想・小品（別卷）基督教及び史

發兌　東京市牛込區早稲田大學正門前通　振替東京七一八八六番　長崎書店

東京高等師範學校教官　井上武士
日本兒童音樂協會主宰　黑澤隆朝　共著

小學校唱歌教授資料集成

（第一學年用）
（第二學年用）
（第三學年用は五月出來）

內容見本進呈

月刊

學校音樂

定價三十錢　全國書店にあり　舊號進呈

小學校唱歌科の實際指導に於て、本書は當該學年の指導を自由になし得べく、その復雜多岐に亙る指導上の諸材料を取捨選擇するに應じ、小學校唱歌材料指導の百科辭典の觀あるべく、五百の讀者の需めに應ずるもの。正に材料は始學期より終學期に至る迄、最も完璧を以て組立てられ、讀者の鑑賞に資する實妥當な體系を以て、一二唱歌指導の要諦を完備せしめ、

國學院大學學長 文學博士 河野省三著

神道讀本

四六判三一五頁 定價一圓五十錢 送料十錢

神道を說いて固陋に惰せず、日本精神を論じて理窟を構へず、該博なる學殖と興趣深き引例を、今著多き行文に托して縱橫に說き來り、神道の眞意義を披瀝しておのづから强き日本精神の自覺を促す所、正に河野博士の獨壇場である。各家庭各敎場に具へて熟讀玩味すべき好箇の國民讀本である。

豪北帝大敎授 瀧田貞治著

逍遙書誌

新菊判函入五〇〇頁美裝本 寫眞版五枚數葉入 定價四圓五十錢五百部限定

書誌學界に篤學隱れなき著者が多年渉獵せる逍遙文獻の集積を、故博士より親しく指導校閲を經つゝ專心編纂に從事されたもの。光芒百代に及ぶ大逍遙の全業績全活動はこゝに悉く闡明された。逍遙研究家にとつての福音としての外、書誌學上その編纂の形式に幾多の新機軸を示して居る。

東京市神田區錦町三ノ二六 振替東京一七一六六 昭和書房

中山太郎著

日本民俗學辭典

四六判八百二段組頁入 定價三圓五十錢 索引共九百頁 送料二十二錢

本書の眞價は既に學界に定評あり。初版本旬日にして品切となりて以來益々高まりつゝある大方の要望に應へ最低限度の廉價版として再び發賣する運びとなつた。近時愈々深さと廣さを加へつゝあるわが民俗學研究の磁針であると同時にその流麗なる筆致は鄕土色を彷彿せしめ好事家諸賢の好伴ともならう。

補遺日本民俗學辭典 四六判二段組 定價一圓八十錢 索引付四百頁

ポール・ド・クリュー著 和田日出吉譯

細菌の獵人

四六判三六〇頁 定價一圓五十錢 送料十錢

專門的な細菌發見史がかくまで面白く、あらゆる映畫に勝る迫眞力をもつて描かれたことは一つの驚異である。偉大なる科學者達が生死を賭した苦鬪の末、如何なる經路を辿つて、眼に見えぬ恐るべき人類の敵を征服し來たか。彼等の熱情、彼等の發見の動機、彼等の遺した戰慄と驚異に滿ちた挿話は、息もつかせぬ名筆によつて躍動する。本書こそ最も刺戟的な讀物であり、しかも眞理に充ちた新時代の敎科書だ。

合名會社 大阪屋號書店・好評圖書

東京・日本橋・兜町橋二ノ五 振替東京一三七五番 電話日本橋(24)三七三七番

日滿會話五十日 堀井仁著 菊半一四〇頁 送六〇・五〇

かなつき日滿會話 川瀨侍郎著 菊半三二〇頁 送六〇・一〇

かなつき日滿露會話 權寧世著 菊半一三〇頁 送四〇・五〇

かなつき日露會話 八杉貞利著 袖珍二五〇頁 送六〇・一〇

新選日英米會話 最上梅雄・澁谷新平共著 袖珍七〇〇頁 送八〇・一五〇

井上日英會話 井上十吉著 袖珍六五〇頁 送八〇・二・五〇

かなつき日英會話 澁谷新平著 袖珍四一〇頁 送六〇・一・三〇

かなつき日獨會話 桃井鶴夫著 袖珍二三〇頁 送六〇・一・〇〇

かなつき日露露日會話 吉田薰著 袖珍三六〇頁 送六〇・一・二〇

新々朝鮮語會話 山本正誠著 袖珍二二〇頁 送六〇・九〇

華語大辭典 權寧世編 三一二〇六頁 送一四〇・五・五〇

改訂支那四聲辭典 權寧世著 袖珍四〇〇頁 送八〇・二・〇〇

支那骨董と美術工藝圖說 上田恭輔著 豪華三〇〇頁 送世三七・五〇

支那陶磁の時代的研究 上田恭輔著 四六判二三〇頁 送一五・三・五〇

支那陶磁雜談 上田恭輔著 四六判四〇〇頁 送一五・三・五〇

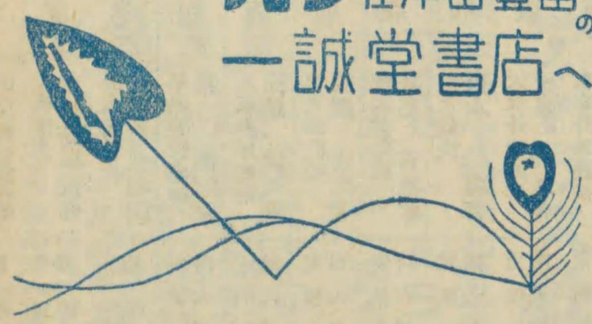
滿洲國とはどんな處か 清水國治著 四六判二四〇頁 送八・一・五〇

滿洲・支那・朝鮮 橋崎觀一著 四六判五四〇頁 送一四・二・五〇

最新中華民國大地圖(軸製) 附大滿洲國地圖 西山榮久著 送料實費二〇・〇〇

凡ての古書の御用は一誠堂へ

稀覯書
絶版書
大部數叢書類の
御注文は"先ず"在庫品豐富の
一誠堂書店へ



一誠堂書店

本店・東京市神田区神保町一丁目
支店・東京市神田区神保町一ノ七
電話神田75番750番・振替東京25281番

正則英語學校長
第一高等學校名譽教授 村田祐治著

熟語本位 **サン英和辭典**

紙數1298頁・語數約60,000語

新ポケット型・縦5寸2分×横2寸6分
用紙・特漉インデアン最優紙
印刷・優秀オフセット鮮明無比
裝幀・總羊革製，高雅堅牢

至廉 ¥2.50 (書留送料 ¥.16)

═獨特の編纂による特色═

◇内容の新鮮充實完備　在來の辭典が持つ特長は特長として悉く採り容れると共に，その不備缺點を補ひポケット型としてこれ以上望み得られぬまでいよ細心周到なる研究と考慮とを拂つて完璧を期したものである。

◇語彙の嚴選と豐富　歐米各種辭典を參酌し各科百般に亘り頗る嚴肅なる態度を持して渉獵に選擇を重ね，新鮮なる内容を充實せしめた。

◇新語の豐富網羅　英米及び我が國既刊の辭典にも未だ收めてなきものをも網羅し，近時驚異として族出せる新語の如きは本書を俟つて初めて解決し得らる。

◇重要基本語の明示　ホーン，ソーンダイク兩博士の選定せる基本語を考査して約一萬一千五百語に＊印を附し，その内更に高等專門學校入試頻出語四千一百語には▼印を附して重要性を明示せるは，大に學習能率を上げ殊に受驗生には便益誠に多大である。

◇譯語の精練平明懇切　實際に即して充分活用の出來得るやう精練平明にして且清新なる譯語を施し，從來の辭典で混譯された自他動の區別をテニハの十分なる驅使によつて明瞭にし，動詞の支配する前置詞を一々明示し必要に應じて原語，同意語，説語を挿入するなど懇切を極む。

◇新意義譯の解説　社會の進展が産んだ新意義譯を見逃さず取入れてあるのは一大特色で全卷清新の氣が漲つてゐる。

◇發音は頗る正確　主としてジョウンズ博士の發音辭典により　英米區別あるものはその兩樣を揭げ頗る正確である。

◇熟語慣用語の豐富　フレーズ，イデイオム及び文例の豐富なることは特色中の特色で，類書中本書の右に出づるものなく，實際上の用例をも揭げてあるから語法極めて明明である。

◇文例の饒多　文例の數は實に驚異的のもので重要語には二十三十の文例を揭げるなど大辭典にも劣らない（殊に入試問題をも取入れた事は受驗生に大に役立つ）。特に譯文には意を注ぎ原文の要所はイタリックとし其部分の譯文には傍線を施せるを以て逆に和文英譯の用をなす。これらは獨り本書のみが有する一大特色で，周到懇切な企てである。

◇檢索の容易至便　語原の異なる語は別見出にして，肩に１２等を附し品詞の異るに從ひ別行にし，不規則變化は別に見出しにある外その原級基語の所にも一々變化を示し，熟語，文例は各起首に夫々▼ークを附して各ABC順に排列してあるから檢索頗る容易である。

◇重要固有名詞表　固有名詞の普通なるものは本文中に揭げ，歴科書新聞雜誌歴史傳説等に表れるもの，外現代世界の表面に活躍する人名地名は卷末に別表として揭げてあるから頗る便利である。

東京 **日英社** 神田

電話神田(25)二〇四五・振替東京二六三三一

大學書林語學參考書

本書林語學參考書類は凡て一日一課二時間、短時間で語學の一通りを會得させる組織になつてゐる。發音には必ず萬國音標文字を用ひ或は口形圖を附して振假名の不備を補ひ、且つ文法は譯讀と關連して、また譯讀は文法と歩調を合せて說明してあるから、各國語の基本的知識を直ちに獲得する。またそれぞれの國語學習にとつて主要な動詞變化表熟語集或は單語集を添へて暗記の便に供す。讀後の學習指針も與へられて居り、紙上で不明な點は質問券によつて著者自らが責任應答する。

獨逸語短期大學（全三卷）	文學博士 山岸光宣監修	各冊	定價一、五〇・送料、一〇 四六判布裝・三八〇頁
佛蘭西語短期大學（全三卷）	文學博士 吉江喬松監修	各冊	定價一、五〇・送料、〇八 四六判布裝・三五〇頁
標準支那語講座（全二卷）	陸大元教授 宮島吉敏編輯	各冊	定價一、五〇・送料、〇八 四六判布裝・三八〇頁
獨逸語四週間（廿六版）	早高學院講師 森儁郎著		定價一、五〇・送料、一〇 四六判布裝・四〇〇頁
佛蘭西語四週間（廿二版）	大阪外語講師 德尾俊彥著		定價一、五〇・送料、〇八 四六判布裝・三六〇頁
露西亞語四週間（七版）	早大助教授 岡澤秀虎著		定價一、五〇・送料、〇八 四六判布裝・三二〇頁
支那語四週間（七版）	陸大元教授 宮島吉敏著		定價一、五〇・送料、〇八 四六判布裝・二七〇頁
英語四週間（八版）	明大教授 松本環著		定價一、五〇・送料、一〇 四六判布裝・四五〇頁
伊太利語四週間（三版）	大阪外語講師 德尾俊彥著		定價二、〇〇・送料、〇八 四六判布裝・三五〇頁
西班牙語四週間（三版）	東京外語教授 笠井鎭夫著		定價二、〇〇・送料、〇八 四六判布裝・三六〇頁
葡萄牙語四週間（再版）	東京外語教授 星誠著		定價二、五〇・送料、一〇 四六判布裝・四六〇頁
和蘭語四週間（近刊）	東京外語教授 朝倉純孝著		定價二、三〇・送料、〇八 四六判布裝・三五〇頁

東京市牛込區西町五軒 振替口座・東京四三七四〇番

大學書林

地圖

製圖の御用命は
彫刻
印刷

東京 アトラス社へ

東京市牛込區北町三〇番地
電話牛込（34）三三五五番
振替口座東京一四九三三番

世界地圖、日本地圖各種統計圖表、掛圖、案內地圖鐵道交通地圖等の製圖各都市、案內圖鳥瞰圖等製圖、彫刻、印刷に關する一切、株券、證券、藥品レッテル箱、精巧なる印刷原版の銅版彫刻一切引受

營業種目

一般教育地圖の作製

地圖見本帖贈呈

日本技術界の最高權威

トーキー大日本帝國史	田邊章一	一・三〇	○三五四	共立社
近世名士寫眞（十一）	井口雄三	非	△一〇枚	近世名士寫眞頒布會
史料大成（一九）山槐記（一）	川俣馨一	三・二〇	◎三〇五	内外書籍株式會社
ウエツフミ（七八）	安藤一馬	非	△	小石川神代文化研究會
東洋文庫論叢二二 左傳の思想史的研究	津田左右吉	七・〇〇	△七六三	東洋文庫
帝國議會五十年史 自第一議會至第六十七議會	深尾逸雄	二五・〇〇	△一〇七〇	二六新報社
邦人叢書 近世日本生理學思想史論	蒲本政三郎	・三〇	×一〇九	非人社
明治思想史	鳥井博郎	・八〇	×二六一	三笠書房
改訂概觀歐洲藝術史（一九三五）	國伊能	七・八〇	△七二九	冨山房
話題の陸海軍史	松下芳男	一・五〇	○三三八	學藝社
【十月】				
日本封建制度成立史	牧健二	三・〇〇	◎三三七	弘文堂書房
伊藤公平記秘錄	平塚篤	・二〇	○七四	松坂屋
忠と義	平泉澄	非	◎三四一	平泉澄
野馬追史論攷	尾形鶴吉	三・二〇	◎二〇九	博芳社
解說東洋史	内藤虎次郎	非	◎一四六	永澤金港堂
史料大成三 小右記三	川俣馨一	三・二〇	◎三三三	内外書籍株式會社
二宮尊德先生	石田傳吉	一・〇〇	○三三五	浩文社
プスキーコ史學概論	西雅雄譯	一・二〇	◎二三九	自揚社
大日本史料第一編 上天皇五九	岡次郎	七・〇〇	◎九九三	東京帝國大學文學部史料編纂所
東國大學				
大東敵愾忠義編（乾）			△	虎文齊
同（坤）			△	同
回顧五十年	島中雄作	非	◎三九四	中央公論社
明治維新の先驅者 天忠組中山忠光	正親町季薫	七・〇〇	◎四一六	明治維新祥地發祥記念碑建設會
日本傳說研究（七）	藤澤衞彦	二・〇〇	○四一八	三笠書房
薩藩女性史	岩元禧		◎四一四	鹿兒島市教育會
日本農民史	玉川治三	四・五〇	◎五〇六	成美堂書店
幕末西洋文化と沼津兵學校	米山梅吉	一・二〇	○二〇六	三省堂
維新史叢說	尾佐竹猛	二・〇〇	○三三三	學而書院
二宮先生眞筆選集	佐々井信太郎	五・〇〇	△帙入一冊	二宮尊德偉業宣揚會

文學博士 上田萬年
文學博士 三上參次 監修
太田亮著

啓明會
原田積善會
立命館大學 後援

全三卷
各卷紙數約二千頁

第一卷 皇室御系圖 ア——カ
第二卷 キ——ト
第三卷 ナ——ワ

内容見本呈

姓氏家系大辭典

諸名士の讃辭

著者の勇猛心や良とに尊敬に値ひする 貴族院議員 蘇峰 德富猪一郎

幾萬千姓氏の系傳、隨つて求むれば隨つて得、一目瞭然たるものあり 帝大教授文學博士 辻善之助

痒い處に手が届いて居る 立命館大學總長 中川小十郎

太田君の大著は國家的事業 帝大教授文學博士 黑板勝美

人間業にあらずと存ぜられ候 帝大講師文學博士 喜田貞吉

この人にして此の著あるは實に適材適所 考證課長文學博士 宮地直一

有ゆる姓氏、苗字、稱號、社寺、特種民等の出自、系圖、一族、分布、沿革、氏寺尊を傳說、紋章、氏神、活動、明かにし、重要なる家々に就ては、家格家祿、歷代、住所、家紋等を述べ、著明なる人物につきては、略傳、卒年月、享年等を附す。又關係ある地名官名、城館、神社、佛閣等に亘るが故に、此の點より見れば國史の大辭典たる觀あり。一面八千萬同胞の人名索引たると共に、戸籍調べと丟ふも不可なからん。

菊判背革・平布裝 背模樣文字金箔押 天金函入堅牢裝釘 六號活字・三段組

定價各一冊 拾貳圓

特價各冊 拾圓

小包送料 地方參拾錢 外七拾五錢

東京市日本橋區本町四丁目二番地・磯部甲陽堂内

姓氏家系大辭典刊行會

振替東京七七三一四番
電話茅場町六六七三番

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
近世日本國民史三八 朝幕交渉篇	德富猪一郎		○四九〇	民友社
同一三 家康時代下卷 家康時代概觀	同		○六四四	同
續百姓尊德	奥平祥一	一・六〇	○四〇〇	春秋社
ヘーゲル傳	甘粕石介	一・八〇	○三五八	三笠書房
古今東西 著名事件の眞相と判例	牧野敬次郎	一・八〇	○四三	光明社
近世西洋勞働運動史	北島武平 宮地健三	一・六〇	○二六七	叢文閣
景岳橋本左内	滋賀貞	一・五〇	◎二九六	武藏野書院
英傑秘聞帖	駒井重次	一・八〇	○一〇三	ヤシマ書房
民族日本歷史（戰國編）	白柳秀湖	一・五〇	○四四七	千倉書房
日本刀講座（一七）			◎	雄山閣
荒木貞夫と阿部信行	松下芳男	・一〇	○四五	今日の問題社
國民精神文化家族の研究 二ノ九 起源	河村只雄	・二五	△七四	日本文化協會出版部
近世名士寫眞（一二）	井口雄三		△一〇枚	近世名士寫眞頒布會
近世日本國民史 壞夷實行篇	德富猪一郎	五・〇〇	◎六〇四	民友社
頗傳記大日本史（一）（公卿篇）			◎三六九	雄山閣
歷史の眞實を衝く	田村榮太郎	一・六〇	○三六一	學藝社
齋東史話	喜田貞吉	二・〇〇	○三五八	立命館出版部
新聞集成明治編年史（六）	中山泰昌		△五五六	財政經濟學會
幕末明治大正 回顧八十年史（二）（四）	大澤米造	一・二〇	△	東洋文化協會
日本歷史時代初期墳墓研究提要	淺田芳朗	一・二〇	◎一一八	海島書房
恩田木工民親傳	大平喜間多	一・〇〇	○三〇五	信濃毎日新聞社
上代の日向延岡	鳥居龍藏	一八・〇〇	△	鳥居人類學研究所
會津藩における鐵道沿革史	山崎闇齋	二・五〇	◎二九一	西澤書店
薩藩維新秘史 葛城彥一傳	前田恒春	一・五〇	◎一九八	通文閣
日本史蹟大系（六）	山內修一	三・五〇	◎六九七	葛城彥一傳編輯所
國史讀本	熊田葦城	二・八〇	◎四三九	平凡社
大川周明	清原貞雄	三・〇〇	◎三一一	中文館書店
			○二六九	日本青年社

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
南洋近世史學史序說	千代田謙	四・〇〇	◎五四三	三省堂
東京瓦斯五十年史	有本隆一		△二六四	東京瓦斯株式會社
立志成功 世界の偉人	加藤清司	二・六〇	◎四八一	學術出版社
大楠公六百年祭寫眞帖	關保之助 外一名	非	△	大楠公六百年祭
世界歷史大系（一〇） 中央アジア史印度史	松田壽男 外二名	二・八〇	◎六四三	奉贊會平凡社
昭和十一年曆	神宮神部署		△一三七	神宮神部署
大日本文庫國體篇 大日本史贊藪・保建大記・中興鑑言		非	○四七五	春陽堂
【十一月】				
新聞集成 明治編年史七 憲法發布期				
紋章叢話	沼田頼輔	一・七〇	○二三六	明治書院
護法殉難	都留法城	・九五	○二四二	護法殉難者顯揚會
德川時代の德政秘史	中瀨勝太郎	一・〇〇	○三三五	東洋經濟新報社
續國譯漢文大系經子史部一 國譯資治通鑑一			◎八二七	國民文庫刊行會
現代語譯 遠江國風土記傳	內山眞龍	六・〇〇	◎八二二	谷島屋書店
概說靜岡縣史	靜岡師範學校	二・五〇	◎三三三	谷島屋書店
古事記序文講義	山田孝雄	非	◎二〇三	志波彥神社
戊辰記事	志賀潔	非	◎一二四	南山堂書店
共働社十五年史	戶澤仁三郎	・五〇	○九六	共働社
吉野朝太平記（二）	鷲尾雨工	一・八〇	○五〇八	春秋社
近世日本國民史一四 德川幕府上期上卷鎖國篇	德富猪一郎		○五五六	民友社
同			○五二二	同
政治及政治史研究 三九	井伊直彌執政時代			
亞米利加社會經濟史	蠟山政道	三・八〇	◎五七五	岩波書店
讀史備要	猪谷善一	一・八〇	○三四〇	章華社
大日本文庫佛教篇 本朝高僧傳（上）	東京帝國大學史料編纂所	七・五〇	○二五四	內外書籍株式會社
頭山滿翁寫眞傳	藤本尙則	一五・〇〇	△帙入一册	頭山滿翁寫眞傳刊行會
煙草製造創業三十年誌	專賣局		◎	東京商工會議所
明治文化研究（六）	蛯原八郎	一・二〇	◎一九四	學而書院
大日本古文書二一（追加一五）	東京帝國大學	五・〇〇	◎五九八	東京帝國大學

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
地方發達史と其の人物（三重縣史料大成一四）中右記・七）	鈴木善作	非	△	鄉土研究社 目黑
新聞集成 明治編年史 憲法發布期（改訂版）		二・二〇	◎三八一	內外書籍株式會社 小石川
樂浪王光墓	朝鮮古蹟研究會		△三三八	財政經濟學會 赤坂
女子學習院五十年史	女子學習院	非	◎六四六	女子學習院 麴町
幕末維新の人物	尾佐竹猛		○二八三	學而書院 下谷
日本婦人の鑑	藤廣ユキ	二〇・〇〇	△七一八	婦人評論社 世田谷
物語日本文學（一〇） 大鏡	藤村作		○一九〇	至文堂 牛込
トルストーイ傳	原久一郎	一・五〇	○四三〇	三笠書房 神田
筑豐石炭鑛業會五十年史	吉見實	非	△一七四	筑豐石炭鑛業會 福岡
南朝落花の賦	小林橘川	一・二〇	○三〇七	教育思潮研究會 愛知
古戰場物語	小瀧淳	二・三〇	○四三七	時習館 下谷
日本自動車業界史	永田詮	五・〇〇	◎五四〇	交通問題研究會 大阪
明治暗殺史	坂井邦夫	一・八〇	○三五二	大伸堂書店 神田
國史讀本（改版）	大川周明	一・〇〇	○二六九	日本青年社 神田
秦碑之研究 漢碑之形制	中村不折		變形一〇三	雄山閣 麴町
神代三山陵	山口平吉		△二四五	鹿兒島史談會 鹿兒島
幕末から明治へ	白木原史樓	一・五〇	○三三三	日本公論社 神田
有朋堂文庫 神皇正統記外二篇	塚本哲三	非	×七九〇	有朋堂 同
日本各地傳說集 越佐北陸篇	大木紅塔	二・五〇	◎三三八	帝國教育會出版部 同
商業史	榊原巖	一・五〇	◎四二六	神原巖 福島
本願寺秘史	上原芳太郎	非	○三三四	信義會 京都
日本人絹發達史（上）	藤澤指薪	四・〇〇	◎三三五	日本人絹聯合通信社 大阪
井上準之助傳	結城豐太郎	非	◎九〇四	井上準之助論叢編纂會 日本橋
商工信用錄（七一）	安藤仁隆	非	△	東京興信所 同
アンドレジードは語る	向田悌介譯	・八〇	○一一九	平原社 京橋
歌右衞門自傳	中村歌右衞門・伊原青々園	二・五〇	○三七〇	秋豐園出版部 神田
小野梓傳	西村眞次	二・五〇	◎三六五	富山房 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
偉人權兵衞（山本權兵衞逸話集）	村上貞一	一・五〇	○四〇〇	實業之日本社 京橋
江原素六先生傳	村田勤	一・三〇	○三〇一	三省堂 神田
藤田東湖論	大野愼	・一〇	○五七	東京パンフレット社 中野
藤澤幾之輔	阿子島俊治	二・〇〇	○四八〇	斗南書院 神田
熱血兒ムツソリニの全貌	石井滿	一・二〇	○五〇六	ヤシマ書房 同
ドストエフスキー	アンドレシュアレス	・九〇	◎一二三	山本書店 牛込
花井卓藏全傳（下）	宮崎嶺雄譯 大木源二	六・〇〇	◎四八三	花井卓藏全傳編纂所 芝
【十二月】				
近世快人傳	夢野久作	一・二〇	○三三〇	黑白書房 牛込
夢殿第十四册 續法隆寺研究	佐伯啓造	二・三〇	◎二四四	鴉故鄉舍 奈良
貞操史以前	黑田禮二	一・五〇	○三五九	千倉書房 京橋
土地區劃整理の歷史と法制	小栗忠七	五・〇〇	◎五四二	巖松堂書店 神田
六國史（續日本記中）	今泉忠義	二・八〇	◎三七六	大岡山書店 麻布
日本近世造船史 大正時代	造船協會	七・〇〇	○六七九	造船協會 麴町
民族日本歷史（近世編）	白柳秀湖	一・五〇	○四八三	千倉書房 京橋
支那史概說（上）	岡崎文夫	一・五〇	◎二三四	弘文堂書房 神田
京都帝國大學文學部三十周年史	京都帝國大學文學部		◎三一六	京都帝國大學文學部 京都
現代史	村川堅固	二・八〇	◎五一九	平凡社 日本橋
物語日本文學一六 義經記	藤村作		○二四四	至文堂 牛込
近代世界觀成立史上	ボルケナウ フランツ 横川次郎譯	二・八〇	◎四四四	叢文閣 麴町
近世日本食物史上	笹川臨風 足立勇	三・五〇	◎五〇三	雄山閣 同
日本法制史	隈崎渡	三・〇〇	◎四三一	章華社 目黑
函館戰爭史料（一）	高原美忠	非	◎一七三	官祭函館招魂社 北海道
日本史蹟大系（七）	熊田葦城	二・八〇	◎三九八	平凡社 日本橋
甲斐叢書一〇甲斐國志（上）	須藤孝平	三・五〇	◎四五〇	甲斐叢書刊行會 山梨
牧野元次郎	武者小路實篤		○三八一	學藝社 京橋
日本近世造船史 大正時代附圖	造船協會	七・〇〇	△	造船協會 麴町
唯物論全書 歷史論	服部之總	・八〇	×二二六	三笠書房 神田
稻葉默齋先生傳	池上幸二郎	二・〇〇	○六二	一誠堂書店 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
國寶建造物（第三期）第一輯	矢野國太郎	四・〇〇	△三枚	國寶建造物刊行會 麹町
日本精神史談	鹽原二根・荒井榮之	・八〇	○二四九	春秋社 日本橋
蒲壽庚の事蹟	桑原隲藏	三・五〇	○二四六	岩波書店 神田
日本歴史讀本	早川二郎	一・三〇	◎三三四	白揚社 同
類聚傳記大日本史（二三）			◎三三〇	雄山閣 麹町
多聞院日記（二）	辻善之助		◎四八一	三教書院 中野
栃木縣史六 教育編	田代善吉	五・五〇	◎六二〇	下野史談會 栃木
内村鑑三傳	益本重吉・藤澤音吉	一・五〇	○五〇〇	内村鑑三傳刊行會 淀橋
昭和新選碑法洛神賦帖大觀一ノ二 二種	田中和市		變形	寧樂書道會 奈良
幕末の新政策	本庄榮治郎	三・〇〇	◎三四四	有斐閣 神田
學位大系博士氏名錄 昭和十一年版	井關九郎	三・五〇	○	發展社出版部 世田谷
類聚傳記大日本史五 武將篇 改訂版			○四六一	雄山閣 麹町
新聞集成明治編年史（八）	中山泰昌		○五〇八	財政經濟學會 東京帝國大學文學部史料編纂所 赤坂・本郷
大日本史料第後水尾天皇十二編之三十三			◎九二六	

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
新版現代俳人名彙	金兒農夫雄	二・五〇	○四三三	素人社書屋 本郷
内堀維文遺稿並傳	法本義弘	非	◎一四七〇	内堀維文遺稿並傳刊行會 小石川
鹿苑目錄（四）	辻善之助	三・八〇	◎四一〇	太洋社 豐島
日本郵船株式會社五十年史	日本郵船株式會社	非	△九五二	日本郵船株式會社 麹町
明治創業の巨星を語る	奈良帝室博物館	一・〇〇	△五枚	同 奈良
維新史料大成二七 勘仲記（二）	洛北隱士	一・五〇	○四七六	ヤシマ書房 神田
安政大獄（前篇）	德富猪一郎	三・二〇	◎三四三	内外書籍株式會社 小石川
比律賓在留邦人商業發達史	渡邊薫	三・二〇	○三六〇	南洋協會 麹町
國譯資治通鑑（三）經子史部（二）			◎九五三	國民文庫刊行會 神田
舊鈔本史記景本紀（第十一）	京都帝國大學文學部		箱入一卷	京都帝國大學文學部 京都
武藏野叢書一 神田	廣澤金次郎	一・五〇	◎三三	武藏野會 芝
大朝墓認三種	田中和市		變形	寧樂書道會 奈良

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
北海の太閤	木下斗南	一・二〇	○二〇三	木下傳記刊行會 木下成太郎氏 北海道
大日本商工信用錄	桑澤武次	五〇・〇〇	○	東京商工興信所 京橋
歐洲政治史講義案二	岡義武		◎一六三	岡義武
神社制度史の研究	吉井良晃	四・〇〇	◎五〇三	雄山閣 麹町
ナポレオンの性格	ジェー・ホランド・ローズ 砂川一平譯	二・五〇	○五五九	明治書院 神田
床次竹二郎	相良三介	一・三〇	○二三六	人間としての床次先生編纂會 麹町
近世日本國民史一五 德川幕府上期中卷統制篇	德富猪一郎		○五五八	民友社 神田
幕末經濟史研究	本庄榮治郎	三・八〇	◎四二〇	有斐閣 同
二宮尊德の人格と思想	井上角五郎	一・五〇	◎四六〇	國民工業學院 京橋
日本先史學序史	中谷治宇二郎	二・五〇	◎二七九	岩波書店 神田

鼻で本を讀む男

目は物を見るもの、鼻は臭をかぐものと極つてゐるが、鼻で物を見る男があるから世は樣々だ。クダ・バックスなる廿九歳の回教徒、目かくしをされても平然と鼻で本を讀むことが出來るといふ實例が最近の英國眼科醫大會席上でシー・エス・フリック博士により報告された。フリック博士の報告によると「目でない視覺」を有する人間はこの外にも往々にして例があるさうで例へばエレン・ドーソンといふ少女は兩眼に嚴重な目かくしをされながら手に持つた本の中に描かれてある色彩を正確に言ひ當てたさうである。これはロンドンの醫師ハンズ博士もはつきりと保證してゐる。フリック博士はこれを次の樣に說明してゐる。

『下等動物の中には眼がなくてもその皮膚から光の刺戟を感受し得るものがあるが、人間の皮膚の中にも未だにさうした傾向が幾分殘存してをり、それが極めて稀な特殊の人間において幾分發達してゐるのではないかと思はれる』

九ポイント系統の活字の大きさ

四十二ポイント
號數活字
三十六ポイント
は種々の点
三十ポイント
に短所を有す
二十七ポイント
乍然ポイント式
二十四ポイント
活字は大さに一
二十一ポイント
定の基準を與へて
十八ポイント
其の數的關係を表は
十五ポイント
した所に長所がある。ポ
十二ポイント
イント式に依れば十ポイント
九ポイント
一つの知識さへあれば二十ポイントは
八ポイント
其の二倍、九ポイントは一割小さいのである
七ポイント
要するに舊活字とポイント系活字とを識別し
六ポイント
原稿を書くとき、校正するとき混交せぬやう注意を要す

（一二）地誌・紀行・地圖

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
滿洲漫談	石渡繁胤	二・〇〇	〇二八八	明文堂 神田
廣島縣史蹟名勝寫眞帖	米本新之助	四・〇〇	△	教育公報社 廣島
歐洲旅行記	寶藏寺久雄	一・五〇	〇四二八	千城堂 麴町
移住制限問題に直面して三たび友邦大ブラジルを訪ふ	井上雅二	一・二〇	〇三二二	實業之日本社 京橋
大日本地誌大系新編武藏國風土記稿九	蘆田伊人	非	◎三四三	雄山閣 麴町
外蒙古の現勢	吉村忠三	一・〇〇	〇一九四	日本公論社 神田
豐後風土記新考	井上通泰	二・〇〇	◎	巧人社 大阪
聚落地理學論文集	矢島一三	二・二〇	◎	地理教育研究會 小石川
天草寫眞大觀	吉見教英		△	みくに社 熊本
日本アルプスへ縱走記	窪田空穗	一・五〇	〇二九三	鄕土研究社 小石川
世界地圖第百版	武藤貞一	一・〇〇	〇二九二	新政社 淀橋
臺灣放言	宮川次郎	三・五〇	〇三三三	蓬萊書院 麴町
旭日旗のはためくところ	長谷川孫兵衛	一・五〇	〇一八九	長谷川孫兵衛 赤坂
肥前風土記新考	井上通泰	二・〇〇	◎二六〇	政經書院 京都
熱帶紀行	中河與一	一・八〇	〇二八〇	竹村書房 四谷
地理論叢第五輯	石橋五郎	二・二〇	◎二三三	古今書院 神田
大日本地誌大系新編武藏國風土記稿（八）	蘆田伊人	非	◎三七二	雄山閣 麴町
愛知縣案內	愛知縣		○三三〇	愛知縣 愛知
ベンガル灣水路誌	水路部	五・〇〇	○三五九	水路部 京橋
僕の見た滿鮮	小生夢坊	一・〇〇	○一五六	月且社 芝
岐阜縣大地理	北里善從	七・〇〇	◎九二三	岐阜縣教育會 岐阜
湯島一丁目と附近の今昔誌	小野桂	非	◎	湯島一丁目町會 本郷
大塚地理學會論文集（四）	田中啓爾	二・三〇	◎二五四	古今書院 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
滿洲產業建設第一篇 學徒研究團報告	非	非	◎二五三	至誠會本部 麹町
熱河（一）（二）	關野貞 竹島卓一	四〇・〇	△六二枚	座右寶刊行會 木郷
同	同	四〇・〇	△八四枚	同 同
土崎發達史	今野賢三	二・〇〇	○三六九	土崎發達史刊行會 秋田
【二月】				
アフリカ東岸水路誌（二）	水路部	五・〇〇	◎三三五	水路部 京橋
上毛山川	群馬縣	非	○	群馬縣 群馬
大大阪物語	東尾眞三郎 外三名	二・八〇	○四〇二	東洋圖書株式會社 神田
政治地理學研究	飯本信之	三・五〇	◎四四三	中興館 同
南洋讀本	鈴木利貞	・一〇	○一九四	日本評論社 京橋
支那風土記	後藤朝太郎	二・五〇	◎四三一	章華社 目黑
北米巡禮三十三ケ所	宮島幹之助	非	◎八六	普及科學知識會 麹町
辻風土記	山下待夫		◎六二四	水石社 德島
ブリヤード蒙古の全貌	吉村忠三	一・〇〇	○一六八	日本公論社 神田
宮城（江戸城址）附近巡見略引	松本勘太郎	非	◎五〇	宮音松 萩原
南洋事情	播州國防研究會本部	非	○二八	播州國防研究會本部 兵庫
青森市研究	青森市	非	◎三八	青森市 青森
大東京區分地圖	森芳雄	・五〇	○	アトラス社 牛込
鄉土教育資料 鹿兒島地誌	鹿兒島市	非	◎四三一	鹿兒島市 鹿兒島
甲斐から駿河へ	村松志孝	・五〇	×三二一	甲駿觀光協會 山梨
紀州	鐵道省	一・二〇	○一八〇	春陽堂 日本橋
【三月】				
大日本地誌大系 新編武藏國風土記稿（十）	蘆田伊人	非	◎三四五	雄山閣 麹町
樂土南洋	中上川蝶子	二・五〇	○二七六	南光社 神田
地學辭典	渡邊貫	一一・〇〇 一〇・〇〇	○一七二六	古今書院 同
全國交通里程精圖 附改正市町村名大鑑	日下伊兵衛	四・〇〇 三・〇〇	○	和樂路屋 大阪
景觀世界地誌上	山本熊太郎	三・八〇	◎四四八	古今書院 神田
人文地理學	辻村太郎 山崎禎一	一・八〇	◎一八六	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
廣島縣史蹟名勝寫眞帖	米本新之助	五・〇〇	△	教育公報社 廣島
山・山・人間	木下仙	一・八〇	○二九四	竹村書房 四谷
昭和九年十二月十五日現在鐵道停車場一覽	鐵道省	・六五	◎	川口印刷所出版部 芝
大雪山と阿寒	沼佐陸次	二・〇〇	○三四九	北海道廳景勝地協會 北海道
地理學研究の第一步	鹿又美英	・六〇	○一二四	古今書院 神田
【四月】				
支那滿洲風土記	クレッシイ 日本外事協會	二・五〇	○四三六	日本外事協會 麹町
東京から一二泊の氣まゝな旅	水島芳靜	一・〇〇	×三八一	荻原星文館 神田
ニユージランド沿岸水路誌（第一卷）	水路部	五・〇〇	◎三一五	水路部 京橋
地理講座 日本篇 總論	山本三生		◎三九六	改造社 芝
地理論叢 六	石橋五郎	二・八〇	◎二九一	古今書院 神田
大日本地誌大系新編 武藏國風土記稿	蘆田伊人	非	◎三五四	雄山閣 麹町
經濟地理學概說	佐藤弘 松久彌	二・〇〇	◎二八〇	三省堂 神田
地理學方法論	綿貫勇彥	一・九〇	◎二三六	地人書館 同
ペルシア海灣水路誌	水路部	五・〇〇	◎四〇二	水路部 京橋
內蒙古・長城地帶	島村孝三郎	一〇・〇	△	東亞考古學會 豐島
東海道名所記	山田清作	非	△	米山堂 牛込
日本海と大阪灣とを結ぶ水運の聯絡	谷口嘉六 宮部義男	二・〇〇	◎一三七	谷口嘉六 宮部義男 滋賀
南太平洋諸島誌	水路部	五・〇〇	◎三四九	水路部 京橋
人生地理	守屋荒美雄	二・八〇	○四三八	帝國書院 神田
古川市次郎翰集	古川穗東	非	△一六三	古川穗東 德島
【五月】				
復興橫濱の全貌	菊池源助	二・〇〇	◎二八一	菊池源助 神奈川
朝鮮風土記	小野清	一〇・〇	○五三三	民論時代社 四谷
ハイキング	茂木愼雄	一・五〇	○二四六	三省堂 神田
房州風土記	穗坂與明	一・〇〇	○一三八	川流堂 麹町
北の山	伊藤彥五郎	二・五〇	◎二一一	梓書房 神田
奧多摩	田島勝太郎	一・八〇	○五七三	山と溪谷社 芝
臺灣を視る	篠田治策	一・五〇	○三四三	樂浪書院 中野
有朋堂文庫江戸名所圖會	塚本哲三	非	×六八〇	有朋堂 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
世界經濟地理講話	佐藤弘	一・五〇	〇二七七	古今書院 神田
內蒙古 ―地理產業文化―	吉村忠三	三・五〇	〇五〇七	日本公論社 同
【六月】				
ビルマ海水路誌	水路部	二・四〇	◎二七六	水路部 京橋
南アルプス 八ケ岳連峰	濱邊公平 畑井藏 吉下一夫	一・八〇	〇三六六	三省堂 神田
旅程と費用概算	日本旅行協會	一・六〇	〇八五〇	博文館 日本橋
經濟地理概論備考	樋口清策	非	◎五〇七	阿部正章 淀橋
白馬連峯と高瀨溪谷	冠松次郎	二・五〇	◎三九七	梓書房 神田
日本地理講話	佐藤弘	一・五〇	〇二三〇	古今書院 同
增補滿洲寫眞帖	內藤虎次郎	五・五〇	△	小林寫眞製版所出版部 京都
日本風景選集	川瀨巴水		△	渡邊庄三郎 京橋
日光東照宮寫眞帖	林治一		△	有朋堂文庫 江戸名所圖會 東照宮社務所 栃木
景勝地經營と觀光事業	塚本哲三	非	×	有朋堂 神田
日本地理學年報（三）	今村學郎	三・〇〇	◎二五七	裳華房 麴町
【八月】				
人文地理學の基礎知識	イチヨノエキ 今岡十一郎	一・五〇	〇一九七	古今書院 神田
熱帶の日本 南洋群島（二）	志村秀吉	二・五〇	◎一六三	志村秀吉 淀橋
陸地測量學	大前憲三郎 外三名	一五・〇	△八二三	岩波書店 神田
「山は誘惑する」放送講座	清水書店	二・二〇	〇二七〇	清水書店 同
血に彩られた北樺太（現狀と資源）	能仲文夫	一・〇〇	〇二四三	中央情報社 麴町
殖民村解說 世界新地誌（植民大陸篇）	櫻井靜	三・二〇	◎四三四	大同館書店 神田
近畿ハイキング案內	須古清	一・二〇	〇二二六	七星社 大阪
風土と生活 福岡縣地誌	金尾宗平	三・五〇	◎四一三	刀江書院 神田
奧秩父（續編）	原全敦	二・五〇	〇七〇六	朋文堂 麻布
橫濱 吉田新田圖繪	吉田一太郎	非	◎	吉田家 神奈川

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
近畿・中國・四國 名勝案內	大阪鐵道局	・五〇	〇二九四	日本旅行協會 麴町
大日本文庫 地誌篇 風土記集	和田利彥	非	〇三四六	春陽堂 日本橋
通信運送 全國市町村便覽	日本地理研究會	一・五〇	◎	巧人社 大阪
地誌目錄	內務省地理局	二・五〇	◎二〇二	大岡山書店 麻布
日本アルプスの研究	矢澤米三郎	二・八〇	◎二五七	三省堂 神田
山岳美觀	吉江喬松	一・五〇	〇一六〇	協和書院 同
大東京大觀	園田末熊		△五八四	帝國大觀社 江戸川
登山案內並にハイキングコース	橫井春野	一・八〇	〇三八七	白揚社 神田
【七月】				
有朋堂文庫 江戸名所圖會（三）	塚本哲三	非	×五七六	有朋堂 神田
山岳漫步	春日俊吉	・七〇	〇二六〇	朋文堂 麻布
有朋堂文庫 江戸名所圖會（四）	塚本哲三	非	×五五六	有朋堂 神田
人文地理學通論	別枝篤彥	三・三〇	◎四〇四	地人書館 同
樺太地誌	大野東雲	一・六〇	〇二〇九	古今書院 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
大東京の郊外	水島芳靜	一・五〇	〇四六八	荻原星文館 神田
武州このごろ記	北條清一	一・八〇	〇三八五	日本公論社 同
保養本位 溫泉案內	溫泉調査會	一・二〇	〇三一〇	白揚社 同
地理學年報（三）	今村學郎	三・〇〇	◎二五七	裳華房 麴町
【八月】				
人文地理學の基礎知識	イチヨノエキ 今岡十一郎	一・五〇	〇一九七	古今書院 神田
熱帶の日本 南洋群島（二）	志村秀吉	二・五〇	◎一六三	志村秀吉 淀橋
陸地測量學	大前憲三郎 外三名	一五・〇	△八二三	岩波書店 神田
「山は誘惑する」放送講座	清水書店	二・二〇	〇二七〇	清水書店 同
血に彩られた北樺太（現狀と資源）	能仲文夫	一・〇〇	〇二四三	中央情報社 麴町
殖民村解說 世界新地誌（植民大陸篇）	櫻井靜	三・二〇	◎四三四	大同館書店 神田
近畿ハイキング案內	須古清	一・二〇	〇二二六	七星社 大阪
風土と生活 福岡縣地誌	金尾宗平	三・五〇	◎四一三	刀江書院 神田
奧秩父（續編）	原全敦	二・五〇	〇七〇六	朋文堂 麻布
橫濱 吉田新田圖繪	吉田一太郎	非	◎	吉田家 神奈川
臺灣案內	井東憲	一・〇〇	〇三〇六	植民事情研究所 牛込
長江畔の足跡	關孤圓	非	〇二〇六	關孤圓 茨城
カムチヤツカ探檢旅行記	ベスルグテマシン 中垣虎兒郎譯	一・五〇	〇三〇三	學藝社 京橋
【九月】				
滿支視察 あるがまゝ	後藤朝太郎	非	〇七八	東亞研究人文所 麴町
東海道名所記（二）	山田清作	同	△六二	米山堂 牛込
觀て來た滿鮮	杉山佐七	一・五〇	〇二三四	日本商業教育會 神田
奈良縣地誌	堀井甚一郎	三・七〇	◎三〇八	大和史蹟研究會 奈良
カメラ、ハイキング	吉川速男	二・五〇	〇三〇一	玄光社 豐島
景觀世界地誌（下）	山本熊太郎	三・八〇	◎五〇四	古今書院 神田
圖說日本地理（下）	佐々木清治	二・八〇	◎三三六	賢文館 同
飛躍日本の移植民地	角井靖一	二・五〇	◎四二二	南光社 同
霧島の研究	鷹野周道	非	◎三九二	官廳府縣郡市町村支廳 宮崎
紅海アデン海灣水路誌（一）	水路部	五・〇〇	◎三八〇	水路部 京橋
經濟地理學講座 一五 ブロック經濟地理	森武夫	二・五〇	◎四一六	叢文閣 麴町

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【十月】				
日本燈臺表	燈臺局	・六〇	◎三三九	燈光會 神奈川
臺灣島の現在	大谷光瑞	一〇・〇〇	◎七〇五	大乘社 大阪
ハイキング讀本	茂木愼雄	一・五〇	〇二九三	三省堂 神田
昭和十年八月青森縣水害實記	川崎文男	一・二〇	△二一一	東奥日報社 青森
昭和十年全國市町村別面積調	內閣統計局	・五五	△九七	東京統計協會 京橋
世界經濟地理	水田淳亮	二・一〇	◎二六三	大同印刷部出版會 山口
地理學地形・氣候篇	秋岡武次郎 渡邊光	二・八〇	◎三七四	古今書院 神田
【十一月】				
上海から巴蜀へ	神田正雄	一・五〇	〇三六四	海外社 淀橋
比律賓群島案內	大宜味朝德	一・〇〇	〇三四九	海外研究所 木郷
地理論叢（七）	京都帝國大學文學部地理學教室	三・二〇	◎三五三	古今書院 神田
山岳講座（一）	南條初五郎	二・〇〇	◎四二三	共立社 同
地圖投影法	北田宏藏	二・三〇	◎二二四	地人書館 同
新經濟地理學	高橋次郎	二・五〇	◎三〇〇	高陽書院 神田
薩藩沿革地圖	鹿兒島市		△	鹿兒島市教育會 鹿兒島
東海道名所記（三）	山田清作	非	△六五	米山堂 牛込
【十二月】				
世界地名ローマンス	柴山雄三郎	一・七〇	〇三八二	モナス 小石川
滿洲踏査記念寫眞帖	赤堀正平	非	△	學徒至誠會 麴町
實地探勝名所と山水	吉原良三	二・〇〇	〇六六六	康文社 牛込
世界地理風俗大系 波・獨・白・和蘭	鈴木艮		〇六七六	誠文堂新光社 神田
本邦無線電信電話設備一覽表	遞信省工務局	二・〇〇	△三三〇	遞信協會 麴町
日本地理風俗大系 局所中國・四國・瀨戸內海	中村道太郎		△七九〇	誠文堂新光社 神田
僕の見た臺灣樺太	小生夢坊	一・八〇	〇二〇九	日滿新興文化協會 京橋
東洋燈臺表（下）	水路部	二・五〇	◎三〇〇	水路部 同
大塚地理學會論文集（五）	田中啓爾	三・二〇	◎三三四	古今書院 神田
廣西遊記	森岳陽	一・五〇	◎九八	秋山印刷所 豐島

カムチヤツカ探檢記	ステンベルグマン 本仙太郎譯	二・〇〇	〇四四六	弘學社 赤坂
西部亞細亞地方視察談	松島肇	非	◎二九	霞山會館 麴町
山岳講座（二）		二・〇〇	◎三九〇	共立社 神田
ハワイ諸島	水路部	四・〇〇	◎二二	水路部 京橋

米人の消閑法

米國の社會狀態はNRA法の結果勤勞時間が短縮、餘暇が擴大された。以前より延長されたる餘暇を如何に利用されつゝあるかに就ては最近米國リクリエシヨン協會が二十九市における年齢二十一歳以上の成人五千二百人につき調査したところによれば一人平均の二十六種の消閑法を持つてゐるが、就中、最も一般的な消閑法は雜誌を讀むこと、ラヂオの聽取、訪問、招待、讀書、映畫、水泳、文通、讀書、ピクニツクとして（創作以外の）、會話の順序となつてゐる。之を要するに消閑は家庭において比較的安易で、個人的な靜かな受動的方法が採用されてゐる。つまり家庭を中心とする個人的消閑法が最も一般的だと云ふことは大に注意すべきだ。

探偵小說は衰へず

近頃日本の探偵小說界は昨年よりやうだが、夫れでも依然旺盛なアメリカの探偵文壇にとは比較にならない。米國の代表的出版元が必ず一年に數種のNRAの探偵小說を出してゐる位だし、最近增加してゐる蔭の單行本も良を殊にお畫にの探偵物が上映されたにさ探偵物が取入れられてゐるとかなり好影響を與へてゐる。今ハワイ大統領はこれ探偵物を良く映画化したとき內閣法制局に出掛けたに軍艦內ヴェルトの領は驚く程の大統領は毎日二十冊づゝ讀むさうだが、狂ひの探偵小說は全讀了は米國探偵小說を持込んだが、歸るまでに五十冊をつかう？

校正の術語

原稿の指定通り組版が終るとこれをゲラに入れて刷る。いはゆる「ゲラ刷」（校正刷）である。組み上げたままのものは間違が多いので、一先づゲラ刷が印刷所内の校正係へ廻り原稿とそれを對照して誤りを正す、これが「下校正」である。校正によつて組版を訂正することを「挿換」といふ。挿換が了ると更に新しいゲラ刷を作り原稿と共に註文者（出版者又は著者）に提出する。これを原稿と校合して誤字、脱字を訂正するのが「初校」である。更に校正をなす必要があつたら、これに「再校」と書いて印刷所へ返戻する。これらの校正はすべて朱筆でやるので「赤字」とも云つてゐる。工場ではこの赤字が採字されると挿換係の植字工が活字の挿換、または組直しをして再び校正刷を作り、「再校」として著者に渡し、改めてまた校正される。以下「三校」「四校」「五校」等々も同樣のことをくり返すのであるが多少の間違はあつても印刷所に一任し得る程度のものであれば、著者は「校了」又は「了」と書いて印刷所に一任するのである。

校正の術語は以上に擧げた如くであるが、尙二三の術語について説明を補足しやう。

誤字脱字　文選採字の時に原稿以外の誤れる活字、または拾ひ落しの活字を云ふ。

ゲラ刷　校正をする爲に手引機械で假りに刷つたものでその用紙も粗末なものを用ひてゐる。

赤字　ゲラ刷と原稿とを校合して誤字脱字及び位置體裁等を訂正したもので、判明し易きやうに墨刷の試刷に朱筆を加ふるが故に赤字と云ふ。

挿換　赤字の通りに誤字脱字を挿換へ又は挿入して次行へ送り込み、或は位置體裁を訂正することを云ふ。

組直　所定の頁に收まり切らないやうな場合に全然新しく組直しとなることが少くない。かゝる組直しに要する時間は新組みの時間よりも多く要し、進行上損失甚大であるから、原稿を組版に廻す前によく注意して整理しなければならない。

（一三）法律

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
不法行爲論	宗宮信次	四・八〇	◎六〇三	有斐閣 神田
沖縄縣警察法規類典	帝國地方行政學會	◎		帝國地方行政學會 京橋
刑事訴訟法判例總覽（上）	日下部義夫外二名	五・五〇	◎八一八	帝國判例法規出版社 本郷
臺灣鑛業規則解説	西村高兄	二・二〇	○二七九	巖松堂書店 神田
警察講習講義錄（四）	五十嵐規矩雄	一・六〇	◎	警察講習講義錄發行所 麴町
改正選擧法令釋義	清水長雄	一・一〇	○三四六	松華堂書店 神田
銀行取引法論	妹尾一雄	四・八〇	◎六八八	文雅堂 麴町
昭和九年選擧法令改正の要旨と其の事務取扱	堀部千尋	非	○三七五	山内弘 淀橋
判例體系 商法總則 十三	村田憲治	七・五〇	◎	啓法會 大阪
保險法論（上）	三浦義通	一・〇〇	◎二五六	巖松堂書店 神田
新訂改版 商法大意	松本烝治	三・八〇	◎六四五	岩波書店 同
民法講義（物權）	川添清吉	二・七〇	◎三四七	巖松堂書店 同
改正選擧法の要領	北條乃之助	一・〇〇	○一六三	大成通信社 同
法令全書（十二）（別冊十二ノ）	內閣印刷局	・六〇	◎	內閣印刷局 麴町
同	同		◎三〇六	同 同
健康保險法規	社會局	・三〇	○二二四	產業福利協會 同
選擧法令罰則解説	大竹武七郎	一・一〇	○二八六	巖翠堂書店 神田
手形法原論	得賀喜三郎	三・五〇	◎三八七	巖松堂書店 同
國民必讀 常識法律（第一卷）	仲宗根信秀	一・五〇	○二四三	仲宗根信秀 沖縄
警察實務提要	中神清	一・二〇	○三四八	井上一二三館書店 愛知
實用新案の智識と手續の仕方並書式類聚	市邊淺治郎	二・五〇	○二〇四	帝國特許發明普及協會 大阪
最新日本六法全書	大澤一六	一・五〇	×	三陽書院 麴町
改正法律問答	法律研究會	一・五〇	× 二〇四	法律研究會 大阪

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
警察講習講義錄（三）	五十嵐規矩雄	一・六〇	◎	五十嵐規矩雄發行所 麹町
改正衆議院議員選擧法	高橋晁	・七〇	〇一八六	一號社 牛込
改正衆議院議員選擧法註解	川手忠義 小澤佐重喜	一・五〇	〇三一八	行政評論社 下谷
商法大要（第二分冊）	野津務	一・八〇	◎二一三	有斐閣 神田
材教 陸軍軍法會議訴訟記錄	日高己雄	一・五〇	〇三九〇	良榮堂 麻布
墮胎罪研究	小泉英一	二・五〇	◎二八〇	巖松堂書店 神田
水産關係法規	大日本水産會	二・五〇	〇一〇三八	大日本水産會 赤坂
日本民事訴訟法（證據講義）調案	齋藤常三郎	・八〇	◎九五	弘文堂書房 神田
新體六法全書	巖松堂書店編輯部	三・二〇	〇	巖松堂書店 同
大審院民法判例索引	增田六一郎	二・九〇	〇五三四	湯川弘文社 同
刑事訴訟法概論（第一分冊）	千賀孝善	一・〇〇	◎九三	凡進社 京都
水陸交通事故判例	內田豊治	二・〇〇	◎二八三	立興社 神田
憲法の歷史的研究	鈴木安藏	二・五〇	◎四八七	叢文閣 麹町
判例民事法（十二）	民事判例研究會	五・〇〇	◎六九一	有斐閣 神田
親族法要綱	永田菊四郎	二・二〇	◎二六七	巖松堂書店 神田
中華民國民事訴訟法（1）	菊井維大 兼子一	四・〇〇	◎四一三	中央大學 同
創作及著作權とは何ぞや	中里彌之助	・七〇	〇	隣人之友社 日本橋
大審院裁判例（七）	山川金五郎	一五・〇	△三九〇	法律新聞社 同
公法學の諸問題（一）	宮澤俊義	三・五〇	◎四七	有斐閣 神田
同（二）	同	三・八〇	◎五一三	同 同
商事判例集	小町谷操三 伊澤孝平	一五・〇	×二八一	岩波書店 同
海法會誌（十九）	松波仁一郎	非	◎四九五	日本海法會 牛込
馬政關係法規	山田仁市		×一六一九	帝國馬匹協會 麹町
判例物權法總論	柚木馨	二・五〇	◎二九一	巖松堂書店 神田
新民事訴訟法學說判例總覽（下）	寺澤音一	一・〇〇	◎	法文社 京橋
特許實用新案意匠商標審決判例要旨集	內藤隆	二・三〇	〇三一四	巖松堂書店 神田
引用條文挿入信託法令全集	稻村眞介	一・五〇	〇二三〇	財政經濟時報社 日本橋
工業組合法講義	廣瀨保	一・五〇	◎三三〇	工業組合中央會 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
法令全書（十一）	內閣印刷局	・六〇	◎	內閣印刷局 麹町
改正選擧法令詳解	小林壽次	一・〇〇	×二七六	警察精神社 同
昭和九年選擧法令改正解說	古井喜實	一・八〇	〇四九六	中央報德會 四谷
保險法に於ける信義誠實の原則	野津務	二・四〇	◎二八五	有斐閣 神田
産業經濟關係法規要覽	赤堀郁太郎	・三〇	×二九六	中央融和事業協會 麹町
口述受驗叢書警察編	鳥津嘉孝	・八〇	〇二四〇	新光閣 神田
著作出版音樂舞踏法規	梅津勝夫	・八〇	〇一四四	敬文館 同
加除自在産業組合關係法規集	中央産業組合會 岡山支會		〇	中央産業組合會 岡山支會
宗教法案資料	淺野研眞	一・〇〇	◎一九八	東方書院 神田
改正農會法令解說	湯河元威	・三〇	〇一七四	帝國農會 麹町
【二月】				
改訂衆議院議員選擧法並關係法令註解	東條貞	・五〇	×一九〇	立憲政友會黨務部 麹町
最新小切手法論	畝川元夫	三・五〇	◎四一四	經濟新報社 大阪
和議法要論	加藤正治	一・二〇	◎二三八	有斐閣 神田
警察講習講義錄（五）	警察講習講義錄發行所	五十嵐規矩雄	◎	警察講習講義錄發行所 神町
教科書行政法	谷原義一	一・三〇	〇二三四	有斐閣 神田
健康保險特別會計事務提要	大塚要	二・八〇	◎五二四	大塚要 濱田
商法通論（下）	寺尾元彥	一・一〇	◎一八〇	巖松堂書店 神田
早稻田法學（十四）	中村宗雄	三・〇〇	◎	早稻田大學法學會 牛込
日本法制原論	中村萬吉	三・〇〇	◎三九四	東山堂書房 同
手形法及小切手法第二編小切手法	矢部克巳	一・五〇	◎	松華堂書店 神田
民事訴訟法學概論（上）	野間繁	二・〇〇	◎二六三	育成洞 本郷
刑事記錄	潮道佐 註譯	三・〇〇	◎四三九	立興社 神田
地租法要覽	西堀秀雄 模範	一・八〇	〇三六三	明倫館 同
小學校教育行政法規精義	船越源一	五・八〇	◎一一四二	東洋圖書株式合資會社 同
判例を中心としたる債權法各論	林信雄	三・六〇	◎四六四	凡進社 京都
改訂現行教育法規（上）	齋藤彥一		◎	山口縣教育會 山口
同（下）	同		◎	同 同
道路交通法規便覽	平井博	二・三〇	×五九五	伯文社 在原
福岡縣警察法規類典（一）	大谷仁兵衛		◎一九五〇	帝國地方行政學會 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
腦岡縣警察法規類典（二）	大谷仁兵衛		◎一四四二	帝國地方行政學會
同（三）	同		◎八七五	同
同（四）	同		◎一三四三	同
法令全書（一）	內閣印刷局		◎	內閣印刷局
高等文官帝國大學試驗問題對照集	篠原月	・九〇	〇二三八	警文社
工場關係法規	島根縣工場協會	・六〇	〇三八四	島根縣工場協會
【三月】				
行刑法規輯纂（上）	伊藤忠次郎		◎一〇三八	刑務協會
同（下）	同		◎一七八	同
破產法要論	加藤正治	三・五〇	◎五〇八	有斐閣
小切手法	大橋光雄	一・八〇	◎二四五	同
鐵道抵當法論	關本鍵男	二・五〇	◎三一五	同
手形法及小切手法擔保物權法論（上）	矢部克巳	四・五〇	◎六一九	松華堂書店
	石田文次郎	二・八〇	◎三八八	有斐閣
商法抄說	國歲胤臣	三・五〇	◎四六一	甲文堂書店
第二審辯論要旨	橋本庄之助	非	◎四五五	橋本庄之助
東京辯護士會誌	安達元之助	非	◎一〇三三	東京辯護士會事務所
登記法實例大全	金田東江	七・五〇	◎一六三七	自治館
やさしい警察論	丸山鶴吉	・三五	○一四八	新政社
趣味の法律ゴーストップ	岩崎商敏	二・四〇	○四八二	ヤナセ書院
最新鍼灸醫事法規集	山崎良齊	三・〇〇	○二〇四	明治鍼灸學校出版部
日本憲法の社會學的理解	岩崎卯一	・三五	◎四九	甲文堂書店
工業組合關係法規逐條解說	工業組合中央會	一・五〇	◎二五三	工業組合中央會
法令全書（第二號）	內閣印刷局	・六〇	◎二〇八	內閣印刷局
警察修養錄	橫溝光暉	・八〇	◎二九	松華堂書店
學理的分類判例總論	森山武市郎	三・五〇	◎五三五	同
聖德太子十七條憲法講話	曉烏敏	一・五〇	○四三六	日本放送出版協會關西支社
參力行爲處罰法令義解	長谷川瀏	一・一〇	○三四〇	松華堂書店

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【四月】				
改正木版法紙法の實際知識（並新聞）	成田總一郎	一・五〇	○三〇〇	自治刊行社
刑事演習	樫田忠美	二・〇〇	◎三一七	松華堂書店
改訂憲法大綱	野村信孝	四・〇〇	◎四六四	巖松堂
破產法研究（第一卷）	加藤正治	三・〇〇	◎三四九	有斐閣
社會法の研究	橋本文雄	二・五〇	◎三六二	岩波書店
破產法研究（第二卷）	加藤正治	三・五〇	◎三八四	有斐閣
改訂法學原論	柳川昌勝	二・八〇	◎三七六	巖松堂
會計檢査院判決集	會計檢査院長官房調査科		◎八〇三	會計檢査院長官房調査科
帝國憲法講義	佐藤丑次郎	二・八〇	◎三三三	有斐閣
純粹法學	ケルゼン 横田喜三郎譯	一・七〇	○二四〇	岩波書店
法律學概論	小松泰馬	二・五〇	◎三二一	文原堂
帝國憲法講義	佐藤丑次郎	二・八〇	◎三三三	有斐閣
我が國體と憲法論爭	板橋菊松	・五〇	○九六	憲法學說再檢討の會
民事訴訟法講義案	兼子一		◎三八四	兼子一
最新法學通論	天野德也	三・〇〇	◎三五五	巖松堂
民法通論（財產篇）	中村萬吉		◎四七〇	東山堂書房
債權法講義總論	前野順一	二・五〇	◎三〇三	清水書店
各國々勢調査法規	內閣統計局		◎二三二	內閣統計局
大衆法律講座	花岡敏夫	一・三〇	◎四〇〇	非凡閣
手形法及小切手法	織田嘉七	二・六〇	◎二八四	巖松堂
漁業組合法概要	原暉三	二・二〇	◎二八九	杉山書店
日本刑事訴訟法論上	樫田忠美	四・三〇	◎五三四	巖松堂
憲法義解	伊藤博文	一・二〇	○一九三	丸善株式會社
大日本帝國憲法の解釋に關する見解	小原正忠		◎三一	軍人會館事業部
憲法講義案	宮澤俊義		◎五冊	中央大學
最近判例集	水野豐	五・〇〇	○一〇一四	法律新報社
國際私法論	久保岩太郎	五・〇〇	◎六三一	三省堂
留置權論	藥師寺志光	二・六〇	◎二八〇	同
共同海損論	橋本犀之助	・九〇	○一四五	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
日本行政法	渡邊宗太郎	四・二〇	◎六〇九	弘文堂書房 神田
改訂新版 法律の相談	絲山貞規	三・八〇	〇二一三	白星社 同
物權法講義案（第一分冊）	小出廉二	・八五	◎一二三	明治大學出版部 同
憲法講義案	宮澤俊義		◎五六	宮澤俊義 豐島
法令全書	內閣印刷局	・六〇	◎	內閣印刷局 麴町
逐條アメリカ憲法論	藤井新一	一・〇〇	◎一四二	安野愛亮 小石川
警察講習講義錄	納谷孝一	一・六〇	◎四三三	警察精神社 麴町
判例體系追錄（第一號）	啓法會編輯部	三・〇〇	◎	啓法會 大阪
法廷回顧	北浦圭太郎	一・五〇	〇三〇八	國盟新聞社 奈良
新訂民法概論物權篇	遊佐慶夫	四・八〇	◎六六五	有斐閣 神田
改正健康保險法精義	熊谷憲一	五・〇〇	◎八一三	巖松堂 同
【五月】				
家主地主の解決策	柴田武	一・二〇	〇二三八	金泉堂 京橋
天皇機關說と公娼廢止	木野正俊	・一〇	〇七	ミナミ社 大阪
民事訴訟法事務取扱手續の實際	佐藤利雄	二・五〇	◎二五七	大同書院 大阪
天皇機關說問題の發展	芳陵龍夫	非	◎三	大月社會問題調査所 同
海商法講義要領	田中耕太郎	・三五	◎一八六	田中耕太郎 豐島
臨時利得稅法精義	久保平三郎	一・八〇	◎三三〇	文精社 神田
地方鐵道法令全集附軌道法令	木下武之助	二・二〇	×五九五	鐵道時報局 同
手形小切手法論	升本重夫	三・八〇	◎五〇五	巖松堂書店 同
刑法研究	牧野英一	四・〇〇	◎五一三	有斐閣 同
士族授產の研究	吉川秀造	三・六〇	◎三九七	同 同
立憲養正會宣傳パンフレット 天皇機關說に對する我等の態度	田村益喜	・二〇	〇五四	養正時報社 書籍部 澁谷
日本憲法の特色	佐藤鐵太郎	非	◎六〇	奉仕令本部 麴町
改訂債權法總論	岡村玄治	三・〇〇	◎三七〇	巖松堂書店 神田
日本法制史概論	牧健二	・七〇	◎一三一	弘文堂書房 同
農村負債整理組合法解說	松井驥	・四〇	〇三三	中央報德會 四谷
非常時法律の權益認識	坂田幸太郎	二・五〇	〇四五九	松陽堂 淺草

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
美濃部博士の憲法學說に關する帝國議會の意見及世潮について	林逸郎	・一〇	◎六二	昭和神聖會 四谷
日本憲法學論の現實科學的把握	楠原祖一郎	非	◎一八	社會思想對策調査會 京都
印紙稅の話	岩崎卯一	・四〇	◎七六	甲文堂書店 大阪
	勝正憲	一・五〇	〇三三	千倉書房 京橋
美濃部博士の憲法學說に關する帝國議會の意見及世潮について	上杉愼吉	一・六〇	◎二〇六	日本評論社 京橋
天皇機關說擊滅	山田準次郎	二・四〇	◎四二二	山田準次郎 小石川
帝國憲法逐條講義	小原正思	非	◎三一	軍人會館事業部 麴町
大日本帝國憲法の解釋に關する見解	原田慶吉		◎八五	原田慶吉 澁谷
羅馬法制史序說	永田菊四郎	・九五	◎一三七	巖翠堂書店 同
法學通論（上）	清水孝藏	四・〇〇	◎四五六	巖松堂書店 神田
增訂刑事訴訟法理論	瀧川幸辰	一・八〇	◎二五二	政經書院 京都
最近の大審院刑事判例研究	牧鍵二	三・〇〇	◎四三八	弘文堂書房 神田
日本法制史概論	武市春男	二・五〇	◎二九二	創生社 牛込
法學通論	江藤源九郎	・二〇	〇九六	江藤源九郎 四谷
機關說の徹底的勦滅を目指して在鄉軍人の奮起を促す	冀田胸喜	・一五	〇四二九	原理日本社 麴町
債權法講義（上）	永田菊四郎	非	◎一二四	巖翠堂書店 神田
帝國憲法講義	佐藤丑次郎	二・八〇	◎三三	有斐閣 同
ソヴェト勞働法	胡麻本蔦一	一・〇〇	×三三ナウカ	社 同
大衆法律講座刑法各論	德岡一男	一・三〇	◎二五八	非凡閣 小石川
日本民法要綱總則編	野村重臣	二・三〇	◎二九八	更生閣 京都
刑法大綱	宮本英修	四・〇〇	◎五七一	弘文堂書房 神田
天皇機關說擊滅創除版	林逸郎	・一〇	〇六二	昭和神聖會 四谷
商法總則判例法	村井藤十郎	二・〇〇	◎二四三	更生閣 京都
機關說を斬る	中村政司	非	◎二五	中村政司 中野
辯護學	南波杢三郎	三・八〇	◎五七五	新光閣 神田
皇國憲法	筧克彥		◎三〇二	赤門堂書店 本郷
大日本帝國憲法の解釋に關する見解	播州國防研究會本部	非	〇三七	播州國防研究會本部 兵庫
日本精神と天皇機關說	菊池武夫		◎一七	帝國在鄉軍人久留米支部 福岡
天皇機關問題の意義	森清人			
準契約及事務管理の研究	小池隆一	三・〇〇	◎三六八	清水書店 神田
商法要論	水口吉藏	三・八〇	◎五〇八	有斐閣 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
民事訴訟法提要	河本喜與之	四・〇〇	◎六〇五	南郊社 牛込
皇國憲法 大木樞相牧野内府の潜冒思想を糾彈す	筧克彦	二・五〇	◎三九五	京プリント刊行會 本郷
法律學說判例總覽	高窪喜八郎	一・一〇	◎三三八	法律評論社 神田
憲法講義案	宮澤俊義		◎五二	宮澤俊義 豐島
國際法概論	松原一雄	四・八〇	◎五九三	巖松堂書店 神田
行政法要論	島村他三郎	二・〇〇	◎二六八	同 同
憲法の本質	ラッサルン 淡德三郎	・七五	○一九一	白揚社 同
河川法論	安田正鷹	二・八〇	◎三九二	松山房 同
法令全書索引目錄 昭和九年	内閣印刷局	・六〇	◎	内閣印刷局 麴町
債權各論講義案	戒能通孝	非	◎三二六	中央大學教務課 神田
手形法小切手法概論	田中耕太郎	一・九〇	◎三三一	有斐閣 同
臨時利得稅法釋義 改正出版法並新聞紙法の實際知識	河沼高輝 成田總一郎	二・八〇	◎四二六	政治教育協會 麴町
臨時利得稅法精解	中村繼男	一・八〇	◎一九二	森山書店 神田
東京少年審判所十年史	鈴木賀一郎	三・五〇	◎三六一	日本少年保護協會東京支部 麴町
民法判例教材（相續篇）	渡邊一郎	三・〇〇	◎四五七	明治大學出版部 神田
東亞聯盟パンフレット 東亞の和平と支那の反省	洪埃杓		◎三	東亞聯盟總本部 麴町
日本漁業法論	佐藤百喜	三・八〇	◎五六七	常磐書房 小川 石
刑法總則講義 第一分冊	草野豹一郎	一・六〇	◎三二九	南郊社 牛込
警察講習講義錄帝國憲法・工場法鑑識	納谷孝一	一・六〇	◎	警察精神社發行所 麴町
天皇機關說問題知見補遺 【六月】	里見岸雄	・一〇	◎二〇	里見日本文化學研究所 京都
取締法規違反實例集	堀部淺	二・〇〇	◎三八三	政經書院 京都
財團抵當法の研究	江口最	二・五〇	◎三三四	文雅堂 麴町
判例婚姻豫約法解說 美濃部法學博士の憲法學說に關する帝國議會の意見及世潮について	岩田新	二・一〇	◎二九〇	有斐閣 神田
判例刑事訴訟記錄	坂本英雄	三・〇〇	◎五三七	松華堂書店 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
日本行政法	清水澄	三・〇〇	◎三六二	松華堂書店 神田
帝國憲法を護れ	横井三郎	・五〇	○一四〇	天仰塾 愛知
改訂版 憲法の本質	ラソサルレ 淡德三郎	・七五	○一九一	白揚社 神田
中華民國憲法草案	宮澤俊義 田中二郎	二・五〇	◎三四七	中華民國法制研究會 麴町
國際公法論綱	中村進午	三・〇〇	◎三九六	巖松堂書店 神田
法律年鑑（昭和十年版）		二・五〇	○	日本評論社 京橋
大衆法律講座	松原一雄	一・三〇	◎四二八	非凡閣 小石川
隱語構成の樣式並其語彙	樋口榮	非	○三八五	警察協會大阪支部
天皇機關說の批判	中谷武世	・二〇	◎三三	維新社 麴町
改訂 商法通論	寺尾元彥	三・八〇	◎四九三	巖松堂書店 神田
教育法規實務便覽	黑川喜太郎	一・八〇	○四六〇	左文字書店 下谷
特別法規判例學說全集	柴田義彥	非	◎二九七	常磐書房 小川 石
新警察練習書	松華堂編輯部	三・三〇	◎	松華堂書店 神田
羅馬法制史概論	戶倉廣	三・二〇	◎四〇七	巖松堂書店 神田
出版警察法概論	生院住求馬	一・一〇	◎一五五	松華堂書店 同
交通法規	坪崎信正	二・五〇	×二七五	鐵道同志會 麴町
中華民國刑法（下）分則	小野清一郎	三・五〇	◎四三九	中央大學 神田
破產法例解	中根不羈雄	一・五〇	◎二〇六	南郊社 牛込
日本探鑛法	岩崎重三	三・五〇	◎二九七	內田老鶴圃 日本橋
破產法學粹	前野順一	二・九〇	◎三三二	清水書店 神田
改訂 日本鑛業法	中村清彥	二・三〇	◎三六〇	丸善株式會社 日本橋
玄人の玄人素人の素人らしからざる法律論	尾佐竹猛	一・三〇	○一九六	大誠堂 京橋
日本警察全書下	城戶德一	二・三〇	○五五〇	清文社 本郷
指紋法要論	古賀唯次		◎四〇	警察協會福岡支部 福岡
警察文書論	吉原秀夫	三・〇〇	◎五一七	福岡縣警察練習所 同
警察實務提要	山元一雄	一・五〇	○四二一	同
天皇機關說を撃す	安藤紀三郎	非	◎一五	海軍問題談會 麴町
改訂 憲法大綱	野村信孝	四・〇〇	◎四六八	巖松堂書店 神田
夫婦財產法の批判	和田于一	六・〇〇	◎八五六	大同書院 大阪
鑑識教範	神谷實		◎一一九	警察協會福岡支部 福岡

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
憲法講義案	宮澤俊義		◎一五六	宮澤俊義
皇國憲法序論	田上輝彥	一・三〇	○一四〇	丙申義社 日本橋 出版部
合衆國大審院の全約款判決	田中保太郎		◎四四	神戸商業大學 商業研究所 兵庫
判例體系追錄	村田憲治	三・〇〇	◎	啓法會 大阪
羅馬私法綱要	原田慶吉		◎一三五	原田慶吉 澁谷
法令全書（五）	內閣印刷局	・六〇	◎	內閣印刷局 麴町
車業關係判例集	平田泰美	三・五〇	◎三六一	判例調査會 日本橋
最新民法總則概論	岩田新	一・五〇	◎三三三	同文館 神田
日本憲法學講義上	吉田一枝	非	◎六五二	甲文堂書店 大阪
特殊抵當權の設定と實行手續	谷井辰藏	四・〇〇	◎五四二	巖松堂書店 神田
解雇退職の法律的研究	後藤清	三・〇〇	◎四一四	南郊社 牛込
【七月】				
民事訴訟法學概論下	野間繁	二・五〇	◎三三三	育成洞 本郷
改正治安維持法案解說 現行治安維持法	深谷善三郎	・八〇	○	松陽堂 淺草
氣罐取締令解說	警視廳汽罐係	一・〇〇	○三四九	東京工場協會 麴町
全訂會社法提要	田中誠二	三・五〇	◎四九二	有斐閣 神田
法令判例實例書式加除ヲ實務自治要覽	門馬卯太郎	非	○	日本行政學會 淀橋
修正增補憲法提要	穗積八束	四・八〇	◎五八五	有斐閣 神田
國稅徵收法精義 附方稅徵收解說	鹽田權吉 中西登幾繼	二・五〇	◎五四一	東洋出版社 京橋
天皇機關說に就いての感想批判	佐藤彥彌	非	◎六四	岩磐鄉土史研究會 澁谷
大衆法律講座（八）	栗栖赳夫	一・三〇	◎三八六	非凡閣 小石川
警察の講習講義錄八	納谷孝一	一・六〇	◎	警察精神社 麴町
手形法義解	池田寅次郎 小堀仔	四・五〇	◎四一〇	清水書店 神田
古バビロニアの研究 法	遊佐慶夫	三・〇〇	◎三五八	巖松堂書店 同
刑事訴訟・陪審法・刑事補償法・先例大鑑	潮道佐	四・〇〇	◎四四八	立興社 同
法の本質	美濃部達吉	一・八〇	◎二〇九	日本評論社 京橋
【八月】	村田憲治	七・〇〇	◎一〇六七	啓法會 大阪

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
强制執行法要論	加藤正治	三・〇〇	◎四〇三	有斐閣 神田
ケルゼン學說の批判	美濃部達吉	一・八〇	◎一九二	日本評論社 京橋
改府縣會議員選擧法註解 正	川手忠義 小澤佐重喜	・七〇	○一九〇	行政評論社 下谷
警察の表裏觀	芳谷武雄	・八〇	○二八〇	警察思潮社 神田
大衆法律講座（九） 憲法・行政法	中村彌三次	一・三〇	◎三五八	非凡閣 小石川
司法の尊嚴と調停法廢止	岩佐權二	非	○二六	神戸辯護士會 兵庫
手形法及小切手法	織田嘉七	二・六〇	◎三一八	巖松堂書店 神田
日本親族法	谷口知平	三・八〇	◎五五一	弘文社書房 同
判例引用警察實務教程	西山市郎	・八〇	○二三六	新光閣 同
同 警察實務教程	同	・六〇	○一四五	同 同
實例判例市制町村制釋義	梶康郎	一・五〇	○四八二	松陽堂 淺草
新民事訴訟法註釋（五）	松岡義正	二・〇〇	◎二五八	清水書店 神田
民事訴訟法判例集	加々美仲次郎	三・五〇	◎五八四	明倫會 同
昭和九年度公法判例評釋	美濃部達吉	一・四〇	◎一六八	有斐閣 同
昭和八年度公法判例評釋	同	一・五〇	◎一九〇	同 同
日本政府登錄商標大完 第六・七・八類	內田襄治		△三〇二	帝國商工協會 大阪
國體主義の刑法理論	安平政吉	四・五〇	◎五五九	巖松堂書店 神田
借家法と調停の話	古野周藏	一・三〇	○二五七	大同書院 大阪
最惠國約款論	手塚壽郎	二・五〇	○三二六	森山書店 神田
商法講義（一）	堀部靖雄	二・八〇	◎四四七	政經書院 京都
【九月】				
刑法判例總覽（總則上）	草野豹一郎 外四名	四・〇〇	◎六二二	帝國判例法規出版社 本郷
府縣會議員選擧法規集	關口泰	・四〇	○一二六	社會及國家編輯部 神田
選擧肅正改正選擧諸法令解說	島津嘉孝	一・〇〇	○二四六	松陽堂 淺草
法令全書（七）	內閣印刷局	・六〇	◎	內閣印刷局 麴町
法令全書（七別冊）	同		◎四五〇	同 同
改正選擧法令詳解	小林尋次	二・〇〇	○六七五	警察精神社 芝
民事訴訟法要義	早川彌三郎	四・五〇	◎二二二	洋々社 下谷
早稻田法學別冊五 ソヴイエット刑法刑事訴訟法改善勞働法	中村宗雄	一・七〇	◎三三〇	早稻田大學法學會 淀橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
大審院・抵當權不動産競売に判例集	尾山萬次郎	二・一〇	○	
大衆法律講座一一 民事訴訟法	下山四郎	一・三〇	◎四〇八	昭和法制學會 豐島
憲法講義案	宮澤俊義		◎六四	非凡閣 小石川
最新確實有利の諸契約と其損害豫防並回復策	岩崎徂堂	二・〇〇	○四〇六	宮澤俊義 豐島
判決要錄（二五）	法律新聞部編輯	六・〇〇	○	帝國法令普及會 神田
早稲田法學別冊六 イエリンク法律目的論下	中村宗雄	一・三〇	◎一六五	法律新聞社 日本橋
法律と道德との關係	鵜澤總明	三・〇〇	◎五一四	早稲田大學法學會 淀橋
親族相續判例總評一	中川善之助	二・三〇	◎三四九	明治大學出版部 神田
日本憲法の精神	金子堅太郎	・一〇	○五二	岩波書店 同
商法大要 第三分冊）	野津務	一・二〇	◎一六〇	有斐閣 神田
海員審判所裁決錄 大正十一年版	島連太郎	五・五〇	◎五三三	三秀社 同
警察講習講義錄九	納谷孝一	一・六〇	◎	警察精神社 麴町
大日本帝國憲法・帝國憲法制定の精神・歐米各國學者政治家の評論	金子堅太郎	・一〇	◎四〇	大日本圖書株式會社 京橋
特輯六法全書（現行法令條約集）	小野清一郎 佐藤龍馬	五・五〇	×	三省堂 神田
憲法講義案（五）	宮澤俊義		◎七〇	宮澤俊義 豐島
法理條文對照六法要典	法邑才一郎	四・五〇	○	帝國書籍協會 本郷
帝國憲法の精神と逐條解釋	山下光太郎	・三〇	○一二六	學術出版社 神田
法令全書（八）	內閣印刷局	・六〇	◎	內閣印刷局 麴町
判例體系（一六）	村田憲治	六・〇〇	◎九〇九	啓法會 大阪
帝國憲法制定の精神歐米各國學者政治家の評論	金子堅太郎		○四〇	講演の友社 芝
註釋日本民法（債權編總則）	近藤英吉 柚木馨	三・八〇	◎五〇七	巖松堂書店 神田
親族相續法讀本	武藤運十郎	一・五〇	○二七八	家庭法律社 四谷
貸金整理の法律的注意事項	井上勝馬	・九五	○二三八	文雅堂 麴町
預金取引の法律問題	岡野哲二	一・二〇	○三〇〇	同 同
商行爲法	烏賀陽然良	二・一〇	◎二九五	弘文堂書房 神田
改府縣會議員正市町村會議員選擧手續解說		一・四〇	○三〇二	教文社 麴町
退職積立金法案の是非	全德信治	非	○三一四	日本工業新聞社 大阪
物權法	田島順	二・〇〇	◎三三五	弘文堂書房 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
改正民事訴訟法要義	早川彌三郎	四・五〇	◎一二二	松陽堂 淺草
國法學（日本憲法）	野村淳治		◎一五三	雄鳳閣 神田
帝國憲法制定の精神	金子堅太郎	・三〇	○一〇四	青年教育及會 同
法制經濟概要	野村信孝	一・〇〇	◎二二九	巖松堂書店 同
【十月】				
保險契約法論第一冊	野崎隆幸	・七〇	◎一〇〇	大同書院 大阪
新民事訴訟法學說判例總覽强制執行編（自第一編至第八編）上	寺澤晉一	八・五〇	◎一〇一八	法文社 京橋
五私職疑獄事件辯論集	小齋甚治郎	六・〇〇	◎一四五六	酒井書店 本郷
法學通論	中村進午	三・五〇	◎三二四	巖松堂 神田
私權保護 强制執行手續及對策	渡邊彰平	二・二〇	○三三	大東社 下谷
天皇機關說を覆へす	大野愼	・一〇	○六三	東京パンフレット社 中野
水戸學の精神	菅舜英	・一〇	◎二六	國民協會出版部 麴町
美濃部學說を論駁す	桑原隲藏	三・〇〇	◎三六六	弘文堂書房 神田
支那法制史論叢	高窪喜八郎	八・五〇	◎一〇三七	法律評論社 同
學說判例總覽一四）和議法	有松昇	・七〇	◎一〇一	松華堂書店 同
憲法講義				
日本判例大成二 民法物權	日沖憲郎	二・八〇	△五八四	非凡閣 小石川
日本民法講義（物權一）	齊藤常三郎	・八〇	◎一二五	弘文堂書房 神田
國體憲法學	里見岸雄	三・五〇	◎六五五	二松堂書店 同
二色刷六法全書	鈴木義男	三・八〇	×	國民圖書協會出版部 芝
營業收益稅法臨時利得稅法精義	久保平三郎	二・五〇	◎五九七	東洋出版社 京橋
手形法小切手法講義案	鈴木竹雄		◎二八八	有斐閣 神田
日本憲法特質論	吉田一枝	・八〇	◎一〇八	甲文堂書店 大阪
國際法學大綱上	田岡良一	三・五〇	◎四四三	巖松堂書店 神田
現代法令全集一 皇室篇憲政篇	末廣巖太郎		○七四六	日本評論社 京橋
議院法改正資料	中村茂		◎一一三	國政研究會 麴町
五十周年記念論文集（法律之部）	片山金章	五・〇〇	◎六四一	中央大學 神田
賴母子講と其の法律關係	由井健之助	二・八〇	◎三五二	岩波書店 同
手形法研究	山尾時三	二・八〇	◎三九五	岩波書店 同
法令全書（九）	內閣印刷局	・六〇	◎	內閣印刷局 麴町
再訂法學通論	孫田秀春	一・八〇	◎二七六	有斐閣 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
手形法小切手法概論（第二分册）	田中耕太郎	二・〇〇	◎三四三	有斐閣 神田
趣味の法律	上田保	三・八〇	〇二三八九	秀英社 同
特許實用新案意匠商標法論	田中清明	三・五〇	◎四六九	巖翠堂書店 同
新手形法論	山尾時三	三・二〇	◎五〇五	岩波書店 同
警察講習講議錄（一〇）	五十嵐規矩雄	一・六〇	◎	警察講習講義發行所 麹町
海上損害論	加藤由作	四・〇〇	◎四六〇	巖松堂書店 神田
英國警察制度論	高橋雄豺	二・八〇	◎四七九	松華堂書店 同
犯罪と其の豫防	恒岡恒	一・三〇	〇三五三	同
强制報行の基本問題	小木貞一	一・三〇	◎二三〇	南郊社 牛込
滯貸金回收手續債權保全手續	千野國丸	二・八〇	◎三八八	銀行問題研究會 大阪
商法研究（二）	田中耕太郎	四・八〇	◎七二八	岩波書店 神田
百般警戒取引手續法律の裏を掻かれぬ對策	岩崎徂堂	二・〇〇	〇四三九	帝國法令普及會 同
法律と輿論	A・V・ダイレー 清水金二郎	四・〇〇	◎五三六	川瀨日進堂書店 兵庫
岸清一訴訟記錄集 民事篇第一輯	堀江專一郎	四・五〇	◎六六六	岸訴訟記錄整理事務所 麹町
商行爲法講義	大橋光雄	二・〇〇	◎三八	有斐閣 神田
【十一月】				
日本法制史大綱上	細川龜市	二・〇〇	◎二三二	時潮社 芝
改正國際海上衝突豫防規則解說	永野馬太郎	三・五〇	◎九五	海文堂書店 神田
憲法志料（前輯）	司法省	五・〇〇	◎七八二	大治社 大森
同（後輯）	同	五・〇〇	◎九一七	同 同
國法學（第一分册）	野村淳治	・六〇	◎九六	東京プリント刊行會 本郷
憲法（第一分册）	宮澤俊義	・七〇	◎九七	同 同
憲法（第二分册）	同	・八〇	◎一〇八	同 同
警察講習所第一短期科講習錄抄	警察講習所學友會	・五〇	◎二五一	警察講習所學友會 麹町
法學通論（下）	永田菊四郎	一・一〇	◎一七七	巖翠堂書店 神田
日本法制原論	中村萬吉	三・〇〇	◎四〇四	東山堂書店 牛込
手形法原論	須賀喜三郎	三・五〇	◎三八七	巖松堂書店 神田
國體明徵 帝國憲法論	島津嘉孝	五・〇〇	◎五八二	日本法曹會出版部 小石川

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
防犯科學全集七 少年少女犯罪篇	鈴木賀一郎 尾後貫莊太郎	一・五〇	○四七七	中央公論社 麹町
特許局出願請求手續詳解	峰尾正康	二・〇〇	○三二一	京都發明協會 京都
手形關係判例要領集	井上勝馬	一・三〇	○三四一	文雅堂 麹町
手形法小切手法概論	田中耕太郎	四・三〇	◎六七二	有斐閣 神田
國體憲法原理	大谷美隆	三・〇〇	◎四〇五	同 同
共同海損法	今村有	四・八〇	◎五三六	政經書院 京都
かくめいパンフレット三・國民に檄す・國體明徵と赤露の膺懲	夏秋龜一	非	○七	鶴鳴莊出版部 芝
判例實用總鑑	鷲山半之助	一・三〇	◎二六〇	新光閣 神田
例規插入（第一分册）				
衆議院議員選擧法中改正法律制定過程	藤澤正則	非	○二〇三	藤澤正則 杉並
刑法判例總覽總則	草野豹一郎 外六名	五・〇〇	◎七四三	帝國判例法規出版社 本郷
非常時の司法問題	萬造寺孕二	・六〇	○一五三	日本警察新聞社 牛込
大審院裁判例（八）	山川金五郎	一・五〇	△四二九	法律新聞社 日本橋
法制經濟概要	野村信孝	一・〇〇	◎二二九	巖松堂書店 神田
水産法規	北海道廳經濟部水産課		◎一四二	帝國地方行政學會 京橋
法文學部研究年誌（第一輯）	關西學院大學法文學會		◎三四六	川瀨日進堂書店 兵庫
法令全書（一〇）	内閣印刷局	・六〇	◎	川瀨日進堂書店 麹町
共同海損研究（上）	石津漣	三・五〇	◎三八七	東洋出版社 京橋
日本憲法史研究	鈴木安藏	一・六〇	○四一九	叢文閣 麹町
聖德太子憲法第十七條講話	川井田之助	・五〇	◎五三	精修會 鹿兒島
鐵道監督法規論	大野秀雄 壺田修	二・八〇	◎四六四	春秋社 日本橋
日本判例大成一 民法總則	日沖憲郎	二・八〇	△五八九	非凡閣 小石川
公法と私法	美濃部達吉	二・〇〇	◎二六八	日本評論社 京橋
選擧心得肅正と取締違反にかゝるな	福田博光	・一〇	○四六	東朝日開社 淺野川
新捜査の栞	安井榮三	一・三五	○三七三	松華堂書店 神田
【十二月】				
帝國憲法の歴史的基礎	牧健二	・二〇	◎七三	日本文化協會出版部 麹町
法令全書（十一）	内閣印刷局	・六〇	◎	弘濟會授産場 同
保險法講義要領	田中耕太郎	・三五	◎三三六	田中耕太郎 豐島
改正健康保險法精義	熊谷憲一	五・〇〇	◎八二二	巖松堂書店 神田
改正選擧法令詳解	小林尋次	・六〇	○二五七	警察精神社 芝

書名	著譯者	定價	形體	發行所
天皇及國家を中心として憲法を論ず	高窪喜八郎	一・八〇	◎三四	法律評論社 神田
加除現行靜岡縣令自在規全集（二）	帝國地方行政學會		◎	帝國地方行政學會 京橋
關係法規類聚	西岡實太	非	◎四三	日本勉業銀行調査課 神田
加除現行靜岡縣令自在規全集（一）	帝國地方行政學會		◎	帝國地方行政學會 京橋
最近憲法問題論策	板橋菊松	非	◎二四	帝國憲法學會 赤坂
政府の國體明徵聲明と余の見解	小野塚道順	・一〇	〇三	紫魂莊 葛飾
美濃部博士の機關說と余の辯護				
現代人類問題研究	松岡壽八	四・〇〇	◎六五六	松岡壽八 品川
警察講習講義錄（二）	五十嵐雄矩	一・六〇	◎	警察講習講義錄發行所 麴町
判例と理論	船田亨二	三・二〇	◎六六六	刀江書院 神田
加除現行靜岡縣令自在規全集（四）	帝國地方行政學會		◎	帝國地方行政學會 京橋
岩波全書七〇 建築法規	笠原敏郎	・八〇	×二七七	岩波書店 神田
加除現行靜岡縣令自在規全集（三）	帝國地方行政學會		◎八五二	帝國地方行政學會 京橋
防犯科學全集 智能犯篇	飯澤高村上常太郎	一・五〇	◎五五一	中央公論社 麴町
帝大法學部「國權否認論」の法學的批判	蓑田胸喜	・五〇	◎一四一	原理日本社 同
天皇主體說ヲ中心トシタル帝國憲法解說	法學研究會	一・〇〇	〇三四五	精興社書店 神田
比律賓憲法	北正一郎	非	◎五七	比律賓協會 麻布
海商法概論	石井讓	二・〇〇	◎二四〇	嚴松堂書店 神田
岸清一訴訟記錄集民事篇第二輯	堀江專一郎	四・五〇	◎六五六	岸訴訟記錄整理事務所 麴町
現代法令全集一二 裁判篇刑事篇	末弘嚴太郎		〇七三五	日本評論社 京橋
現代法令全集（土木篇）	同		〇六三二	同 同
日本判例大成六 親族相續一	日沖憲郎	二・八〇	〇六〇七	非凡閣 小石川
ナポレオンの不滅の敵ビット	佐藤登志雄	一・〇〇	〇二四二	那須書房 玉子
刑事訴訟法學論	坂本英雄	三・〇〇	◎四五七	松華堂書店 神田
近代思想の動向と日本憲法	森吉義旭	・八〇	〇一八〇	青年教育及普及會 同
檢察漫談	下條貞秋	一・三〇	◎二五七	警察協會長野支部 長野
法律と文化國理念	牧野英一	・二五	〇四三	社會教育協會 小石川

（一四）政治・外交

【一月】

書名	著譯者	定價	形體	發行所
昭和國勢調五年查報告四府縣編 熊本縣	內閣統計局	一・三〇	△一九七	東京統計協會 京橋
なぜ既成政黨の解消を叫ぶか？	松岡洋右	・一五	〇七四	政黨解消聯盟出版部 麴町
昭和國勢調五年查報告四府縣編 岡山縣	內閣統計局	一・四〇	△二〇一	東京統計協會 京橋
祕書類纂 帝國議會資料（下）	伊藤博文 平塚篤校訂	七・〇〇	◎四九四	祕書類纂刊行會 麴町
自第一回議會至第六十五回議會 貴族院先例錄	貴族院事務局		◎三五一	貴族院事務局 同
同 貴族院委員會先例錄	同		◎一五九	同 同
國政一新論叢（一）	石倉伊吉	・一〇	〇九一	國政一新會 同
明治天皇と立憲政治	渡邊幾治郎	二・五〇	〇二六二	學而書院 下谷
昭和國勢調五年查報告四府縣編 鳥取縣	內閣統計局	・九〇	△一三三	東京統計協會 京橋
市川市勢總攬	大野國光	非	◎五〇〇	市川市勢調査會 千葉
滿洲國と門戶開放問題	英修道	一・五〇	◎三二五	日本國際協會 麴町
立憲哲人政治	鈴木梅四郎	一・〇〇	〇二〇六	千倉書房 京橋
國策直言	長島隆二	一・五〇	〇三七二	立命館出版部 同
危機外交秘密史	伊藤銳太郎	一・六〇	〇三九六	日本公論社 神田
The morldis nems prss	國際經濟研究所	・五〇	◎一四九	國際經濟研究會 京橋
ツラン民族運動と日本の新使命	野副重次	一・五〇	〇二九〇	日本公論社 神田
世界列强のプロパガンダ戰	大江專一	一・二〇	〇三三三	實業之日本社 京橋
第六十六回帝國議會衆議院報告	衆議院事務局		◎八三	衆議院事務局 麴町
ナチス	四宮恭二	一・二〇	〇二五九	政經書院 京都
精神日本の建設	東鄕實	一・五〇	〇二四八	玉川學園出版部 淀橋
列國の對支投資（下）	佐藤貞次郎		◎	東亞經濟調査所 麴町
警察實務提要	山元一雄	一・三五	〇四二	福岡縣警察練習所 福岡
太平洋問題資料一三 滿洲國の蒙古人	浦松佐美太郎	非	◎五二	太平洋問題調査會 麴町